

# 太宰府まちづくり市民意識調査

---

## 報 告 書

平成 25 年 3 月

太 宰 府 市



# 目 次

---

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の性格	1
3. 調査項目	2
4. 調査結果利用上の注意	3
第2章 調査結果の分析	5
第1節 回答者の属性	5
1. 性別（問1）	5
2. 年齢（問2）	6
3. 世帯構成（問3）	7
4. 職業（問4）	8
5. 通勤・通学先（問4付問1）	9
6. 小学校区（問5）	10
7. 居住年数（問6）	11
8. 居住形態（問7）	12
第2節 住みやすさについて	13
1. 太宰府市の住みやすさ（問8）	13
2. 継続居住意向（問9）	14
3. 住み続けたい理由（問9付問1）	15
4. 住み続けたくない理由（問9付問2）	17
第3節 日頃の暮らし、行動について	18
1. 総合計画前期基本計画の施策に対する考え方（問10）	18
2. 子育て支援の推進	23
(1) 子育てのしやすさ（問11）	23
(2) 子育てに対する不安や負担感（問12）	24
3. 高齢者福祉の推進	25
(1) 生きがいの有無（問13）	25
(2) 高齢者福祉サービスの充実度（問14）	26
4. 障がい福祉の推進	27
(1) 障がい者福祉サービスの充実度（問15）	27
(2) 公共施設の配慮に対する意識（問16）	28
(3) 民間施設の配慮に対する意識（問17）	29
5. 地域福祉の推進（問18）	30
6. 生涯健康づくりの推進	31
(1) 健康状態（問19）	31
(2) 健康増進の取り組み状況（問20）	32

(3) 健康診査の受診状況 (問 21)	33
7. 防災・消防体制の整備充実 (問 22)	34
8. 防犯・暴力追放運動の推進	36
(1) 防犯面の安心度 (問 23)	36
(2) 防犯上危険と思う場所 (問 23 付問 1)	37
9. 安全な消費生活の推進	39
(1) 不当請求や不適正な取引行為の被害状況 (問 24)	39
(2) 不当請求や不適正な取引行為の具体的な被害 (問 24 付問 1)	40
10. 人権を尊重するまちづくりの推進	41
(1) 人権侵害の経験と内容 (問 25、付問 1)	41
(2) 人権問題への認識 (問 26)	42
(3) 同和地区に対する差別の認識 (問 27)	43
(4) 結婚を決めるときの家柄、血筋に対する考え方 (問 28)	44
11. 男女共同参画の推進	45
(1) 固定的性別役割分担に対する考え方 (問 29)	45
(2) 男女間の地位の平等感 (問 30)	46
12. 生涯学習の推進	47
(1) 生涯学習活動の取り組み状況 (問 31)	47
(2) 運動・スポーツの実施頻度 (問 32)	48
13. 文化芸術の振興 (問 33)	49
14. 生活環境の向上	50
(1) 自宅周辺の衛生環境 (問 34)	50
(2) 環境マナーの順守 (問 35)	51
(3) 美化活動への参加状況 (問 36)	52
15. 自然共生社会の構築	53
(1) 自然の豊かさについて (問 37)	53
(2) 野鳥や昆虫などの観察場所について (問 38)	54
16. 循環型社会の構築 (問 39)	55
17. 低炭素社会の構築	56
(1) 省エネルギー・省資源の活動について (問 40)	56
(2) 二酸化炭素削減や大気汚染対策の実践 (問 41)	57
18. 環境教育・学習の推進 (問 42)	58
19. 未来に伝える景観づくり	59
(1) 美しい自然に対する意識 (問 43)	59
(2) 美しい歴史的景観に対する意識 (問 44)	60
(3) 良好なまちなみに対する意識 (問 45)	61
20. 計画的なまちづくりの推進	62
(1) 住環境の快適さについての認識 (問 46)	62
(2) 商業施設等の利便性に対する意識 (問 47)	63

(3) 家の近くにあると便利だと思う施設 (問 47 付問 1)	64
21. 地域交通体系の整備	65
(1) バスの利便性に対する意識 (問 48)	65
(2) 鉄道の利便性に対する意識 (問 49)	66
(3) 道路の円滑性に対する意識 (問 50)	67
(4) 交通手段 (問 51)	68
22. 産業の振興 (問 52)	69
23. 文化遺産の保存と活用 (問 53)	70
24. 観光基盤の整備充実	71
(1) 観光客への意識 (問 54)	71
(2) 観光客との交流について (問 55)	72
25. 国際交流・友好都市交流の推進	73
(1) 外国人との交流 (問 56)	73
(2) 姉妹都市・友好都市の認識 (問 57)	74
(3) 姉妹都市・友好都市との交流頻度 (問 58)	75
(4) 外国人や留学生との交流方法 (問 59)	76
26. 市民参画の推進	77
(1) 自治会活動への参加 (問 60)	77
(2) ボランティア活動への参加 (問 61)	78
第 4 節 行政サービスについて	79
1. 情報の共有化と活用	79
(1) 市民と行政の情報の共有 (問 62)	79
(2) 広報広聴機能の充実 (問 63)	80
(3) 情報公開・提供に対する意識 (問 64)	83
(4) パソコンの有無 (問 65)	84
(5) パソコンのインターネット利用の有無 (問 65 付問 1)	85
(6) 携帯電話の有無 (問 66)	86
(7) 携帯電話によるインターネット利用の有無 (問 66 付問 1)	87
2. 市民のための行政運営	88
(1) 行財政改革 (問 67)	88
(2) 市職員の応対や行動に対する意識 (問 68)	89
(3) 市役所窓口の利用の有無 (問 69)	90
(4) 事務処理の迅速性に対する意識 (問 69 付問 1)	91
(5) 職員の対応・姿勢に対する満足度 (問 69 付問 2)	92
3. 広域連携の推進 (問 70)	93
第 5 節 まちづくりに対する自由意見	94
附属資料 使用した調査票	99



# 第1章 調査の概要





## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

市民の声を市政に生かし市民参画の行政を進めていくため、市民の生活実態や問題意識、現状の施策に対する評価、今後のまちづくりに対する期待などを把握し、今後のまちづくりの基礎資料とする目的で実施した。

### 2. 調査の性格

#### (1) 調査地域

太宰府市全域

#### (2) 調査対象

太宰府市内に居住する20歳以上の市民

#### (3) 調査対象者数

1,000 サンプル

#### (4) 抽出方法

住民基本台帳による無作為二段階抽出

#### (5) 調査方法

郵送法（お礼兼督促状1回郵送）

#### (6) 調査期間

配 布：平成25年3月5日（火）

投函締切：平成25年3月19日（火）

#### (7) 回収状況

回 収 数：513件（回収率51.3%）

うち有効回収数：513件

## 3. 調査項目

1. 回答者の属性	問1	性別	
	問2	年齢	
	問3	世帯構成	
	問4	職業	
	問4付問1	通勤・通学先	
	問5	小学校区	
	問6	居住年数	
2. 住みやすさについて	問7	居住形態	
	問8	太宰府市の住みやすさ	
	問9	継続居住意向	
3. 日頃の暮らし、行動に対する意識等について	問9付問1	住み続けたい理由	
	問9付問2	住み続けたくない理由	
	総合計画前期基本計画の施策に対する考え方	問10	総合計画前期基本計画の施策に対する考え方（全34項目）
	子育て支援の推進	問11	子育てのしやすさ
		問12	子育てに対する不安や負担感
	高齢者福祉の推進	問13	生きがいの有無
		問14	高齢者福祉サービスの充実度
	障がい者福祉の推進	問15	障がい者福祉サービスの充実度
		問16	公共施設の配慮に対する意識
		問17	民間施設の配慮に対する意識
	地域福祉の推進	問18	地域での福祉活動
	生涯健康づくりの推進	問19	健康状態
		問20	健康増進の取り組み状況
		問21	健康診査の受診状況
	防災・消防体制の整備充実	問22	災害に対する取り組み状況
	防犯・暴力追放運動の推進	問23	防犯面の安心度
		問23付問1	防犯上危険と思う場所
	安全な消費生活の推進	問24、付問1	不当請求や不適正な取引行為の被害状況
	人権を尊重するまちづくりの推進	問25、付問1	人権侵害の経験と内容
		問26	人権問題への認識
		問27	同和地区に対する差別の認識
		問28	結婚を決める時の家柄、血筋に対する考え方
	男女共同参画の推進	問29	固定的役割分担に対する考え方
		問30	男女間の地位の平等感
	生涯学習の推進	問31	生涯学習活動の取り組み状況
		問32	運動・スポーツの実施頻度
	文化芸術の振興	問33	文化芸術活動の状況
	生活環境の向上	問34	自宅周辺の衛生環境
		問35	環境マナーの順守
		問36	美化活動への参加状況
	自然共生社会の構築	問37	自然の豊かさについて
		問38	野鳥や昆虫等の観察場所について
	循環型社会の構築	問39	生ごみの堆肥化への取り組み
	低炭素社会の構築	問40	省エネルギー・省資源の活動について
		問41	二酸化炭素削減や大気汚染対策の実践
	環境教育・学習の推進	問42	環境に関する学習会への参加
	未来に伝える景観づくり	問43	美しい自然に対する意識
		問44	美しい歴史的景観に対する意識
		問45	良好なまちなみに対する意識
	計画的なまちづくりの推進	問46	住環境の快適さについての認識
		問47	商業施設等の利便性に対する意識
		問47付問1	家の近くにがあると便利だと思う施設
	地域交通体系の整備	問48	バスの利便性に対する意識
		問49	鉄道の利便性に対する意識
		問50	道路の円滑性に対する意識
		問51	外出時の交通手段
	産業の振興	問52	産業の振興
文化遺産の保存と活用	問53	歴史的文化遺産への意識	
観光基盤の整備充実	問54	太宰府市へ観光客が来訪することについて	
	問55	観光客との交流やおもてなしのためにできること	
国際交流・友好都市交流の推進	問56	外国人との交流頻度	
	問57	姉妹都市・友好都市の認知	
	問58	姉妹都市・友好都市との交流頻度	
	問59	外国人や留学生との交流方法	
市民参画の推進	問60	自治会活動への参加	
	問61	ボランティア活動への参加	
4. 行政サービスについて	情報の共有化と活用	問62	市民と行政の情報共有
		問63	広報広聴機能の充実
		問64	情報公開・提供に対する意識
		問65	パソコンの有無
		問65付問1	パソコンによるインターネットの利用の有無
		問66	携帯電話の有無
		問66付問1	携帯電話によるインターネット利用の有無
	市民のための行政運営	問67	行財政改革
		問68	市職員の対応や行動などに対する満足度
		問69	市役所窓口の利用の有無
	問69付問1	事務処理の迅速性に対する意識	
	問69付問2	職員の対応・姿勢に対する満足度	
広域連携の推進	問70	広域連携の推進	
自由意見			

#### 4. 調査結果利用上の注意

- (1) 集計は原則として小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示す「N」は、比率算出上の基数（標本数）である。
- (4) 付問は前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問である。この場合の回答者は設問回答の該当者のみである。
- (5) 平成23年度に実施した前回調査、平成22年度に実施した前々回調査と比較検討が可能な設問については前回・前々回結果も掲載しているが、実際に比較検討する際には、前回・前々回調査と今回調査では調査対象が若干異なっていることを留意する必要がある。また、一部の質問文や選択肢では、前回調査とは文言が変更になっているものもある。



## 第2章 調査結果の分析



## 第2章 調査結果の分析

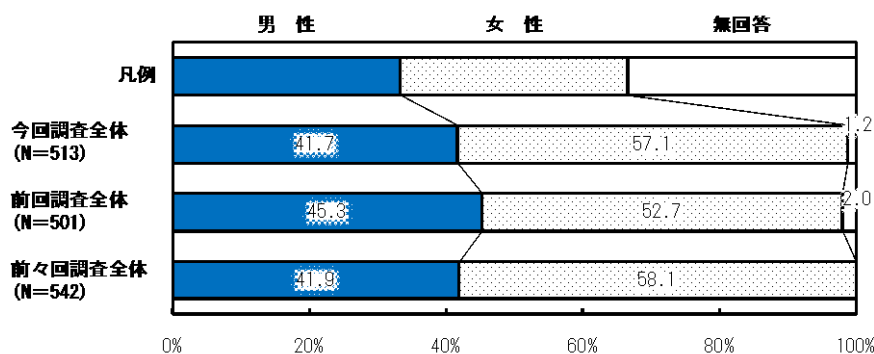
### 第1節 回答者の属性

#### 1. 性別（問1）

●回答者の性別は「男性」に比べ、「女性」の割合が高い。

回答者は「男性」が41.7%、「女性」が57.1%と女性の方が15.4ポイント多い。  
 前回、前々回調査でも「女性」が多く、これまでの調査と同様の傾向である。  
 年代別にみると、20歳代、50歳代で「女性」の割合が6割を超え、特に多くなっている。  
 小学校区別にみると、国分小学校区では「女性」の割合が約7割と多い。

#### 問1. あなたの性別についてお選びください。



		標本数	男性 (%)	女性 (%)	無回答 (%)
全体		513	41.7	57.1	1.2
年代別	20歳代	44	36.4	63.6	-
	30歳代	82	41.5	58.5	-
	40歳代	89	42.7	57.3	-
	50歳代	79	36.7	62.0	1.3
	60歳代	134	43.3	56.0	0.7
	70歳以上	82	47.6	50.0	2.4
	無回答	3	-	33.3	66.7
	小学校区別	太宰府小学校区	61	37.7	60.7
太宰府東小学校区		50	40.0	60.0	-
太宰府南小学校区		44	50.0	50.0	-
水城小学校区		61	45.9	50.8	3.3
水城西小学校区		69	40.6	59.4	-
太宰府西小学校区		84	41.7	58.3	-
国分小学校区		71	29.6	69.0	1.4
わからない		60	50.0	48.3	1.7
無回答		13	53.8	38.5	7.7

2. 年齢（問2）

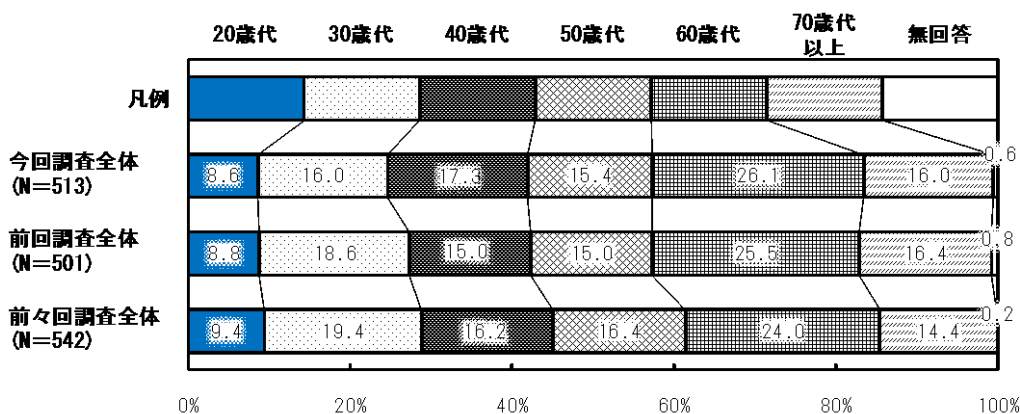
●回答者の年齢はこれまでの調査と同様に、60歳代が最も多くなっている。

回答者の年齢は「60歳代」が26.1%で最も多く、次いで「40歳代」(17.3%)、「30歳代」(16.0%)、「70歳以上」(16.0%)となっている。

経年比較でも、ほぼ同様の傾向となっている。

小学校区別にみると、水城小学校区、国分小学校区では「20歳代」の回答者の割合が他地区と比べ高くなっている。

問2. あなたの年齢を次の中からお選びください。（平成25年3月末時点で）



		標本数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答
全体		513	8.6	16.0	17.3	15.4	26.1	16.0	0.6
小学校区別	太宰府小学校区	61	9.8	11.5	19.7	11.5	27.9	19.7	-
	太宰府東小学校区	50	6.0	6.0	22.0	16.0	30.0	20.0	-
	太宰府南小学校区	44	4.5	13.6	15.9	13.6	34.1	18.2	-
	水城小学校区	61	18.0	18.0	19.7	11.5	19.7	11.5	1.6
	水城西小学校区	69	5.8	23.2	20.3	10.1	23.2	17.4	-
	太宰府西小学校区	84	4.8	13.1	11.9	17.9	31.0	21.4	-
	国分小学校区	71	14.1	16.9	12.7	18.3	29.6	8.5	-
	わからない	60	6.7	25.0	20.0	25.0	13.3	8.3	1.7
無回答	13	-	7.7	15.4	7.7	30.8	30.8	7.7	

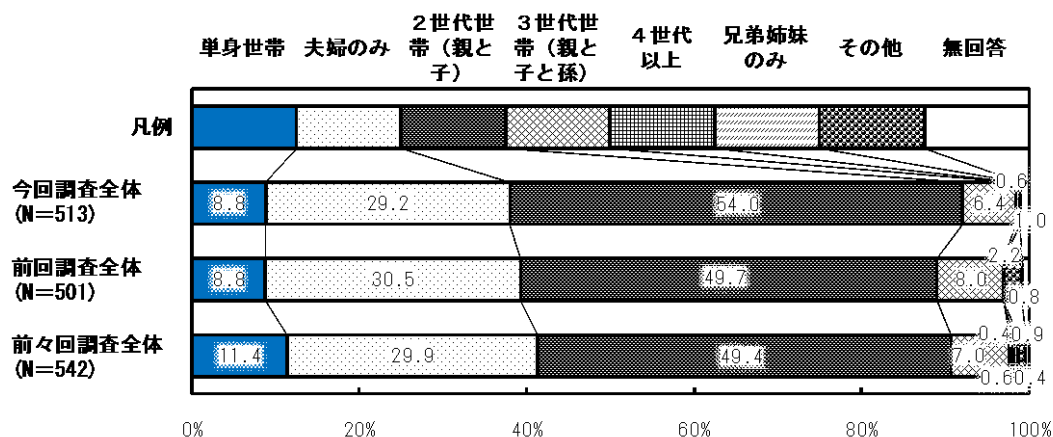


3. 世帯構成（問3）

- 「2世代世帯」が約5割、「夫婦のみ」の世帯が約3割となっている。
- 60歳代以上では「夫婦のみ」の世帯の割合が多い。

「2世代世帯（親と子）」が54.0%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が29.2%となっている。  
 経年比較でみてもほぼ同様の傾向である。  
 年代別にみると60歳代以上では「夫婦のみ」世帯が5割以上となっている。

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。



		標本数	単身世帯	夫婦のみ	(2世代世帯 (親と子世帯))	(3世代世帯 (親と子と孫))	4世代以上	兄弟姉妹のみ	その他	無回答
全体		513	45	150	277	33	-	3	-	5
		100.0	8.8	29.2	54.0	6.4	-	0.6	-	1.0
性別	男性	214	15.0	30.8	48.6	4.2	-	-	-	1.4
	女性	293	4.1	27.6	58.7	8.2	-	1.0	-	0.3
	無回答	6	16.7	50.0	16.7	-	-	-	-	16.7
年代別	20歳代	44	15.9	-	75.0	6.8	-	-	-	2.3
	30歳代	82	7.3	15.9	64.6	11.0	-	-	-	1.2
	40歳代	89	12.4	9.0	74.2	4.5	-	-	-	-
	50歳代	79	6.3	17.7	72.2	2.5	-	1.3	-	-
	60歳代	134	6.7	50.7	34.3	6.7	-	-	-	1.5
	70歳以上	82	8.5	56.1	26.8	7.3	-	1.2	-	-
	無回答	3	-	33.3	-	-	-	33.3	-	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	61	11.5	24.6	57.4	4.9	-	1.6	-	-
	太宰府東小学校区	50	6.0	34.0	48.0	10.0	-	-	-	2.0
	太宰府南小学校区	44	13.6	27.3	47.7	11.4	-	-	-	-
	水城小学校区	61	8.2	21.3	65.6	3.3	-	-	-	1.6
	水城西小学校区	69	1.4	21.7	68.1	7.2	-	-	-	1.4
	太宰府西小学校区	84	1.2	34.5	56.0	8.3	-	-	-	-
	国分小学校区	71	5.6	36.6	50.7	7.0	-	-	-	-
	わからない	60	25.0	30.0	38.3	1.7	-	3.3	-	1.7
	無回答	13	23.1	38.5	30.8	-	-	-	-	7.7

4. 職業（問4）

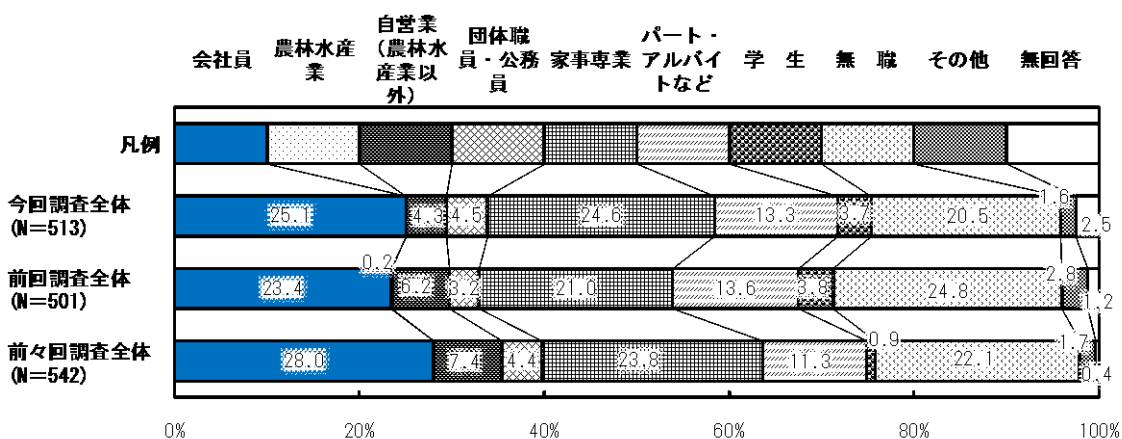
●職業は「会社員」（25.1%）、「家事専業」（24.6%）、「無職」（20.5%）が主である。

回答者の職業は、「会社員」が25.1%で最も多く、次いで、「家事専業」（24.6%）、「無職」（20.5%）の順となっている。

経年比較でみてもほぼ同様の傾向である。

性別にみると、男性は「会社員」（43.9%）、女性は「家事専業」（42.7%）の割合が多くなっている。

問4. あなたのご職業を次の中から選びください。（2つ以上あるときは主なもの1つ）



		標本数	会社員	農林水産業	自営業 (農林水産業以外)	団体職員・公務員	家事専業	パート・アルバイトなど	学生	無職	その他	無回答
全体		513	129	-	22	23	126	68	19	105	8	13
		100.0	25.1	-	4.3	4.5	24.6	13.3	3.7	20.5	1.6	2.5
性別	男性	214	43.9	-	6.1	7.9	-	7.0	2.8	28.0	1.4	2.8
	女性	293	11.6	-	2.7	2.0	42.7	18.1	4.4	14.7	1.7	2.0
	無回答	6	16.7	-	16.7	-	16.7	-	-	33.3	-	16.7
性別・年代別	男性:20歳代	16	25.0	-	-	6.3	-	25.0	37.5	6.3	-	-
	男性:30歳代	34	79.4	-	2.9	11.8	-	2.9	-	-	-	2.9
	男性:40歳代	38	73.7	-	7.9	10.5	-	7.9	-	-	-	-
	男性:50歳代	29	65.5	-	3.4	17.2	-	-	-	6.9	3.4	3.4
	男性:60歳代	58	24.1	-	5.2	3.4	-	12.1	-	44.8	3.4	6.9
	男性:70歳代以上	39	5.1	-	12.8	2.6	-	-	-	79.5	-	-
	女性:20歳代	28	25.0	-	-	7.1	7.1	3.6	46.4	-	3.6	3.6
	女性:30歳代	48	20.8	-	2.1	-	43.8	22.9	-	10.4	-	-
	女性:40歳代	51	17.6	-	2.0	3.9	33.3	25.5	-	11.8	2.0	3.9
	女性:50歳代	49	12.2	-	2.0	4.1	34.7	32.7	-	8.2	4.1	2.0
女性:60歳代	75	2.7	-	6.7	-	53.3	14.7	-	20.0	1.3	1.3	
女性:70歳代以上	41	-	-	-	-	68.3	2.4	-	29.3	-	-	
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
小学校区別	太宰府小学校区	61	21.3	-	6.6	6.6	24.6	13.1	4.9	18.0	1.6	3.3
	太宰府東小学校区	50	16.0	-	8.0	6.0	22.0	12.0	4.0	30.0	-	2.0
	太宰府南小学校区	44	15.9	-	9.1	2.3	13.6	25.0	2.3	29.5	2.3	-
	水城小学校区	61	31.1	-	3.3	6.6	19.7	6.6	9.8	16.4	3.3	3.3
	水城西小学校区	69	29.0	-	1.4	5.8	30.4	8.7	1.4	20.3	-	2.9
	太宰府西小学校区	84	22.6	-	1.2	3.6	33.3	19.0	2.4	16.7	-	1.2
	国分小学校区	71	22.5	-	4.2	2.8	29.6	14.1	5.6	15.5	2.8	2.8
	わからない	60	41.7	-	1.7	1.7	13.3	11.7	-	23.3	3.3	3.3
無回答	13	15.4	-	15.4	7.7	30.8	-	-	23.1	-	7.7	

5. 通勤・通学先（問4付問1）

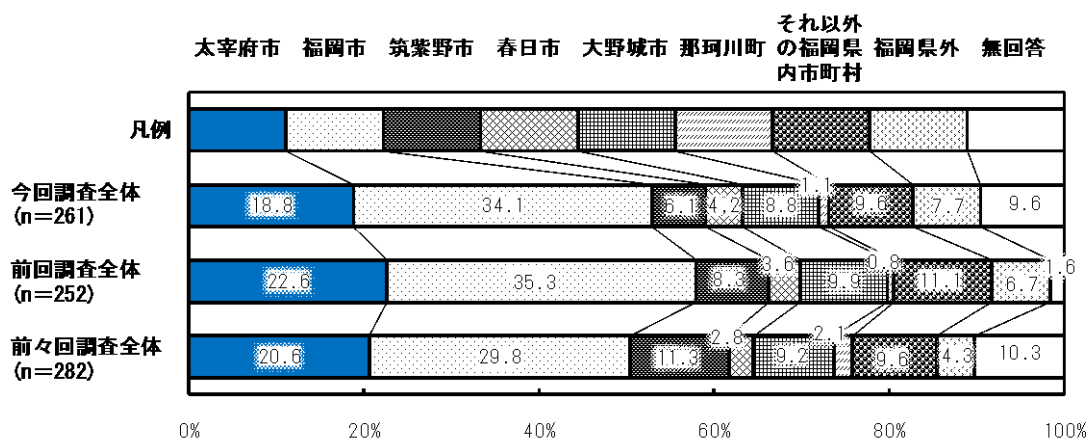
●通勤・通学先は「福岡市」が34.1%、「太宰府市」が18.8%となっている。

通勤・通学先は「福岡市」が34.1%と最も多く、次いで「太宰府市」が18.8%、「それ以外の福岡県内市町村」が9.6%となっている。

経年比較でみてもほぼ同様の傾向であるが、「春日市」、「福岡県外」は微増の傾向にある。

性別でみると、男性は女性と比べ、「福岡市」の割合が多い。一方、女性は男性と比べ「太宰府市」、「筑紫野市」、「大野城市」が多い傾向にある。

問4付問1【問4で5・8・9と答えた方以外】通勤先または通学先の所在地を次の中から  
お選びください。



		標本数	太宰府市	福岡市	筑紫野市	春日市	大野城市	那珂川町	内市福れ町岡以村	福岡県外	無回答
全体		261	49	89	16	11	23	3	25	20	25
		261.0	18.8	34.1	6.1	4.2	8.8	1.1	9.6	7.7	9.6
性別	男性	145	15.9	38.6	2.8	5.5	5.5	1.4	12.4	10.3	7.6
	女性	114	21.9	28.9	10.5	2.6	13.2	0.9	5.3	4.4	12.3
	無回答	2	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-
年代別	20歳代	38	7.9	39.5	5.3	2.6	2.6	-	13.2	13.2	15.8
	30歳代	55	14.5	43.6	5.5	3.6	9.1	1.8	10.9	5.5	5.5
	40歳代	63	20.6	33.3	7.9	7.9	9.5	1.6	9.5	4.8	4.8
	50歳代	51	15.7	25.5	5.9	3.9	13.7	2.0	11.8	11.8	9.8
	60歳代	45	31.1	26.7	6.7	2.2	8.9	-	4.4	6.7	13.3
	70歳以上	9	33.3	44.4	-	-	-	-	-	-	22.2
	小学校区別	太宰府小学校区	32	25.0	31.3	9.4	3.1	6.3	3.1	6.3	6.3
太宰府東小学校区	23	13.0	30.4	8.7	13.0	-	-	13.0	13.0	8.7	
太宰府南小学校区	24	25.0	29.2	8.3	4.2	8.3	-	4.2	12.5	8.3	
水城小学校区	35	8.6	37.1	2.9	-	5.7	-	20.0	11.4	14.3	
水城西小学校区	32	25.0	46.9	-	6.3	6.3	-	9.4	3.1	3.1	
太宰府西小学校区	41	12.2	31.7	9.8	7.3	9.8	2.4	4.9	7.3	14.6	
国分小学校区	35	20.0	22.9	5.7	-	17.1	-	14.3	5.7	14.3	
わからない	34	23.5	44.1	5.9	2.9	14.7	-	5.9	2.9	-	
無回答	5	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0	-	20.0	

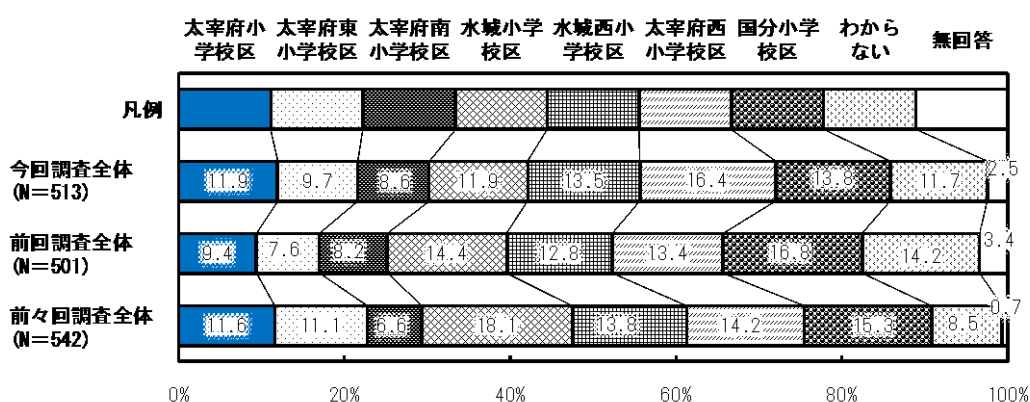
6. 小学校区（問5）

●住んでいる小学校区は「太宰府西小学校区」（16.4%）、「国分小学校区」（13.8%）、「水城西小学校区」（13.5%）が多くなっている。

回答者の住んでいる小学校区は「太宰府西小学校区」が16.4%と最も多く、次いで「国分小学校区」（13.8%）、「水城西小学校区」（13.5%）となっている。

経年比較でみると、過去2回の調査に比べて「太宰府西小学校区」、「太宰府南小学校区」の割合が増加している。

問5. あなたの住んでいる小学校区を次の中からお選びください。



		(%)									
		標本数	学太	小太	小太	校水	学水	小太	校国	い	無
			校宰	学宰	学宰	区城	校城	学宰	区分	わ	回
			区府	区府	区府	小	区小	区西	小	か	答
			小	東	南	学	学	西	学	ら	
			小	東	南	小	小	西	小	な	
全体		513 100.0	61 11.9	50 9.7	44 8.6	61 11.9	69 13.5	84 16.4	71 13.8	60 11.7	13 2.5
性別	男性	214	10.7	9.3	10.3	13.1	13.1	16.4	9.8	14.0	3.3
	女性	293	12.6	10.2	7.5	10.6	14.0	16.7	16.7	9.9	1.7
	無回答	6	16.7	-	-	33.3	-	-	16.7	16.7	16.7
年代別	20歳代	44	13.6	6.8	4.5	25.0	9.1	9.1	22.7	9.1	-
	30歳代	82	8.5	3.7	7.3	13.4	19.5	13.4	14.6	18.3	1.2
	40歳代	89	13.5	12.4	7.9	13.5	15.7	11.2	10.1	13.5	2.2
	50歳代	79	8.9	10.1	7.6	8.9	8.9	19.0	16.5	19.0	1.3
	60歳代	134	12.7	11.2	11.2	9.0	11.9	19.4	15.7	6.0	3.0
	70歳以上	82	14.6	12.2	9.8	8.5	14.6	22.0	7.3	6.1	4.9
無回答	3	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3	

7. 居住年数（問6）

- 居住年数が「25年以上」が最も多い。
- これまでの調査と比べ、居住年数が長い人の割合が増えている。

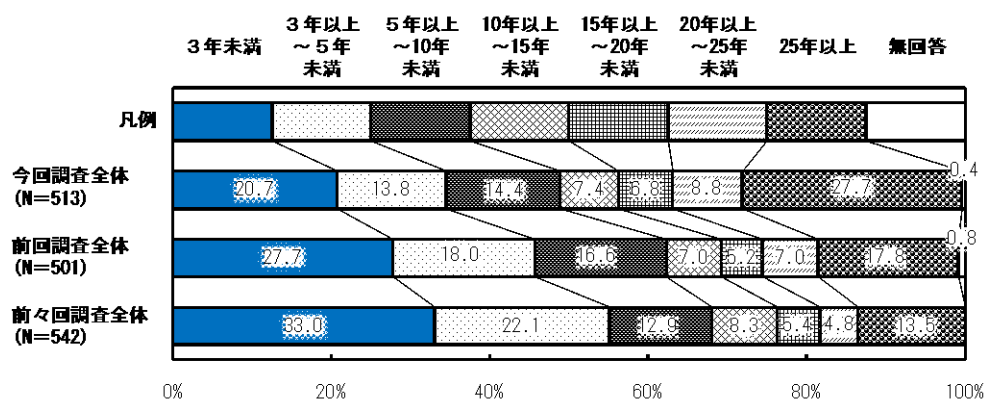
居住年数は「25年以上」が27.7%と最も多く、次いで「3年未満」（20.7%）、「5年以上10年未満」（14.4%）の順となっている。

経年比較でみると、過去2回の調査に比べ「25年以上」の割合が増加し、反対に「3年未満」の割合は減っており、居住年数の長い回答者の割合が増加している。

年代別にみると、50歳代以上では「25年以上」の割合が高くなっている。30歳代では「3年未満」の割合が約6割と居住年数が短い人の割合が多い。

小学校区別にみると、太宰府小学校区では「3年未満」の割合が多く、居住年数が短い人が多い。一方、太宰府東小学校区、太宰府南小学校区、太宰府西小学校区では、「25年以上」が4割を超え、居住年数が長い人が多くなっている。

問6. あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。（平成25年3月末時点で）次の中から  
お選びください。



		標本数	3年未満	3年以上 ~5年 未満	5年以上 ~10年 未満	10年以上 ~15年 未満	15年以上 ~20年 未満	20年以上 ~25年 未満	25年以上	無回答
全体		513	20.7	13.8	14.4	7.4	6.8	8.8	27.7	0.4
性別	男性	214	23.4	19.2	17.8	4.7	3.7	5.1	25.7	0.5
	女性	293	19.1	9.9	11.9	9.6	8.5	11.3	29.7	-
	無回答	6	-	16.7	16.7	-	33.3	16.7	-	16.7
年代別	20歳代	44	15.9	9.1	6.8	11.4	22.7	31.8	2.3	-
	30歳代	82	58.5	31.7	6.1	1.2	-	-	2.4	-
	40歳代	89	18.0	22.5	32.6	14.6	2.2	1.1	9.0	-
	50歳代	79	19.0	10.1	21.5	6.3	1.3	12.7	29.1	-
	60歳代	134	8.2	6.7	9.7	6.0	12.7	11.2	45.5	-
	70歳以上	82	11.0	4.9	7.3	6.1	6.1	6.1	57.3	1.2
	無回答	3	-	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	61	23.0	8.2	13.1	19.7	9.8	8.2	18.0	-
	太宰府東小学校区	50	18.0	4.0	14.0	6.0	8.0	6.0	44.0	-
	太宰府南小学校区	44	15.9	13.6	13.6	4.5	6.8	4.5	40.9	-
	水城小学校区	61	18.0	23.0	11.5	8.2	9.8	14.8	14.8	-
	水城西小学校区	69	15.9	20.3	18.8	2.9	4.3	4.3	33.3	-
	太宰府西小学校区	84	14.3	8.3	11.9	7.1	4.8	10.7	42.9	-
	国分小学校区	71	19.7	7.0	16.9	5.6	8.5	15.5	26.8	-
	わからない	60	43.3	26.7	16.7	3.3	3.3	1.7	5.0	-
	無回答	13	15.4	15.4	7.7	15.4	7.7	15.4	7.7	15.4

8. 居住形態（問7）

●「持ち家・分譲マンション」が約7割、「賃貸住宅・アパート」が約3割となっている。

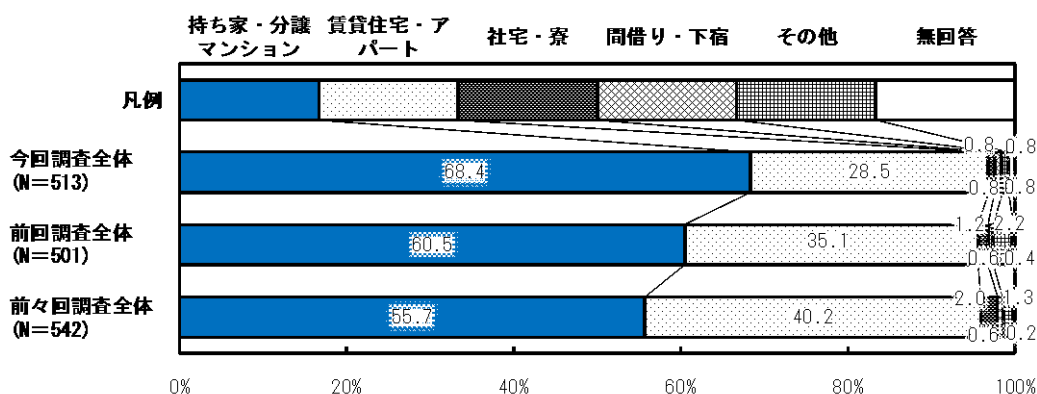
居住形態は「持ち家・分譲マンション」が68.4%と最も多く、次いで「賃貸住宅・アパート」が28.5%となっている。

経年比較をみると、「持ち家・分譲マンション」の割合が増加し、「賃貸住宅・アパート」の割合が減少している。

年代別にみると、「持ち家・分譲マンション」の割合は年齢が高い層で高くなり、反対に「賃貸住宅・アパート」は年齢が若い層で高くなっている。

小学校区別にみると、水城小学校区では「持ち家・分譲マンション」、「賃貸住宅・アパート」の割合がほぼ同程度であるが、その他の小学校区では「持ち家・分譲マンション」の割合が多くなっている。

問7. あなたのお住まいを次の中から選びください。



		標本数	分譲マンション・持ち家 (%)	賃貸住宅・アパート (%)	社宅・寮 (%)	下宿・間借り (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		513	68.4	28.5	0.8	0.8	0.8	0.8
性別	男性	214	61.7	34.1	0.9	1.4	0.9	0.9
	女性	293	73.4	24.6	0.7	0.3	0.7	0.3
	無回答	6	66.7	16.7	-	-	-	16.7
年代別	20歳代	44	56.8	40.9	2.3	-	-	-
	30歳代	82	46.3	50.0	1.2	2.4	-	-
	40歳代	89	64.0	36.0	-	-	-	-
	50歳代	79	67.1	29.1	2.5	-	1.3	-
	60歳代	134	84.3	14.2	-	0.7	-	0.7
	70歳以上	82	78.0	15.9	-	1.2	3.7	1.2
	無回答	3	33.3	-	-	-	-	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	61	75.4	23.0	-	1.6	-	-
	太宰府東小学校区	50	84.0	16.0	-	-	-	-
	太宰府南小学校区	44	86.4	13.6	-	-	-	-
	水城小学校区	61	49.2	49.2	-	1.6	-	-
	水城西小学校区	69	73.9	24.6	-	-	-	1.4
	太宰府西小学校区	84	86.9	11.9	-	1.2	-	-
	国分小学校区	71	67.6	28.2	2.8	-	1.4	-
	わからない	60	26.7	61.7	3.3	1.7	5.0	1.7
	無回答	13	53.8	30.8	-	-	-	15.4

## 第2節 住みやすさについて

### 1. 太宰府市の住みやすさ（問8）

●太宰府市の住みやすさについて『満足派』は約7割、『不満派』は約1割となっている。

太宰府市の住みやすさについて、「住みやすい」が30.8%で「どちらかといえば住みやすい」（40.4%）を合わせた『満足派』は71.2%となっている。一方、「住みにくい」（3.5%）と「どちらかといえば住みにくい」（10.1%）を合わせた『不満派』は13.6%となっている。

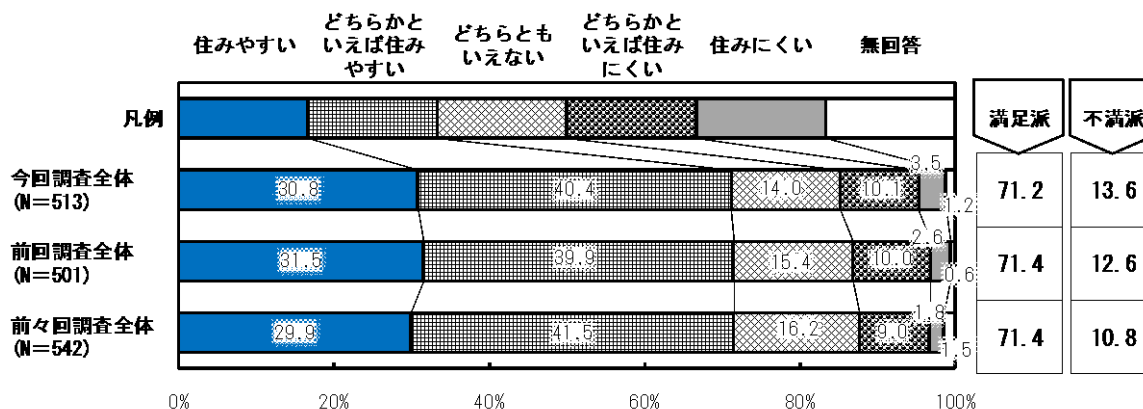
経年比較をみると、これまでとほぼ同様の結果となっている。

性別でみると、『満足派』は男性で72.9%、女性で69.3%と、男性の方が『満足派』が多くなっている。

年代別にみると、60歳代以上では『満足派』が6割台と他の年代に比べると低くなっている。その他の年代では『満足派』が7割を超えており、特に20歳代では81.8%と8割を超えている。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区で『満足派』が77.4%と最も高い。一方、太宰府小学校区では『不満派』が2割を超えている。

#### 問8. あなたは太宰府市が住みやすいまちだと思いますか。（○は1つ）



		標本数	住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答	満足派	不満派
全体		513	30.8	40.4	14.0	10.1	3.5	6	71.2	13.6
性別	男性	214	27.1	45.8	14.5	8.9	2.8	0.9	72.9	11.7
	女性	293	32.8	36.5	14.0	11.3	4.1	1.4	69.3	15.4
	無回答	6	66.7	33.3	-	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	44	43.2	38.6	11.4	2.3	4.5	-	81.8	6.8
	30歳代	82	23.2	51.2	8.5	14.6	2.4	-	74.4	17.0
	40歳代	89	25.8	52.8	9.0	11.2	1.1	-	78.6	12.3
	50歳代	79	34.2	38.0	16.5	8.9	1.3	1.3	72.2	10.2
	60歳代	134	31.3	32.8	14.9	12.7	5.2	3.0	64.1	17.9
	70歳以上	82	31.7	31.7	23.2	6.1	6.1	1.2	63.4	12.2
	無回答	3	66.7	33.3	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	24.6	31.1	16.4	18.0	6.6	3.3	55.7	24.6
	太宰府東小学校区	50	20.0	46.0	16.0	12.0	4.0	2.0	66.0	16.0
	太宰府南小学校区	44	34.1	38.6	20.5	4.5	2.3	-	72.7	6.8
	水城小学校区	61	44.3	31.1	11.5	9.8	3.3	-	75.4	13.1
	水城西小学校区	69	31.9	42.0	14.5	11.6	-	-	73.9	11.6
	太宰府西小学校区	84	31.0	46.4	13.1	7.1	1.2	1.2	77.4	8.3
	国分小学校区	71	33.8	32.4	11.3	11.3	8.5	2.8	66.2	19.8
	わからない	60	23.3	56.7	11.7	6.7	1.7	-	80.0	8.4
	無回答	13	38.5	30.8	15.4	7.7	7.7	-	69.3	15.4

2. 継続居住意向（問9）

●「住み続けたい」は約6割で、年々増加傾向にある。

太宰府市に今後も「住み続けたい」が65.9%で「住み続けたくない」（13.6%）を大きく上回っている。

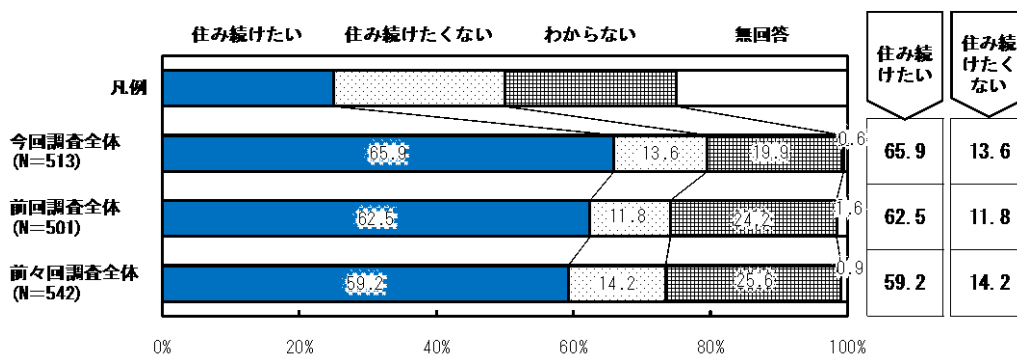
経年比較でみると、「住み続けたい」の割合は年々増加している。

年代別にみると、どの年代をみても、「住み続けたい」が多いが、20歳代、30歳代では他の年代と比べ、「住み続けたくない」の割合が約2割と高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区、太宰府西小学校区では「住み続けたい」が7割を超え、特に高い。

住みやすさ別にみると、住みやすいと感じている人ほど「住み続けたい」の割合が高くなっている。

問9. あなたはこれからも太宰府市に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）



		標本数	た住み続け (%)	た住み続け (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		513	65.9	13.6	19.9	0.6
性別	男性	214	66.4	14.0	19.2	0.5
	女性	293	64.8	13.7	20.8	0.7
	無回答	6	100.0	-	-	-
年代別	20歳代	44	59.1	22.7	18.2	-
	30歳代	82	51.2	23.2	25.6	-
	40歳代	89	70.8	13.5	14.6	1.1
	50歳代	79	59.5	6.3	34.2	-
	60歳代	134	69.4	11.9	17.2	1.5
	70歳以上	82	78.0	9.8	12.2	-
	無回答	3	100.0	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	68.9	16.4	14.8	-
	太宰府東小学校区	50	64.0	16.0	20.0	-
	太宰府南小学校区	44	70.5	6.8	22.7	-
	水城小学校区	61	63.9	18.0	18.0	-
	水城西小学校区	69	68.1	15.9	14.5	1.4
	太宰府西小学校区	84	72.6	10.7	16.7	-
	国分小学校区	71	62.0	14.1	22.5	1.4
	わからない	60	53.3	10.0	36.7	-
	無回答	13	76.9	15.4	-	7.7
	住みやすさ別	住みやすい	158	88.6	3.2	8.2
どちらかといえば住みやすい		207	71.0	7.2	20.8	1.0
どちらともいえない		72	45.8	12.5	40.3	1.4
どちらかといえば住みにくい		52	26.9	50.0	23.1	-
住みにくい		18	-	83.3	16.7	-
無回答		6	66.7	-	33.3	-



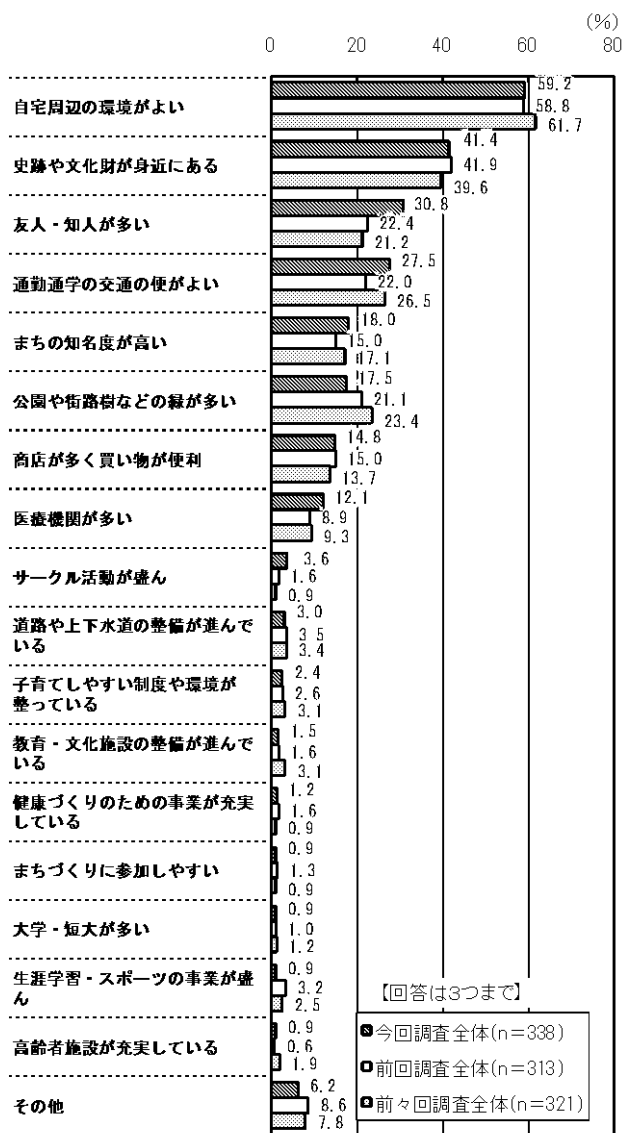
3. 住み続けたい理由（問9付問1）

●住み続けたい理由は「自宅周辺の環境がよい」（59.2%）、「史跡や文化財が身近にある」（41.4%）、「友人・知人が多い」（30.8%）が上位3位の項目である。

「住み続けたい」と回答した人の理由は「自宅周辺の環境がよい」が59.2%と最も高い。次いで「史跡や文化財が身近にある」41.4%、「友人・知人が多い」30.8%の順となっている。

経年比較でも、上位項目は変わらず、同様の結果となっている。

問9付問1.【住み続けたいと答えた方】におたずねします。「住み続けたい」と思う主な理由は何ですか。（〇は3つまで）



性別にみると、女性では男性と比べ、「友人・知人が多い」の割合が多くなっている。

年代別にみると、いずれの年代も「自宅周辺の環境がよい」という理由が最も多いが、「史跡や文化財が身近にある」は40歳以上で多く、「友人・知人が多い」は20歳代で57.7%と多い。

		標本数	自宅周辺の環境がよい	史跡や文化財が身近にある	友人・知人が多い	通勤通学の交通の便がよい	まちなみの知名度が高い	公園や街路樹などの緑が多い	公園や街路樹などの緑が多い	利便性が多く買い物が便利	医療機関が多い	サークル活動が盛ん	道路や上下水道の整備が進んでいる	環境が整っている	子育てしやすい制度や環境が整っている	教育・文化施設の整備が進んでいる	健康づくりのための事業が充実している	すまじづくりに参加しやすい	大学・短大が多い	生涯学習・スポーツの施設が充実している	高齢者施設が充実している	その他	無回答
全体		338 100.0	200 59.2	140 41.4	104 30.8	93 27.5	61 18.0	59 17.5	50 14.8	41 12.1	12 3.6	10 3.0	8 2.4	5 1.5	4 1.2	3 0.9	3 0.9	3 0.9	3 0.9	21 6.2	6 1.8		
性別	男性	142	57.7	40.1	18.3	35.2	14.8	16.9	14.8	12.0	1.4	4.2	0.7	2.1	0.7	0.7	1.4	1.4	0.7	8.5	1.4		
	女性	190	61.1	41.6	41.1	22.1	20.0	17.4	15.3	12.6	4.7	2.1	3.7	1.1	1.6	1.1	0.5	0.5	1.1	4.7	2.1		
	無回答	6	33.3	66.7	-	16.7	33.3	33.3	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
年代別	20歳代	26	69.2	34.6	57.7	26.9	23.1	15.4	-	3.8	-	-	7.7	3.8	-	-	-	3.8	-	-	3.8	-	
	30歳代	42	61.9	23.8	19.0	31.0	16.7	16.7	21.4	11.9	2.4	2.4	9.5	2.4	-	2.4	-	-	-	-	11.9	2.4	
	40歳代	63	65.1	42.9	25.4	34.9	19.0	12.7	17.5	7.9	-	-	-	-	1.6	1.6	-	-	-	-	11.1	1.6	
	50歳代	47	53.2	40.4	31.9	42.6	10.6	17.0	17.0	4.3	2.1	-	-	-	6.4	-	2.1	2.1	2.1	-	2.1	2.1	
	60歳代	93	62.4	50.5	31.2	25.8	18.3	17.2	16.1	18.3	4.3	3.2	-	-	-	1.1	-	1.1	1.1	1.1	5.4	1.1	
	70歳以上	64	46.9	42.2	32.8	10.9	21.9	23.4	10.9	17.2	7.8	9.4	-	-	-	3.1	-	-	1.6	3.1	3.1	3.1	
	無回答	3	66.7	33.3	-	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
小学校区別	太宰府小学校区	42	61.9	50.0	23.8	23.8	16.7	9.5	11.9	9.5	2.4	-	2.4	2.4	-	-	-	4.8	-	-	9.5	2.4	
	太宰府東小学校区	32	56.3	40.6	40.6	31.3	31.3	12.5	9.4	15.6	9.4	-	3.1	-	-	-	-	-	-	-	3.1	3.1	
	太宰府南小学校区	31	67.7	48.4	35.5	16.1	25.8	29.0	22.6	6.5	3.2	-	3.2	3.2	-	3.2	3.2	6.5	-	-	6.5	6.5	
	水城小学校区	39	59.0	46.2	17.9	46.2	12.8	7.7	15.4	15.4	-	10.3	2.6	-	-	-	-	-	2.6	-	-	12.8	-
	水城西小学校区	47	66.0	29.8	36.2	34.0	17.0	14.9	17.0	8.5	6.4	2.1	2.1	2.1	-	2.1	-	-	-	4.3	4.3	-	-
	太宰府西小学校区	61	65.6	26.2	44.3	13.1	13.1	23.0	19.7	21.3	3.3	3.3	1.6	1.6	1.6	-	-	-	-	-	-	1.6	3.3
	国分小学校区	44	56.8	50.0	38.6	22.7	15.9	22.7	9.1	9.1	-	2.3	2.3	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1	-
	わからない	32	40.6	53.1	3.1	43.8	18.8	18.8	9.4	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	6.3	3.1	-	-	-	3.1	6.3	-	-
	無回答	10	30.0	40.0	10.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	10.0	10.0	-	-	-	10.0	-	-	-	-	-	-	

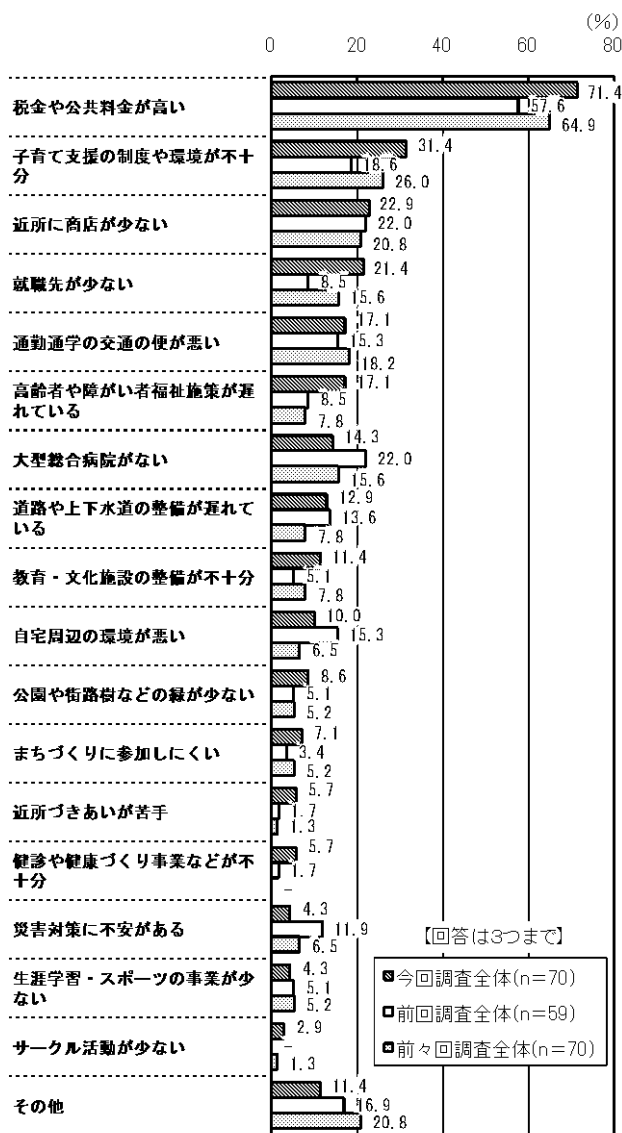
4. 住み続けたくない理由（問9付問2）

●住み続けたくない理由は「税金や公共料金が高い」（71.4%）が最も多い。

「住み続けたくない」と回答した人の理由の第1位は「税金や公共料金が高い」（71.4%）が最も高く、次いで「子育て支援の制度や環境が不十分」（31.4%）、「近所に商店が少ない」（22.9%）の順となっている。

経年比較でみると「税金や公共料金が高い」、「子育て支援の制度や環境が不十分」はこれまでと比べ割合が増えている。前回上位項目だった「大型総合病院がない」は減少し、「就職先が少ない」が前回調査から10ポイント以上増加している。

問9付問2.【住み続けたくないと答えた方】におたずねします。「住み続けたくない」と思う主な理由は何ですか。（〇は3つまで）



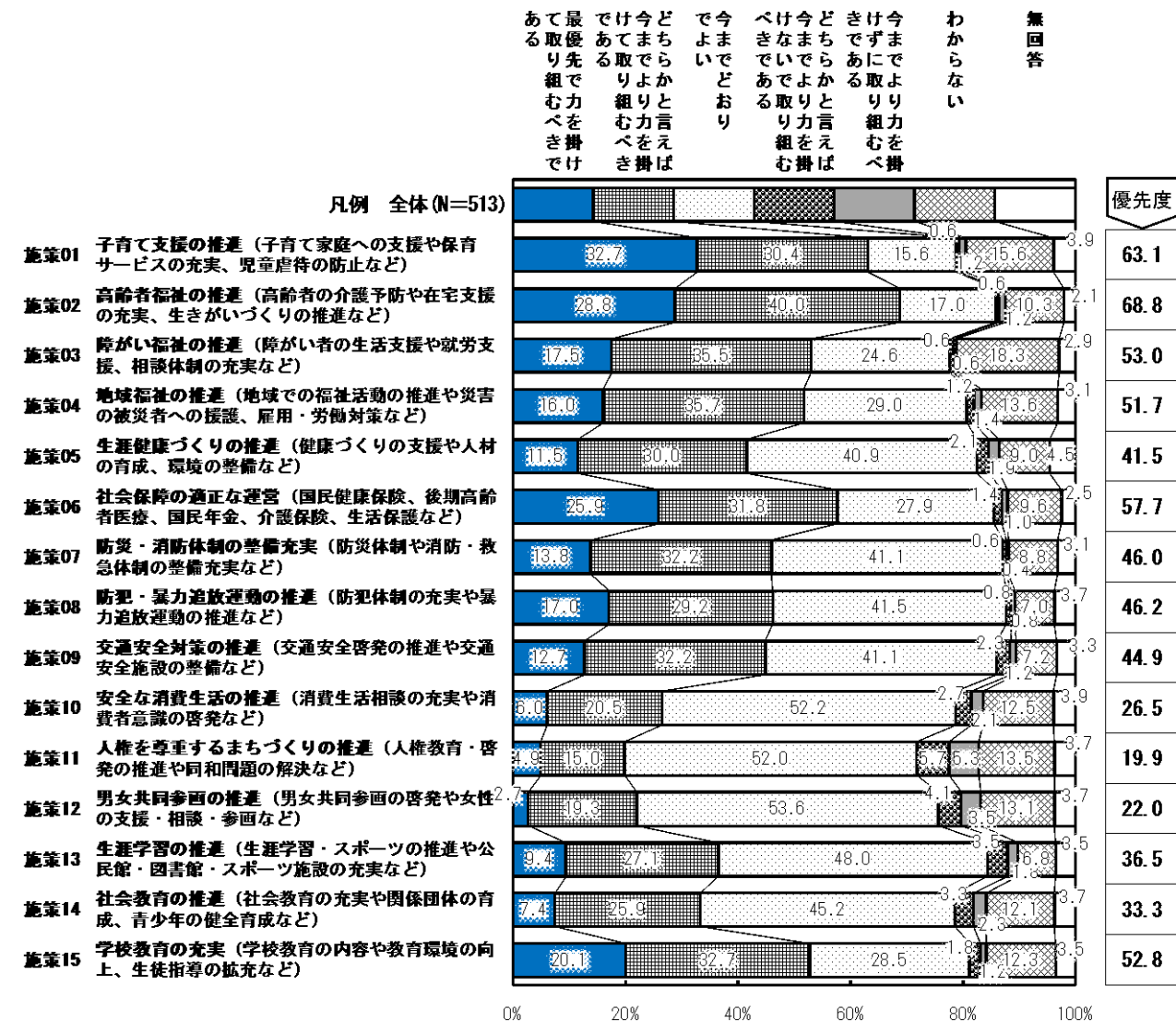
### 第3節 日頃の暮らし、行動について

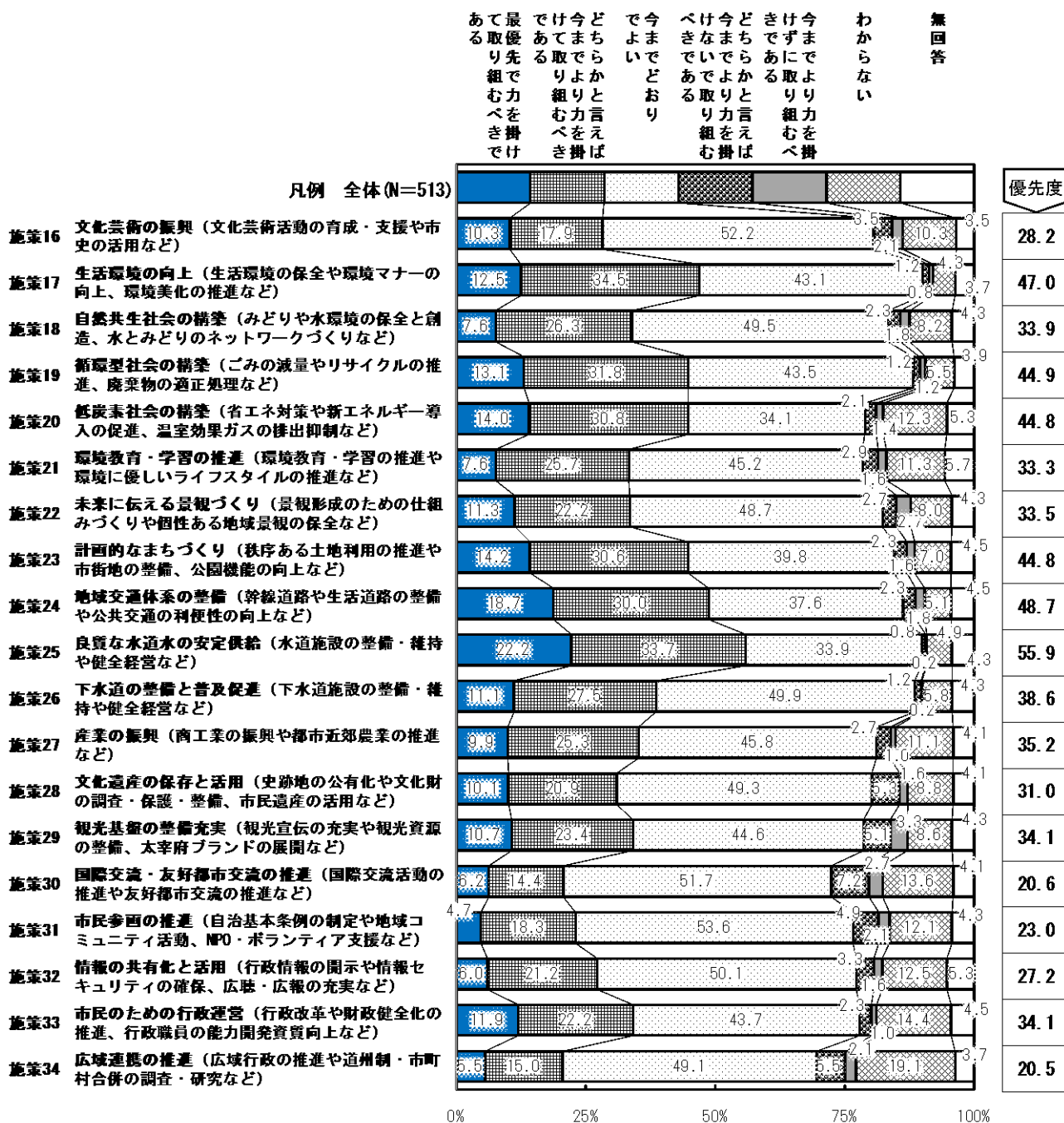
#### 1. 総合計画前期基本計画の施策に対する考え方（問10）

●「施策01 子育て支援策の推進」「施策02 高齢者福祉の推進」「施策06 社会保障の適正な運営」などの優先度が高い。

第五次太宰府市総合計画前期基本計画の施策に掲げた34項目への取り組みについて、「最優先で力を掛けて取り組むべきである」の比率が高いのは「施策01 子育て支援の推進」(32.7%)、「施策02 高齢者福祉の推進」(28.8%)、「施策06 社会保障の適切な運営」(25.9%)などで、この3施策は「どちらかと言えば今までより力を掛けて取り組むべきである」を合わせた優先度も6割前後と高くなっている。

問10. あなたは第五次太宰府市総合計画後期基本計画に掲げた次の34の施策について、今後どのように取り組むべきだと思いますか。(○は施策ごとに1つ)





これらの施策について、性別、年代別、小学校区別に上位項目をみている。

性別にみると、男女ともに「施策 02 高齢者福祉の推進」の優先度が高く、特に女性では7割を超え高くなっている。

年代別にみると30歳代以下では「施策 01 子育て支援の推進」の優先度が高く、40歳以上では「施策 02 高齢者福祉の推進」の優先度が高くなっている。30歳代では2位に「施策 15 学校教育の充実」、50歳代では「施策 03 障がい福祉の推進」、60歳代以上では「施策 06 社会保障の適正な運営」があげられている。

小学校区別にみると、水城小学校区では「施策 08 防犯・暴力追放運動の推進」が1位にあげられている。

第2章 調査結果の分析

		(%)				
全体		1位	2位	3位	4位	5位
N=513		施策02 高齢者福祉の推進 68.8	施策01 子育て支援の推進 63.1	施策06 社会保障の適正な運営 57.7	施策25 良質な水道水の安定供給 55.9	施策03 障がい福祉の推進 53.0
性別	男性	214 63.5	214 60.3	214 59.3	214 56.1	214 55.2
	女性	293 73.1	293 65.2	293 59.7	293 54.6	293 54.3
年代別	20歳代	44 68.2	44 52.3	44 50.0	44 47.7	
	30歳代	82 79.3	82 68.3	82 58.5	82 57.4	82 54.8
	40歳代	89 74.1	89 69.7	89 60.7	89 59.5	89 56.2
	50歳代	79 70.9	79 57.0	79 50.6	79 49.4	79 48.1
	60歳代	134 72.4	134 63.5	134 61.2	134 57.5	134 55.2
	70歳以上	82 75.6	82 65.9	82 64.7	82 59.8	82 57.4
小学校区別	太宰府小学校区	61 68.8	61 65.6	61 62.3	61 59.0	61 57.4
	太宰府東小学校区	50 72.0	50 66.0	50 58.0	50 56.0	50 52.0
	太宰府南小学校区	44 81.8	44 75.0	44 72.8	44 70.4	44 61.4
	水城小学校区	61 59.0	61 57.4	61 57.3	61 54.1	61 52.5
	水城西小学校区	69 75.4	69 63.8	69 55.1	69 53.6	
	太宰府西小学校区	84 73.8	84 70.3	84 60.7		84 59.5
	国分小学校区	71 74.7	71 70.5	71 66.2	71 63.3	71 60.6
	わからない	60 60.0	60 56.7	60 55.0	60 50.0	60 46.6

また、各施策について、第五次総合計画に掲げた成果指標と目標値の今年度の達成状況を整理してみると、以下の表のとおりとなる。

		優先度	指標	基準値 (平成23年度)	目標値 (平成27年度)	今回調査 結果
施策01	子育て支援の推進(子育て家庭への支援や保育サービスの充実、児童虐待の防止など)	63.1% (2位)	子育てをしやすいと感じる保護者の割合	72.6%	70.0%	68.5%
施策02	高齢者福祉の推進(高齢者の介護予防や在宅支援の充実、生きがいづくりの推進など)	68.8% (1位)	生きがいを感じている高齢者の割合	80.6%	85.0%	77.6%
			高齢者福祉サービスが充実していると感じる市民の割合	19.8%	35.0%	12.6%
施策03	障がい福祉の推進(障がい者の生活支援や就労支援、相談体制の充実など)	53.0% (5位)	障がい福祉サービスが充実していると感じる市民の割合	36.1%	33.0%	33.3%
施策04	地域福祉の推進(地域での福祉活動の推進や災害の被災者への援護、雇用・労働対策など)	51.7% (7位)	地域の福祉活動が活発に行われていると感じる市民の割合	33.7%	50.0%	35.8%
施策05	生涯健康づくりの推進(健康づくりの支援や人材の育成、環境の整備など)	41.5% (16位)	健康状態が良好な市民の割合	80.2%	80.0%	80.3%
			健康増進に取り組んでいる市民の割合	56.1%	60.0%	53.0%
施策06	社会保障の適正な運営(国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金、介護保険、生活保護など)	57.7% (3位)				
施策07	防災・消防体制の整備充実(防災体制や消防・救急体制の整備充実など)	46.0% (11位)	日頃から災害に備えている市民の割合	40.0%	60.0%	42.0%
施策08	防犯・暴力追放運動の推進(防犯体制の充実や暴力追放運動の推進など)	46.2% (10位)				
施策09	交通安全対策の推進(交通安全啓発の推進や交通安全施設の整備など)	44.9% (12位)				
施策10	安全な消費生活の推進(消費生活相談の充実や消費者意識の啓発など)	26.5% (29位)	この1年間に消費生活に関する不安を感じたりトラブルを受けた市民の割合	17.2%	15.0%	15.6%
施策11	人権を尊重するまちづくりの推進(人権教育・啓発の推進や同和問題の解決など)	19.9% (34位)	この1年間に人権侵害を受けたことがある市民の割合	3.4%	1.0%	2.1%
			同和問題をはじめあらゆる人権が尊重されていると感じる市民の割合	75.2%	90.0%	76.8%
施策12	男女共同参画の推進(男女共同参画の啓発や女性の支援・相談・参画など)	22.0% (31位)	男は仕事、女は家庭という役割分担意識を持たない市民の割合	63.8% (男性60.8%) (女性66.3%)	65.0% (男性60.0%) (女性70.0%)	65.8% (男性61.2%) (女性69.0%)
施策13	生涯学習の推進(生涯学習・スポーツの推進や公民館・図書館・スポーツ施設の充実など)	36.5% (18位)	日頃から学習テーマを持って生涯学習に取り組んでいる市民の割合	17.2%	20.0%	15.0%
			日頃からスポーツに取り組んでいる市民の割合	41.0%	40.0%	37.2%
施策14	社会教育の推進(社会教育の充実や関係団体の育成、青少年の健全育成など)	33.3% (24位)				
施策15	学校教育の充実(学校教育の内容や教育環境の向上、生徒指導の拡充など)	52.8% (6位)				
施策16	文化芸術の振興(文化芸術活動の育成・支援や市史の活用など)	28.2% (27位)	文化芸術活動を月数回以上行っている市民の割合	16.4%	20.0%	17.1%
施策17	生活環境の向上(生活環境の保全や環境マナーの向上、環境美化の推進など)	47.0% (9位)	自宅周辺の環境が清潔で衛生的と感じる市民の割合	76.8%	80.0%	78.7%
			環境マナーが守られていると感じる市民の割合	67.1%	70.0%	67.6%
			地域の美化活動に参加している市民の割合	66.5%	60.0%	72.7%
施策18	自然共生社会の構築(みどりや水環境の保全と創造、水とみどりのネットワークづくりなど)	33.9% (22位)	自然環境が豊かであると感じる市民の割合	89.2%	93.0%	90.5%
施策19	循環型社会の構築(ごみの減量やリサイクルの推進、廃棄物の適正処理など)	44.9% (13位)				
施策20	低炭素社会の構築(省エネ対策や新エネルギー導入の促進、温室効果ガスの排出抑制など)	44.8% (14位)	省エネルギー・省資源を実践している市民の割合	86.0%	90.0%	81.5%
施策21	環境教育・学習の推進(環境教育・学習の推進や環境に優しいライフスタイルの推進など)	33.3% (24位)	環境学習会や環境講演会等に参加したことがある市民の割合	14.8%	25.0%	14.2%

第2章 調査結果の分析

		優先度	指標	基準値 (平成23年度)	目標値 (平成27年度)	今回調査 結果
施策22	未来に伝える景観づくり(景観形成のための仕組みづくりや個性ある地域景観の保全など)	33.5% (23位)	自然が美しいと感じる市民の割合	85.6%	85.5%	83.4%
			歴史的景観が美しいと感じる市民の割合	91.0%	91.3%	90.1%
			良好なまちなみと感じる市民の割合	80.6%	80.0%	81.1%
施策23	計画的なまちづくり(秩序ある土地利用の推進や市街地の整備、公園機能の向上など)	44.8% (14位)	道路や公園などの都市基盤が周辺に整えられ、快適で住環境がよいと感じる市民の割合	70.5%	75.0%	70.4%
			商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利と感じる市民の割合	70.7%	75.0%	70.3%
施策24	地域交通体系の整備(幹線道路や生活道路の整備や公共交通の利便性の向上など)	48.7% (8位)	公共交通機関(鉄道・バス)の利便性に満足を感じる市民の割合	鉄道66.7% バス40.9%	鉄道65.0% バス50.0%	鉄道64.1% バス39.2%
施策25	良質な水道水の安定供給(水道施設の整備・維持や健全経営など)	55.9% (4位)				
施策26	下水道の整備と普及促進(下水道施設の整備・維持や健全経営など)	38.6% (17位)				
施策27	産業の振興(商工業の振興や都市近郊農業の推進など)	35.2% (19位)	主に市内で買物している市民の割合	69.5%	75.0%	65.7%
施策28	文化遺産の保存と活用(史跡地の公有化や文化財の調査・保護・整備、市民遺産の活用など)	31.0% (26位)				
施策29	観光基盤の整備充実(観光宣伝の充実や観光資源の整備、太宰府ブランドの展開など)	34.1% (21位)				
施策30	国際交流・友好都市交流の推進(国際交流活動の推進や友好都市交流の推進など)	20.6% (32位)	日頃から市内在住外国人と交流している市民の割合	7.0%	10.0%	5.1%
			姉妹都市・友好都市を認知している市民の割合	42.5%	50.0%	45.8%
施策31	市民参画の推進(自治基本条例の制定や地域コミュニティ活動、NPO・ボランティア支援など)	23.0% (30位)				
施策32	情報の共有化と活用(行政情報の開示や情報セキュリティの確保、広聴・広報の充実など)	27.2% (28位)	市民と行政の情報共有がなされていると感じる市民の割合	32.7%	50.0%	32.1%
			広報だざいふを読んでいる市民の割合	84.0%	90.0%	85.6%
			市公式ホームページを見ている市民の割合	32.6%	50.0%	28.8%
施策33	市民のための行政運営(行政改革や財政健全化の推進、行政職員の能力開発資質向上など)	34.1% (20位)	効果的に行政運営が行われていると感じる市民の割合	47.5%	80.0%	47.6%
			職員の応対や行動などの仕事に対する取組に満足している市民の割合	57.3%	100.0%	59.5%
施策34	広域連携の推進(広域行政の推進や道州制・市町村合併の調査・研究など)	20.5% (33位)	広域化により住民サービスが向上したと感じる市民の割合	37.9%	40.0%	38.4%



## 2. 子育て支援の推進

### (1) 子育てのしやすさ (問 11)

●『子育てがしやすい派』は68.5%、『子育てがしにくい派』は30.7%となっている。

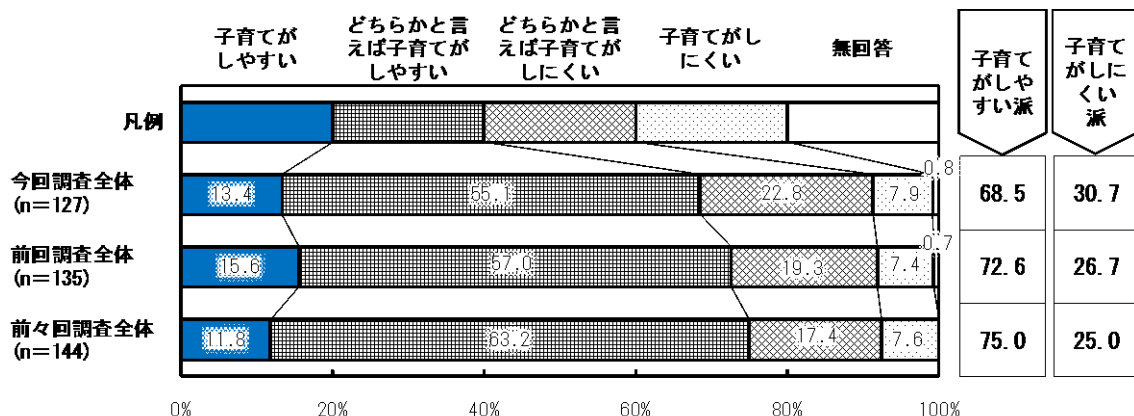
中学生以下の子どもがいる人(127人)で「子育てがしやすい」と思っている人は13.4%で、「どちらかと言えば子育てがしやすい」(55.1%)を合わせた『子育てがしやすい派』は68.5%となっている。反対に「子育てがしにくい」は7.9%で「どちらかと言えば子育てがしにくい」(22.8%)を合わせた『子育てがしにくい派』は30.7%となっている。

経年比較でみると、『子育てがしやすい派』は4.1ポイント減少し、『子育てがしにくい派』の割合が4ポイント増加している。

性別でみると、『子育てがしにくい派』は女性が34.6%で男性(24.5%)よりも10.1ポイント高い。

【次の2問は、中学生までの子どもをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問 11. あなたは太宰府市では子育てがしやすいと思いますか。(○は1つ)



		標本数	子育てがしやすい	どちらかと言えば子育てがしやすい	どちらかと言えば子育てがしにくい	子育てがしにくい	無回答	子育てがしやすい派 (%)	子育てがしにくい派 (%)
全体		127	17	70	29	10	1	87	39
		100.0	13.4	55.1	22.8	7.9	0.8	68.5	30.7
性別	男性	49	14.3	59.2	18.4	6.1	2.0	73.5	24.5
	女性	78	12.8	52.6	25.6	9.0	-	65.4	34.6
年代別	20歳代	8	25.0	75.0	-	-	-	100.0	-
	30歳代	54	9.3	59.3	24.1	7.4	-	68.6	31.5
	40歳代	52	15.4	48.1	25.0	11.5	-	63.5	36.5
	50歳代	10	20.0	50.0	20.0	-	10.0	70.0	20.0
	60歳代	2	-	100.0	-	-	-	100.0	-
	70歳以上	1	-	-	100.0	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	17	17.6	47.1	23.5	11.8	-	64.7	35.3
	太宰府東小学校区	9	-	44.4	22.2	33.3	-	44.4	55.5
	太宰府南小学校区	10	10.0	80.0	10.0	-	-	90.0	10.0
	水城小学校区	17	11.8	52.9	17.6	11.8	5.9	64.7	29.4
	水城西小学校区	28	10.7	46.4	39.3	3.6	-	57.1	42.9
	太宰府西小学校区	20	15.0	65.0	20.0	-	-	80.0	20.0
	国分小学校区	17	23.5	47.1	17.6	11.8	-	70.6	29.4
	わからない	9	11.1	77.8	11.1	-	-	88.9	11.1

(2) 子育てに対する不安や負担感 (問 12)

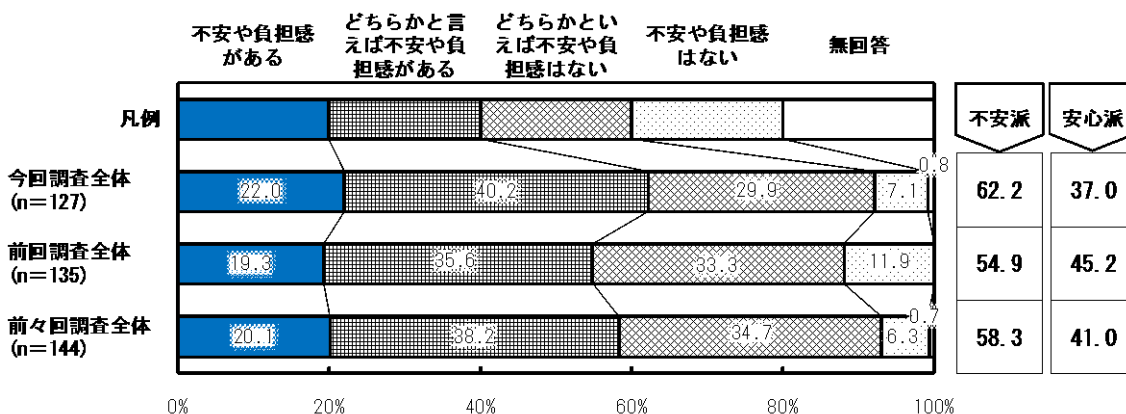
●子育てに対して『不安派』が62.2%、『安心派』が37.0%となっている。

中学生以下の子どもがいる人(127人)の子育てに対する不安や負担感について「不安や負担感がある」は22.0%、「どちらかと言えば不安や負担感がある」が40.2%で、これらを合わせた『不安派』は62.2%となっている。一方、「全く不安や負担感はない」は7.1%で「どちらかと言えば不安や負担感はない」(29.9%)を合わせた『安心派』は37.0%となっている。

経年比較でみると、これまでの調査と比べ、『不安派』の割合は増え6割以上となっている。

性別でみると、男性と比べ、女性のほうが『不安派』の割合が高い。

問 12. あなたは子育てに関して不安や負担感を感じますか。(○は1つ)



		標本数	不安や負担感がある	どちらかと言えば不安や負担感がある	どちらかと言えば不安や負担感はない	全く不安や負担感はない	無回答	不安派	安心派
全体		127	28	51	38	9	1	79	47
性別	男性	49	26.5	32.7	34.7	6.1	-	59.2	40.8
	女性	78	19.2	44.9	26.9	7.7	1.3	64.1	34.6
年代別	20歳代	8	25.0	12.5	50.0	12.5	-	37.5	62.5
	30歳代	54	25.9	38.9	31.5	3.7	-	64.8	35.2
	40歳代	52	17.3	44.2	28.8	9.6	-	61.5	38.4
	50歳代	10	20.0	50.0	20.0	10.0	-	70.0	30.0
	60歳代	2	50.0	-	-	-	50.0	50.0	-
	70歳以上	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校校区別	太宰府小学校校区	17	17.6	29.4	52.9	-	-	47.0	52.9
	太宰府東小学校校区	9	22.2	44.4	22.2	11.1	-	66.6	33.3
	太宰府南小学校校区	10	10.0	30.0	50.0	10.0	-	40.0	60.0
	水城小学校校区	17	35.3	35.3	17.6	11.8	-	70.6	29.4
	水城西小学校校区	28	28.6	46.4	21.4	3.6	-	75.0	25.0
	太宰府西小学校校区	20	5.0	50.0	35.0	5.0	5.0	55.0	40.0
	国分小学校校区	17	29.4	47.1	5.9	17.6	-	76.5	23.5
	わからない	9	22.2	22.2	55.6	-	-	44.4	55.6

### 3. 高齢者福祉の推進

#### (1) 生きがいの有無 (問 13)

●生きがいを感じている『充実派』は約8割となっている。

65 歳以上の人 (134 人) に生きがいの有無をたずねたところ、「とても感じている」が 19.4%、「どちらかと言えば感じている」が 58.2%でこれらを合わせた『充実派』は 77.6%となっている。一方、「全く感じていない」(4.5%)と「どちらかと言えば感じていない」(16.4%)を合わせた『不満派』は 20.9%である。

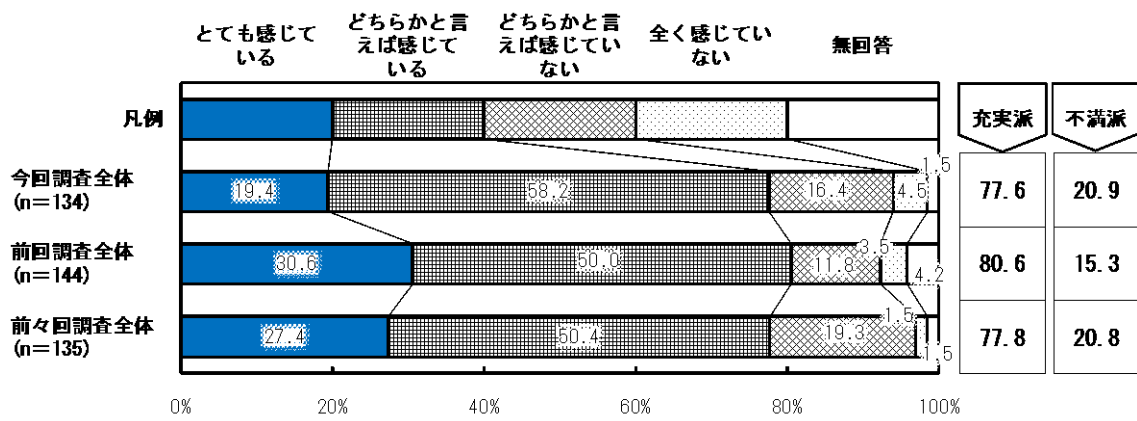
経年比較でみると、前回調査と比較すると、「とても感じている」の割合が 10 ポイント程度減少している。

性別でみると、女性に比べ男性の『不満派』が高くなっている。一方で、生きがいを「とても感じている」とする人の割合は女性より男性が多くなっている。

年代別にみると、60 歳代より 70 歳以上で『充実派』がやや高い。

#### 問 13. 【65 歳以上の方だけにおたずねします】

あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(○は 1 つ)



		標本数	とても感じている	どちらかと言えば感じている	どちらかと言えば感じていない	全く感じていない	無回答	充実派 (%)	不満派 (%)
全体		134	26	78	22	6	2	104	28
		100.0	19.4	58.2	16.4	4.5	1.5	77.6	20.9
性別	男性	63	31.7	44.4	19.0	4.8	-	76.1	23.8
	女性	68	8.8	72.1	13.2	2.9	2.9	80.9	16.1
	無回答	3	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	66.6
年代別	60歳代	52	17.3	55.8	21.2	3.8	1.9	73.1	25.0
	70歳以上	82	20.7	59.8	13.4	4.9	1.2	80.5	18.3
小学校区別	太宰府小学校区	20	20.0	55.0	15.0	5.0	5.0	75.0	20.0
	太宰府東小学校区	19	21.1	68.4	10.5	-	-	89.5	10.5
	太宰府南小学校区	11	18.2	81.8	-	-	-	100.0	-
	水城小学校区	10	20.0	40.0	40.0	-	-	60.0	40.0
	水城西小学校区	18	11.1	72.2	16.7	-	-	83.3	16.7
	太宰府西小学校区	29	31.0	44.8	24.1	-	-	75.8	24.1
	国分小学校区	13	-	53.8	23.1	23.1	-	53.8	46.2
	わからない	8	25.0	62.5	-	12.5	-	87.5	12.5
無回答	6	16.7	50.0	-	16.7	16.7	66.7	16.7	

(2) 高齢者福祉サービスの充実度 (問 14)

●高齢者福祉サービスについて『充実派』は12.6%、『不足派』は18.9%である。

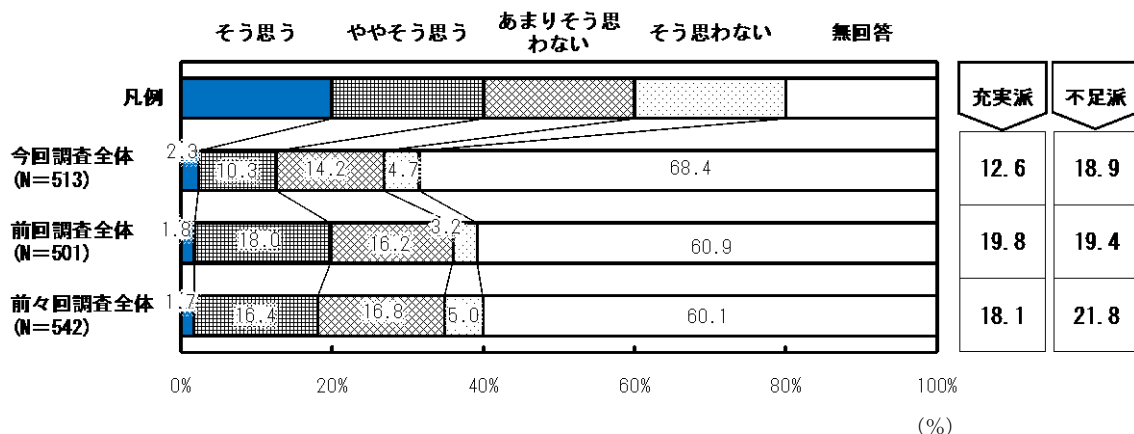
高齢者福祉サービスの充実度について「そう思う」(2.3%)と「ややそう思う」(10.3%)を合わせた『充実派』が12.6%、「そう思わない」(4.7%)と「あまりそう思わない」(14.2%)を合わせた『不足派』は18.9%となっている。

経年比較でみると、『充実派』は前回調査よりもやや減少している。

性別にみると、男性は『不足派』の割合が23.3%と女性(15.3%)と比べ、8ポイント高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区、太宰府南小学校区、太宰府西小学校区では『不足派』が2割以上となり高くなっている。

問 14. あなたは太宰府市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	充実派	不足派
全体		513	12	53	73	24	351	65	97
		100.0	2.3	10.3	14.2	4.7	68.4	12.6	18.9
性別	男性	214	1.4	10.7	16.8	6.5	64.5	12.1	23.3
	女性	293	2.7	9.6	11.9	3.4	72.4	12.3	15.3
	無回答	6	16.7	33.3	33.3	-	16.7	50.0	33.3
年代別	20歳代	44	-	2.3	4.5	-	93.2	2.3	4.5
	30歳代	82	-	3.7	6.1	2.4	87.8	3.7	8.5
	40歳代	89	-	1.1	3.4	-	95.5	1.1	3.4
	50歳代	79	2.5	2.5	5.1	1.3	88.6	5.0	6.4
	60歳代	134	2.2	13.4	18.7	6.7	59.0	15.6	25.4
	70歳以上	82	7.3	31.7	41.5	14.6	4.9	39.0	56.1
	無回答	3	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	4.9	11.5	14.8	4.9	63.9	16.4	19.7
	太宰府東小学校区	50	2.0	14.0	14.0	8.0	62.0	16.0	22.0
	太宰府南小学校区	44	-	11.4	20.5	2.3	65.9	11.4	22.8
	水城小学校区	61	6.6	8.2	8.2	1.6	75.4	14.8	9.8
	水城西小学校区	69	-	13.0	15.9	2.9	68.1	13.0	18.8
	太宰府西小学校区	84	1.2	10.7	23.8	4.8	59.5	11.9	28.6
	国分小学校区	71	2.8	5.6	8.5	7.0	76.1	8.4	15.5
	わからない	60	-	8.3	5.0	3.3	83.3	8.3	8.3
	無回答	13	7.7	15.4	23.1	15.4	38.5	23.1	38.5

#### 4. 障がい福祉の推進

##### (1) 障がい者福祉サービスの充実度（問 15）

●障がい者福祉サービスについて『不足派』が多く、『充実派』を14ポイント上回っている。

障がい者福祉サービスの充実度について「そう思う」(3.7%)と「ややそう思う」(29.6%)を合わせた『充実派』は33.3%である。「そう思わない」(5.8%)と「あまりそう思わない」(41.5%)を合わせた『不足派』は47.3%で『充実派』を14ポイント上回っている。

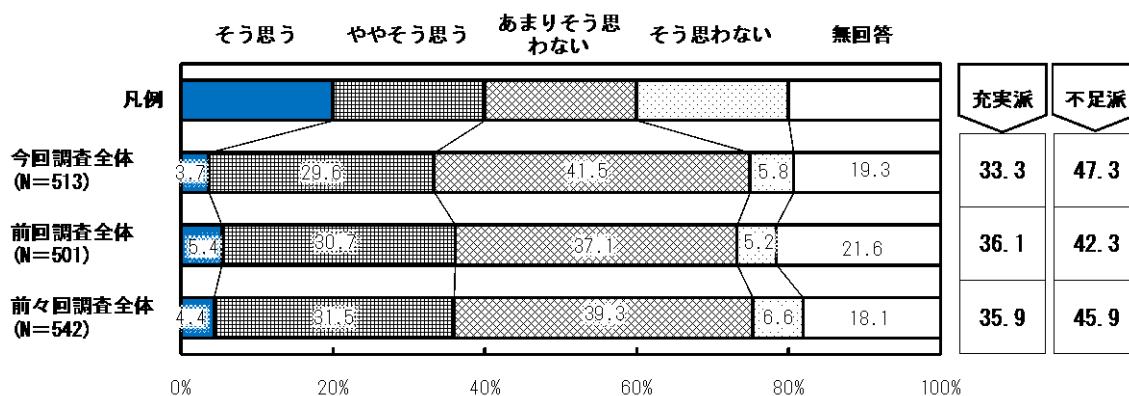
前回調査と比較すると、『充実派』はやや減少し、『不足派』はやや増加している。

性別でみると、男性は『充実派』の割合が女性よりもやや高い。

年代別にみると、40歳代と60歳代以上では『不足派』が50%を上回っている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区と太宰府西小学校区、国分小学校区では『不足派』が5割を超えている。

#### 問 15. あなたは太宰府市の障がい者福祉サービスは充実していると思いますか。



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無回答	充実派	不足派
全体		513	19	152	213	30	99	171	243
		100.0	3.7	29.6	41.5	5.8	19.3	33.3	47.3
性別	男性	214	4.7	32.2	41.6	4.7	16.8	36.9	46.3
	女性	293	3.1	27.6	42.0	6.8	20.5	30.7	48.8
	無回答	6	-	33.3	16.7	-	50.0	33.3	16.7
年代別	20歳代	44	4.5	36.4	38.6	2.3	18.2	40.9	40.9
	30歳代	82	2.4	24.4	40.2	4.9	28.0	26.8	45.1
	40歳代	89	1.1	31.5	47.2	5.6	14.6	32.6	52.8
	50歳代	79	5.1	31.6	36.7	2.5	24.1	36.7	39.2
	60歳代	134	3.7	27.6	42.5	7.5	18.7	31.3	50.0
	70歳以上	82	6.1	28.0	42.7	9.8	13.4	34.1	52.5
	無回答	3	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	9.8	32.8	37.7	8.2	11.5	42.6	45.9
	太宰府東小学校区	50	4.0	28.0	48.0	2.0	18.0	32.0	50.0
	太宰府南小学校区	44	2.3	31.8	40.9	2.3	22.7	34.1	43.2
	水城小学校区	61	4.9	29.5	41.0	1.6	23.0	34.4	42.6
	水城西小学校区	69	2.9	34.8	39.1	7.2	15.9	37.7	46.3
	太宰府西小学校区	84	-	23.8	54.8	4.8	16.7	23.8	59.6
	国分小学校区	71	4.2	23.9	43.7	9.9	18.3	28.1	53.6
	わからない	60	1.7	33.3	25.0	8.3	31.7	35.0	33.3
	無回答	13	7.7	38.5	30.8	7.7	15.4	46.2	38.5

(2) 公共施設の配慮に対する意識 (問 16)

●公共施設の配慮について、『肯定派』(38.6%)、『否定派』(52.2%)で『否定派』がやや多い。

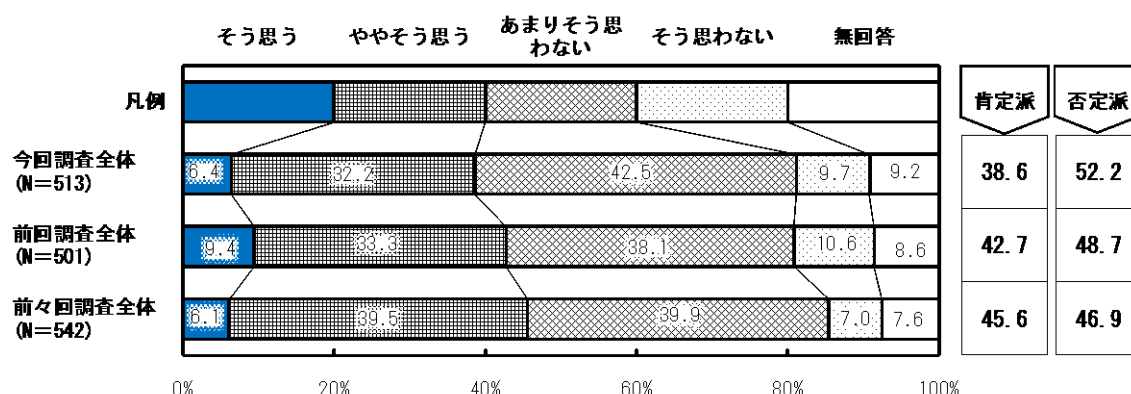
公共施設が高齢者や障がい者などに配慮されているかどうかについて「そう思う」(6.4%)と「ややそう思う」(32.2%)を合わせた『肯定派』は38.6%、「そう思わない」(9.7%)と「あまりそう思わない」(42.5%)を合わせた『否定派』は52.2%とやや多い。経年比較でみると『肯定派』は減少傾向にある。

性別にみると男性、女性ともに『否定派』が約5割を占めている。

年代別にみると、20歳代と70歳代以上では『肯定派』『否定派』がほぼ同程度か『肯定派』がやや高くなっているが、その他の年代では『否定派』の割合が高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区で『肯定派』が5割を超えている。一方で国分小学校区では『否定派』が6割を超え多くなっている。

問 16. あなたは市内の公共施設(駅、市役所等)が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		513	33	165	218	50	47	198	268
		100.0	6.4	32.2	42.5	9.7	9.2	38.6	52.2
性別	男性	214	7.9	31.8	40.7	9.3	10.3	39.7	50.0
	女性	293	5.5	32.1	44.0	10.2	8.2	37.6	54.2
	無回答	6	-	50.0	33.3	-	16.7	50.0	33.3
年代別	20歳代	44	13.6	31.8	40.9	4.5	9.1	45.4	45.4
	30歳代	82	3.7	29.3	43.9	7.3	15.9	33.0	51.2
	40歳代	89	7.9	30.3	47.2	9.0	5.6	38.2	56.2
	50歳代	79	2.5	29.1	43.0	12.7	12.7	31.6	55.7
	60歳代	134	4.5	31.3	45.5	11.2	7.5	35.8	56.7
	70歳以上	82	11.0	40.2	31.7	11.0	6.1	51.2	42.7
	無回答	3	-	66.7	33.3	-	-	66.7	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	61	16.4	27.9	37.7	11.5	6.6	44.3	49.2
	太宰府東小学校区	50	6.0	34.0	48.0	4.0	8.0	40.0	52.0
	太宰府南小学校区	44	4.5	50.0	31.8	9.1	4.5	54.5	40.9
	水城小学校区	61	8.2	32.8	44.3	3.3	11.5	41.0	47.6
	水城西小学校区	69	5.8	36.2	36.2	14.5	7.2	42.0	50.7
	太宰府西小学校区	84	4.8	29.8	46.4	10.7	8.3	34.6	57.1
	国分小学校区	71	2.8	32.4	52.1	8.5	4.2	35.2	60.6
	わからない	60	5.0	23.3	36.7	13.3	21.7	28.3	50.0
	無回答	13	-	15.4	53.8	15.4	15.4	15.4	69.2

(3) 民間施設の配慮に対する意識 (問 17)

●民間施設の配慮について『否定派』が多く、『肯定派』を28.3ポイント上回っている。

民間施設が高齢者や障がい者などに配慮されているかどうかについて「そう思う」(3.7%)と「ややそう思う」(27.5%)を合わせた『肯定派』は31.2%、「そう思わない」(9.2%)と「あまりそう思わない」(50.3%)を合わせた『否定派』は59.5%で、『否定派』が『肯定派』を28.3ポイント上回っている。

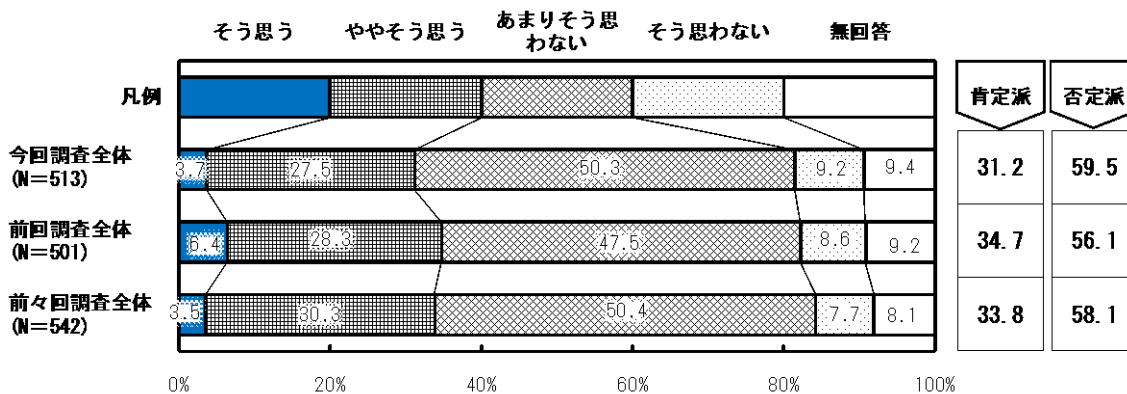
経年比較でみると、『肯定派』がやや減少、『否定派』がやや増加している。

性別でみると、男性、女性ともに『否定派』が5割以上で『肯定派』よりも割合が高い。

年代別みると40歳代以上の年代では『否定派』が6割台と高い。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区、太宰府西小学校区、国分小学校区で『否定派』が6割を超え高くなっている。

問 17. あなたは市内の民間施設（商業施設等）が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		513	19	141	258	47	48	160	305
		100.0	3.7	27.5	50.3	9.2	9.4	31.2	59.5
性別	男性	214	4.2	26.6	49.5	9.3	10.3	30.8	58.8
	女性	293	3.4	28.3	50.5	9.2	8.5	31.7	59.7
	無回答	6	-	16.7	66.7	-	16.7	16.7	66.7
年代別	20歳代	44	6.8	36.4	45.5	2.3	9.1	43.2	47.8
	30歳代	82	3.7	28.0	46.3	7.3	14.6	31.7	53.6
	40歳代	89	6.7	28.1	50.6	10.1	4.5	34.8	60.7
	50歳代	79	1.3	26.6	49.4	11.4	11.4	27.9	60.8
	60歳代	134	3.0	23.1	53.0	9.7	11.2	26.1	62.7
	70歳以上	82	2.4	29.3	52.4	11.0	4.9	31.7	63.4
	無回答	3	-	33.3	66.7	-	-	33.3	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	61	8.2	26.2	47.5	11.5	6.6	34.4	59.0
	太宰府東小学校区	50	4.0	26.0	58.0	4.0	8.0	30.0	62.0
	太宰府南小学校区	44	-	38.6	52.3	4.5	4.5	38.6	56.8
	水城小学校区	61	4.9	29.5	47.5	6.6	11.5	34.4	54.1
	水城西小学校区	69	2.9	29.0	50.7	8.7	8.7	31.9	59.4
	太宰府西小学校区	84	1.2	27.4	52.4	10.7	8.3	28.6	63.1
	国分小学校区	71	5.6	26.8	53.5	9.9	4.2	32.4	63.4
	わからない	60	3.3	23.3	38.3	15.0	20.0	26.6	53.3
	無回答	13	-	7.7	61.5	7.7	23.1	7.7	69.2

5. 地域福祉の推進（問 18）

●地域での福祉活動が活発に行われているかについて『否定派』は58.7%で、『肯定派』（35.8%）を約20ポイント上回っている。

地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われているかどうかについて「そう思う」（6.8%）と「ややそう思う」（29.0%）を合わせた『肯定派』は35.8%、「そう思わない」（12.7%）と「あまりそう思わない」（46.0%）を合わせた『否定派』は58.7%と『否定派』が『肯定派』を22.9ポイント上回っている。

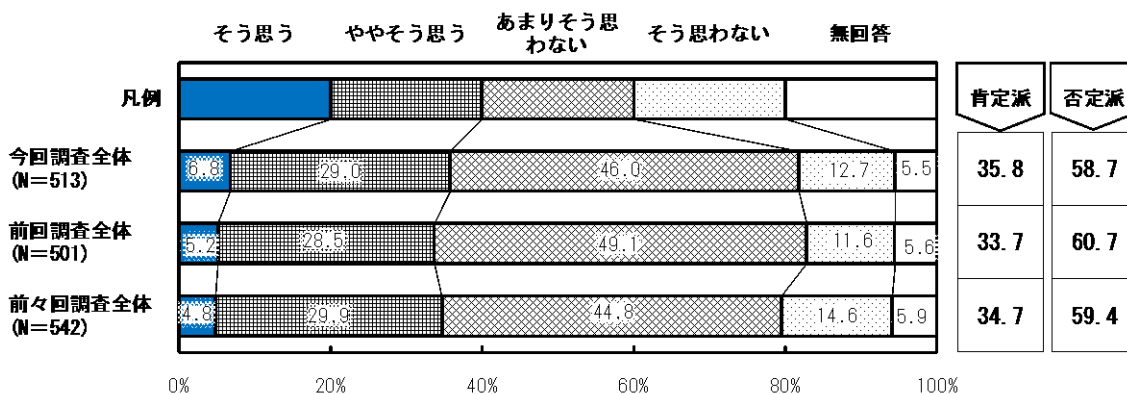
経年比較でみると、ほぼ同様の結果だが、『肯定派』が前回よりも微増している。

性別にみると、男性の方が女性に比べ『肯定派』がやや多くなっている。

年代別にみると、70歳以上で『肯定派』が4割以上と他の年代に比べて高い。

小学校区別にみると、太宰府小学校区、太宰府東小学校区、太宰府南小学校区で『肯定派』が4割台と他の小学校区に比べて多い。

問 18. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		513	35	149	236	65	28	184	301
		100.0	6.8	29.0	46.0	12.7	5.5	35.8	58.7
性別	男性	214	7.9	29.9	43.5	12.6	6.1	37.8	56.1
	女性	293	5.5	28.7	47.8	13.0	5.1	34.2	60.8
	無回答	6	33.3	16.7	50.0	-	-	50.0	50.0
年代別	20歳代	44	2.3	18.2	72.7	6.8	-	20.5	79.5
	30歳代	82	3.7	31.7	45.1	12.2	7.3	35.4	57.3
	40歳代	89	4.5	29.2	50.6	12.4	3.4	33.7	63.0
	50歳代	79	6.3	32.9	41.8	12.7	6.3	39.2	54.5
	60歳代	134	9.7	24.6	44.0	14.2	7.5	34.3	58.2
	70歳以上	82	9.8	35.4	36.6	14.6	3.7	45.2	51.2
	無回答	3	33.3	33.3	-	-	33.3	66.6	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	6.6	36.1	36.1	16.4	4.9	42.7	52.5
	太宰府東小学校区	50	8.0	36.0	46.0	10.0	-	44.0	56.0
	太宰府南小学校区	44	9.1	38.6	40.9	6.8	4.5	47.7	47.7
	水城西小学校区	61	6.6	24.6	50.8	11.5	6.6	31.2	62.3
	水城西小学校区	69	10.1	26.1	43.5	15.9	4.3	36.2	59.4
	太宰府西小学校区	84	4.8	34.5	42.9	13.1	4.8	39.3	56.0
	国分小学校区	71	7.0	23.9	50.7	15.5	2.8	30.9	66.2
	わからない	60	3.3	18.3	58.3	6.7	13.3	21.6	65.0
	無回答	13	7.7	15.4	38.5	23.1	15.4	23.1	61.6



## 6. 生涯健康づくりの推進

### (1) 健康状態 (問 19)

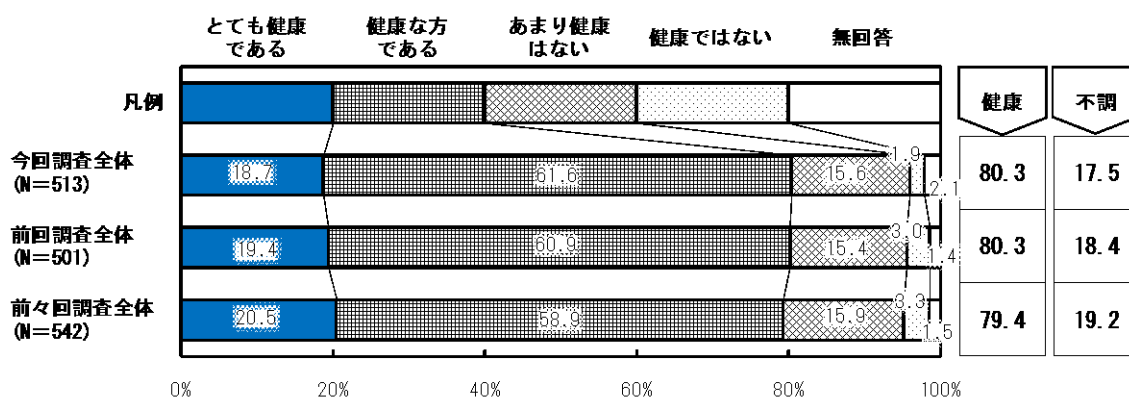
●ここ数週間の健康状態は『健康』が約8割、『不調』が約2割となっている。

ここ数週間の健康状態は「とても健康である」が18.7%、「健康な方である」が61.6%で、これらを合わせた『健康』な人は80.3%となっている。「健康でない」(1.9%)と「あまり健康でない」(15.6%)を合わせた『不調』な人は17.5%である。

経年比較でみると、健康な人は前回と同様の結果となっているが、不調の人は減少傾向にある。

性別でみると、女性の方が『不調』の割合が若干多いが、あまり差は見られない。

#### 問 19. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。(○は1つ)



		標本数	とても健康である	健康な方である	あまり健康はない	健康ではない	無回答	健康	不調
全体		513	18.7	61.6	15.6	1.9	2.1	80.3	17.5
性別	男性	214	20.1	61.7	13.6	2.8	1.9	81.8	16.4
	女性	293	18.1	61.4	16.7	1.4	2.4	79.5	18.1
	無回答	6	-	66.7	33.3	-	-	66.7	33.3
年代別	20歳代	44	34.1	54.5	11.4	-	-	88.6	11.4
	30歳代	82	25.6	58.5	11.0	3.7	1.2	84.1	14.7
	40歳代	89	13.5	69.7	15.7	1.1	-	83.2	16.8
	50歳代	79	19.0	59.5	19.0	-	2.5	78.5	19.0
	60歳代	134	15.7	64.9	12.7	1.5	5.2	80.6	14.2
	70歳以上	82	14.6	56.1	23.2	4.9	1.2	70.7	28.1
	無回答	3	-	66.7	33.3	-	-	66.7	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	61	21.3	60.7	13.1	1.6	3.3	82.0	14.7
	太宰府東小学校区	50	16.0	60.0	18.0	6.0	-	76.0	24.0
	太宰府南小学校区	44	25.0	63.6	11.4	-	-	88.6	11.4
	水城小学校区	61	19.7	57.4	21.3	-	1.6	77.1	21.3
	水城西小学校区	69	21.7	60.9	13.0	2.9	1.4	82.6	15.9
	太宰府西小学校区	84	16.7	57.1	17.9	4.8	3.6	73.8	22.7
	国分小学校区	71	11.3	78.9	8.5	-	1.4	90.2	8.5
	わからない	60	20.0	56.7	20.0	-	3.3	76.7	20.0
	無回答	13	23.1	46.2	23.1	-	7.7	69.3	23.1

(2) 健康増進の取り組み状況 (問 20)

●健康増進のための取り組んでいるものが「ある」人は53.0%。健康状態が良好な人ほど「ある」人が多い。

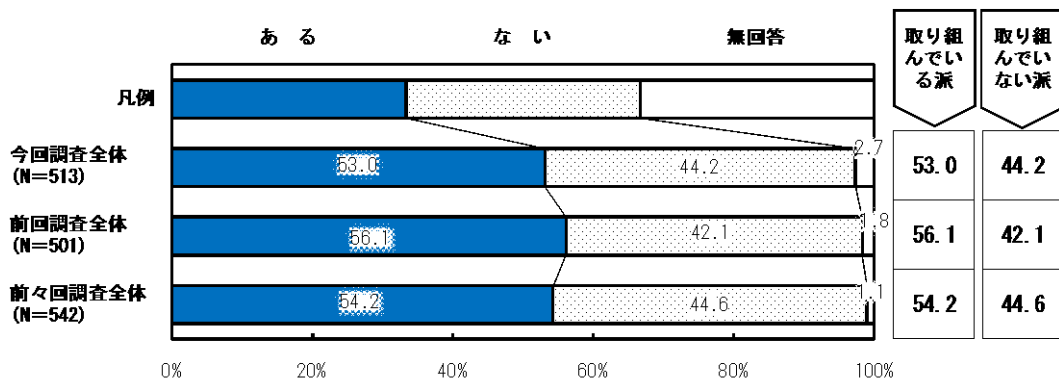
健康増進のために日頃から取り組んでいるものが「ある」人は53.0%と5割以上を占めている。「ない」人は44.2%となっている。

経年比較でみると、前回調査と比べて「ある」と回答した人がやや減少しているが、ほぼ同様の傾向にある。

年代別にみると、年齢が上がる程、「ある」の割合は増える傾向にあり、70歳以上で「ある」が81.7%と最も高い。

健康状態別にみると、健康状態が良好な人ほど健康増進のための取り組みが「ある」人が多くなっている。

問 20. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいるものがありますか。(○は1つ)



		標本数	ある	ない	無回答
全体		513	272	227	14
		100.0	53.0	44.2	2.7
性別	男性	214	53.7	44.4	1.9
	女性	293	52.6	44.4	3.1
	無回答	6	50.0	33.3	16.7
年代別	20歳代	44	38.6	61.4	-
	30歳代	82	34.1	64.6	1.2
	40歳代	89	41.6	58.4	-
	50歳代	79	54.4	41.8	3.8
	60歳代	134	58.2	35.8	6.0
	70歳以上	82	81.7	17.1	1.2
	無回答	3	66.7	-	33.3
健康状態別	とても健康である	96	67.7	32.3	-
	健康な方である	316	54.4	44.9	0.6
	あまり健康でない	80	40.0	58.8	1.3
	健康ではない	10	30.0	70.0	-
	無回答	11	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	61	42.6	52.5	4.9
	太宰府東小学校区	50	50.0	50.0	-
	太宰府南小学校区	44	68.2	29.5	2.3
	水城小学校区	61	54.1	42.6	3.3
	水城西小学校区	69	44.9	53.6	1.4
	太宰府西小学校区	84	59.5	36.9	3.6
	国分小学校区	71	52.1	46.5	1.4
	わからない	60	53.3	43.3	3.3
		60	53.3	43.3	3.3
	無回答	13	61.5	30.8	7.7

(3) 健康診査の受診状況 (問 21)

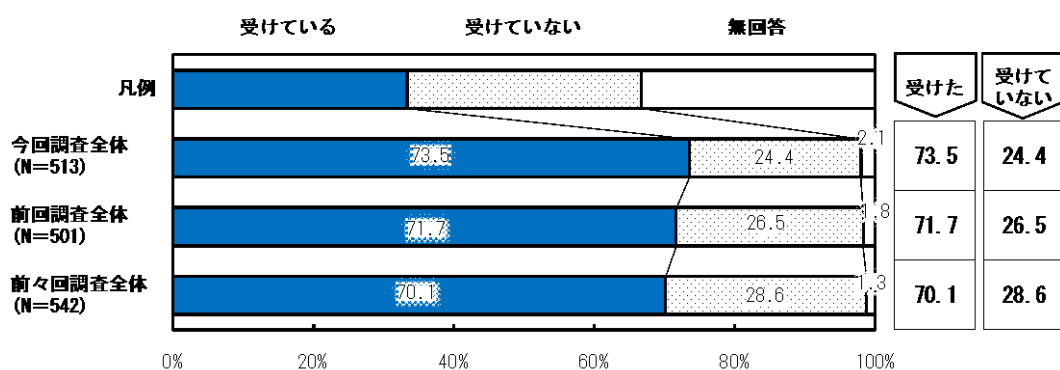
●この一年間の健康診査の受診率は約7割であるが、女性30歳代の受診率は35.4%と他の年代に比べ低い。

この一年間の健康診査の受診状況は「受けている」が73.5%、「受けていない」は24.4%となっている。

性別・年代別にみると、受診率は20歳代の男性と30歳代の女性が他の年代に比べて低い。

健康状態別にみると、あまり健康でない人の受診率が77.5%と、健康状態が悪いと感じている人の受診率が高くなっている。

問 21. あなたはこの一年間に、1回以上健康診査を受けましたか。(○は1つ)



		標本数	受けてい る (%)	な受 いて い (%)	無回 答 (%)
全体		513	73.5	24.4	2.1
性別・ 年代別	男性:20歳代	16	37.5	62.5	-
	男性:30歳代	34	82.4	17.6	-
	男性:40歳代	38	94.7	5.3	-
	男性:50歳代	29	96.6	3.4	-
	男性:60歳代	58	81.0	12.1	6.9
	男性:70歳代以上	39	82.1	17.9	-
	女性:20歳代	28	60.7	39.3	-
	女性:30歳代	48	35.4	62.5	2.1
	女性:40歳代	51	78.4	21.6	-
	女性:50歳代	49	73.5	22.4	4.1
女性:60歳代	75	70.7	25.3	4.0	
女性:70歳代以上	41	80.5	17.1	2.4	
無回答	1	100.0	-	-	
健康 状態 別	とても健康である	96	70.8	29.2	-
	健康な方である	316	75.6	24.4	-
	あまり健康でない	80	77.5	22.5	-
	健康ではない	10	80.0	20.0	-
	無回答	11	-	-	100.0
小学 校区 別	太宰府小学校区	61	70.5	26.2	3.3
	太宰府東小学校区	50	80.0	20.0	-
	太宰府南小学校区	44	75.0	25.0	-
	水城小学校区	61	70.5	27.9	1.6
	水城西小学校区	69	75.4	23.2	1.4
	太宰府西小学校区	84	77.4	19.0	3.6
	国分小学校区	71	73.2	25.4	1.4
	わからない	60	68.3	28.3	3.3
	無回答	13	61.5	30.8	7.7

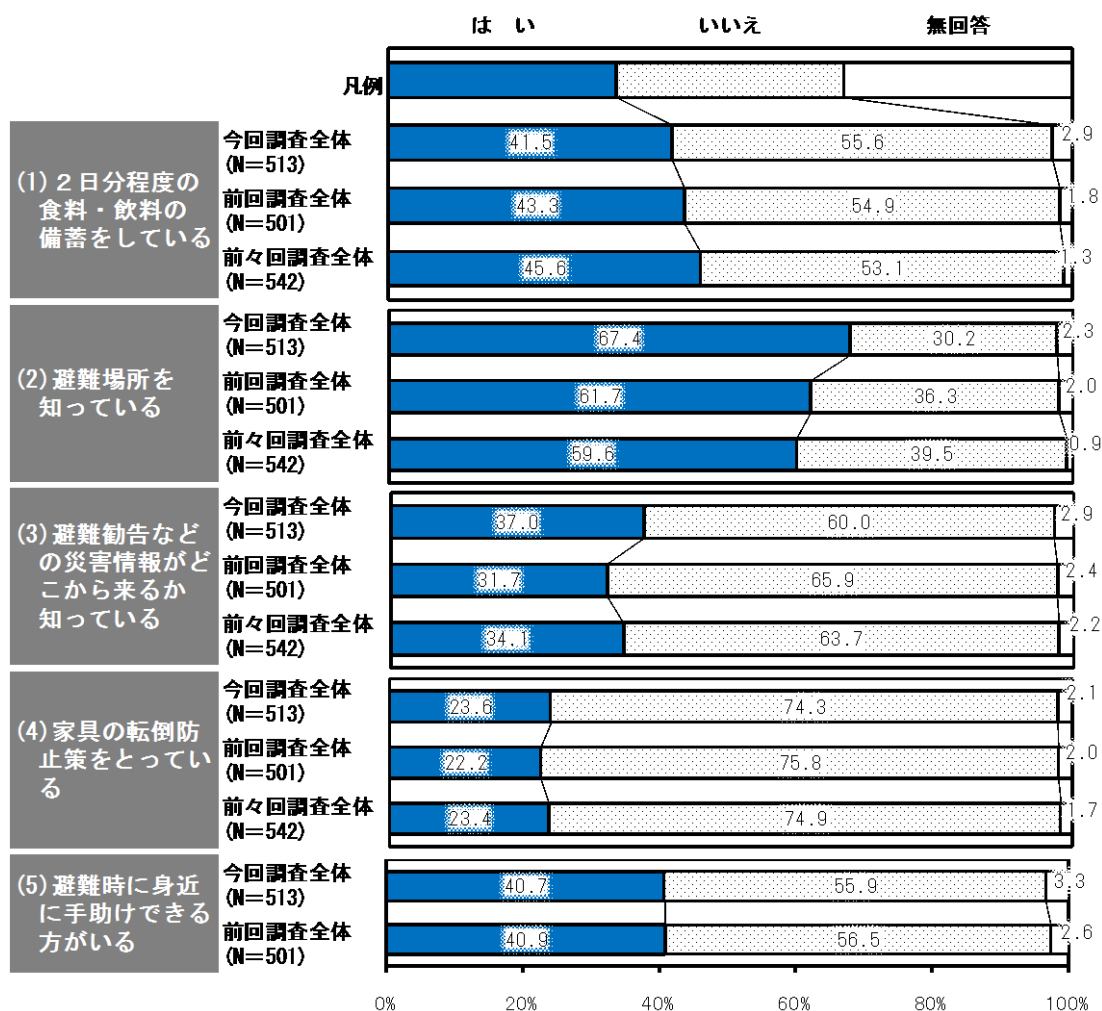
7. 防災・消防体制の整備充実（問 22）

● 「(1) 食料の備蓄」「(3) 災害情報源の認知」「(4) 家具転倒防止策の備え」などは5割以上が実施していない。

日頃の災害に対する備えについて、「(2) 避難場所の認知」(67.4%)、「(1) 食料の備蓄」(41.5%)、「(5) 避難時に身近に手助けできる方がいる」(40.7%)「(3) 災害情報源の認知」(37.0%)、「(4) 家具転倒防止策の備え」(23.6%)の順で実施率が高くなっているが、「(2) 避難場所の認知」以外は5割を下回っている。

経年比較でみると、「(1) 食料の備蓄」は減少している。

問 22. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。(○はそれぞれ1つ)



性別にみると、「(4) 家具の転倒防止策」以外の項目は男性より女性の実施率が高い。  
 年代別にみると、いずれの備えも年齢が高い層での実施率が高い。「(5) 避難時に身近に手助けできる方がいる」は20歳代で54.5%と最も高い。

小学校区別にみると、「(2) 避難場所の認知」は太宰府東小学校区、太宰府西小学校区で8割を超えている。なお、校区がわからない人の認知率は28.3%と低い。

(%)

	標本数	(1)2日分程度の食料・飲料の備蓄をしている			(2)避難場所を知っている			(3)避難勧告などの災害情報がどこから来るか知っている			(4)家具の転倒防止策をとっている			(5)避難時に身近に手助けできる方がいる		
		はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
全体	513 100.0	213 41.5	285 55.6	15 2.9	346 67.4	155 30.2	12 2.3	190 37.0	308 60.0	15 2.9	121 23.6	381 74.3	11 2.1	209 40.7	287 55.9	17 3.3
性別																
男性	214	38.3	58.4	3.3	61.7	35.5	2.8	36.4	60.3	3.3	24.8	72.4	2.8	36.0	60.3	3.7
女性	293	43.7	53.6	2.7	72.0	25.9	2.0	37.5	59.7	2.7	23.2	75.1	1.7	44.7	52.2	3.1
無回答	6	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	33.3	66.7	-	-	100.0	-	16.7	83.3	-
年代別																
20歳代	44	20.5	79.5	-	59.1	40.9	-	27.3	72.7	-	11.4	88.6	-	54.5	45.5	-
30歳代	82	45.1	52.4	2.4	53.7	45.1	1.2	24.4	74.4	1.2	17.1	81.7	1.2	32.9	65.9	1.2
40歳代	89	36.0	64.0	-	62.9	37.1	-	28.1	71.9	-	22.5	77.5	-	31.5	65.2	3.4
50歳代	79	40.5	54.4	5.1	69.6	27.8	2.5	34.2	63.3	2.5	26.6	70.9	2.5	36.7	59.5	3.8
60歳代	134	44.0	50.0	6.0	73.9	20.9	5.2	41.8	51.5	6.7	29.1	66.4	4.5	44.0	50.0	6.0
70歳以上	82	52.4	46.3	1.2	79.3	18.3	2.4	59.8	36.6	3.7	26.8	70.7	2.4	50.0	47.6	2.4
無回答	3	33.3	66.7	-	33.3	66.7	-	33.3	66.7	-	-	100.0	-	33.3	66.7	-
小学校区別																
太宰府小学校区	61	42.6	52.5	4.9	63.9	32.8	3.3	44.3	52.5	3.3	23.0	73.8	3.3	47.5	47.5	4.9
太宰府東小学校区	50	50.0	48.0	2.0	82.0	18.0	-	32.0	66.0	2.0	38.0	60.0	2.0	42.0	56.0	2.0
太宰府南小学校区	44	56.8	43.2	-	68.2	31.8	-	31.8	68.2	-	25.0	75.0	-	38.6	61.4	-
水城小学校区	61	36.1	60.7	3.3	67.2	29.5	3.3	36.1	59.0	4.9	23.0	73.8	3.3	50.8	44.3	4.9
水城西小学校区	69	42.0	55.1	2.9	65.2	31.9	2.9	43.5	52.2	4.3	21.7	76.8	1.4	43.5	52.2	4.3
太宰府西小学校区	84	35.7	60.7	3.6	82.1	14.3	3.6	42.9	53.6	3.6	25.0	72.6	2.4	34.5	60.7	4.8
国分小学校区	71	42.3	56.3	1.4	78.9	21.1	-	42.3	57.7	-	15.5	84.5	-	42.3	57.7	-
わからない	60	33.3	63.3	3.3	28.3	68.3	3.3	16.7	80.0	3.3	20.0	76.7	3.3	31.7	65.0	3.3
無回答	13	46.2	46.2	7.7	61.5	30.8	7.7	38.5	53.8	7.7	30.8	61.5	7.7	23.1	69.2	7.7

8. 防犯・暴力追放運動の推進

(1) 防犯面の安心度 (問 23)

●防犯面について『安心派』は6割、『不安派』は約4割で、『安心派』は増加傾向にある。

市内の防犯面について「とても安心している」が2.7%、「どちらかと言えば安心している」が57.3%でこれらを合わせた『安心派』は60.0%となっている。一方、「とても不安である」(3.9%)と「どちらかと言えば不安である」(33.5%)を合わせた『不安派』は37.4%で、『安心派』が22.6ポイント上回っている。

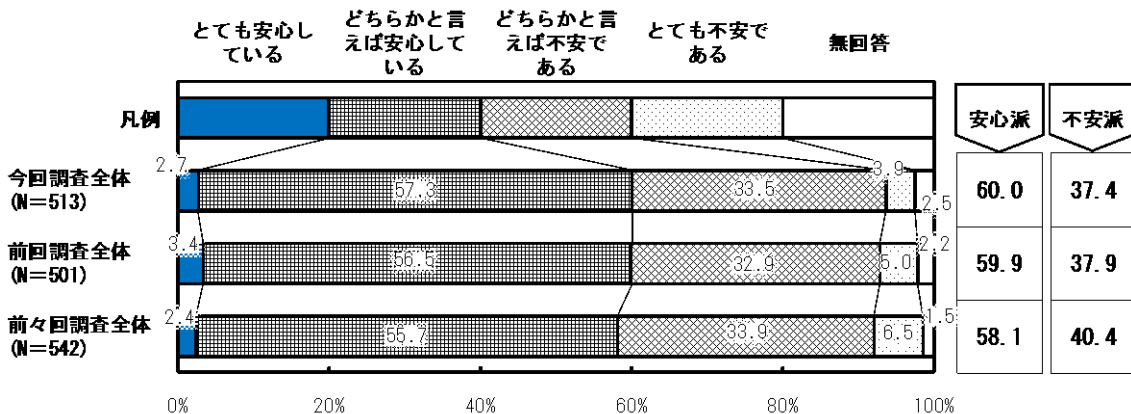
経年比較でみると、『安心派』は増加傾向にある。

性別でみると、男性より女性で『不安派』の割合がやや多い。

年代別でみると、『不安派』は30歳代以下と70歳以上で多くなっている。

小学校区別でみると、太宰府小学校区と水城西小学校区、国分小学校区で『不安派』が約4割と他の小学校区に比べて高くなっている。

問 23. あなたは市内に住むことに対して防犯の面で安心していますか。(○は1つ)



		標本数	とても安心している	どちらかと言えば安心している	どちらかと言えば不安である	とても不安である	無回答	安心派 (%)	不安派 (%)
全体		513	2.7	57.3	33.5	3.9	2.5	60.0	37.4
性別	男性	214	3.3	58.9	30.8	4.2	2.8	62.2	35.0
	女性	293	2.4	55.6	35.8	3.8	2.4	58.0	39.6
	無回答	6	-	83.3	16.7	-	-	83.3	16.7
年代別	20歳代	44	4.5	47.7	43.2	2.3	2.3	52.2	45.5
	30歳代	82	6.1	45.1	40.2	7.3	1.2	51.2	47.5
	40歳代	89	-	62.9	31.5	5.6	-	62.9	37.1
	50歳代	79	1.3	69.6	20.3	3.8	5.1	70.9	24.1
	60歳代	134	3.0	57.5	32.8	2.2	4.5	60.5	35.0
	70歳以上	82	2.4	54.9	39.0	2.4	1.2	57.3	41.4
	無回答	3	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	3.3	50.8	41.0	1.6	3.3	54.1	42.6
	太宰府東小学校区	50	-	70.0	26.0	2.0	2.0	70.0	28.0
	太宰府南小学校区	44	4.5	61.4	27.3	4.5	2.3	65.9	31.8
	水城西小学校区	61	-	60.7	34.4	3.3	1.6	60.7	37.7
	水城西小学校区	69	2.9	50.7	39.1	5.8	1.4	53.6	44.9
	太宰府西小学校区	84	3.6	58.3	31.0	3.6	3.6	61.9	34.6
	国分小学校区	71	2.8	54.9	38.0	2.8	1.4	57.7	40.8
	わからない	60	3.3	58.3	26.7	8.3	3.3	61.6	35.0
	無回答	13	7.7	46.2	38.5	-	7.7	53.9	38.5

## (2) 防犯上危険と思う場所（問23付問1）

小学校区	性別	年代	問23付問1.家の周囲や市内において、防犯上危険と思われるような場所
太宰府	男性	20歳代	学園通りは学生が多く通る割には警備等が少なく、不安である。女子犬が多いので、もう少し警戒した方が良いと思う。
太宰府	男性	50歳代	日本経済大学側の国道3号線ガード下。
太宰府	男性	50歳代	太宰府小学校裏門周辺の街灯が少なすぎる。暗い。
太宰府	男性	60歳代	西鉄五条駅の駐輪場内。
太宰府	男性	70歳代	知らない人達が散歩に来る。
太宰府	女性	30歳代	街灯が暗い場所が多い。
太宰府	女性	30歳代	違法駐車のある場所。
太宰府	女性	40歳代	三条台公園。
太宰府	女性	40歳代	白川方面の道、人通りが少なく夜は暗い。もっと街灯を明るくしてほしい。
太宰府	女性	50歳代	西鉄二日市周辺の夜道が暗い。南体育館周辺は木が残っていて暗いし、人が少ない。
太宰府	女性	50歳代	馬場公民館から湯の谷に行く道に街灯が少ない。
太宰府	女性	50歳代	空家になっている家が壊れている。
太宰府	女性	70歳代	単身者アパートが多く、空家もあり、不安な時がある。
太宰府東	男性	40歳代	街灯が少ない。または切れかかっている。
太宰府東	男性	40歳代	行き止まり箇所。
太宰府東	男性	50歳代	夜、暗い場所がある。街灯が少ない。
太宰府東	男性	50歳代	青山地区全体に街灯が少ない。歩道も確保されていない。
太宰府東	男性	60歳代	市体育館、及びルミナスは青少年の悪の温床になっている。警察官によるパトロールを望む。
太宰府東	女性	20歳代	街灯が暗い（太宰府東小学校区の住宅街、高雄公園）。
太宰府東	女性	40歳代	五条駅～秋山公民館～夢ばたけの通り。
太宰府東	女性	40歳代	街灯が少ない所が多い。
太宰府東	女性	40歳代	電灯が暗いので、小路、細い道路が怖い。
太宰府東	女性	60歳代	街灯が切れても、交替するのに時間がかかる。
太宰府東	女性	60歳代	外の花壇に季節の花を植えています、必ず根こそぎ持って行く人がいる。近所の方も手を焼いている。
太宰府東	女性	70歳代	バスと電車の連絡が悪く、歩いて帰る時に不安を感じる。
太宰府南	女性	30歳代	自宅周辺、盗難被害が多い。
太宰府南	女性	30歳代	君畑から星ヶ丘に向けて（セブンイレブン辺りまで）街灯がなく、暗すぎる。車通りは多いが、街灯は必要だと思う。
太宰府南	女性	40歳代	第一経済ランド沿い、チカン注意の看板がある付近。
太宰府南	女性	60歳代	公園には死角がある。
水城	男性	20歳代	夜の都府楼駅前、ヤンキー多い。
水城	男性	50歳代	街灯が少ない。
水城	男性	60歳代	空家が多くて不安である。
水城	男性	60歳代	西鉄線に並行している道路の街灯が少ない。
水城	男性	60歳代	私的なことで申し訳ないが、泥棒が入りお金を取られ、警察署に届けたが、家人が盗ったように言われ、警察問題にもされず、とても信用できない。それで防犯だのと言われても問題外である。
水城	女性	20歳代	夜、複社周辺が暗い。夜、観世音寺5丁目周辺は人通りが少なく、暗い。
水城	女性	30歳代	都府楼跡団地周辺。暗すぎるので危険。
水城	女性	30歳代	都府楼駅前周辺の街灯が暗い（自転車置き場など）。
水城	女性	50歳代	都府楼前駅付近から少し路地に入ると街灯も少なく、変質者もたまに出る。
水城西	男性	20歳代	アパートにバイクを置いていたら盗難にあったので、それ以降はロックしている（吉松1丁目付近）。
水城西	男性	30歳代	夜はまだ通りに暗い場所がある。
水城西	男性	40歳代	高速道路下の地下トンネル。
水城西	男性	40歳代	吉松、土井踏み切りからセブンイレブンに向けての道が暗い。
水城西	男性	40歳代	公園のトイレ。
水城西	男性	50歳代	JR水城駅と自宅の間の道路幅が狭く、街灯も少ないので危険を感じる。
水城西	男性	50歳代	公園や神社の広場など、夜は若者のたまり場になっているようだ。
水城西	男性	60歳代	高速道路下のトンネルの照明がない。
水城西	女性	30歳代	水城駅周辺の吉松地区（街灯が少なく夜間が危険）。
水城西	女性	30歳代	夜が暗い（電灯が少ないので）。
水城西	女性	30歳代	吉松1丁目あたり。向佐野は人通りが少なく、怖い。
水城西	女性	40歳代	洗出の交差点から都府楼駅までの高架下が夜は暗い。防犯上良くない。
水城西	女性	40歳代	九州道の側道（人通り、灯りが少なく、夜不安）。
水城西	女性	40歳代	街灯が暗い。
水城西	女性	50歳代	JR水城駅、吉松周辺。日中は良いが、夜は暗く危険を感じる。
水城西	女性	60歳代	大野城市との境の水城跡あたりに時々不審者らしき人がいる。
水城西	女性	70歳代	JR駅通りをもう少し明るくしてほしい。
太宰府西	男性	20歳代	街灯の不備。
太宰府西	男性	30歳代	県道31号線吉松付近（太宰府西歴史スポーツ公園沿い）、青葉台区からJR水城駅までの間、以上この2点は街灯が少なく、性犯罪が多発している。
太宰府西	男性	40歳代	全体的に住宅地における街灯が少ない。
太宰府西	男性	40歳代	歴史スポーツ公園隣のマンションに住んでいます。夜、娘達が学校から帰宅する時、水城駅、下大利駅から31号線沿いの道に街灯がほとんどなく、真っ暗です。
太宰府西	男性	60歳代	空家が増えている。ネコがたむろしている。
太宰府西	男性	60歳代	夜の公園。
太宰府西	男性	60歳代	太宰府市幸都、スーパーマミーズ前の横断歩道。
太宰府西	男性	60歳代	自宅の車庫で、2度車が盗難にあいそうになった。

小学校区	性別	年代	問23付問1. 家の周囲や市内において、防犯上危険と思われるような場所
太宰府西	男性	70歳代	不審者が普通の格好をして家の周辺や町内を歩き回っている。隙あらば今にも空き巣をしそう。
太宰府西	女性	20歳代	JA筑紫の本社のグラウンドの方の道が暗い。
太宰府西	女性	60歳代	空家があり、管理面で心配です。
太宰府西	女性	60歳代	パチンコ店の駐車場。
太宰府西	女性	70歳代	夜、人通りが少ない。
国分	男性	30歳代	地下道。
国分	男性	60歳代	全般に高齢者が多いため、夜間の防犯予防の目が少ない。
国分	女性	20歳代	夜の公園、都府楼跡の周りの道が暗くて怖い。
国分	女性	20歳代	トンネル付近。
国分	女性	30歳代	水城ヶ丘団地の裏山。小学校の通学路ではないが、近道になるので子供が利用することがある。
国分	女性	30歳代	国分の国道。不審者が多く、目の前で人がさらわれたこともある。空き巣の下見をしているような人も時々見かける。車庫の自転車が盗まれた。つけられたこともある。
国分	女性	30歳代	国分交差点から吉松方面へつながる高架下はうす暗い。最近は通学路になっているが、子供が恐がる。
国分	女性	60歳代	国分台団地に上がる途中の坂道。
国分	女性	60歳代	街灯がついていないので、各戸で門灯をつけあっている。
不明	男性	30歳代	車上荒らしや窃盗の話をたまに聞く。
不明	男性	30歳代	空き巣に入られたことがある（現金を盗まれた）。ひったくりも多いと聞く（西鉄駅周辺）。
不明	男性	60歳代	空き巣に入られましたが、都府楼駅派出所（交番）もその後結局何も言って来ない。
不明	男性	70歳代	周辺自体が防犯上不安。留守中に泥棒に入られた。
不明	男性	70歳代	杉塚踏み切り～公園～田畑の周辺部。
不明	女性	30歳代	榎社の夜道。学生もよく通るので、青い照明等で治安が良い印象にしたら良いと思う。
不明	女性	30歳代	旧3号線やそこから入り込んだ道が暗くて危険。
不明	女性	40歳代	図書館周辺、街灯が少なく怖い。
不明	女性	50歳代	暗い道など（夜）。
不明	男性	30歳代	高速道路の下にあたるトンネル部分が暗い。人通りも少ない。
不明	男性	70歳代	公園付近の道路。
不明	女性	70歳代	前の家の木が6、7mくらい伸びて、人が忍び込むのに絶好で不安です。
不明	女性	70歳代	人通りの少ない場所はどこにでもある。夜は出ない。



9. 安全な消費生活の推進

(1) 不当請求や不適正な取引行為の被害状況 (問 24)

●不当請求や不適正な取引行為の被害にあった人は 1.2%、被害はないが不安を感じた人は 14.4%となっている。

この1年間に架空、不当請求や不適正な取引行為の「被害を受けた」人は 1.2%、「直接の被害はないが不安を感じた」人は 14.4%である。「特になかった」は 82.1%であった。

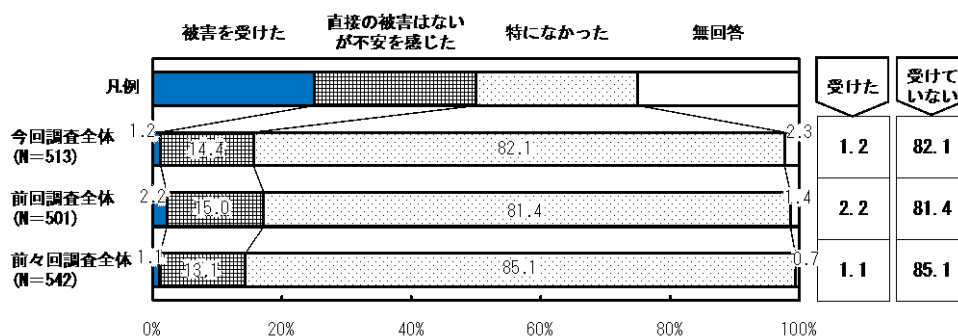
前回調査と比較すると、「被害を受けた」「直接の被害はないが不安を感じた」とともに減少している。

性別でみると、「被害を受けた」は女性が 1.7%で男性 (0.5%) よりも多い。

性別・年代別でみると、「被害を受けた」のは女性では 50 歳代以上となっている。

小学校区別でみると、太宰府東小学校区では「直接の被害はないが不安を感じた」が 24.0%と他の小学校区に比べて高い。

問 24. あなたやあなたの家族が、この1年間に架空・不当請求や不適正な取引行為（点検商法やキャッチセールス等）の被害を受けたり、被害にあいそうな不安を感じたことがありますか。（○は1つ）



		標本数	被害を受けた	直接の被害はないが不安を感じた	特になかった	無回答
全体		513	1.2	14.4	82.1	2.3
性別	男性	214	0.5	15.9	80.8	2.8
	女性	293	1.7	13.3	82.9	2.0
	無回答	6	-	16.7	83.3	-
性別・年代別	男性:20歳代	16	-	-	100.0	-
	男性:30歳代	34	-	20.6	79.4	-
	男性:40歳代	38	-	15.8	84.2	-
	男性:50歳代	29	3.4	13.8	79.3	3.4
	男性:60歳代	58	-	12.1	79.3	8.6
	男性:70歳代以上	39	-	25.6	74.4	-
	女性:20歳代	28	-	7.1	92.9	-
	女性:30歳代	48	-	18.8	79.2	2.1
	女性:40歳代	51	-	17.6	82.4	-
	女性:50歳代	49	2.0	14.3	79.6	4.1
	女性:60歳代	75	4.0	5.3	89.3	1.3
	女性:70歳代以上	41	2.4	19.5	73.2	4.9
	無回答	1	-	-	100.0	-
	小学校区別	太宰府小学校区	61	3.3	9.8	82.0
太宰府東小学校区		50	-	24.0	76.0	-
太宰府南小学校区		44	-	18.2	79.5	2.3
水城小学校区		61	1.6	8.2	88.5	1.6
水城西小学校区		69	2.9	7.2	88.4	1.4
太宰府西小学校区		84	1.2	17.9	77.4	3.6
国分小学校区		71	-	15.5	84.5	-
わからない		60	-	16.7	80.0	3.3
無回答		13	-	15.4	76.9	7.7

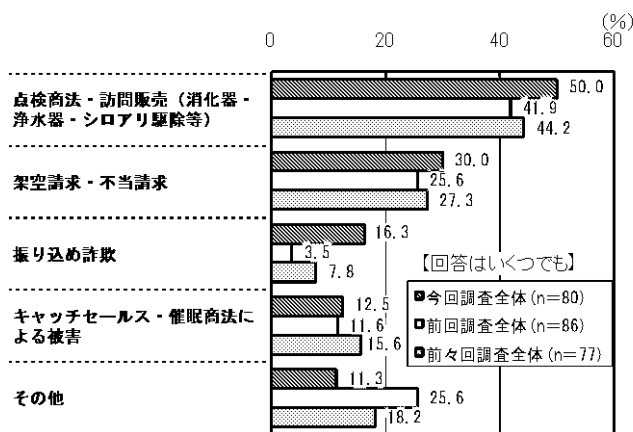
(2) 不当請求や不適正な取引行為の具体的な被害 (問 24 付問 1)

● 「点検商法、訪問販売」の被害や不安が最も高い。

実際に被害を受けた、もしくは不安を感じた人のその内容は「点検商法、訪問販売 (消火器・浄水器・シロアリ駆除等)」が 50.0%で最も多い。次いで「架空請求・不当請求」が 30.0%、「振り込め詐欺」が 16.3%となっている。

前回調査に比べると、割合が増加している項目が多く、特に「振り込め詐欺」10ポイント以上増加している。

問 24 付問 1【被害を受けた・直接の被害はないが不安を感じたと答えた方】におたずねします。具体的には、どのような被害や不安ですか。(〇はいくつでも)



		標本数	点検商法・訪問販売 (消火器・浄水器・シロアリ駆除)	架空請求・不当請求	振り込め詐欺	スキヤッチセールス・催眠商法による被害	その他	無回答 (%)
全体		80	40	24	13	10	9	5
		100.0	50.0	30.0	16.3	12.5	11.3	6.3
性別	男性	35	54.3	25.7	20.0	17.1	-	11.4
	女性	44	47.7	31.8	13.6	9.1	20.5	2.3
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	-
年代別	20歳代	2	-	50.0	-	50.0	-	-
	30歳代	16	62.5	31.3	25.0	12.5	12.5	6.3
	40歳代	15	53.3	33.3	20.0	-	20.0	6.7
	50歳代	13	30.8	30.8	-	23.1	23.1	7.7
	60歳代	15	33.3	40.0	20.0	13.3	-	13.3
	70歳以上	19	68.4	15.8	15.8	10.5	5.3	-
小学校区別	太宰府小学校区	8	75.0	25.0	12.5	12.5	12.5	-
	太宰府東小学校区	12	66.7	8.3	33.3	16.7	8.3	8.3
	太宰府南小学校区	8	75.0	37.5	25.0	-	-	-
	水城小学校区	6	50.0	16.7	-	33.3	16.7	16.7
	水城西小学校区	7	42.9	28.6	-	14.3	-	14.3
	太宰府西小学校区	16	50.0	31.3	18.8	-	12.5	-
	国分小学校区	11	18.2	36.4	9.1	18.2	9.1	9.1
	わからない	10	30.0	60.0	20.0	20.0	20.0	10.0
	無回答	2	50.0	-	-	-	50.0	-

10. 人権を尊重するまちづくりの推進

(1) 人権侵害の経験と内容 (問 25、付問 1)

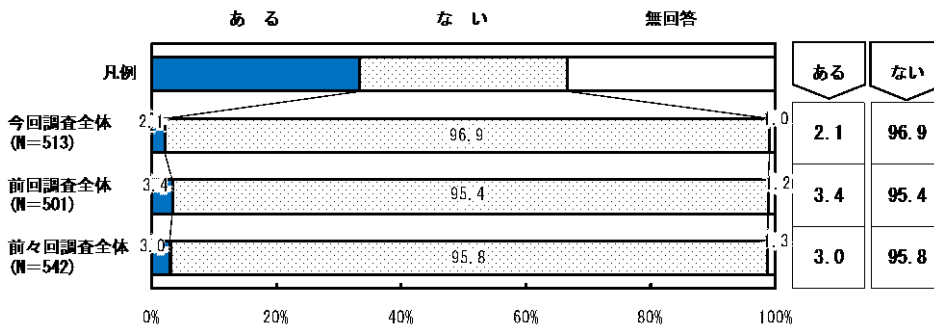
●人権を侵害されたことが「ある」人はわずかである。

この1年間に人権を侵害されたことが「ある」が 2.1%、「ない」が 96.9%であり、大半が経験したことがないと回答している。

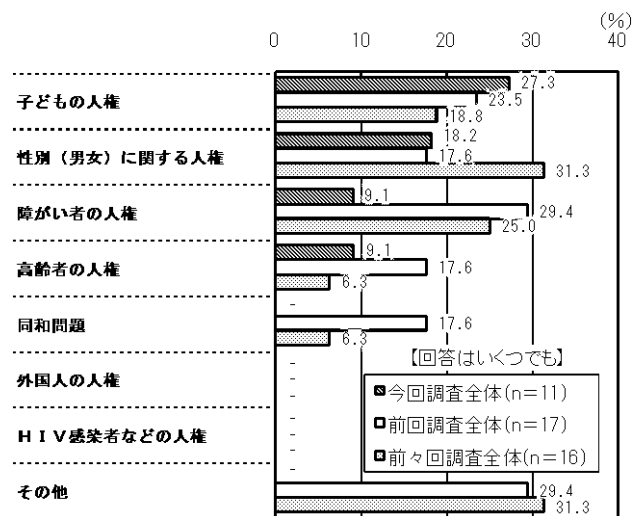
経年比較でみると、「ある」の割合は減少している。

人権を侵害されたことが「ある」と回答した人の内容をみると、「子どもの人権」が 27.3%で最も多く、次いで「性別に関する人権」(18.2%)、「障がい者の人権」、「高齢者の人権」(9.1%)となっている。

問 25. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を侵害されたことがありますか。



問 25 付問 1 【あると答えた方】におたずねします。それはどのような人権侵害ですか。(〇はいくつでも)



(2) 人権問題への認識 (問 26)

●人権が『尊重されている派』は 76.8%、『尊重されていない派』は 11.8%となっている。

同和問題をはじめとするあらゆる人権が「尊重されている」と思う人は 9.7%で、「どちらかといえば尊重されている」(67.1%) を合わせた『尊重されている派』は 76.8%である。一方、「尊重されていない」(1.9%) と「どちらかといえば尊重されていない」(9.9%) を合わせた『尊重されていない派』は 11.8%となっている。

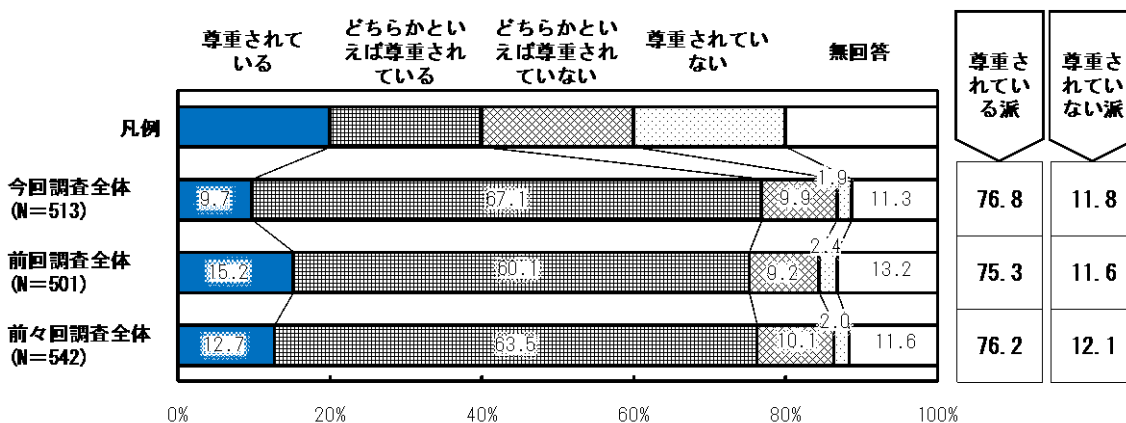
前回調査と比較すると、『尊重されている派』は 1.5 ポイント増加している。

性別にみると、大きな違いは見られない。

年代別にみると、『尊重されていない派』は年代が若い層で高い傾向にある。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区では『尊重されている派』が 8 割を超え高い。

問 26. あなたは今の太宰府市では同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	尊重されている (%)	どちらかといえば尊重されている (%)	どちらかといえば尊重されていない (%)	尊重されていない (%)	無回答 (%)	尊重されている派 (%)	尊重されていない派 (%)
全体		513	9.7	67.1	9.9	1.9	11.3	76.8	11.8
性別	男性	214	10.7	66.8	9.3	1.9	11.2	77.5	11.2
	女性	293	9.2	67.2	10.6	2.0	10.9	76.4	12.6
	無回答	6	-	66.7	-	-	33.3	66.7	-
年代別	20歳代	44	6.8	75.0	15.9	-	2.3	81.8	15.9
	30歳代	82	4.9	68.3	13.4	-	13.4	73.2	13.4
	40歳代	89	6.7	75.3	12.4	-	5.6	82.0	12.4
	50歳代	79	5.1	68.4	7.6	3.8	15.2	73.5	11.4
	60歳代	134	13.4	64.2	7.5	2.2	12.7	77.6	9.7
	70歳以上	82	18.3	56.1	7.3	4.9	13.4	74.4	12.2
	無回答	3	-	66.7	-	-	33.3	66.7	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	11.5	67.2	8.2	3.3	9.8	78.7	11.5
	太宰府東小学校区	50	4.0	72.0	10.0	-	14.0	76.0	10.0
	太宰府南小学校区	44	9.1	75.0	4.5	-	11.4	84.1	4.5
	水城小学校区	61	16.4	60.7	9.8	-	13.1	77.1	9.8
	水城西小学校区	69	8.7	71.0	7.2	4.3	8.7	79.7	11.5
	太宰府西小学校区	84	11.9	63.1	11.9	2.4	10.7	75.0	14.3
	国分小学校区	71	9.9	69.0	11.3	1.4	8.5	78.9	12.7
	わからない	60	3.3	68.3	13.3	1.7	13.3	71.6	15.0
	無回答	13	15.4	38.5	15.4	7.7	23.1	53.9	23.1

(3) 同和地区に対する差別の認識 (問 27)

●同和地区の差別の原因は「民衆を支配する手段として、支配者によってつくられた」という回答が最も多い。

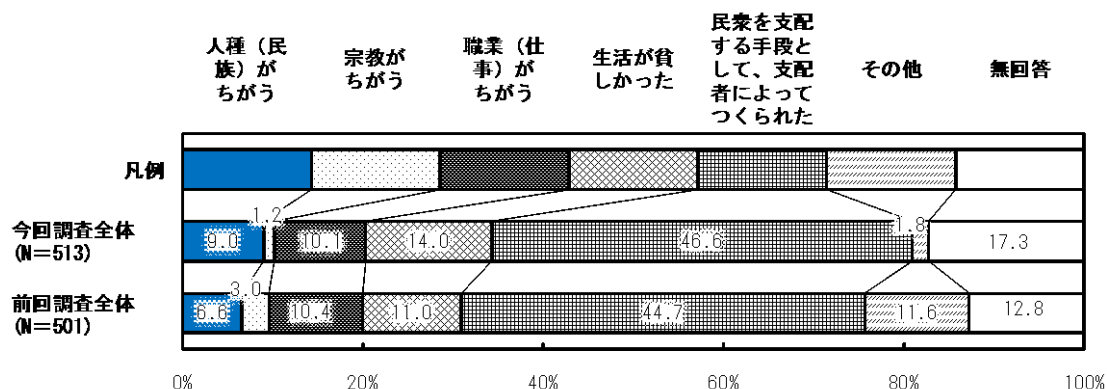
同和地区に対する差別の原因としてどれが正しいと思うか選んでもらったところ、「民衆を支配する手段として、支配者によってつくられた」が46.6%で最も多い。次いで「生活が貧しかった」が14.0%となっている。

性別にみると、男性では「人種（民族）がちがう」の割合が女性と比べ高い。

年代別にみると、30歳代で「生活が貧しかった」の割合が高くなっている。

小学校区別にみると、水城小学校区、国分小学校区では「人種（民族）がちがう」の割合が他小学校区と比べ高くなっている。

問 27. あなたは「同和地区」（被差別部落）と、その人々に対する差別がどうしてできたと思いますか。次のどれが正しいと思いますか。（○は1つ）



		標本数	人種（民族）がちがう	宗教が違う	職業（仕事）がちがう	生活が貧しかった	民衆を支配する手段として、支配者によってつくられた	その他	無回答
全体		513	46	6	52	72	239	9	89
		100.0	9.0	1.2	10.1	14.0	46.6	1.8	17.3
性別	男性	214	12.1	1.4	8.9	12.1	47.7	0.9	16.8
	女性	293	6.8	1.0	11.3	15.0	45.7	2.4	17.7
	無回答	6	-	-	-	33.3	50.0	-	16.7
年代別	20歳代	44	9.1	-	20.5	15.9	40.9	-	13.6
	30歳代	82	9.8	-	6.1	23.2	40.2	2.4	18.3
	40歳代	89	12.4	1.1	5.6	10.1	56.2	2.2	12.4
	50歳代	79	5.1	1.3	7.6	11.4	51.9	2.5	20.3
	60歳代	134	9.7	0.7	11.9	12.7	43.3	1.5	20.1
	70歳以上	82	7.3	3.7	13.4	12.2	46.3	1.2	15.9
	無回答	3	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	61	8.2	3.3	11.5	16.4	44.3	3.3	13.1
	太宰府東小学校区	50	6.0	2.0	14.0	14.0	52.0	-	12.0
	太宰府南小学校区	44	9.1	-	18.2	6.8	45.5	-	20.5
	水城小学校区	61	11.5	-	4.9	16.4	49.2	1.6	16.4
	水城西小学校区	69	8.7	2.9	14.5	14.5	43.5	1.4	14.5
	太宰府西小学校区	84	9.5	-	9.5	11.9	51.2	1.2	16.7
	国分小学校区	71	12.7	1.4	4.2	16.9	49.3	2.8	12.7
	わからない	60	5.0	-	10.0	11.7	40.0	3.3	30.0
	無回答	13	7.7	-	-	23.1	30.8	-	38.5

(4) 結婚を決めるときの家柄、血筋に対する考え方 (問 28)

●結婚を決めるときの家柄や血筋を問題にすることについて「不合理だから、なくしていかなければならないと思う」が62.2%となっている。

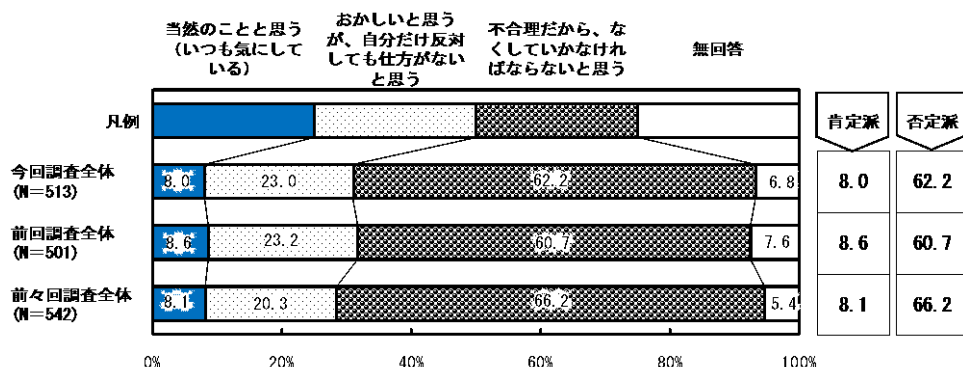
結婚を決めるときに家柄や血筋を問題にする風習について「不合理だから、なくしていかなければならないと思う」が 62.2%で最も多い。「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」は 23.0%、「当然のことと思う (いつも気にしている)」は 8.0%となっている。

経年比較でみると、「当然のことと思う (いつも気にしている)」は過去2回の調査と比べ大きな差はみられない。

性別でみると、「不合理だから、なくしていかなければならないと思う」は女性 (63.5%)の方が男性 (59.8%) よりも高い。

年代別にみると、70歳以上では「当然のことと思う (いつも気にしている)」が 15.9%と最も高くなっている。

問 28. あなたは結婚を決めるときに、家柄とか血筋を問題にする風習についてどのように思いますか。(○は1つ)



		標本数	てつと当 も思然の いる気うの こと (-)-	思仕けうお う方反が が対、し なして自 いて分と ともだ思	うないら不 らかなな理 なななだか いけくし とれし 思ばて	無 回 答
全体		513	41	118	319	35
		100.0	8.0	23.0	62.2	6.8
性別	男性	214	9.3	21.5	59.8	9.3
	女性	293	7.2	24.2	63.5	5.1
	無回答	6	-	16.7	83.3	-
年代別	20歳代	44	9.1	29.5	59.1	2.3
	30歳代	82	2.4	31.7	61.0	4.9
	40歳代	89	7.9	24.7	62.9	4.5
	50歳代	79	6.3	16.5	67.1	10.1
	60歳代	134	7.5	22.4	63.4	6.7
	70歳以上	82	15.9	17.1	56.1	11.0
	無回答	3	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	8.2	23.0	65.6	3.3
	太宰府東小学校区	50	10.0	26.0	62.0	2.0
	太宰府南小学校区	44	13.6	20.5	61.4	4.5
	水城小学校区	61	6.6	27.9	57.4	8.2
	水城西小学校区	69	7.2	27.5	58.0	7.2
	太宰府西小学校区	84	8.3	16.7	65.5	9.5
	国分小学校区	71	4.2	21.1	69.0	5.6
	わからない	60	8.3	23.3	58.3	10.0
	無回答	13	7.7	23.1	53.8	15.4

11. 男女共同参画の推進

(1) 固定的性別役割分担に対する考え方 (問 29)

● 固定的性別役割分担に『同感派』は 31.8%、『非同感派』は 65.8%となっている。

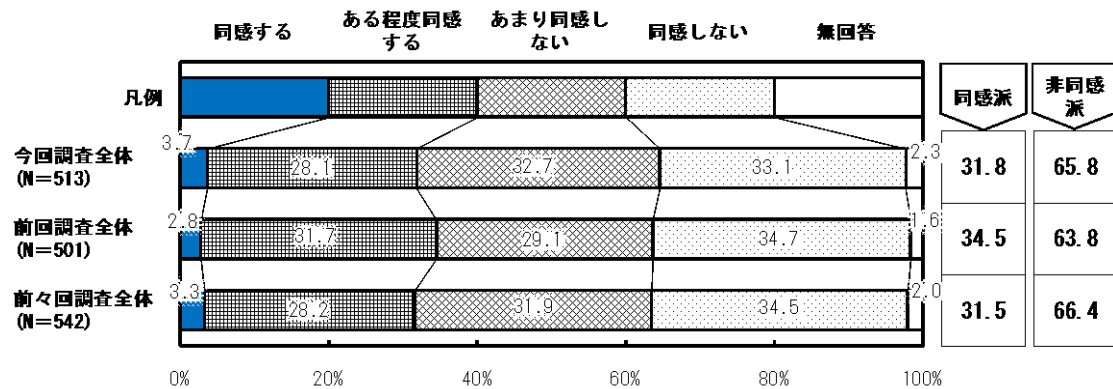
「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識に「同感する」は 3.7%、「ある程度同感する」は 28.1%でこれらを合わせた『同感派』は 31.8%である。一方、「同感しない」(33.1%)と「あまり同感しない」(32.7%)を合わせた『非同感派』は 65.8%である。

経年比較でみると、前回調査と比べ、『同感派』はやや減少し、前々回調査と同程度となっている。

性別・年代別でみると『非同感派』は男性 20 歳代、女性 20 歳代、40 歳代、50 歳代では 7 割以上と高くなっている。

小学校区別にみると、水城西小学校区、国分小学校区で『非同感派』が 7 割以上と高い。

問 29. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。(○は1つ)



		標本数	同感する (%)	同感する程度 (%)	あまり同感しない (%)	同感しない (%)	無回答 (%)	同感派 (%)	非同感派 (%)
全体		513	3.7	28.1	32.7	33.1	2.3	31.8	65.8
性別	男性	214	4.7	30.8	31.8	29.4	3.3	35.5	61.2
	女性	293	3.1	26.3	33.8	35.2	1.7	29.4	69.0
	無回答	6	-	16.7	16.7	66.7	-	16.7	83.4
性別×年代別	男性:20歳代	16	6.3	18.8	37.5	37.5	-	25.1	75.0
	男性:30歳代	34	5.9	23.5	29.4	38.2	2.9	29.4	67.6
	男性:40歳代	38	2.6	31.6	36.8	26.3	2.6	34.2	63.1
	男性:50歳代	29	3.4	34.5	20.7	37.9	3.4	37.9	58.6
	男性:60歳代	58	8.6	24.1	31.0	29.3	6.9	32.7	60.3
	男性:70歳以上	39	-	48.7	35.9	15.4	-	48.7	51.3
	女性:20歳代	28	-	28.6	28.6	42.9	-	28.6	71.5
	女性:30歳代	48	2.1	37.5	27.1	33.3	-	39.6	60.4
	女性:40歳代	51	2.0	25.5	35.3	37.3	-	27.5	72.6
	女性:50歳代	49	2.0	16.3	26.5	49.0	6.1	18.3	75.5
	女性:60歳代	75	2.7	28.0	36.0	30.7	2.7	30.7	66.7
	女性:70歳以上	41	9.8	22.0	46.3	22.0	-	31.8	68.3
	無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	100.0
	小学校区別	太宰府小学校区	61	8.2	23.0	27.9	39.3	1.6	31.2
太宰府東小学校区		50	4.0	38.0	36.0	22.0	-	42.0	58.0
太宰府南小学校区		44	-	34.1	31.8	31.8	2.3	34.1	63.6
水城西小学校区		61	3.3	27.9	31.1	32.8	4.9	31.2	63.9
水城西小学校区		69	-	18.8	47.8	31.9	1.4	18.8	79.7
太宰府西小学校区		84	4.8	29.8	32.1	31.0	2.4	34.6	63.1
国分小学校区		71	-	28.2	28.2	42.3	1.4	28.2	70.5
わからない		60	6.7	25.0	28.3	35.0	5.0	31.7	63.3
無回答		13	15.4	46.2	23.1	15.4	-	61.6	38.5

(2) 男女間の地位の平等感 (問 30)

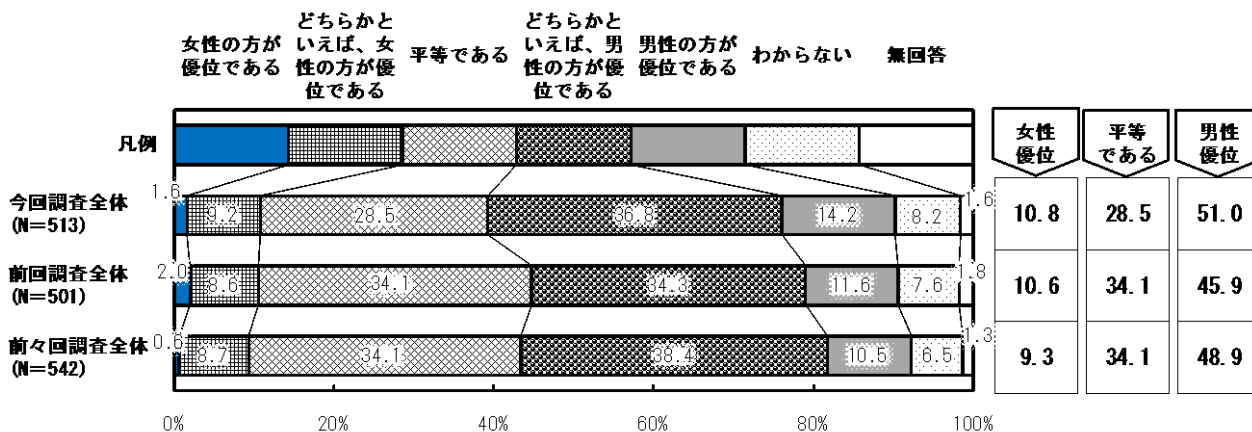
●男女の地位の平等感は「平等である」が28.5%で、『男性優位』が5割以上となっている。

普段の生活の中での男女間の地位の平等について「平等である」は28.5%で、「女性の方が優位である」(1.6%)と「どちらかといえば、女性の方が優位である」(9.2%)を合わせた『女性優位』は10.8%、「男性の方が優位である」(14.2%)と「どちらかといえば、男性の方が優位である」(36.8%)を合わせた『男性優位』は51.0%となっている。

経年比較でみると、『男性優位』が前回調査と比べ、増加している。

性別・年代別にみると、男性の20歳代と70歳以上では『平等である』の割合が高いが、他の年代では『男性優位』の方が高く、特に女性では『男性優位』の割合が高い。

問 30. あなたは普段の生活の中で、男女間の地位の平等について、どのように思いますか。(〇は1つ)



		標本数	優女性の方が	優女性の方が	どちらかといえば、女性の方が	平等である	どちらかといえば、男性の方が	優男性の方が	わからない	無回答	女性優位	男性優位
全体		513	8	47	146	189	73	42	8	55	262	
		100.0	1.6	9.2	28.5	36.8	14.2	8.2	1.6	10.8	51.0	
性別×年代別	男性:20歳代	16	6.3	12.5	43.8	25.0	6.3	6.3	-	18.8	31.3	
	男性:30歳代	34	2.9	14.7	26.5	38.2	5.9	8.8	2.9	17.6	44.1	
	男性:40歳代	38	5.3	21.1	28.9	26.3	5.3	10.5	2.6	26.4	31.6	
	男性:50歳代	29	3.4	6.9	31.0	31.0	3.4	24.1	-	10.3	34.4	
	男性:60歳代	58	-	12.1	37.9	29.3	13.8	3.4	3.4	12.1	43.1	
	男性:70歳以上	39	-	12.8	51.3	28.2	5.1	2.6	-	12.8	33.3	
	女性:20歳代	28	-	3.6	25.0	35.7	14.3	21.4	-	3.6	50.0	
	女性:30歳代	48	-	10.4	22.9	35.4	20.8	10.4	-	10.4	56.2	
	女性:40歳代	51	2.0	2.0	13.7	47.1	25.5	7.8	2.0	4.0	72.6	
	女性:50歳代	49	2.0	8.2	22.4	46.9	12.2	4.1	4.1	10.2	59.1	
女性:60歳代	75	-	6.7	26.7	37.3	21.3	6.7	1.3	6.7	58.6		
女性:70歳以上	41	-	4.9	24.4	48.8	19.5	2.4	-	4.9	68.3		
無回答	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-		
小学校区別	太宰府小学校区	61	1.6	8.2	29.5	39.3	14.8	6.6	-	9.8	54.1	
	太宰府東小学校区	50	2.0	16.0	24.0	44.0	8.0	6.0	-	18.0	52.0	
	太宰府南小学校区	44	2.3	4.5	34.1	25.0	13.6	18.2	2.3	6.8	38.6	
	水城小学校区	61	3.3	9.8	29.5	34.4	9.8	9.8	3.3	13.1	44.2	
	水城西小学校区	69	-	11.6	24.6	42.0	10.1	10.1	1.4	11.6	52.1	
	太宰府西小学校区	84	-	7.1	26.2	46.4	16.7	2.4	1.2	7.1	63.1	
	国分小学校区	71	-	9.9	32.4	33.8	18.3	5.6	-	9.9	52.1	
	わからない	60	5.0	6.7	30.0	25.0	18.3	10.0	5.0	11.7	43.3	
	無回答	13	-	7.7	23.1	30.8	23.1	15.4	-	7.7	53.9	



12. 生涯学習の推進

(1) 生涯学習活動の取り組み状況 (問 31)

●生涯学習の『週1回以上の実施率』は15.0%である。

生涯学習活動の取り組みについて「ほとんど取り組んでいない」が64.7%で最も多い。「ほぼ毎日取り組んでいる」(6.8%)や「週に1回程度取り組んでいる」(8.2%)を合わせた『週1回以上の実施率』は15.0%である。

経年比較でみると、『週1回以上の実施率』は前回調査に比べやや減少し、前々回調査と同程度となっている。

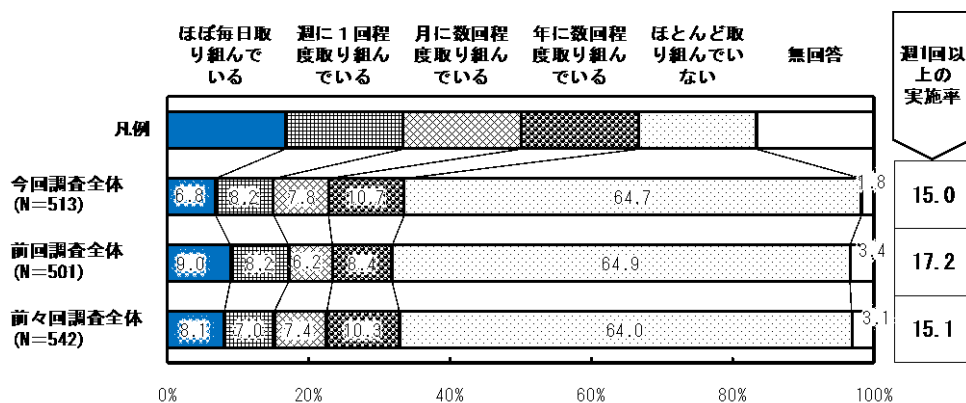
性別でみると、男性では『週1回以上の実施率』が17.2%と女性(13.0%)と比べやや高くなっている。

年代別にみると『週1回以上の実施率』は年齢が高い層で高く、「ほとんど取り組んでいない」は20歳代、30歳代で高くなっている。

小学校区別でみると、太宰府南小学校区では『週1回以上の実施率』が2割を超えている。

問 31. あなたは日頃から学習テーマを持って生涯学習活動に取り組んでいますか。

(○は1つ)



	標本数	ほぼ毎日取り組んでいる (%)	週に1回程度取り組んでいる (%)	月に数回程度取り組んでいる (%)	年に数回程度取り組んでいる (%)	ほとんど取り組んでいない (%)	無回答 (%)	実施率1回以上の (%)
全体	513	6.8	8.2	10.7	10.7	64.7	1.8	15.0
性別								
男性	214	9.3	7.9	7.0	10.3	63.6	1.9	17.2
女性	293	4.8	8.2	8.5	10.9	66.2	1.4	13.0
無回答	6	16.7	16.7	-	16.7	33.3	16.7	33.4
年代別								
20歳代	44	9.1	6.8	-	13.6	70.5	-	15.9
30歳代	82	4.9	1.2	6.1	11.0	76.8	-	6.1
40歳代	89	4.5	9.0	5.6	11.2	69.7	-	13.5
50歳代	79	11.4	6.3	7.6	10.1	59.5	5.1	17.7
60歳代	134	5.2	11.2	8.2	6.7	66.4	2.2	16.4
70歳以上	82	8.5	12.2	15.9	14.6	47.6	1.2	20.7
無回答	3	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-
小学校区別								
太宰府小学校区	61	11.5	6.6	3.3	18.0	59.0	1.6	18.1
太宰府東小学校区	50	4.0	10.0	6.0	10.0	70.0	-	14.0
太宰府南小学校区	44	11.4	11.4	9.1	6.8	59.1	2.3	22.8
水城小学校区	61	9.8	6.6	8.2	11.5	57.4	6.6	16.4
水城西小学校区	69	5.8	10.1	10.1	10.1	63.8	-	15.9
太宰府西小学校区	84	7.1	6.0	9.5	9.5	66.7	1.2	13.1
国分小学校区	71	1.4	8.5	5.6	8.5	76.1	-	9.9
わからない	60	6.7	6.7	10.0	10.0	63.3	3.3	13.4
無回答	13	-	15.4	7.7	15.4	61.5	-	15.4

(2) 運動・スポーツの実施頻度 (問 32)

●運動・スポーツの『週1回以上』の実施率は37.2%、50歳代以上で4割以上と高い。

運動・スポーツを行う頻度について「ほとんど行っていない」が40.9%で最も高い。次いで「ほぼ毎日行っている」が11.1%、「週に2回程度行っている」が17.3%で、『週に1回以上の実施率』は37.2%となっている。

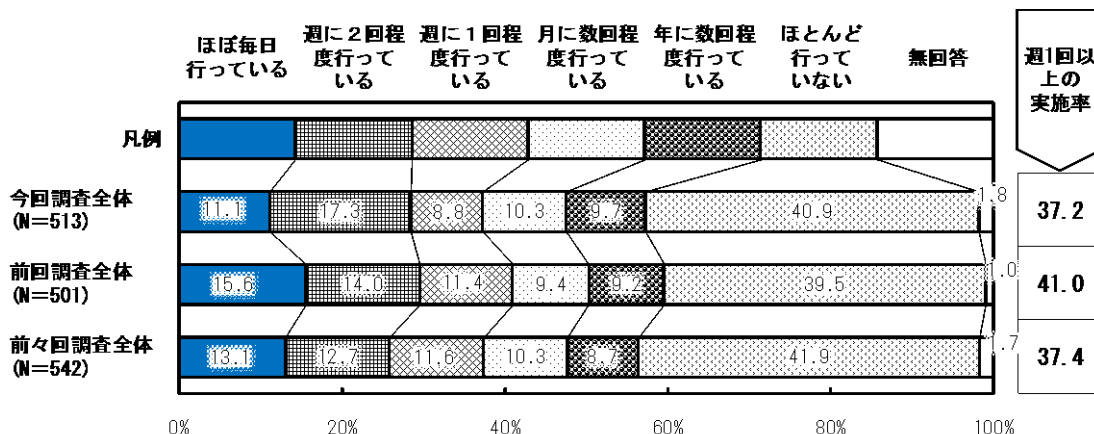
経年比較でみると、前回調査より実施率はやや下がっているが大きな変化は少なく、前々回調査と同様の結果となっている。

性別でみると、男性では『週1回以上の実施率』が41.1%と女性(34.5%)より高くなっている。

年代別みると、『週に1回以上』は50歳代以上では4割以上と年齢が高い層で高くなる傾向にある。「ほとんど行っていない」は30歳代で56.1%と最も高い。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区で『週に1回以上』が5割以上と他の小学校区と比べ高い。

問 32. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)



		標本数	ほぼ毎日行っている	週に2回程度行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	週1回以上の実施率
全体		513	57	89	45	53	50	210	9	191
		513.0	11.1	17.3	8.8	10.3	9.7	40.9	1.8	37.2
性別	男性	214	12.6	21.0	7.5	15.4	10.3	31.8	1.4	41.1
	女性	293	10.2	14.7	9.6	6.8	9.6	47.4	1.7	34.5
	無回答	6	-	16.7	16.7	-	-	50.0	16.7	33.4
年代別	20歳代	44	9.1	13.6	6.8	18.2	13.6	38.6	-	29.5
	30歳代	82	-	3.7	13.4	12.2	13.4	56.1	1.2	17.1
	40歳代	89	6.7	12.4	5.6	15.7	13.5	46.1	-	24.7
	50歳代	79	13.9	17.7	8.9	3.8	8.9	43.0	3.8	40.5
	60歳代	134	11.2	23.1	9.7	9.7	7.5	36.6	2.2	44.0
	70歳以上	82	24.4	28.0	7.3	6.1	4.9	28.0	1.2	59.7
	無回答	3	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3	66.6
小学校区別	太宰府小学校区	61	9.8	19.7	6.6	13.1	4.9	45.9	-	36.1
	太宰府東小学校区	50	6.0	24.0	10.0	10.0	12.0	38.0	-	40.0
	太宰府南小学校区	44	22.7	29.5	2.3	9.1	9.1	22.7	4.5	54.5
	水城小学校区	61	8.2	14.8	6.6	6.6	16.4	42.6	4.9	29.6
	水城西小学校区	69	8.7	11.6	11.6	8.7	14.5	44.9	-	31.9
	太宰府西小学校区	84	15.5	16.7	9.5	13.1	2.4	41.7	1.2	41.7
	国分小学校区	71	8.5	16.9	12.7	11.3	8.5	40.8	1.4	38.1
	わからない	60	10.0	10.0	8.3	10.0	10.0	50.0	1.7	28.3
	無回答	13	15.4	23.1	7.7	7.7	23.1	15.4	7.7	46.2

13. 文化芸術の振興（問 33）

●文化芸術活動について「年に数回程度」の実施が主である。

日頃から文化芸術活動をしているかどうかたずねたところ、「ほとんど行っていない」が 49.7%で最も高い。実施程度としては「年に数回程度行っている」（32.4%）が最も多いが、「ほぼ毎日行っている」、「週に1回程度行っている」、「月に数回程度行っている」を合わせた『月数回以上の実施率』は 17.1%となっている。

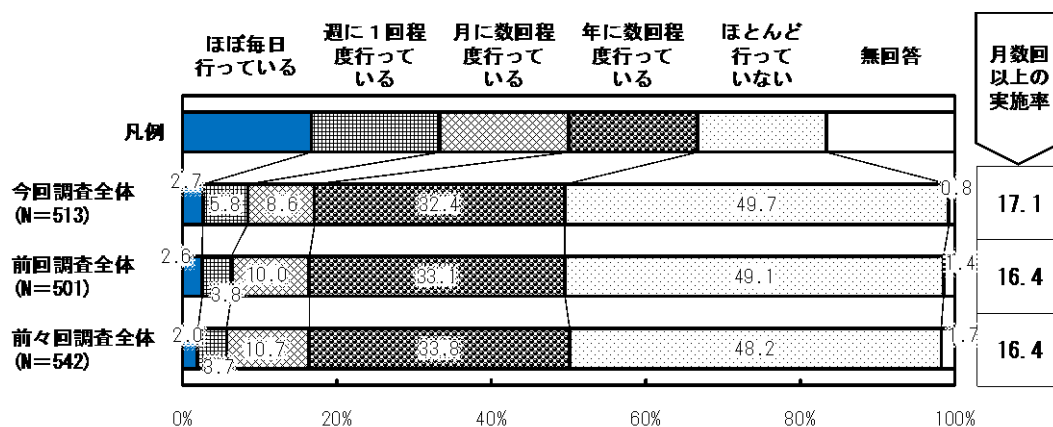
経年比較でみると、これまでの調査とほぼ同様の結果となっている。

性別にみると、男性は「ほとんど行っていない」が 54.7%と女性（46.4%）より高く、女性の方が文化芸術活動を行っている割合が高い。

年代別にみると、20歳代と60歳代以上で『月数回以上の実施率』が2割以上と高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区と太宰府南小学校区では『月数回以上の実施率』が2割以上と高い。

問 33. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。（○は1つ）



		標本数	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	のい上月割る行数合市つ回民て以
全体		513	14	30	44	166	255	4	88
性別		100.0	2.7	5.8	8.6	32.4	49.7	0.8	17.1
男	性	214	3.7	4.7	7.0	29.4	54.7	0.5	15.4
女	性	293	2.0	6.1	9.9	34.5	46.4	1.0	18.0
	無回答	6	-	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3
年代別		44	4.5	4.5	11.4	29.5	50.0	-	20.4
20歳代		82	1.2	1.2	4.9	19.5	73.2	-	7.3
30歳代		89	2.2	3.4	9.0	33.7	51.7	-	14.6
40歳代		79	1.3	6.3	2.5	34.2	53.2	2.5	10.1
50歳代		134	2.2	9.7	10.4	39.6	36.6	1.5	22.3
60歳代		82	6.1	6.1	13.4	31.7	42.7	-	25.6
70歳以上		3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3
小学校区別		61	4.9	9.8	9.8	27.9	47.5	-	24.5
太宰府小学校区		50	4.0	8.0	6.0	48.0	34.0	-	18.0
太宰府東小学校区		44	6.8	9.1	11.4	29.5	40.9	2.3	27.3
太宰府南小学校区		61	3.3	3.3	8.2	36.1	47.5	1.6	14.8
水城小学校区		69	1.4	4.3	7.2	30.4	56.5	-	12.9
水城西小学校区		84	2.4	6.0	9.5	27.4	53.6	1.2	17.9
太宰府西小学校区		71	-	5.6	5.6	29.6	59.2	-	11.2
国分小学校区		60	-	1.7	11.7	38.3	46.7	1.7	13.4
わからない		13	7.7	7.7	7.7	15.4	61.5	-	23.1
無回答									

14. 生活環境の向上

(1) 自宅周辺の衛生環境 (問 34)

●約8割の人が自宅周辺の衛生環境を肯定的にとらえている。

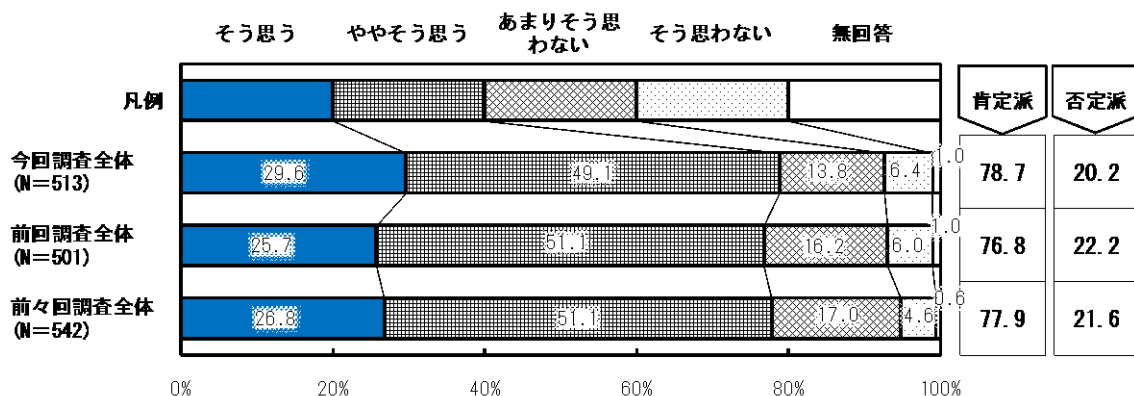
自宅周辺の環境が衛生的であるかどうかについて「そう思う」が 29.6%、「ややそう思う」が 49.1%となっており、合わせた『肯定派』は 78.7%となっている。一方、「そう思わない」(6.4%)と「あまりそう思わない」(13.8%)を合わせた『否定派』は 20.2%である。

前回調査と比較すると、『肯定派』が 1.9 ポイント増加、『否定派』が 2 ポイント減少している。

年代別にみると、50 歳代で『肯定派』が 88.6%と最も高くなっている。

小学校区別にみると、水城小学校区で『否定派』が 26.3%と他の小学校区と比べてやや高くなっている。

問 34. あなたは自宅周辺の環境は清潔で衛生的だと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		513	29.6	49.1	13.8	6.4	1.0	78.7	20.2
性別	男性	214	28.5	50.0	14.0	6.5	0.9	78.5	20.5
	女性	293	30.4	48.8	13.7	6.1	1.0	79.2	19.8
	無回答	6	33.3	33.3	16.7	16.7	-	66.6	33.4
年代別	20歳代	44	20.5	54.5	20.5	4.5	-	75.0	25.0
	30歳代	82	17.1	54.9	19.5	8.5	-	72.0	28.0
	40歳代	89	27.0	49.4	15.7	7.9	-	76.4	23.6
	50歳代	79	38.0	50.6	6.3	2.5	2.5	88.6	8.8
	60歳代	134	35.8	44.0	11.9	6.0	2.2	79.8	17.9
	70歳以上	82	31.7	46.3	13.4	8.5	-	78.0	21.9
	無回答	3	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	29.5	50.8	14.8	4.9	-	80.3	19.7
	太宰府東小学校区	50	34.0	48.0	16.0	2.0	-	82.0	18.0
	太宰府南小学校区	44	43.2	45.5	6.8	2.3	2.3	88.7	9.1
	水城小学校区	61	23.0	47.5	14.8	11.5	3.3	70.5	26.3
	水城西小学校区	69	23.2	56.5	13.0	7.2	-	79.7	20.2
	太宰府西小学校区	84	39.3	47.6	6.0	6.0	1.2	86.9	12.0
	国分小学校区	71	26.8	49.3	19.7	4.2	-	76.1	23.9
	わからない	60	20.0	46.7	23.3	8.3	1.7	66.7	31.6
	無回答	13	30.8	46.2	-	23.1	-	77.0	23.1

(2) 環境マナーの順守 (問 35)

●地域の環境マナーは『守られている』と思う人は約7割。

地域での環境マナーについて「かなり守られている」が 13.8%、「ある程度守られている」が 53.8%とこれらを合わせた『守られている』とと思っている人は 67.6%となっている。一方、「ほとんど守られていない」は 7.2%で「あまり守られていない」(23.6%)を合わせた『守られていない』とと思っている人は 30.8%となっている。

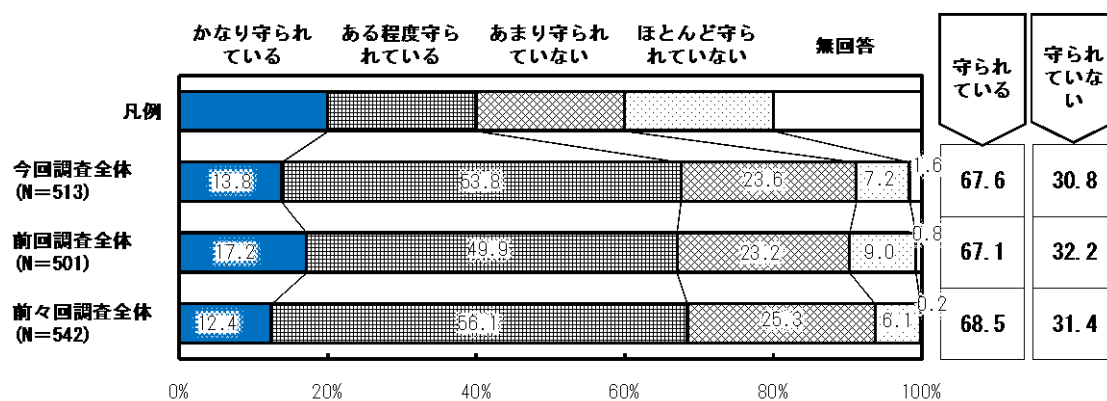
前回調査と比較すると、『守られていない』の割合は1.4ポイント減少している。

性別にみると、男性では『守られていない』が 33.6%と女性 (28.3%) と比べやや多くなっている。

年代別にみると、20 歳代、50 歳代で環境マナーが『守られている』と思う人が7割以上と多いが、その他の年代では『守られていない』が3割を超えている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区、太宰府西小学校区で『守られている』が7割以上と多くなっている。

問 35. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草など空き地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。（○は1つ）



	標本数	るら か れ な て り 守 り	い 守 あ る ら れ 程 度	なら あ い れ ま て り 守 り	い 守 ほ なら と い れ ん ど	無 回 答	い 守 ら れ て	い 守 ら れ て い な い
全体	513	71	276	121	37	8	347	158
	100.0	13.8	53.8	23.6	7.2	1.6	67.6	30.8
性別								
男性	214	13.6	50.9	25.7	7.9	1.9	64.5	33.6
女性	293	14.3	56.3	21.5	6.8	1.0	70.6	28.3
無回答	6	-	33.3	50.0	-	16.7	33.3	50.0
年代別								
20歳代	44	6.8	65.9	20.5	6.8	-	72.7	27.3
30歳代	82	14.6	53.7	23.2	8.5	-	68.3	31.7
40歳代	89	12.4	53.9	25.8	6.7	1.1	66.3	32.5
50歳代	79	11.4	65.8	13.9	6.3	2.5	77.2	20.2
60歳代	134	17.2	48.5	26.9	4.5	3.0	65.7	31.4
70歳以上	82	15.9	45.1	25.6	12.2	1.2	61.0	37.8
無回答	3	-	33.3	66.7	-	-	33.3	66.7
小学校区別								
太宰府小学校区	61	11.5	50.8	31.1	4.9	1.6	62.3	36.0
太宰府東小学校区	50	10.0	62.0	22.0	4.0	2.0	72.0	26.0
太宰府南小学校区	44	11.4	52.3	29.5	4.5	2.3	63.7	34.0
水城小学校区	61	18.0	49.2	24.6	8.2	-	67.2	32.8
水城西小学校区	69	14.5	52.2	20.3	11.6	1.4	66.7	31.9
太宰府西小学校区	84	20.2	56.0	20.2	2.4	1.2	76.2	22.6
国分小学校区	71	8.5	56.3	23.9	11.3	-	64.8	35.2
わからない	60	11.7	55.0	20.0	10.0	3.3	66.7	30.0
無回答	13	23.1	38.5	23.1	7.7	7.7	61.6	30.8

(3) 美化活動への参加状況 (問 36)

●地域の清掃活動に「いつも参加している」は約5割。年齢が上がるほど参加が多い。

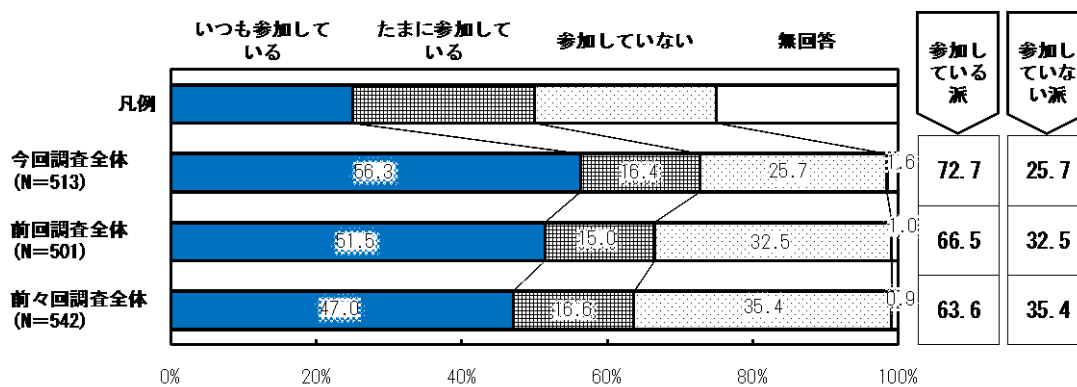
地域一斉の清掃活動への参加について「いつも参加している」が 56.3%で最も多い。次いで「参加していない」が 25.7%、「たまに参加している」が 16.4%となっている。

性別でみると、女性では『参加している派』が 76.1%と男性 (68.3%) と比べ、7.8 ポイント高くなっている。

年代別みると、40 歳以上では参加率が高く、60 歳代以上では「いつも参加している」の割合が 7 割以上と特に高い。反対に、30 歳代以下では『参加している派』の割合が 5 割に満たない。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区、太宰府南小学校区、太宰府西小学校区、国分小学校区では『参加している派』が 8 割以上と高くなっている。太宰府小学校区、水城小学校区では『参加していない派』が他の小学校区に比べて高い。

問 36. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。(○は1つ)



	標本数	(%)					
		いつも参加している	たまに参加している	参加していない	無回答	参加している派	参加していない派
全体	513	56.3	16.4	25.7	1.6	72.7	25.7
性別	男性	49.1	19.2	30.4	1.4	68.3	30.4
	女性	61.8	14.3	22.5	1.4	76.1	22.5
	無回答	50.0	16.7	16.7	16.7	66.7	16.7
年代別	20歳代	9.1	29.5	61.4	-	38.6	61.4
	30歳代	25.6	23.2	51.2	-	48.8	51.2
	40歳代	52.8	21.3	24.7	1.1	74.1	24.7
	50歳代	58.2	19.0	20.3	2.5	77.2	20.3
	60歳代	82.1	6.7	9.0	2.2	88.8	9.0
	70歳以上	74.4	9.8	13.4	2.4	84.2	13.4
	無回答	-	33.3	66.7	-	33.3	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	54.1	16.4	27.9	1.6	70.5	27.9
	太宰府東小学校区	62.0	24.0	10.0	4.0	86.0	10.0
	太宰府南小学校区	75.0	9.1	15.9	-	84.1	15.9
	水城小学校区	36.1	26.2	37.7	-	62.3	37.7
	水城西小学校区	62.3	17.4	18.8	1.4	79.7	18.8
	太宰府西小学校区	70.2	15.5	13.1	1.2	85.7	13.1
	国分小学校区	67.6	12.7	19.7	-	80.3	19.7
	わからない	21.7	11.7	63.3	3.3	33.4	63.3
	無回答	53.8	7.7	30.8	7.7	61.5	30.8

15. 自然共生社会の構築

(1) 自然の豊かさについて (問 37)

●約9割の人が太宰府市の自然は豊かであると感じている。

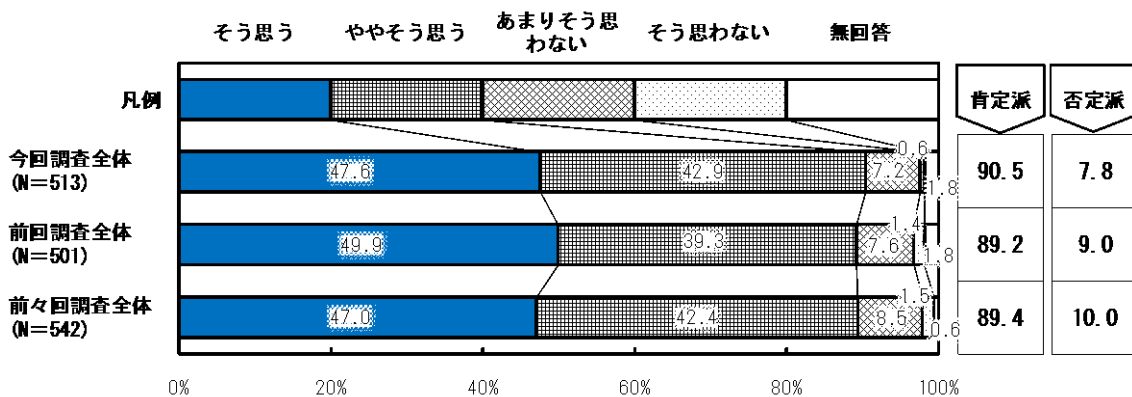
太宰府市の自然は豊かであるかどうかについて「そう思う」は 47.6%で最も多く、「ややそう思う」(42.9%)を合わせた『肯定派』は 90.5%と約9割を占める。「そう思わない」(0.6%)と「あまりそう思わない」(7.2%)を合わせた『否定派』は 7.8%である。

経年比較でみると、『否定派』は減少傾向にある。

性別でみると、男性では『否定派』が 10.7%であるのに対し、女性は 5.8%と少なくなっている。

年代別にみると、20歳代は『否定派』が 11.4%と他の年代と比べてやや多い。

問 37. あなたは太宰府市の自然は豊かであると感じますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		513	244	220	37	3	9	464	40
		100.0	47.6	42.9	7.2	0.6	1.8	90.5	7.8
性別	男性	214	41.6	45.3	9.3	1.4	2.3	86.9	10.7
	女性	293	51.9	41.3	5.8	-	1.0	93.2	5.8
	無回答	6	50.0	33.3	-	-	16.7	83.3	-
年代別	20歳代	44	45.5	43.2	9.1	2.3	-	88.7	11.4
	30歳代	82	43.9	48.8	7.3	-	-	92.7	7.3
	40歳代	89	55.1	36.0	6.7	1.1	1.1	91.1	7.8
	50歳代	79	41.8	50.6	5.1	-	2.5	92.4	5.1
	60歳代	134	49.3	38.8	7.5	0.7	3.7	88.1	8.2
	70歳以上	82	45.1	45.1	8.5	-	1.2	90.2	8.5
	無回答	3	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	54.1	36.1	6.6	1.6	1.6	90.2	8.2
	太宰府東小学校区	50	40.0	50.0	6.0	2.0	2.0	90.0	8.0
	太宰府南小学校区	44	36.4	52.3	9.1	-	2.3	88.7	9.1
	水城小学校区	61	63.9	29.5	3.3	1.6	1.6	93.4	4.9
	水城西小学校区	69	44.9	44.9	8.7	-	1.4	89.8	8.7
	太宰府西小学校区	84	46.4	44.0	8.3	-	1.2	90.4	8.3
	国分小学校区	71	45.1	50.7	4.2	-	-	95.8	4.2
	わからない	60	46.7	38.3	11.7	-	3.3	85.0	11.7
	無回答	13	46.2	38.5	7.7	-	7.7	84.7	7.7

(2) 野鳥や昆虫などの観察場所について (問 38)

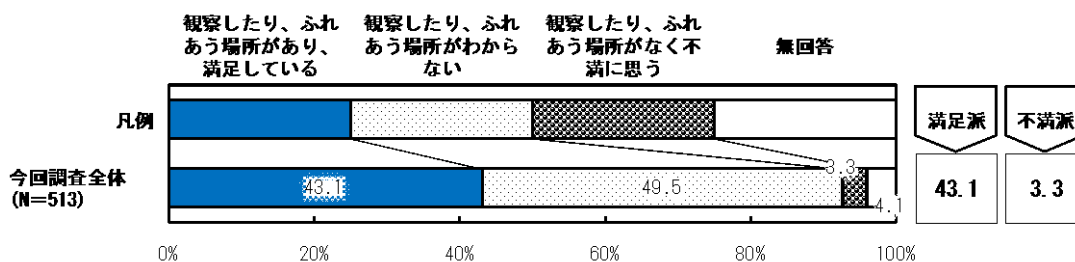
●野鳥や昆虫などの観察場所について、「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」が約4割となっている。

太宰府市内で野鳥や昆虫などを「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」とした人は43.1%で約4割を占める。「不満に思う」とした人は3.3%と少ない。一方で、「観察したり、ふれあう場所がわからない」とした人も約5割いる。

年代別にみると、「満足している」とする人の割合は20歳代、30歳代では3割台と他の年代に比べてやや低くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区、水城小学校区では「満足している」の割合が5割を超え、他の小学校区より多くなっている。

問 38. あなたは太宰府市内で、野鳥や昆虫などを観察したり、ふれあう場所がありますか。  
(○は1つ)



		標本数	観察したり、ふれあう場所があり、満足している (%)	観察したり、ふれあう場所がわからない (%)	観察したり、ふれあう場所がなく不満に思う (%)	無回答 (%)	満足派 (%)	不満派 (%)
全体		513	43.1	49.5	3.3	4.1	43.1	3.3
性別	男性	214	42.1	49.1	3.7	5.1	42.1	3.7
	女性	293	43.3	50.5	3.1	3.1	43.3	3.1
	無回答	6	66.7	16.7	-	16.7	66.7	-
年代別	20歳代	44	38.6	50.0	11.4	-	38.6	11.4
	30歳代	82	32.9	63.4	2.4	1.2	32.9	2.4
	40歳代	89	44.9	50.6	2.2	2.2	44.9	2.2
	50歳代	79	43.0	46.8	2.5	7.6	43.0	2.5
	60歳代	134	49.3	41.0	3.7	6.0	49.3	3.7
	70歳以上	82	42.7	52.4	1.2	3.7	42.7	1.2
	無回答	3	66.7	-	-	33.3	66.7	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	50.8	44.3	3.3	1.6	50.8	3.3
	太宰府東小学校区	50	32.0	60.0	2.0	6.0	32.0	2.0
	太宰府南小学校区	44	38.6	52.3	6.8	2.3	38.6	6.8
	水城小学校区	61	55.7	41.0	1.6	1.6	55.7	1.6
	水城西小学校区	69	31.9	60.9	5.8	1.4	31.9	5.8
	太宰府西小学校区	84	48.8	44.0	2.4	4.8	48.8	2.4
	国分小学校区	71	46.5	46.5	2.8	4.2	46.5	2.8
	わからない	60	33.3	53.3	3.3	10.0	33.3	3.3
	無回答	13	53.8	38.5	-	7.7	53.8	-



16. 循環型社会の構築（問 39）

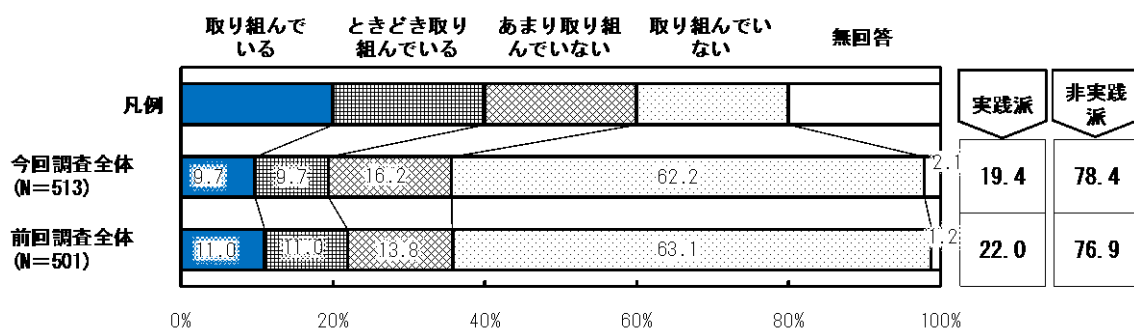
●堆肥化への取り組みに対し『実践派』は 19.4%、『非実践派』は 78.4%となっている。

日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいるかについて「取り組んでいる」の 9.7%と「ときどき取り組んでいる」(9.7%)を合わせた『実践派』は 19.4%となっている。一方、「取り組んでいない」の 62.2%と「あまり取り組んでいない」(16.2%)を合わせた『非実践派』は 78.4%となった。

前回調査と比較すると、『実践派』の割合が 2.6 ポイント減少となっている。

年代別にみると、20 歳代と 60 歳代以上では『実践派』の割合が高くなっている。

問 39. あなたは日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいますか。（○は1つ）



		標本数	で取 いり る組 ん	で取 いり る組 ん き	で取 あ いり ま り 組 り い ん	で取 い り な 組 い ん	無 回 答	実 践 派	非 実 践 派
全体		513	50	50	83	319	11	100	402
		100.0	9.7	9.7	16.2	62.2	2.1	19.4	78.4
性別	男性	214	11.7	8.4	12.6	65.0	2.3	20.1	77.6
	女性	293	7.8	10.6	19.1	60.8	1.7	18.4	79.9
	無回答	6	33.3	16.7	-	33.3	16.7	50.0	33.3
年代別	20歳代	44	11.4	9.1	13.6	65.9	-	20.5	79.5
	30歳代	82	3.7	3.7	12.2	79.3	1.2	7.4	91.5
	40歳代	89	3.4	11.2	16.9	66.3	2.2	14.6	83.2
	50歳代	79	3.8	7.6	16.5	68.4	3.8	11.4	84.9
	60歳代	134	14.2	9.7	17.9	55.2	3.0	23.9	73.1
	70歳以上	82	20.7	15.9	18.3	43.9	1.2	36.6	62.2
	無回答	3	-	33.3	-	66.7	-	33.3	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	61	8.2	6.6	14.8	68.9	1.6	14.8	83.7
	太宰府東小学校区	50	12.0	6.0	24.0	56.0	2.0	18.0	80.0
	太宰府南小学校区	44	9.1	13.6	18.2	54.5	4.5	22.7	72.7
	水城小学校区	61	14.8	8.2	14.8	60.7	1.6	23.0	75.5
	水城西小学校区	69	10.1	8.7	15.9	62.3	2.9	18.8	78.2
	太宰府西小学校区	84	11.9	9.5	15.5	61.9	1.2	21.4	77.4
	国分小学校区	71	4.2	16.9	21.1	57.7	-	21.1	78.8
	わからない	60	6.7	10.0	5.0	75.0	3.3	16.7	80.0
	無回答	13	15.4	-	23.1	53.8	7.7	15.4	76.9

17. 低炭素社会の構築

(1) 省エネルギー・省資源の活動について (問 40)

●省エネルギー・資源活動を行っている人は約8割となっている。

節電や節水、エコバックや簡易包装に日頃から行っているかどうかについて「行っている」は33.9%、「ある程度行っている」が47.6%でこれらを合わせた『実践派』は81.5%と約8割を占めている。「ほとんど行っていない」は5.7%とわずかで「あまり行っていない」(11.3%)を合わせた『非実践派』は17.0%である。

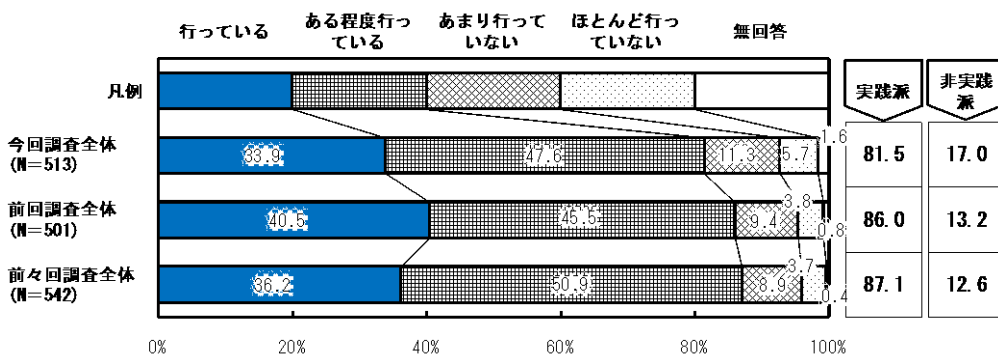
前回調査と比較すると、「行っている」は6.6ポイント減少しており『実践派』は4.5ポイント減少している。

性別でみると、『実践派』の割合は男性が73.9%に対し、女性は87.0%となっており、女性の方が13.1ポイント高くなっている。

年代別でみると、『実践派』は60歳代以上で特に割合が高く、20歳代では『非実践派』が約4割と高くなっている。

小学校区別でみると、水城小学校区で『非実践派』が約2割と他地区と比べやや高い。

問 40. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）を行っていますか。(○は1つ)



	標本数	行っている (%)	ある程度行っている (%)	ほとんど行っている (%)	あまり行っていない (%)	ほとんど行っていない (%)	無回答 (%)	実践派 (%)	非実践派 (%)
全体	513	33.9	47.6	11.3	5.7	1.6	81.5	17.0	
性別									
男性	214	29.0	44.9	15.4	8.9	1.9	73.9	24.3	
女性	293	37.9	49.1	8.5	3.4	1.0	87.0	11.9	
無回答	6	16.7	66.7	-	-	16.7	83.4	-	
年代別									
20歳代	44	18.2	40.9	25.0	15.9	-	59.1	40.9	
30歳代	82	30.5	43.9	15.9	9.8	-	74.4	25.7	
40歳代	89	29.2	51.7	12.4	5.6	1.1	80.9	18.0	
50歳代	79	36.7	41.8	12.7	6.3	2.5	78.5	19.0	
60歳代	134	39.6	51.5	3.7	2.2	3.0	91.1	5.9	
70歳以上	82	39.0	50.0	9.8	-	1.2	89.0	9.8	
無回答	3	33.3	33.3	-	33.3	-	66.6	33.3	
小学校区別									
太宰府小学校区	61	27.9	57.4	8.2	4.9	1.6	85.3	13.1	
太宰府東小学校区	50	34.0	46.0	16.0	2.0	2.0	80.0	18.0	
太宰府南小学校区	44	27.3	59.1	11.4	-	2.3	86.4	11.4	
水城小学校区	61	29.5	47.5	11.5	11.5	-	77.0	23.0	
水城西小学校区	69	31.9	53.6	5.8	7.2	1.4	85.5	13.0	
太宰府西小学校区	84	44.0	44.0	8.3	2.4	1.2	88.0	10.7	
国分小学校区	71	38.0	42.3	15.5	4.2	-	80.3	19.7	
わからない	60	30.0	40.0	16.7	10.0	3.3	70.0	26.7	
無回答	13	46.2	23.1	7.7	15.4	7.7	69.3	23.1	

(2) 二酸化炭素削減や大気汚染対策の実践 (問 41)

●二酸化炭素排出削減や大気汚染防止のための活動を「ほぼ毎日行っている」人は5割以上である。

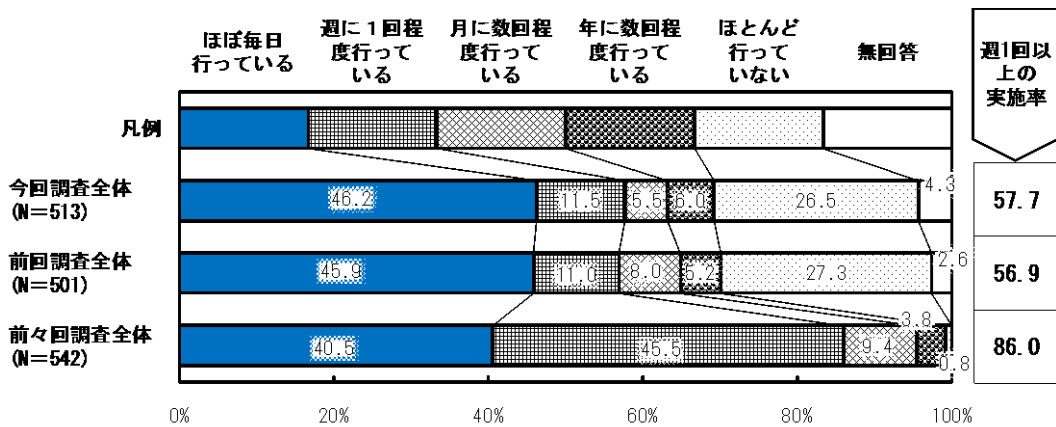
アイドリングストップや節電など二酸化炭素排出削減や大気汚染防止のための活動を「ほぼ毎日行っている」人は46.2%と最も多い。「週に1回程度行っている」(11.5%)を合わせた『週1回以上』の実施率は57.7%である。一方で、「ほとんど行っていない」は26.5%となっている。

経年比較でみると、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

年代別にみると、「ほとんど行っていない」は20歳代、30歳代でやや高く、実施率が低い傾向にある。

小学校区別でみると、水城小学校区、国分小学校区では「ほとんど行っていない」の割合が約3割と他の小学校区に比べやや多くなっている。

問 41. あなたは日頃からアイドリングストップや節電など、二酸化炭素排出削減や大気汚染防止のための活動を行っていますか。(○は1つ)



	標本数	ほぼ毎日行っている(実日実践して)	週1回程度行っている(実)	月に数回程度行っている(実)	年に数回程度行っている(実)	ほとんど行っていない(実践して)	無回答	週1回以上の実施率
全体	513	237	59	28	31	136	22	296
性別								
男性	214	41.6	13.6	7.5	7.5	27.6	2.3	55.2
女性	293	50.2	9.6	4.1	5.1	25.6	5.5	59.8
無回答	6	16.7	33.3	-	-	33.3	16.7	50.0
年代別								
20歳代	44	43.2	4.5	6.8	13.6	29.5	2.3	47.7
30歳代	82	42.7	11.0	9.8	4.9	31.7	-	53.7
40歳代	89	47.2	13.5	4.5	5.6	27.0	2.2	60.7
50歳代	79	57.0	10.1	2.5	3.8	21.5	5.1	67.1
60歳代	134	44.8	11.9	6.0	7.5	23.9	6.0	56.7
70歳以上	82	43.9	13.4	3.7	3.7	26.8	8.5	57.3
無回答	3	-	33.3	-	-	66.7	-	33.3
小学校区別								
太宰府小学校区	61	50.8	8.2	6.6	8.2	19.7	6.6	59.0
太宰府東小学校区	50	38.0	20.0	2.0	12.0	20.0	8.0	58.0
太宰府南小学校区	44	52.3	13.6	6.8	4.5	20.5	2.3	65.9
水城小学校区	61	45.9	14.8	1.6	1.6	34.4	1.6	60.7
水城西小学校区	69	50.7	5.8	10.1	4.3	26.1	2.9	56.5
太宰府西小学校区	84	51.2	8.3	6.0	6.0	23.8	4.8	59.5
国分小学校区	71	43.7	9.9	7.0	5.6	31.0	2.8	53.6
わからない	60	36.7	15.0	3.3	6.7	35.0	3.3	51.7
無回答	13	38.5	15.4	-	7.7	23.1	15.4	53.9

18. 環境教育・学習の推進（問 42）

●環境に関する学習会や講習会へ参加したことがある人は1割強となっている。

環境に関する学習会や講習会への参加状況について「参加したことはない」が83.8%で最も多い。「年に1回程度は参加している」（10.5%）や「年に2回以上は参加している」（3.7%）を合わせた『参加率』は14.2%である。

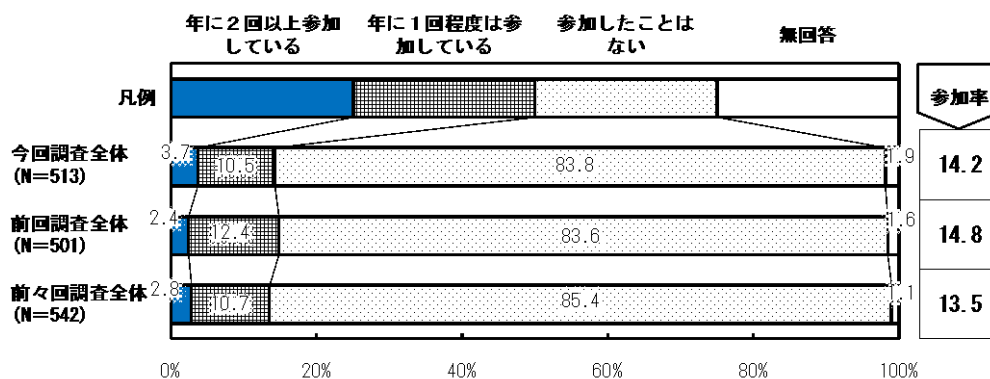
経年比較でみると、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

性別でみると、女性の「参加したことはない」は85.3%で男性（81.8%）よりも3.5ポイント高い。

年代別にみると、『参加率』は50歳代以上で他の年代と比べ高くなっている。

小学校区別でみると太宰府西小学校区では『参加率』が22.7%と他の小学校区に比べて高い。

問 42. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会等に参加したことがありますか。（○は1つ）



		標本数	い上年る参に加2し回て以	て度年いはに参1加回し程	と参加は加なしたこ	無回答	参加率
全体		513	19	54	430	10	73
		100.0	3.7	10.5	83.8	1.9	14.2
性別	男性	214	4.7	11.2	81.8	2.3	15.9
	女性	293	3.1	10.2	85.3	1.4	13.3
	無回答	6	-	-	83.3	16.7	-
年代別	20歳代	44	2.3	6.8	90.9	-	9.1
	30歳代	82	2.4	6.1	91.5	-	8.5
	40歳代	89	3.4	6.7	88.8	1.1	10.1
	50歳代	79	5.1	10.1	82.3	2.5	15.2
	60歳代	134	3.0	11.2	82.8	3.0	14.2
	70歳以上	82	6.1	20.7	69.5	3.7	26.8
	無回答	3	-	-	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	4.9	11.5	82.0	1.6	16.4
	太宰府東小学校区	50	2.0	16.0	80.0	2.0	18.0
	太宰府南小学校区	44	2.3	9.1	86.4	2.3	11.4
	水城小学校区	61	3.3	11.5	85.2	-	14.8
	水城西小学校区	69	5.8	7.2	84.1	2.9	13.0
	太宰府西小学校区	84	6.0	16.7	76.2	1.2	22.7
	国分小学校区	71	2.8	7.0	90.1	-	9.8
	わからない	60	1.7	6.7	88.3	3.3	8.4
	無回答	13	-	-	84.6	15.4	-

19. 未来に伝える景観づくり

(1) 美しい自然に対する意識 (問 43)

●市内の自然が美しいと感じている人は約8割となっている。

市内の自然は美しいと思うかどうかについて「そう思う」が25.7%、「どちらかと言えばそう思う」が57.7%となっており、合わせた『肯定派』は83.4%である。「そう思わない」(3.1%)と「どちらかと言えばそう思わない」(10.9%)を合わせた『否定派』は14.0%である。

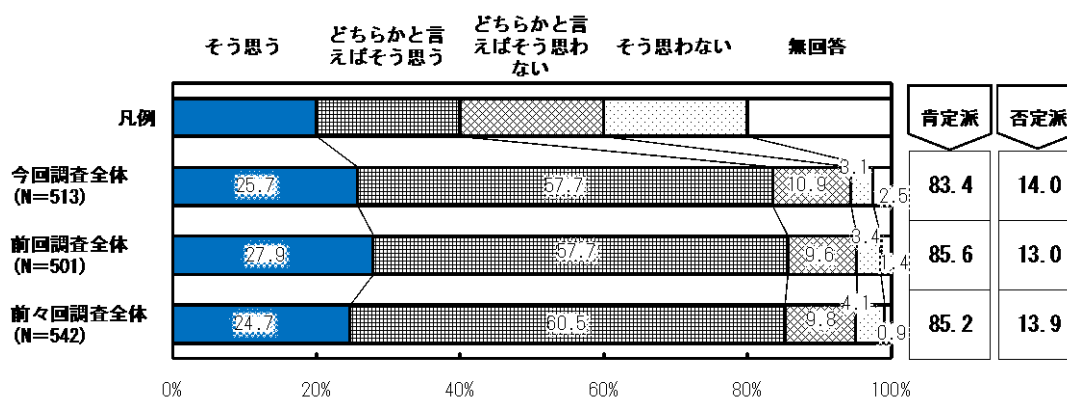
経年比較でみると、前回調査と比べ、『肯定派』は2.2%減少している。

性別でみると、『肯定派』は男性が78.0%、女性87.7%と、女性の方が高くなっている。

年代別にみると、50歳代で『肯定派』が93.7%と9割を超えている。

小学校区別にみると、国分小学校区で『肯定派』が9割を超えている。

問 43. あなたは市内の自然は美しいと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	思言ど うえち ばら そか うと	思言ど わえち なばら いそか うと	いそ う 思わ な	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		513	132	296	56	16	13	428	72
		100.0	25.7	57.7	10.9	3.1	2.5	83.4	14.0
性別	男性	214	22.4	55.6	14.0	4.7	3.3	78.0	18.7
	女性	293	28.0	59.7	8.5	2.0	1.7	87.7	10.5
	無回答	6	33.3	33.3	16.7	-	16.7	66.6	16.7
年代別	20歳代	44	29.5	56.8	11.4	2.3	-	86.3	13.7
	30歳代	82	23.2	59.8	13.4	2.4	1.2	83.0	15.8
	40歳代	89	24.7	58.4	12.4	3.4	1.1	83.1	15.8
	50歳代	79	26.6	67.1	-	1.3	5.1	93.7	1.3
	60歳代	134	26.9	53.0	10.4	5.2	4.5	79.9	15.6
	70歳以上	82	24.4	54.9	17.1	2.4	1.2	79.3	19.5
無回答		3	33.3	33.3	33.3	-	-	66.6	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	61	31.1	49.2	13.1	4.9	1.6	80.3	18.0
	太宰府東小学校区	50	20.0	66.0	12.0	-	2.0	86.0	12.0
	太宰府南小学校区	44	20.5	61.4	9.1	2.3	6.8	81.9	11.4
	水城小学校区	61	32.8	50.8	8.2	6.6	1.6	83.6	14.8
	水城西小学校区	69	30.4	53.6	5.8	7.2	2.9	84.0	13.0
	太宰府西小学校区	84	23.8	58.3	15.5	1.2	1.2	82.1	16.7
	国分小学校区	71	23.9	66.2	7.0	1.4	1.4	90.1	8.4
	わからない	60	25.0	53.3	16.7	1.7	3.3	78.3	18.4
無回答		13	7.7	76.9	7.7	-	7.7	84.6	7.7

(2) 美しい歴史的景観に対する意識 (問 44)

●歴史的な景観が美しいと感じている人は約9割となっている。

市内の歴史的な景観が美しいと思うかどうかについて「そう思う」が 46.0%、「どちらかと言えばそう思う」が 44.1%となっており、合わせた『肯定派』は 90.1%と約9割を占めている。「そう思わない」は 1.8%とわずかで、「どちらかと言えばそう思わない」(6.2%)を合わせても『否定派』は8.0%と少なくなっている。

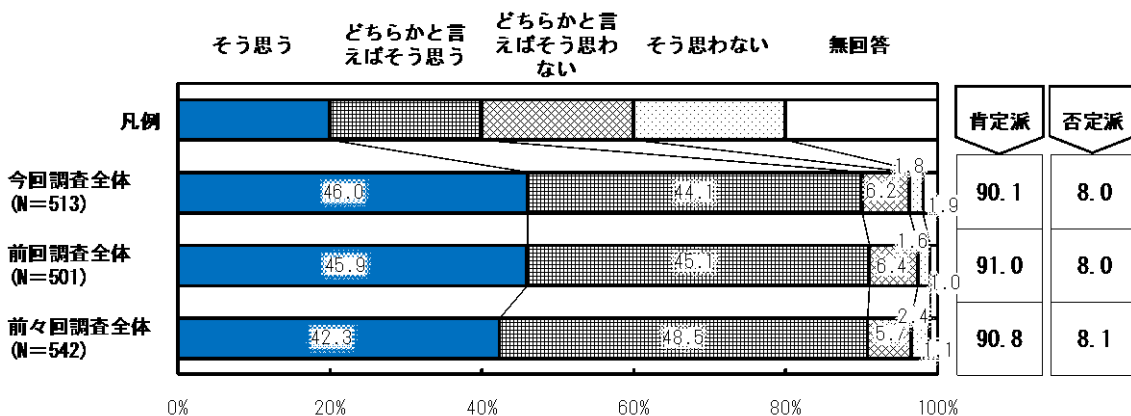
経年比較でみると、これまでの調査と同じく、『肯定派』は約9割となっている。

性別でみると、女性では『否定派』が4.7%に対し、男性は12.6%と7.9ポイント多くなっている。

年代別にみると、60歳代で『否定派』が11.2%と他の年代に比べ高い。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区で『否定派』が13.1%と他の小学校区と比べ高い。

問 44. あなたは史跡地・神社仏閣及びその周辺など、市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	思言ど うえち ばらそ うと	思言ど わえち らなそ うと	いそ う思 わな	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		513	236	226	32	9	10	462	41
性別									
男	性	214	42.5	43.0	8.9	3.7	1.9	85.5	12.6
女	性	293	48.1	45.4	4.4	0.3	1.7	93.5	4.7
	無回答	6	66.7	16.7	-	-	16.7	83.4	-
年代別									
20歳代		44	50.0	45.5	2.3	2.3	-	95.5	4.6
30歳代		82	42.7	48.8	4.9	3.7	-	91.5	8.6
40歳代		89	56.2	37.1	4.5	1.1	1.1	93.3	5.6
50歳代		79	40.5	48.1	6.3	1.3	3.8	88.6	7.6
60歳代		134	45.5	40.3	9.7	1.5	3.0	85.8	11.2
70歳以上		82	41.5	50.0	6.1	1.2	1.2	91.5	7.3
	無回答	3	66.7	-	-	-	33.3	66.7	-
小学校区別									
太宰府小学校区		61	50.8	39.3	6.6	1.6	1.6	90.1	8.2
太宰府東小学校区		50	42.0	48.0	8.0	-	2.0	90.0	8.0
太宰府南小学校区		44	36.4	52.3	6.8	2.3	2.3	88.7	9.1
水城小学校区		61	60.7	29.5	4.9	4.9	-	90.2	9.8
水城西小学校区		69	47.8	46.4	2.9	1.4	1.4	94.2	4.3
太宰府西小学校区		84	46.4	39.3	10.7	2.4	1.2	85.7	13.1
国分小学校区		71	45.1	49.3	4.2	1.4	-	94.4	5.6
わからない		60	40.0	48.3	5.0	-	6.7	88.3	5.0
	無回答	13	23.1	61.5	7.7	-	7.7	84.6	7.7

(3) 良好なまちなみに対する意識 (問 45)

●住んでいる地区のまちなみは良好だと思える人は約8割。

住んでいる地区のまちなみが良好だと思えるかどうかについて、「そう思う」が 24.2%、「どちらかと言えばそう思う」が 56.9%となっており、合わせた『肯定派』は 81.1%である。「そう思わない」は 2.7%で、「どちらかと言えばそう思わない」(14.2%)を合わせた『否定派』は 16.9%となっている。

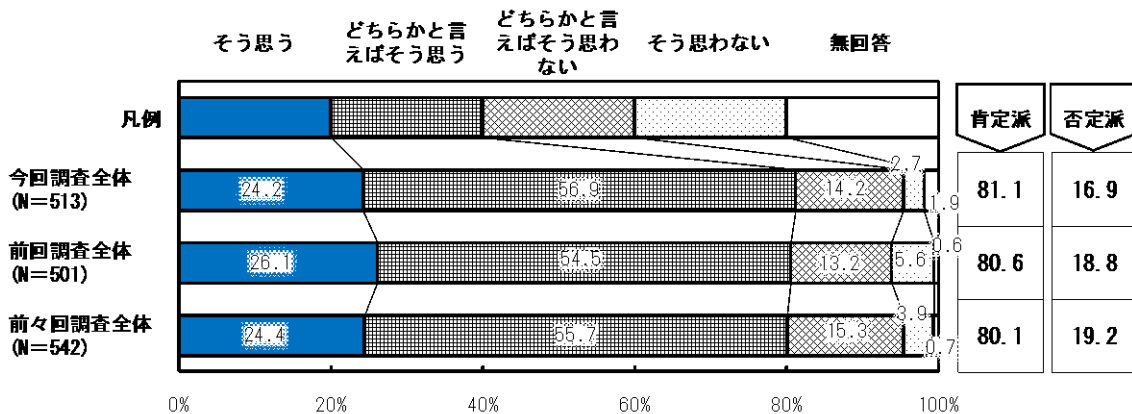
経年比較でみると、『肯定派』はやや増加傾向にある。

性別でみると、女性では『肯定派』が 85.0%で男性 (76.2%)を 8.8ポイント上回っている。

年代別にみると、20歳代で『肯定派』は約9割と最も高くなっている。

小学校区別では、水城西小学校区で『否定派』の割合が 20.2%と他の小学校区と比べやや高くなっている。

問 45. あなたが住んでいる地区は、良好なまちなみだと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		513	24.2	56.9	14.2	2.7	1.9	81.1	16.9
性別	男性	214	18.7	57.5	17.3	4.7	1.9	76.2	22.0
	女性	293	28.0	57.0	11.9	1.4	1.7	85.0	13.3
	無回答	6	33.3	33.3	16.7	-	16.7	66.6	16.7
年代別	20歳代	44	29.5	61.4	6.8	2.3	-	90.9	9.1
	30歳代	82	24.4	57.3	18.3	-	-	81.7	18.3
	40歳代	89	25.8	60.7	9.0	3.4	1.1	86.5	12.4
	50歳代	79	22.8	58.2	8.9	5.1	5.1	81.0	14.0
	60歳代	134	23.1	53.0	17.2	3.7	3.0	76.1	20.9
	70歳以上	82	22.0	54.9	20.7	1.2	1.2	76.9	21.9
	無回答	3	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	27.9	55.7	9.8	4.9	1.6	83.6	14.7
	太宰府東小学校区	50	22.0	62.0	10.0	4.0	2.0	84.0	14.0
	太宰府南小学校区	44	20.5	63.6	9.1	2.3	4.5	84.1	11.4
	水城西小学校区	61	32.8	47.5	14.8	4.9	-	80.3	19.7
	水城西小学校区	69	17.4	60.9	18.8	1.4	1.4	78.3	20.2
	太宰府西小学校区	84	25.0	57.1	15.5	1.2	1.2	82.1	16.7
	国分小学校区	71	22.5	62.0	14.1	1.4	-	84.5	15.5
	わからない	60	25.0	50.0	16.7	3.3	5.0	75.0	20.0
	無回答	13	23.1	46.2	23.1	-	7.7	69.3	23.1

20. 計画的なまちづくりの推進

(1) 住環境の快適さについての認識 (問 46)

●都市基盤が整備され快適な住環境であると思う人は約7割となっている。

住まい周辺の道路や公園などの都市基盤が整備され快適な住環境であるかどうかについて、「そう思う」が 18.7%、「どちらかと言えばそう思う」が 51.7%で、これらを合わせた『肯定派』は 70.4%となっている。一方、「そう思わない」(6.8%)と「どちらかと言えばそう思わない」(20.5%)を合わせた『否定派』は 27.3%となっている。

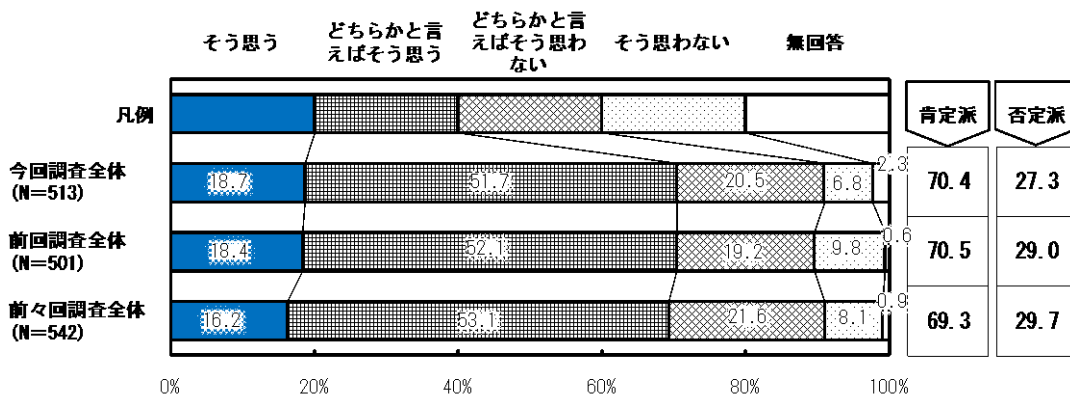
経年比較でみると、「そう思わない」の割合は 6.8%と前回(9.8%)から 3ポイント減少している。

性別でみると、『肯定派』は女性 69.3%に対して、男性は 72.0%と男性のほうがやや高い。

年代別にみると、『否定派』は 30歳代で3割を上回り、他の年代と比べやや高い。

小学校区別でみると、太宰府南小学校区と太宰府西小学校区では『肯定派』が8割以上と高い。

問 46. あなたのお住まいの周辺地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	そとど う思え らばか	なそとど いう言 えらわ ばか	なそ う思 わ	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		513	96	265	105	35	12	361	140
100.0			18.7	51.7	20.5	6.8	2.3	70.4	27.3
性別	男性	214	17.3	54.7	22.0	5.1	0.9	72.0	27.1
	女性	293	19.1	50.2	19.1	8.2	3.4	69.3	27.3
	無回答	6	50.0	16.7	33.3	-	-	66.7	33.3
年代別	20歳代	44	13.6	63.6	15.9	2.3	4.5	77.2	18.2
	30歳代	82	24.4	41.5	26.8	6.1	1.2	65.9	32.9
	40歳代	89	22.5	49.4	16.9	11.2	-	71.9	28.1
	50歳代	79	19.0	57.0	13.9	2.5	7.6	76.0	16.4
	60歳代	134	15.7	54.5	20.1	8.2	1.5	70.2	28.3
	70歳以上	82	14.6	50.0	28.0	7.3	-	64.6	35.3
	無回答	3	66.7	-	-	-	33.3	66.7	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	18.0	44.3	19.7	18.0	-	62.3	37.7
	太宰府東小学校区	50	8.0	56.0	26.0	6.0	4.0	64.0	32.0
	太宰府南小学校区	44	18.2	63.6	11.4	-	6.8	81.8	11.4
	水城小学校区	61	24.6	39.3	27.9	6.6	1.6	63.9	34.5
	水城西小学校区	69	24.6	50.7	14.5	8.7	1.4	75.3	23.2
	太宰府西小学校区	84	19.0	66.7	11.9	2.4	-	85.7	14.3
	国分小学校区	71	19.7	47.9	23.9	8.5	-	67.6	32.4
	わからない	60	13.3	45.0	30.0	5.0	6.7	58.3	35.0
	無回答	13	23.1	46.2	23.1	-	7.7	69.3	23.1



(2) 商業施設等の利便性に対する意識 (問 47)

●商業施設等が周辺にあり、利便性を感じている人は約7割となっている。

商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思うかについて、「そう思う」が29.0%、「どちらかと言えばそう思う」が41.3%でこれらを合わせた『肯定派』は70.3%である。「そう思わない」(9.9%)と「どちらかと言えばそう思わない」(18.3%)を合わせた『否定派』は28.2%である。

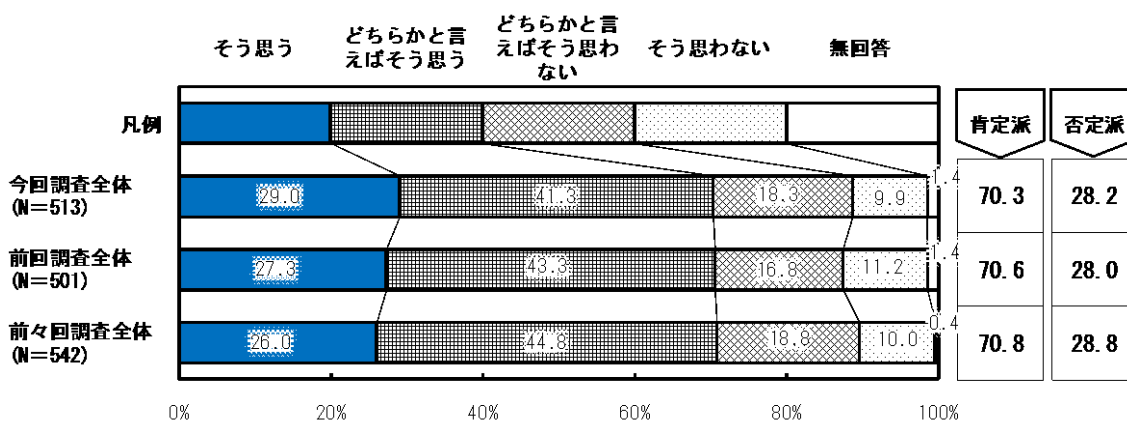
前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。

性別でみると、『肯定派』は男性では72.5%と女性(68.9%)より3.6ポイント高い。

年代別でみると、30歳代では『否定派』が他の年代と比べやや多い。

小学校区別でみると、『肯定派』は太宰府西小学校区で最も多くなっている。

問 47. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		513	149	212	94	51	7	361	145
		100.0	29.0	41.3	18.3	9.9	1.4	70.3	28.2
性別	男性	214	27.6	44.9	18.7	7.9	0.9	72.5	26.6
	女性	293	30.0	38.9	18.1	11.3	1.7	68.9	29.4
	無回答	6	33.3	33.3	16.7	16.7	-	66.6	33.4
年代別	20歳代	44	25.0	50.0	13.6	9.1	2.3	75.0	22.7
	30歳代	82	32.9	31.7	22.0	12.2	1.2	64.6	34.2
	40歳代	89	34.8	39.3	18.0	7.9	-	74.1	25.9
	50歳代	79	26.6	44.3	20.3	3.8	5.1	70.9	24.1
	60歳代	134	28.4	40.3	20.1	10.4	0.7	68.7	30.5
	70歳以上	82	25.6	45.1	13.4	15.9	-	70.7	29.3
	無回答	3	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	39.3	26.2	19.7	14.8	-	65.5	34.5
	太宰府東小学校区	50	22.0	48.0	16.0	10.0	4.0	70.0	26.0
	太宰府南小学校区	44	15.9	47.7	27.3	6.8	2.3	63.6	34.1
	水城小学校区	61	42.6	32.8	13.1	11.5	-	75.4	24.6
	水城西小学校区	69	27.5	43.5	14.5	13.0	1.4	71.0	27.5
	太宰府西小学校区	84	35.7	41.7	13.1	9.5	-	77.4	22.6
	国分小学校区	71	21.1	43.7	26.8	8.5	-	64.8	35.3
	わからない	60	21.7	51.7	16.7	6.7	3.3	73.4	23.4
	無回答	13	30.8	30.8	30.8	-	7.7	61.6	30.8

(3) 家の近くにあると便利だと思う施設（問47付問1）

問47S1. 家の近くにあると便利 だと思う施設	計	男性						女性						不明	
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	60歳代	70歳代
スーパー	35	1		2	2	4	2	2	5	1	4	7	4	1	
病院・総合病院・個人病院	31		1	4	3	4	2		4	4	2	3	4		
公園・スポーツ公園・歴史公園	25	2	2	3	1	4	1		4	2		4	2		
図書館	16		1	1	1	2		2	3	2	2	1	1		
コンビニ	16	1	2	1		2	2	3		2	3				
体育館・総合体育館	9	2			1		1		1		1	2	1		
スポーツクラブ・ジム	8	1		1	1	1			1		2	1			
銀行	7	1					1	1		1	1	1		1	
書店	7				1				1	1		3	1		
商店	7	1				1		1				3	1		
いきいき情報センター	6					2	1	1	1			1			
公民館	6		1			1	2	1					1		
イオンなどの大型商業施設	5								4		1				
プール	4	2		1						1					
小学校	4				1	1			1	1					
郵便局	4	1					1				1	1			
薬局・ドラッグストア	4			1	1				1		1				
スポーツ施設	3	1	1									1			
駅(JR)	3				1				1					1	
市役所出張所	3						1					1	1		
バスの便数	2											1	1		
まほろば号のバス停	2					1				1					
飲食店	2					1		1							
駅	2				1			1						1	
学校	2					1							1		
学習センター	2		1								1				
公共交通	2			2											
商店街	2				1			1							
西鉄ストア	2											2			
駐車場	2		1			1									
道の駅	2			1			1								
保育園	2				1							1			
温泉施設	2			1							1				
ATM	1									1					
ガソリンスタンド	1													1	
カルチャーセンター	1										1				
コンサートホール	1										1				
サンドラッグ	1				1										
ジム、レジャー、勉強場所等い ろんなことに使える施設（お 茶・料理・スポーツスクール）	1	1													
ダイソー	1												1		
バス停	1		1												
ハローディ	1					1									
ふれあい館	1												1		
ポスト	1			1											
ライブホール	1			1											
ルミナス	1										1				
レンタルビデオ	1								1						
衣料品店	1											1			
雨でも子供が遊べる場所	1								1						
映画館	1										1				
駅(西鉄)	1				1										
介護福祉施設	1									1					
吉松共同利用施設	1				1										
交番	1						1								
公衆電話	1					1									
市民センター	1										1				
紙、段ボールのリサイクルス テーション	1								1						
歯医者	1												1		
自動車専用道路	1		1												
集会場など集まれて明るい施設	1		1												
春日（大野城）方面に行くバス	1										1				
川の周りを人が歩けるように整 備されている所	1								1						
銭湯	1										1				
葬祭店	1					1									
太宰府館	1						1								
不燃物の処理場	1						1								
野外活動施設（キャンプ場な ど）	1			1											
幼稚園	1				1										
老人センター（風呂）	1													1	
計	265	14	13	21	20	29	18	13	31	18	30	33	21	3	

21. 地域交通体系の整備

(1) バスの利便性に対する意識 (問 48)

●バスの利便性について『肯定派』(39.2%)、『否定派』(30.2%)となっている。

市内のバス便が便利かどうかについて、利用者の中では「そう思う」が 14.6%、「どちらかと言えばそう思う」が 24.6%でこれらを合わせた『肯定派』は 39.2%、一方、「そう思わない」(16.6%)と「どちらかと言えばそう思わない」(13.6%)を合わせた『否定派』は 30.2%である。

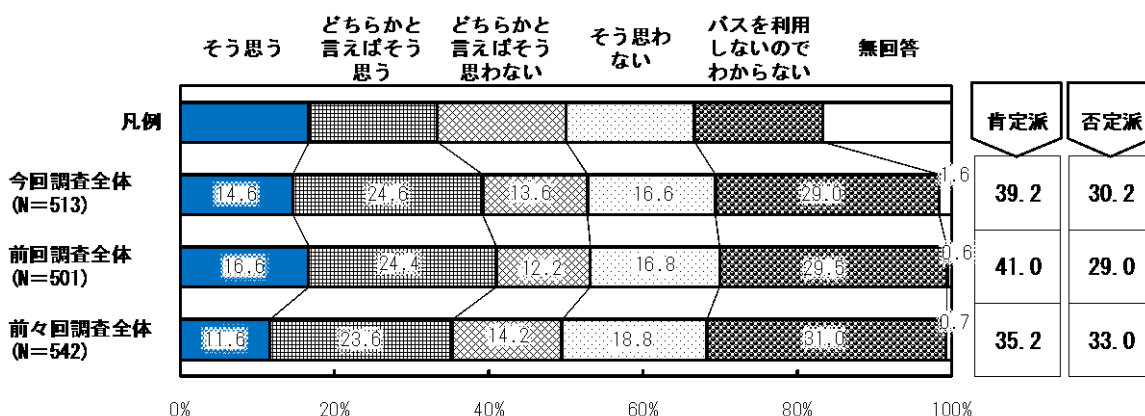
経年比較でみると、前回調査とほぼ同様の傾向となっている。

性別でみると、男性よりも女性で『肯定派』の割合がやや高い。

年代別でみると、20歳代と60歳以上では『肯定派』の割合が他の年代に比べて高い。

小学校区別みると、太宰府南小学校区では『肯定派』が 47.7%と最も高い。一方、太宰府東小学校区、太宰府西小学校区では『否定派』が 4割以上と高くなっている。

問 48. あなたは市内のバス便は便利だと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば そう思わ ない	そう思わ ない	バスを利用 しないので わからない	無回 答	肯定 派	否定 派
全体		513	75	126	70	85	149	8	201	155
		100.0	14.6	24.6	13.6	16.6	29.0	1.6	39.2	30.2
性別	男性	214	11.7	24.3	14.5	14.5	33.6	1.4	36.0	29.0
	女性	293	17.1	24.6	13.0	18.1	25.6	1.7	41.7	31.1
	無回答	6	-	33.3	16.7	16.7	33.3	-	33.3	33.4
年代別	20歳代	44	15.9	36.4	9.1	11.4	22.7	4.5	52.3	20.5
	30歳代	82	8.5	22.0	9.8	17.1	41.5	1.2	30.5	26.9
	40歳代	89	10.1	23.6	22.5	14.6	29.2	-	33.7	37.1
	50歳代	79	13.9	20.3	10.1	17.7	34.2	3.8	34.2	27.8
	60歳代	134	15.7	27.6	13.4	20.1	22.4	0.7	43.3	33.5
	70歳以上	82	24.4	22.0	13.4	13.4	25.6	1.2	46.4	26.8
	無回答	3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	66.6
小学校区別	太宰府小学校区	61	18.0	21.3	14.8	13.1	32.8	-	39.3	27.9
	太宰府東小学校区	50	6.0	32.0	22.0	20.0	18.0	2.0	38.0	42.0
	太宰府南小学校区	44	13.6	34.1	15.9	6.8	27.3	2.3	47.7	22.7
	水城小学校区	61	14.8	24.6	4.9	18.0	37.7	-	39.4	22.9
	水城西小学校区	69	14.5	18.8	5.8	20.3	37.7	2.9	33.3	26.1
	太宰府西小学校区	84	17.9	28.6	22.6	19.0	10.7	1.2	46.5	41.6
	国分小学校区	71	19.7	22.5	9.9	19.7	28.2	-	42.2	29.6
	わからない	60	8.3	18.3	15.0	10.0	45.0	3.3	26.6	25.0
	無回答	13	15.4	23.1	7.7	23.1	23.1	7.7	38.5	30.8

(2) 鉄道の利便性に対する意識 (問 49)

●鉄道の利便性について『肯定派』は6割を超えており、バスよりも利便性は高い。

市内の鉄道が便利かどうかについて「そう思う」が 28.8%、「どちらかと言えばそう思う」が 35.3%とこれらを合わせた『肯定派』が 64.1%となっている。一方、「そう思わない」(10.5%)と「どちらかと言えばそう思わない」(11.7%)を合わせた『否定派』は 22.2%となっている。

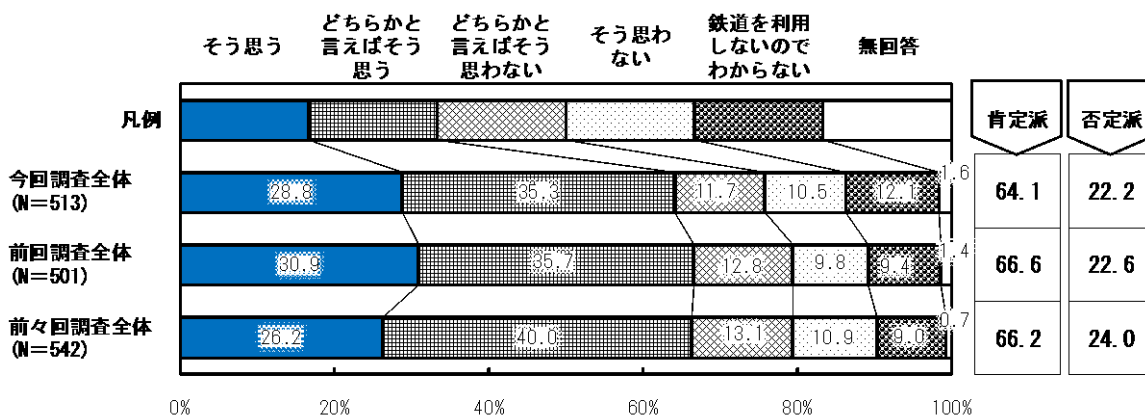
経年比較でみると、前回調査と比べ『肯定派』が 2.5 ポイント減少している。

性別でみると、男性では『否定派』が 24.7%と、女性 (20.2%) に比べやや多くなっている。

年代別にみると、20 歳代で『肯定派』が 7 割台と評価が高い。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区と太宰府西小学校区で『否定派』は 3 割台と高い。

問 49. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	思言ど うえち ばら そうと	思言ど わえち なばら いそと	いそ う 思わ な	わし かな 道の 利用 ないで	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		513	148	181	60	54	62	8	329	114
		100.0	28.8	35.3	11.7	10.5	12.1	1.6	64.1	22.2
性別	男性	214	31.8	34.1	12.6	12.1	8.4	0.9	65.9	24.7
	女性	293	26.6	36.5	10.6	9.6	14.7	2.0	63.1	20.2
	無回答	6	33.3	16.7	33.3	-	16.7	-	50.0	33.3
年代別	20歳代	44	40.9	31.8	6.8	11.4	6.8	2.3	72.7	18.2
	30歳代	82	32.9	32.9	11.0	8.5	13.4	1.2	65.8	19.5
	40歳代	89	23.6	39.3	14.6	12.4	10.1	-	62.9	27.0
	50歳代	79	25.3	36.7	6.3	13.9	12.7	5.1	62.0	20.2
	60歳代	134	29.9	38.1	10.4	9.0	11.9	0.7	68.0	19.4
	70歳以上	82	26.8	30.5	17.1	9.8	14.6	1.2	57.3	26.9
	無回答	3	-	-	66.7	-	33.3	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	42.6	36.1	6.6	4.9	9.8	-	78.7	11.5
	太宰府東小学校区	50	10.0	52.0	20.0	12.0	4.0	2.0	62.0	32.0
	太宰府南小学校区	44	18.2	36.4	9.1	13.6	18.2	4.5	54.6	22.7
	水城小学校区	61	45.9	29.5	11.5	4.9	8.2	-	75.4	16.4
	水城西小学校区	69	33.3	33.3	10.1	10.1	10.1	2.9	66.6	20.2
	太宰府西小学校区	84	17.9	33.3	17.9	17.9	13.1	-	51.2	35.8
	国分小学校区	71	25.4	31.0	14.1	15.5	14.1	-	56.4	29.6
	わからない	60	33.3	38.3	3.3	3.3	18.3	3.3	71.6	6.6
	無回答	13	38.5	23.1	7.7	7.7	15.4	7.7	61.6	15.4

(3) 道路の円滑性に対する意識 (問 50)

●道路の円滑性について『否定派』が62.8%と約6割を占める。

市内の道路は渋滞もなく円滑に移動できるかについて、「そう思う」が4.7%で、これに「どちらかと言えばそう思う」(26.9%)を合わせた『肯定派』は31.6%である。一方、「そう思わない」は35.3%と最も高く、「どちらかと言えばそう思わない」(27.5%)を合わせた『否定派』は62.8%となっている。

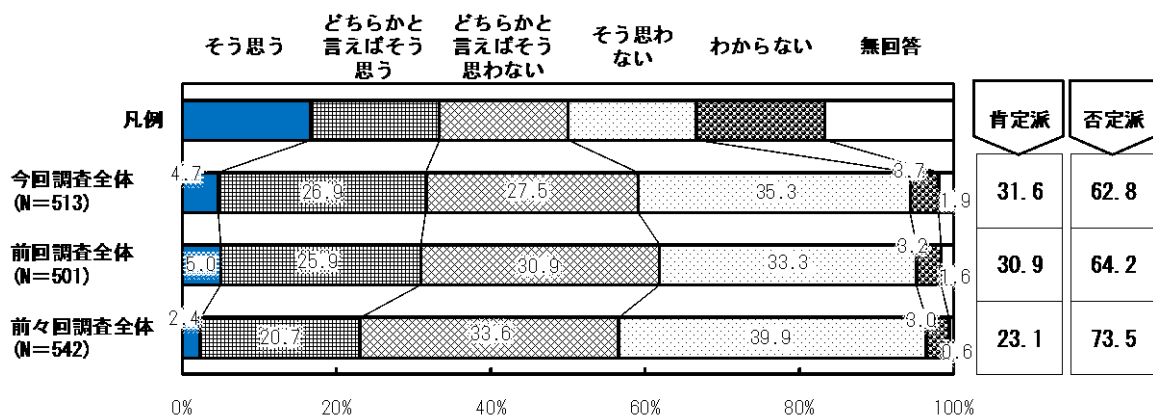
経年比較でみると、前回調査とほぼ同程度の結果となっている。

性別でみると、『肯定派』は男性27.5%、女性34.5%と7ポイントの差がある。

年代別でみると、30歳代、40歳代で『否定派』が7割以上と高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区では『否定派』は70.3%と他の小学校区と比べやや高くなっている。

問 50. あなたは市内の道路全般について、渋滞もなく円滑に移動できると思いますか。  
(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば そう思わ ない	そう思わ ない	わから ない	無回 答	肯定 派	否定 派
全体		513	4.7	26.9	27.5	35.3	3.7	1.9	31.6	62.8
性別	男性	214	3.7	23.8	29.4	38.3	2.8	1.9	27.5	67.7
	女性	293	5.1	29.4	25.9	33.1	4.4	2.0	34.5	59.0
	無回答	6	16.7	16.7	33.3	33.3	-	-	33.4	66.6
年代別	20歳代	44	9.1	36.4	15.9	22.7	13.6	2.3	45.5	38.6
	30歳代	82	2.4	20.7	37.8	36.6	1.2	1.2	23.1	74.4
	40歳代	89	4.5	15.7	31.5	46.1	2.2	-	20.2	77.6
	50歳代	79	3.8	21.5	34.2	29.1	5.1	6.3	25.3	63.3
	60歳代	134	3.7	35.1	22.4	35.8	1.5	1.5	38.8	58.2
	70歳以上	82	6.1	32.9	20.7	35.4	3.7	1.2	39.0	56.1
	無回答	3	33.3	-	33.3	-	33.3	-	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	61	8.2	16.4	4.9	63.9	4.9	1.6	24.6	68.8
	太宰府東小学校区	50	2.0	34.0	26.0	34.0	-	4.0	36.0	60.0
	太宰府南小学校区	44	4.5	34.1	25.0	25.0	9.1	2.3	38.6	50.0
	水城小学校区	61	6.6	21.3	23.0	44.3	4.9	-	27.9	67.3
	水城西小学校区	69	5.8	27.5	31.9	31.9	1.4	1.4	33.3	63.8
	太宰府西小学校区	84	4.8	22.6	40.5	29.8	1.2	1.2	27.4	70.3
	国分小学校区	71	1.4	33.8	36.6	25.4	2.8	-	35.2	62.0
	わからない	60	5.0	23.3	25.0	33.3	8.3	5.0	28.3	58.3
	無回答	13	-	53.8	23.1	15.4	-	7.7	53.8	38.5

(4) 交通手段 (問 51)

●日頃の外出手段は「自家用車」が最も多く約6割を占める。

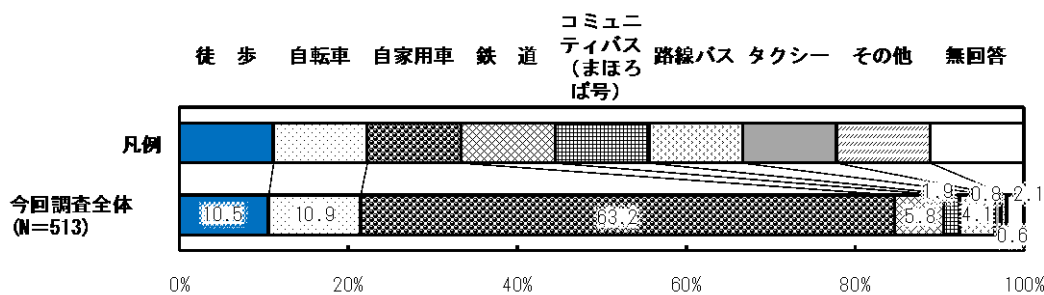
日頃の外出手段は、「自家用車」が63.2%と最も多く、次いで「自転車」(10.9%)、「徒歩」(10.5%)、「鉄道」(5.8%)、「路線バス」(4.1%)となっている。

性別でみると、男女ともに「自家用車」が最も多いが、女性では男性と比べ「徒歩」、「路線バス」の割合が若干多くなっている。

年代別でみると、30歳代、40歳代は同様の傾向で「自家用車」が7割台と高く、20歳代では「鉄道」、70歳以上では「徒歩」、「路線バス」の割合が高いのが特徴である。

小学校区別にみると、いずれの小学校区でも「自家用車」が多いのは変わらない。太宰府小学校区、水城小学校区では「徒歩」の割合が高く、太宰府東小学校区、太宰府南小学校区では「路線バス」の割合が1割を超え、他の小学校区に比べ多くなっている。

問 51. あなたは日頃、どのような手段で外出しますか。(〇は1つ)



		標本数	徒歩	自転車	自家用車	鉄道	コミュニティバス (まほろば号)	路線バス	タクシー	その他	無回答
全体		513	10.5	10.9	63.2	5.8	1.9	4.1	0.8	0.2	0.6
性別	男性	214	7.9	11.7	63.6	8.4	2.3	2.8	0.5	0.9	1.9
	女性	293	11.9	10.6	62.8	4.1	1.7	5.1	1.0	0.3	2.4
	無回答	6	33.3	-	66.7	-	-	-	-	-	-
年代別	20歳代	44	11.4	31.8	36.4	13.6	-	4.5	-	-	2.3
	30歳代	82	7.3	6.1	74.4	8.5	-	1.2	-	1.2	1.2
	40歳代	89	7.9	9.0	74.2	6.7	-	1.1	-	1.1	-
	50歳代	79	11.4	10.1	64.6	2.5	1.3	2.5	2.5	-	5.1
	60歳代	134	5.2	10.4	67.9	5.2	2.2	5.2	0.7	0.7	2.2
	70歳以上	82	23.2	8.5	46.3	2.4	7.3	9.8	1.2	-	1.2
	無回答	3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	61	18.0	14.8	54.1	9.8	1.6	1.6	-	-	-
	太宰府東小学校区	50	8.0	-	64.0	10.0	-	14.0	-	-	4.0
	太宰府南小学校区	44	9.1	9.1	68.2	-	-	11.4	-	-	2.3
	水城小学校区	61	13.1	13.1	65.6	6.6	-	-	-	1.6	-
	水城西小学校区	69	4.3	10.1	69.6	7.2	2.9	2.9	1.4	-	1.4
	太宰府西小学校区	84	8.3	13.1	59.5	3.6	3.6	7.1	-	1.2	3.6
	国分小学校区	71	9.9	15.5	67.6	2.8	2.8	-	-	1.4	-
	わからない	60	16.7	8.3	58.3	6.7	-	-	5.0	-	5.0
		無回答	13	-	7.7	61.5	7.7	15.4	-	-	7.7

22. 産業の振興（問 52）

- 日頃買い物する場所は「太宰府市」が約65%となっている。
- 太宰府南小学校区は約半数が「筑紫野市」で主に買い物をしている。

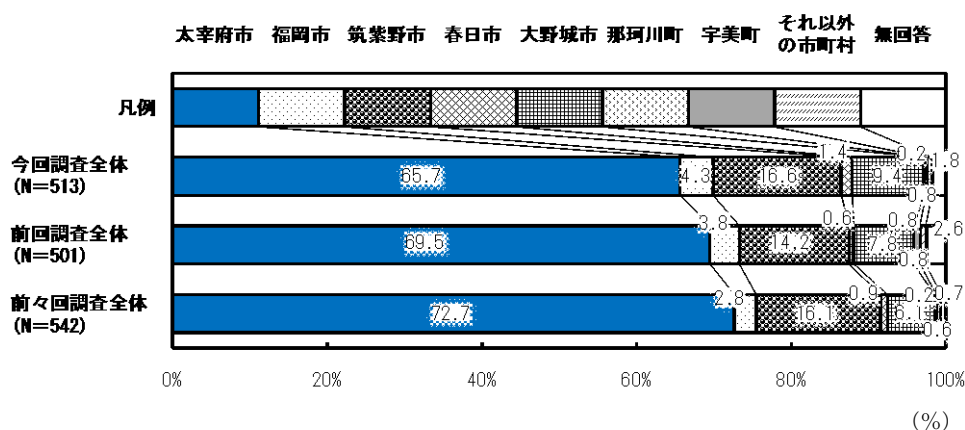
日頃主に買い物する場所については、「太宰府市」が65.7%と6割以上を占めている。次いで、「筑紫野市」(16.6%)、「大野城市」(9.4%)となっており、その他はわずかである。

経年比較でみると、前回調査より「太宰府市」が3.8ポイント減少し、減少傾向となっている。一方で、「筑紫野市」、「大野城市」の割合が前回調査と比べ2ポイント程度増加している。

年代別でみると、30歳代、40歳代では「筑紫野市」の割合が2割以上と他の年代と比べて多くなっている。20歳代では「福岡市」の割合が約2割となっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区では「筑紫野市」が52.3%と約半数を占める。

問 52. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(〇は1つ)



		標本数	太宰府市	福岡市	筑紫野市	春日市	大野城市	那珂川町	宇美町	その他市町村	無回答
全体		513	65.7	4.3	16.6	1.4	9.4	-	1	4	9
性別	男性	214	63.6	3.3	20.6	1.4	7.5	-	0.5	0.9	2.3
	女性	293	66.9	5.1	13.7	1.4	10.9	-	-	0.7	1.4
	無回答	6	83.3	-	16.7	-	-	-	-	-	-
年代別	20歳代	44	61.4	20.5	13.6	-	2.3	-	-	-	2.3
	30歳代	82	56.1	3.7	23.2	4.9	9.8	-	-	1.2	1.2
	40歳代	89	57.3	4.5	27.0	1.1	10.1	-	-	-	-
	50歳代	79	69.6	1.3	13.9	1.3	6.3	-	1.3	1.3	5.1
	60歳代	134	66.4	2.2	13.4	0.7	15.7	-	-	0.7	0.7
	70歳以上	82	81.7	2.4	7.3	-	4.9	-	-	1.2	2.4
	無回答	3	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	75.4	4.9	14.8	1.6	1.6	-	1.6	-	-
	太宰府東小学校区	50	68.0	6.0	22.0	2.0	-	-	-	-	2.0
	太宰府南小学校区	44	36.4	4.5	52.3	-	2.3	-	-	2.3	2.3
	水城小学校区	61	63.9	9.8	18.0	1.6	3.3	-	-	1.6	1.6
	水城西小学校区	69	69.6	-	10.1	-	18.8	-	-	-	1.4
	太宰府西小学校区	84	75.0	2.4	3.6	2.4	14.3	-	-	-	2.4
	国分小学校区	71	64.8	5.6	12.7	-	16.9	-	-	-	-
	わからない	60	65.0	3.3	16.7	3.3	6.7	-	-	1.7	3.3
	無回答	13	46.2	-	15.4	-	23.1	-	-	7.7	7.7

23. 文化遺産の保存と活用（問 53）

●9割以上が市の歴史文化遺産を誇りに思っている。  
 ●水城小学校区では積極的に肯定する意見が70.5%と高い。

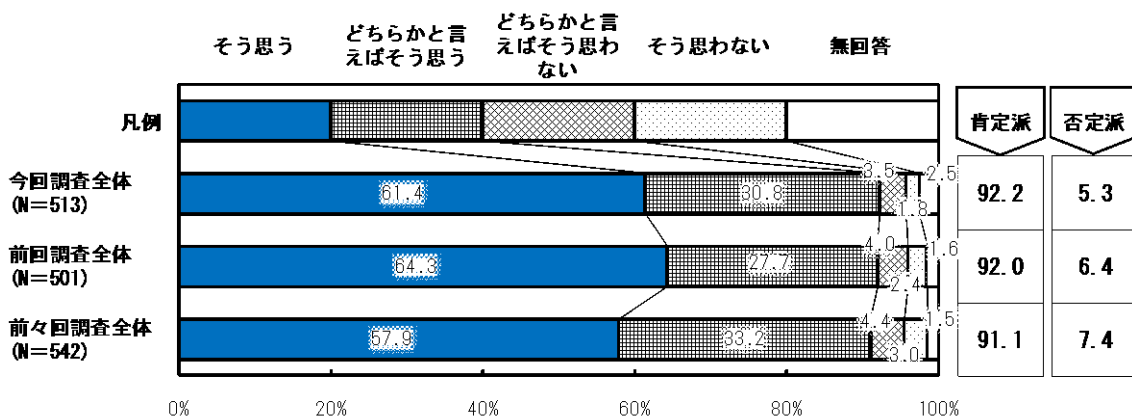
市の歴史文化遺産を誇りに思うかについては、「そう思う」が61.4%、「どちらかと言えばそう思う」が30.8%で、『肯定派』は92.2%と約9割を占めている。「そう思わない」は1.8%、「どちらかと言えばそう思わない」（3.5%）を合わせた『否定派』は5.3%と少ない。

経年比較でみると、これまでの調査結果と同様であり、『肯定派』は約9割を占める。

性別でみると、男性では『否定派』が8.4%と女性（3.1%）に比べやや多くなっている。

小学校区別にみると、国分小学校区では『否定派』が11.3%と他地区に比べて多くなっている。

問 53. あなたは市内の歴史文化遺産を誇りに思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		513	315	158	18	9	13	473	27
性別		100.0	61.4	30.8	3.5	1.8	2.5	92.2	5.3
	男性	214	55.1	35.0	6.1	2.3	1.4	90.1	8.4
	女性	293	65.2	28.3	1.7	1.4	3.4	93.5	3.1
	無回答	6	100.0	-	-	-	-	100.0	-
年代別									
	20歳代	44	56.8	36.4	4.5	-	2.3	93.2	4.5
	30歳代	82	57.3	32.9	3.7	3.7	2.4	90.2	7.4
	40歳代	89	69.7	27.0	2.2	1.1	-	96.7	3.3
	50歳代	79	53.2	34.2	3.8	1.3	7.6	87.4	5.1
	60歳代	134	64.9	26.9	3.7	2.2	2.2	91.8	5.9
	70歳以上	82	61.0	32.9	3.7	1.2	1.2	93.9	4.9
	無回答	3	66.7	33.3	-	-	-	100.0	-
小学校区別									
	太宰府小学校区	61	67.2	32.8	-	-	-	100.0	-
	太宰府東小学校区	50	56.0	36.0	2.0	2.0	4.0	92.0	4.0
	太宰府南小学校区	44	65.9	25.0	2.3	2.3	4.5	90.9	4.6
	水城小学校区	61	70.5	26.2	1.6	1.6	-	96.7	3.2
	水城西小学校区	69	65.2	26.1	2.9	1.4	4.3	91.3	4.3
	太宰府西小学校区	84	57.1	35.7	2.4	3.6	1.2	92.8	6.0
	国分小学校区	71	59.2	29.6	9.9	1.4	-	88.8	11.3
	わからない	60	53.3	35.0	5.0	-	6.7	88.3	5.0
	無回答	13	53.8	23.1	7.7	7.7	7.7	76.9	15.4



24. 観光基盤の整備充実

(1) 観光客への意識 (問 54)

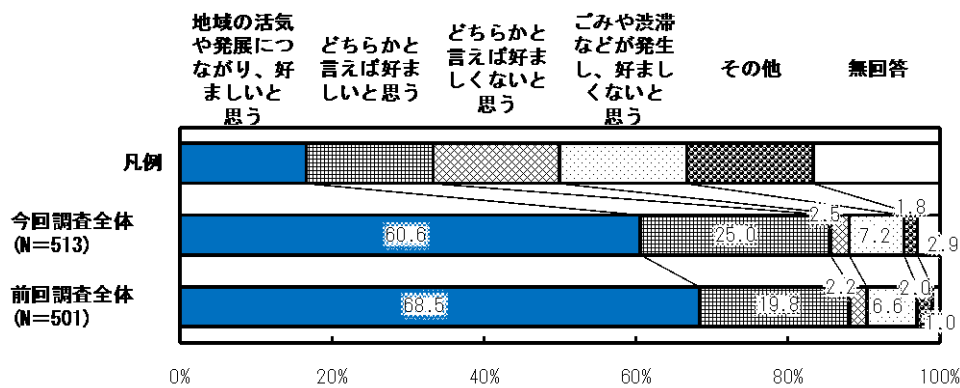
●観光客を好ましいと思う人は60.6%と約6割を占めている。

観光客が訪れることをどのように思っているかの質問で、「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」が60.6%、「どちらかと言えば好ましいと思う」が25.0%となっている。なお、「ごみや渋滞などが発生し、好ましくない」が7.2%、「どちらかと言えば好ましくない」が2.5%となっている。

性別でみると、「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」という女性が63.8%であるのに対して、男性は56.1%と女性のほうが7.7ポイント高い。

小学校区別にみると、太宰府小学校区と太宰府東小学校区では「ごみや渋滞が発生し、好ましくない」と回答する人が約16%と1割を超え、他の小学校区と比べ高い。

問 54. あなたは太宰府市内に多くの観光客が訪れることについてどのように思いますか。  
(○は1つ)



		標本数	まなや地 しが発城 いり展の に活 好つ気	し言ど いえち ばら 好か まど	し言ど くえち なばら い好か まど	い好がご ま発み し生や くし渋 滞	そ の 他	無 回 答
全 体		513 100.0	311 60.6	128 25.0	13 2.5	37 7.2	9 1.8	15 2.9
性別	男 性	214	56.1	25.7	3.3	7.9	2.8	4.2
	女 性	293	63.8	24.6	2.0	6.8	0.7	2.0
	無回答	6	66.7	16.7	-	-	16.7	-
年 代 別	20歳代	44	65.9	25.0	2.3	-	2.3	4.5
	30歳代	82	69.5	22.0	1.2	4.9	1.2	1.2
	40歳代	89	61.8	23.6	2.2	9.0	2.2	1.1
	50歳代	79	51.9	29.1	3.8	7.6	3.8	3.8
	60歳代	134	60.4	23.9	3.0	8.2	0.7	3.7
	70歳以上	82	57.3	26.8	2.4	9.8	1.2	2.4
無回答	3	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	61	49.2	31.1	1.6	16.4	1.6	-
	太宰府東小学校区	50	48.0	32.0	2.0	16.0	-	2.0
	太宰府南小学校区	44	72.7	18.2	2.3	4.5	-	2.3
	水城小学校区	61	59.0	23.0	3.3	8.2	1.6	4.9
	水城西小学校区	69	63.8	23.2	2.9	7.2	1.4	1.4
	太宰府西小学校区	84	66.7	25.0	2.4	1.2	2.4	2.4
	国分小学校区	71	67.6	21.1	4.2	4.2	1.4	1.4
	わからない	60	55.0	26.7	1.7	5.0	5.0	6.7
無回答	13	61.5	23.1	-	-	-	15.4	

(2) 観光客との交流について (問 55)

●「観光客に笑顔で接する」が43.5%で最も多い。

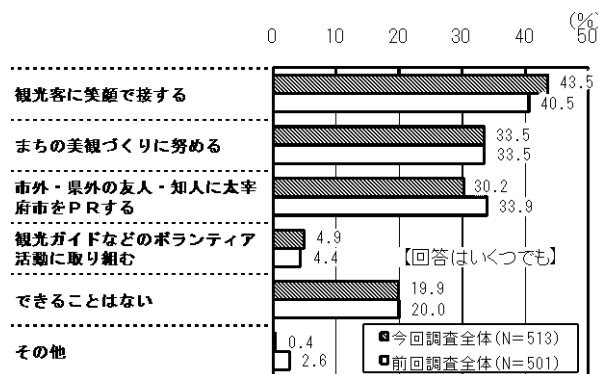
観光客へできることの質問で、「観光客に笑顔で接する」が43.5%で最も高くなっており、次いで、「まちの美観づくりに努める」(33.5%)、「市外・県外の友人・知人に太宰府市をPRする」(30.2%)となっている。

性別でみると、「観光客に笑顔で接する」という女性が49.1%であるのに対して、男性は36.0%と女性が13.1ポイント高い。一方で「できることはない」の割合は女性より男性の方が高くなっており、女性のほうが積極的な意識があることがうかがえる。

年代別では、30歳代、40歳代では「まちの美観づくりに努める」が4割台と他の年代と比べやや多く、60歳代以上では「市外・県外の友人・知人に太宰府市をPRする」の割合が高い傾向にある。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区は「市外・県外の友人・知人に太宰府市をPRする」の割合が46.0%と他地区に比べて高くなっている。

問 55. 太宰府市を訪れた観光客との交流やおもてなしのために、あなた自身ができることがありますか。(〇はいくつでも)



	標本数	割合 (%)						
		観光客に笑顔で接する	まちの美観づくりに努める	市外・県外の友人・知人に太宰府市をPRする	観光ガイドなどのボランティア活動に取り組む	できることはない	その他	無回答
全体	513	43.5	33.5	30.2	4.9	19.9	0.4	2.6
性別	男性	36.0	30.4	29.9	7.0	23.4	-	6.5
	女性	49.1	35.8	30.7	3.4	17.4	0.7	3.4
	無回答	6	33.3	16.7	-	16.7	-	16.7
年代別	20歳代	50.0	27.3	27.3	4.5	18.2	-	-
	30歳代	42.7	40.2	22.0	4.9	20.7	-	3.7
	40歳代	43.8	46.1	25.8	6.7	21.3	1.1	1.1
	50歳代	58.2	36.7	29.1	5.1	13.9	-	8.9
	60歳代	42.5	32.8	33.6	6.0	16.4	0.7	6.7
	70歳以上	29.3	13.4	40.2	1.2	29.3	-	6.1
無回答	3	-	66.7	33.3	-	33.3	-	
小学校区別	太宰府小学校区	41.0	24.6	26.2	1.6	19.7	-	8.2
	太宰府東小学校区	38.0	28.0	46.0	-	24.0	2.0	-
	太宰府南小学校区	45.5	45.5	36.4	6.8	13.6	-	4.5
	水城小学校区	45.9	39.3	24.6	4.9	21.3	-	4.9
	水城西小学校区	40.6	31.9	29.0	4.3	18.8	-	4.3
	太宰府西小学校区	54.8	36.9	26.2	8.3	14.3	-	1.2
	国分小学校区	46.5	32.4	33.8	5.6	18.3	-	4.2
	わからない	36.7	35.0	23.3	6.7	26.7	1.7	11.7
	無回答	15.4	15.4	38.5	-	38.5	-	7.7

25. 国際交流・友好都市交流の推進

(1) 外国人との交流 (問 56)

●市内在住の外国人との交流は約9割が「ほとんどしていない」。

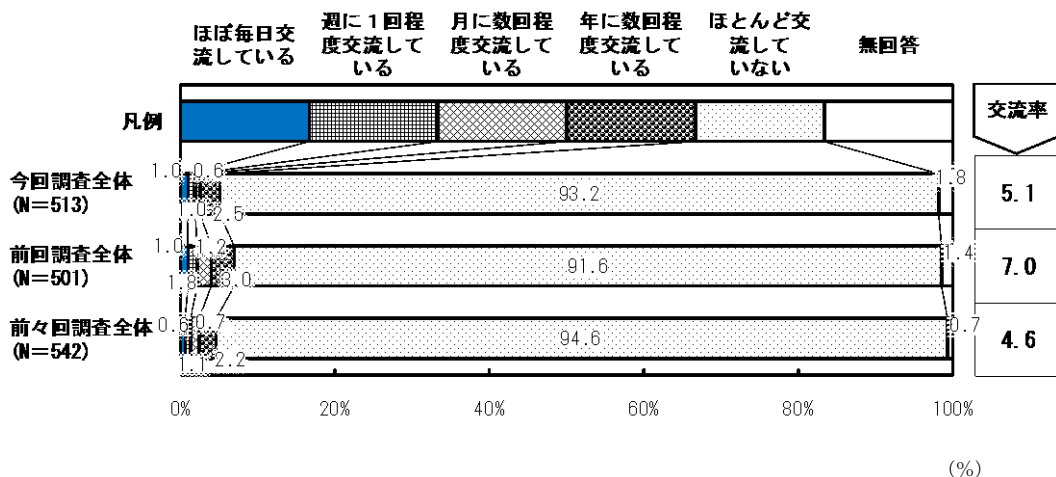
市内在住の外国人との交流は「ほとんど交流していない」が 93.2%と大半を占めている。経年比較でみると、前回調査と比べ『交流率』は 1.9 ポイント減少している。

性別でみると、頻度に関わらず「交流している」と回答した人は、男性 6.5%、女性 3.8%で、男性の方が 2.7 ポイント高くなっている。

年代別でみると、30 歳以上では「ほとんど交流していない」が 9 割を超えて多い。20 歳代で『交流率』は 11.4%と高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区では『交流率』が 9.9%と他の小学校区よりも高い値となっている。

問 56. あなたは日頃から市内在住の外国人と交流していますか。(〇は1つ)



		標本数	い交ほ る流ば し毎 て日	し程週 て度 に交1 る流回	し程月 て度 に交数 る流回	し程年 て度 に交数 る流回	な交ほ い流と しん てど	無 回 答	交 流 率
全体		513	5	5	3	13	478	9	26
		100.0	1.0	1.0	0.6	2.5	93.2	1.8	5.1
性別	男性	214	0.9	1.4	0.5	3.7	91.6	1.9	6.5
	女性	293	0.7	0.7	0.7	1.7	94.5	1.7	3.8
	無回答	6	16.7	-	-	-	83.3	-	16.7
年代別	20歳代	44	2.3	-	2.3	6.8	88.6	-	11.4
	30歳代	82	2.4	1.2	1.2	3.7	91.5	-	8.5
	40歳代	89	-	1.1	-	2.2	96.6	-	3.3
	50歳代	79	1.3	-	-	1.3	93.7	3.8	2.6
	60歳代	134	0.7	1.5	0.7	2.2	91.0	3.7	5.1
	70歳以上	82	-	1.2	-	1.2	96.3	1.2	2.4
	無回答	3	-	-	-	-	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	3.3	-	-	6.6	85.2	4.9	9.9
	太宰府東小学校区	50	-	2.0	2.0	2.0	94.0	-	6.0
	太宰府南小学校区	44	-	2.3	-	4.5	90.9	2.3	6.8
	水城小学校区	61	-	-	-	3.3	95.1	1.6	3.3
	水城西小学校区	69	-	-	1.4	1.4	95.7	1.4	2.8
	太宰府西小学校区	84	-	2.4	-	-	96.4	1.2	2.4
	国分小学校区	71	-	1.4	-	4.2	94.4	-	5.6
	わからない	60	3.3	-	1.7	-	93.3	1.7	5.0
	無回答	13	7.7	-	-	-	84.6	7.7	7.7

(2) 姉妹都市・友好都市の認識 (問 57)

●太宰府市の姉妹都市・友好都市締結については約54%が「どれも知らなかった」となっている。

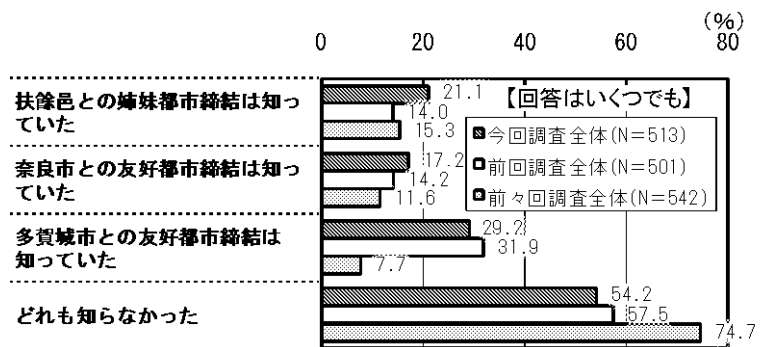
太宰府市の姉妹都市・友好都市締結の認知については、「扶餘邑との姉妹都市締結は知っていた」が 21.1%、「奈良市との友好都市締結は知っていた」が 17.2%、「多賀城市との友好都市締結は知っていた」が 29.2%となっている。「どれも知らなかった」が 54.2%で約半数を占めている。

経年比較でみると、「扶餘邑との姉妹都市締結は知っていた」、「奈良市との友好都市締結は知っていた」の割合は増加している。

年代別にみると、40歳代と60歳以上で認知度が高い傾向がみられる。30歳代では「どれも知らなかった」が7割以上と認知度が最も低い。

小学校区別にみると、「どれも知らなかった」が太宰府西小学校区と太宰府東小学校区で他の小学校区に比べて低い。

問 57. あなたは太宰府市では大韓民国の扶餘邑と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存知でしたか。  
(○はいくつでも)



	標本数	認知内容 (%)				無回答 (%)
		扶餘邑との姉妹都市締結を知っていた	奈良市との友好都市締結を知っていた	多賀城市との友好都市締結を知っていた	どれも知らなかった	
全体	513	108	88	150	278	9
性別	100.0	21.1	17.2	29.2	54.2	1.8
男性	214	19.6	20.6	28.0	55.1	1.9
女性	293	22.2	14.7	29.7	53.6	1.7
無回答	6	16.7	16.7	50.0	50.0	-
年代別						
20歳代	44	18.2	9.1	11.4	68.2	-
30歳代	82	9.8	8.5	18.3	72.0	-
40歳代	89	14.6	15.7	39.3	47.2	1.1
50歳代	79	24.1	11.4	22.8	58.2	3.8
60歳代	134	26.9	23.9	30.6	49.3	2.2
70歳以上	82	28.0	25.6	42.7	40.2	2.4
無回答	3	33.3	33.3	33.3	66.7	-
小学校区別						
太宰府小学校区	61	21.3	18.0	34.4	50.8	3.3
太宰府東小学校区	50	22.0	32.0	50.0	40.0	-
太宰府南小学校区	44	15.9	22.7	29.5	54.5	2.3
水城小学校区	61	16.4	19.7	34.4	47.5	1.6
水城西小学校区	69	29.0	20.3	29.0	55.1	-
太宰府西小学校区	84	42.9	13.1	28.6	38.1	2.4
国分小学校区	71	8.5	12.7	23.9	70.4	-
わからない	60	6.7	5.0	10.0	78.3	1.7
無回答	13	7.7	15.4	23.1	53.8	15.4

(3) 姉妹都市・友好都市との交流頻度 (問 58)

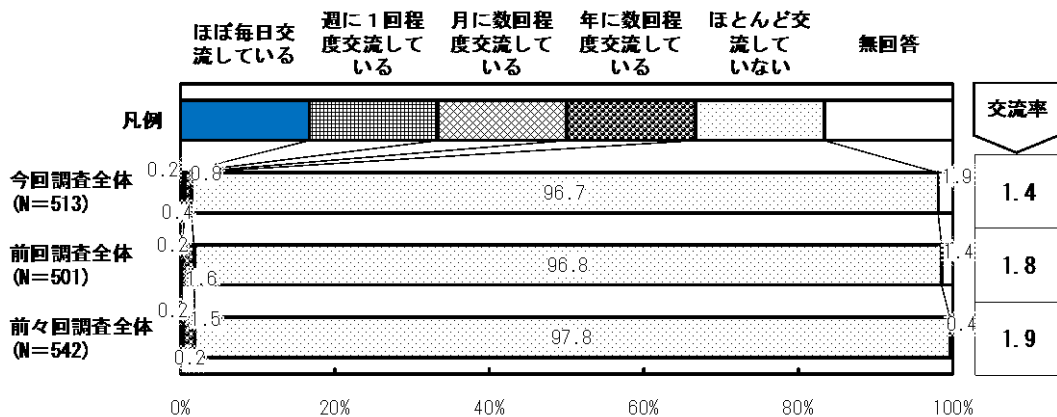
● 姉妹・友好都市の人と交流している人は約 2% であり交流はなされていない。

太宰府市の姉妹都市・友好都市の人との交流については、「ほとんど交流していない」が 96.7% で大半を占めている。

年代別にみると、20 歳代、30 歳代では『交流率』が 2% 台と他の年代に比べて高めている。

小学校区別にみると、水城西小学校区の『交流率』が 4.3% と他の小学校区と比較して高くなっている。

問 58. あなたは日頃から市の姉妹都市である大韓民国の扶餘邑や友好都市である奈良市、多賀城市の人たちと交流をしていますか。(○は1つ)



		標本数	ほぼ毎日交流している	週に1回程度交流している	月に数回程度交流している	年に数回程度交流している	ほとんど交流していない	無回答	交流率 (%)
全体		513	0.2	-	0.4	0.8	96.7	1.9	1.4
性別	男性	214	0.5	-	-	0.9	96.7	1.9	1.4
	女性	293	-	-	0.7	0.7	96.6	2.0	1.4
	無回答	6	-	-	-	-	100.0	-	-
年代別	20歳代	44	2.3	-	-	-	97.7	-	2.3
	30歳代	82	-	-	1.2	1.2	97.6	-	2.4
	40歳代	89	-	-	-	1.1	98.9	-	1.1
	50歳代	79	-	-	-	-	96.2	3.8	-
	60歳代	134	-	-	0.7	0.7	94.8	3.7	1.4
	70歳以上	82	-	-	-	1.2	96.3	2.4	1.2
	無回答	3	-	-	-	-	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	1.6	-	-	-	93.4	4.9	1.6
	太宰府東小学校区	50	-	-	-	2.0	98.0	-	2.0
	太宰府南小学校区	44	-	-	-	2.3	95.5	2.3	2.3
	水城西小学校区	61	-	-	-	-	98.4	1.6	-
	水城西小学校区	69	-	-	1.4	2.9	94.2	1.4	4.3
	太宰府西小学校区	84	-	-	-	-	98.8	1.2	-
	国分小学校区	71	-	-	-	-	98.6	1.4	-
	わからない	60	-	-	1.7	-	96.7	1.7	1.7
	無回答	13	-	-	-	-	92.3	7.7	-

(4) 外国人や留学生との交流方法 (問 59)

●外国人や留学生としたい交流は「語学講座」。続いて「意見交換会」「スポーツ交流」。

外国人や留学生としてみたい交流の内容については、「語学講座」が 31.6%で最も多い。次いで、「意見交換会」が 19.1%、「スポーツ交流」が 16.4%、「ホームステイ」が 11.5%の順となっている。

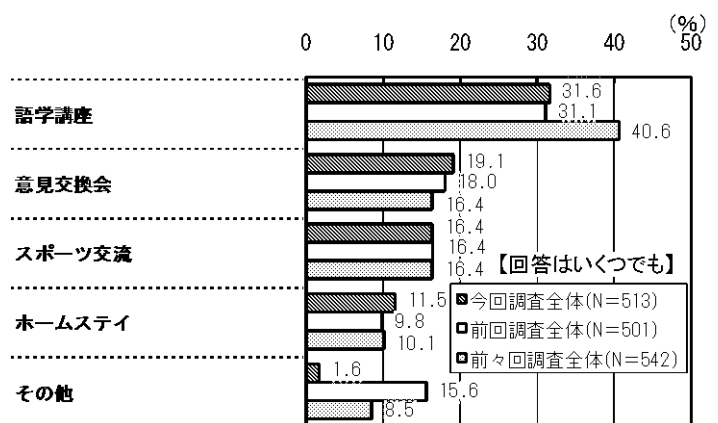
経年比較でみると、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

性別でみると、男女ともに「語学講座」の割合が高いが、女性は 34.1%と男性 (28.0%) に比べて高くなっている。

年代別では、20 歳代では「スポーツ交流」、「ホームステイ」が 3 割以上と他の年代と比べ高くなっている。

小学校区別にみると、どの校区でも「語学講座」が高くなっているが、水城小学校区では「ホームステイ」の割合が 21.3%と他の小学校区と比べて高くなっている。

問 59. あなたは外国人や留学生とどのような交流をしたいですか。(〇はいくつでも)



		標本数	語学講座	意見交換	交流スポーツ	ホームステイ	その他	無回答
全体		513	162	98	84	59	8	193
		100.0	31.6	19.1	16.4	11.5	1.6	37.6
性別	男性	214	28.0	22.0	17.3	12.6	1.4	38.3
	女性	293	34.1	17.1	15.7	10.9	1.7	37.2
	無回答	6	33.3	16.7	16.7	-	-	33.3
年代別	20歳代	44	40.9	22.7	36.4	34.1	-	13.6
	30歳代	82	39.0	12.2	22.0	14.6	1.2	23.2
	40歳代	89	41.6	20.2	23.6	16.9	1.1	24.7
	50歳代	79	38.0	25.3	16.5	11.4	5.1	31.6
	60歳代	134	26.9	19.4	8.2	4.5	1.5	47.8
	70歳以上	82	9.8	17.1	4.9	2.4	-	68.3
	無回答	3	33.3	-	33.3	-	-	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	61	23.0	21.3	18.0	13.1	1.6	42.6
	太宰府東小学校区	50	42.0	14.0	18.0	16.0	-	30.0
	太宰府南小学校区	44	31.8	25.0	18.2	9.1	2.3	31.8
	水城小学校区	61	36.1	18.0	16.4	21.3	3.3	34.4
	水城西小学校区	69	29.0	23.2	13.0	8.7	1.4	37.7
	太宰府西小学校区	84	26.2	16.7	13.1	10.7	1.2	47.6
	国分小学校区	71	33.8	18.3	21.1	8.5	1.4	32.4
	わからない	60	36.7	18.3	13.3	8.3	-	38.3
	無回答	13	23.1	15.4	23.1	-	7.7	38.5

26. 市民参画の推進

(1) 自治会活動への参加 (問 60)

●自治会活動に参加しているのは38.0%となっている。  
 ●20歳代、30歳代は他の年代に比べて参加率が低い。

自治会活動について、「積極的に参加している」は8.8%、「どちらかと言えば参加している」は29.2%で、『参加派』は38.0%である。「参加していない」は41.9%、「どちらかと言えば参加していない」は18.5%で、『不参加派』は60.4%となっている。

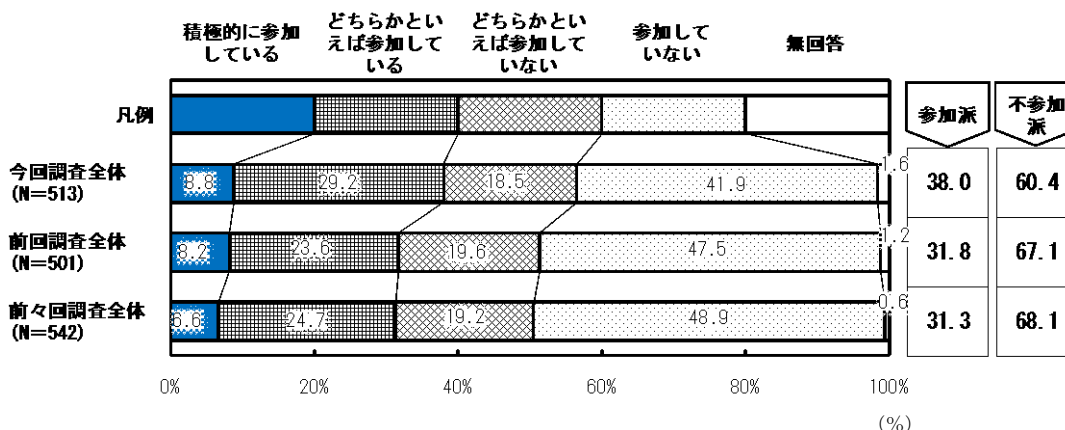
経年比較でみると、前回調査からは『参加派』が6.2ポイント増えている。

性別にみると、男性では『不参加派』が62.6%と、女性(58.7%)と比べ3.9ポイント多い。

年代別にみると、年齢が高い層で『参加派』が多く、年齢が若い層で『不参加派』が多い傾向にある。30歳代以下では『不参加派』が8割を超えている。

小学校区別では、水城小学校区で『不参加派』が70.5%と高くなっている。

問 60. あなたは自治会活動に参加していますか。(〇は1つ)



		標本数	積極的 に参加 している	どちらか とい ば参加 してい る	どちらか とい ば参加 してい ない	参加 してい ない	無 回 答	参加 派	不 参 加 派
全体		513	8.8	29.2	18.5	41.9	1.6	38.0	60.4
性別	男性	214	9.3	26.6	18.7	43.9	1.4	35.9	62.6
	女性	293	8.5	31.1	18.4	40.3	1.7	39.6	58.7
	無回答	6	-	33.3	16.7	50.0	-	33.3	66.7
年代別	20歳代	44	4.5	9.1	6.8	79.5	-	13.6	86.3
	30歳代	82	2.4	12.2	19.5	65.9	-	14.6	85.4
	40歳代	89	6.7	30.3	20.2	42.7	-	37.0	62.9
	50歳代	79	7.6	43.0	19.0	26.6	3.8	50.6	45.6
	60歳代	134	17.2	29.1	22.4	29.1	2.2	46.3	51.5
	70歳以上	82	7.3	43.9	14.6	31.7	2.4	51.2	46.3
	無回答	3	-	-	33.3	66.7	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	61	14.8	29.5	14.8	37.7	3.3	44.3	52.5
	太宰府東小学校区	50	10.0	38.0	28.0	24.0	-	48.0	52.0
	太宰府南小学校区	44	9.1	27.3	25.0	36.4	2.3	36.4	61.4
	水城小学校区	61	4.9	23.0	13.1	57.4	1.6	27.9	70.5
	水城西小学校区	69	8.7	39.1	21.7	30.4	-	47.8	52.1
	太宰府西小学校区	84	10.7	41.7	21.4	25.0	1.2	52.4	46.4
	国分小学校区	71	11.3	26.8	18.3	42.3	1.4	38.1	60.6
	わからない	60	1.7	8.3	8.3	80.0	1.7	10.0	88.3
	無回答	13	-	7.7	15.4	69.2	7.7	7.7	84.6

(2) ボランティア活動への参加 (問 61)

● ボランティア活動に参加しているのは 13.7%。『不参加派』が 84.3%を占める。  
 ● 60 歳代以上では 2 割前後がボランティア活動に参加している。

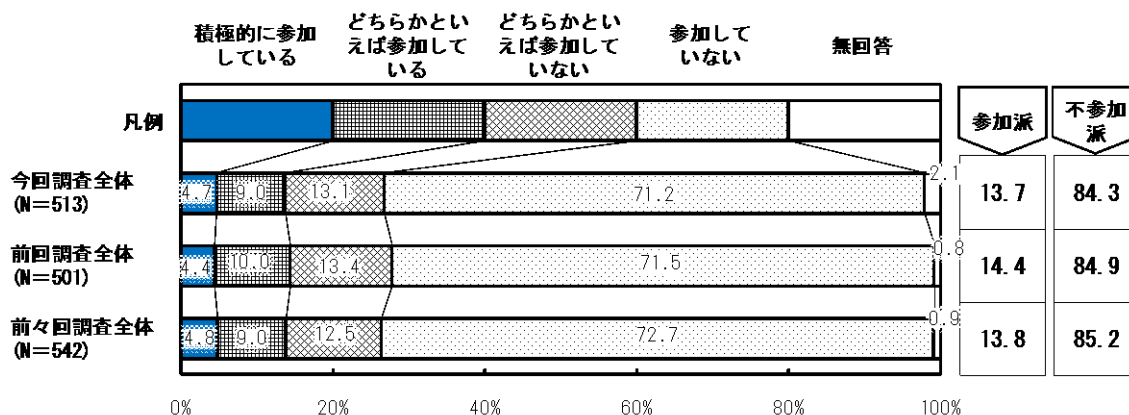
ボランティア活動に「積極的に参加している」は 4.7%、「どちらかと言えば参加している」は 9.0%で、『参加派』は 13.7%、「参加していない」は 71.2%、「どちらかと言えば参加していない」は 13.1%で、『不参加派』は 84.3%である。

経年比較でみると、ほぼ同様の傾向となっている。

年代別にみると、年齢が高い層で『参加派』の割合が高く、60 歳以上では約 2 割が参加している。

小学校区別では、水城西小学校区で『参加派』の割合が 20.2%と高くなっている。

問 61. あなたは自治会活動以外のボランティア活動に参加していますか。(○は1つ)



		標本数	積極的に参加している (%)	どちらかと言えば参加している (%)	どちらかと言えば参加していない (%)	参加していない (%)	無回答 (%)	参加派 (%)	不参加派 (%)
全体		513	4.7	9.0	13.1	71.2	2.1	13.7	84.3
性別	男性	214	6.5	7.5	13.1	71.0	1.9	14.0	84.1
	女性	293	3.4	10.2	13.0	71.0	2.4	13.6	84.0
	無回答	6	-	-	16.7	83.3	-	-	100.0
年代別	20歳代	44	2.3	6.8	13.6	77.3	-	9.1	90.9
	30歳代	82	-	4.9	13.4	81.7	-	4.9	95.1
	40歳代	89	4.5	4.5	12.4	78.7	-	9.0	91.1
	50歳代	79	5.1	7.6	11.4	70.9	5.1	12.7	82.3
	60歳代	134	6.0	13.4	13.4	64.2	3.0	19.4	77.6
	70歳以上	82	8.5	13.4	14.6	59.8	3.7	21.9	74.4
	無回答	3	-	-	-	100.0	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	61	4.9	8.2	14.8	68.9	3.3	13.1	83.7
	太宰府東小学校区	50	6.0	6.0	16.0	70.0	2.0	12.0	86.0
	太宰府南小学校区	44	-	13.6	13.6	70.5	2.3	13.6	84.1
	水城小学校区	61	4.9	11.5	11.5	70.5	1.6	16.4	82.0
	水城西小学校区	69	7.2	13.0	14.5	65.2	-	20.2	79.7
	太宰府西小学校区	84	6.0	11.9	15.5	65.5	1.2	17.9	81.0
	国分小学校区	71	7.0	7.0	11.3	71.8	2.8	14.0	83.1
	わからない	60	-	1.7	10.0	86.7	1.7	1.7	96.7
	無回答	13	-	-	-	84.6	15.4	-	84.6



## 第4節 行政サービスについて

### 1. 情報の共有化と活用

#### (1) 市民と行政の情報の共有 (問 62)

●市民と行政の情報の共有ができていないかについて『否定派』が半数以上を占める。

市民と行政の情報の共有ができていないかについては、「そう思う」が 6.4%、「どちらかと言えばそう思う」が 25.7%で、『肯定派』は 32.1%である。一方、「そう思わない」は 26.3%、「どちらかと言えばそう思わない」は 34.9%で、『否定派』が 61.2%に上る。

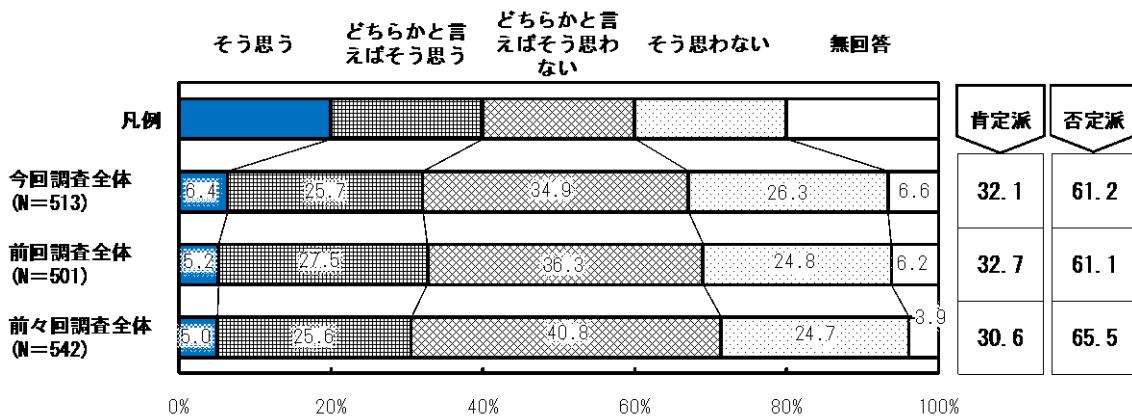
経年比較でみると、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

性別では、男性では『否定派』の割合が 64.0%と女性 (59.3%) より 4.7 ポイント高い。

年代別にみると、60 歳代以上では『肯定派』が約 4 割と高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区は『肯定派』が 45.4%と高く、国分小学校区では『否定派』が 78.8%と高い。

#### 問 62. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらか 言えばそう 思う	どちらかと言 えばそう思わ ない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		513	33	132	179	135	34	165	314
		100.0	6.4	25.7	34.9	26.3	6.6	32.1	61.2
性別	男性	214	7.0	23.4	34.1	29.9	5.6	30.4	64.0
	女性	293	6.1	27.3	35.8	23.5	7.2	33.4	59.3
	無回答	6	-	33.3	16.7	33.3	16.7	33.3	50.0
年代別	20歳代	44	4.5	20.5	31.8	43.2	-	25.0	75.0
	30歳代	82	1.2	24.4	36.6	34.1	3.7	25.6	70.7
	40歳代	89	7.9	19.1	38.2	31.5	3.4	27.0	69.7
	50歳代	79	8.9	19.0	41.8	17.7	12.7	27.9	59.5
	60歳代	134	8.2	29.9	32.8	21.6	7.5	38.1	54.4
	70歳以上	82	6.1	35.4	29.3	19.5	9.8	41.5	48.8
	無回答	3	-	66.7	-	33.3	-	66.7	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	61	4.9	34.4	19.7	32.8	8.2	39.3	52.5
	太宰府東小学校区	50	4.0	28.0	36.0	26.0	6.0	32.0	62.0
	太宰府南小学校区	44	6.8	38.6	34.1	13.6	6.8	45.4	47.7
	水城小学校区	61	11.5	21.3	27.9	32.8	6.6	32.8	60.7
	水城西小学校区	69	1.4	24.6	46.4	20.3	7.2	26.0	66.7
	太宰府西小学校区	84	9.5	25.0	39.3	19.0	7.1	34.5	58.3
	国分小学校区	71	4.2	14.1	40.8	38.0	2.8	18.3	78.8
	わからない	60	6.7	25.0	35.0	26.7	6.7	31.7	61.7
	無回答	13	15.4	30.8	15.4	23.1	15.4	46.2	38.5

(2) 広報広聴機能の充実 (問 63)

「広報だざいふ」

- 「広報だざいふ」の閲読率は8割以上。
- 20歳代の閲読率が目立って低い。

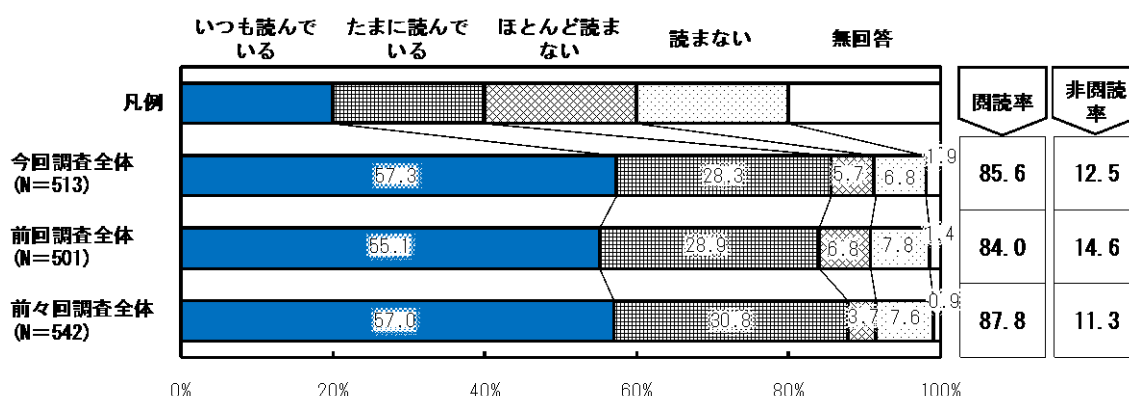
「広報だざいふ」について、「いつも読んでいる」が 57.3%、「たまに読んでいる」が 28.3%で、これらを合わせた『閲読率』は 85.6%と 8割を超えている。「ほとんど読まない」(5.7%)と「読まない」(6.8%)を合わせた『非閲読率』は 12.5%である。

経年比較でみると、前回調査に比べ『閲読率』は 1.6 ポイント増加している。

性別でみると、女性は「いつも読んでいる」が 61.4%、男性の 51.4%を 10 ポイント上回っている。なお、「たまに読んでいる」を合わせた『閲読率』は女性 89.7%、男性 79.9%となっている。

年代別にみると、『閲読率』は 30 歳代以上ではいずれも 8割以上と高いが、20 歳代は『閲読率』が約 6割、「いつも読んでいる」が 15.9%と、他の年代に比べて低くなっている。

問 63. あなたは「広報だざいふ」を読んでいますか。(〇は1つ)



		標本数	いつも読んでいる	たまに読んでいる	ほとんど読まない	読まない	無回答	閲読率	非閲読率
全体		513	294	145	29	35	10	85.6	12.5
性別	男性	214	51.4	28.5	7.5	10.3	2.3	79.9	17.8
	女性	293	61.4	28.3	4.4	4.1	1.7	89.7	8.5
	無回答	6	66.7	16.7	-	16.7	-	83.4	16.7
年代別	20歳代	44	15.9	45.5	9.1	29.5	-	61.4	38.6
	30歳代	82	54.9	35.4	4.9	3.7	1.2	90.3	8.6
	40歳代	89	53.9	30.3	10.1	5.6	-	84.2	15.7
	50歳代	79	51.9	29.1	8.9	6.3	3.8	81.0	15.2
	60歳代	134	70.9	19.4	2.2	3.7	3.7	90.3	5.9
	70歳以上	82	68.3	24.4	2.4	3.7	1.2	92.7	6.1
	無回答	3	66.7	-	-	33.3	-	66.7	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	61	62.3	23.0	3.3	8.2	3.3	85.3	11.5
	太宰府東小学校区	50	70.0	16.0	6.0	8.0	-	86.0	14.0
	太宰府南小学校区	44	59.1	31.8	6.8	-	2.3	90.9	6.8
	水城小学校区	61	50.8	32.8	4.9	8.2	3.3	83.6	13.1
	水城西小学校区	69	65.2	30.4	2.9	1.4	-	95.6	4.3
	太宰府西小学校区	84	57.1	32.1	6.0	3.6	1.2	89.2	9.6
	国分小学校区	71	59.2	25.4	4.2	11.3	-	84.6	15.5
	わからない	60	41.7	33.3	11.7	10.0	3.3	75.0	21.7
	無回答	13	30.8	23.1	7.7	23.1	15.4	53.9	30.8

「議会だより」

●「議会だより」の閲読率は約6割となっている。

「議会だより」については、「いつも読んでいる」は24.2%、「たまに読んでいる」は36.6%で、『閲読率』は60.8%である。一方、「ほとんど読まない」(18.3%)、「読まない」(17.0%)を合わせた『非閲読率』は35.3%となっている。

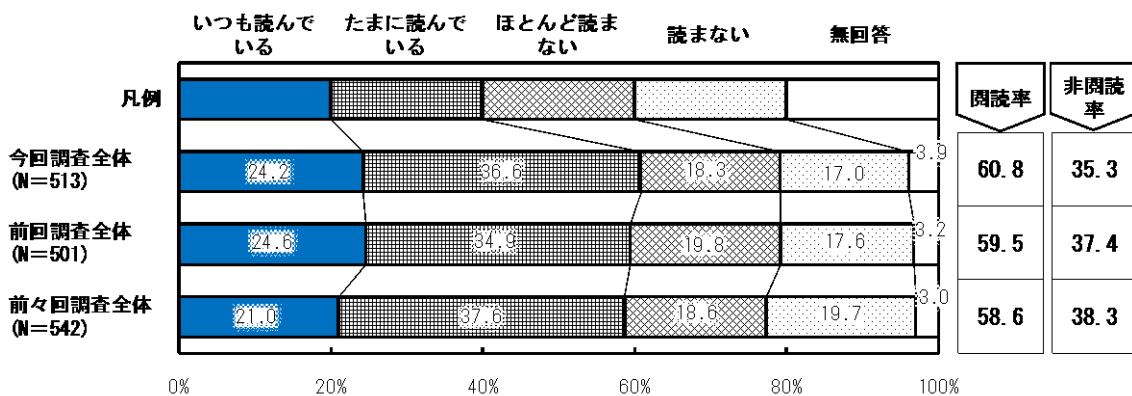
経年比較でみると、『閲読率』は微増している。

性別でみると、全体の『閲読率』では男女で大きな差はないが、「いつも読んでいる」は男性が女性より4.4ポイント高くなっている。

年代別では、70歳以上は「いつも読んでいる」が3割以上を占めており、『閲読率』も74.3%と最も高くなっている。

小学校区別では、水城西小学校区で『閲読率』が7割を超えている。

問 63. あなたは「太宰府市議会だより」を読んでいますか。(○は1つ)



		標本数	いつも読んでいる	たまに読んでいる	ほとんど読まない	読まない	無回答	閲読率	非閲読率
全体		513	124	188	94	87	20	312	181
性別	男性	214	26.6	34.6	15.0	20.1	3.7	61.2	35.1
	女性	293	22.2	38.2	20.8	14.7	4.1	60.4	35.5
	無回答	6	33.3	33.3	16.7	16.7	-	66.6	33.4
年代別	20歳代	44	9.1	15.9	13.6	61.4	-	25.0	75.0
	30歳代	82	17.1	37.8	19.5	24.4	1.2	54.9	43.9
	40歳代	89	25.8	37.1	28.1	9.0	-	62.9	37.1
	50歳代	79	24.1	34.2	21.5	15.2	5.1	58.3	36.7
	60歳代	134	25.4	42.5	15.7	9.0	7.5	67.9	24.7
	70歳以上	82	34.1	40.2	11.0	8.5	6.1	74.3	19.5
	無回答	3	66.7	-	-	33.3	-	66.7	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	61	24.6	41.0	11.5	14.8	8.2	65.6	26.3
	太宰府東小学校区	50	26.0	32.0	28.0	14.0	-	58.0	42.0
	太宰府南小学校区	44	25.0	38.6	20.5	11.4	4.5	63.6	31.9
	水城西小学校区	61	27.9	31.1	13.1	23.0	4.9	59.0	36.1
	水城西小学校区	69	33.3	39.1	15.9	8.7	2.9	72.4	24.6
	太宰府西小学校区	84	22.6	42.9	14.3	15.5	4.8	65.5	29.8
	国分小学校区	71	21.1	38.0	19.7	21.1	-	59.1	40.8
	わからない	60	16.7	23.3	30.0	25.0	5.0	40.0	55.0
	無回答	13	7.7	53.8	7.7	23.1	7.7	61.5	30.8

「太宰府市ホームページ」

●「太宰府市ホームページ」の閲覧率は約3割となっている。

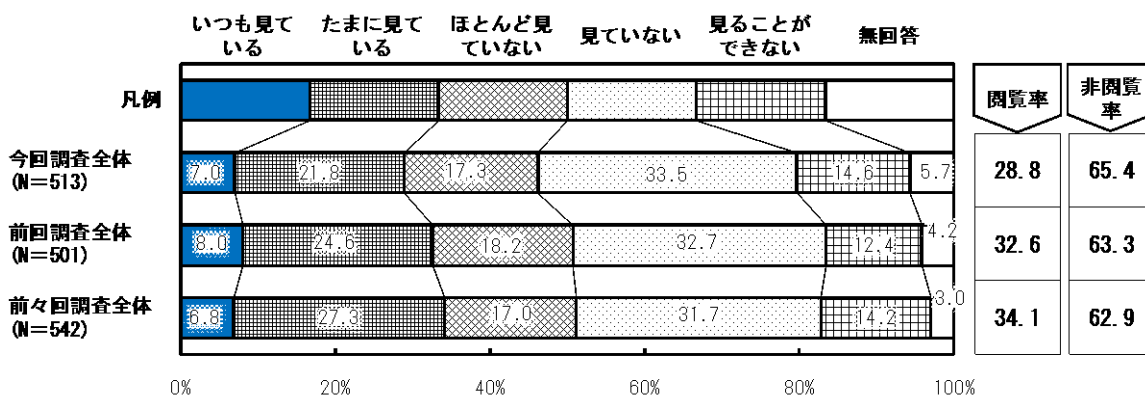
「太宰府市ホームページ」については、「いつも見ている」は7.0%、「たまに見ている」は21.8%で、『閲覧率』は約3割となっている。紙媒体に比べると閲覧率は低い。

経年比較でみると、前回調査より『閲覧率』が3.8ポイント減少している。

年代別では、30歳代、70歳以上の閲覧率が比較的高くなっている。60歳以上では「見ることができない」が約2割で、他の年代に比べてやや高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区では『閲覧率』が44.0%と最も高くなっている。

問 63. あなたは「太宰府市ホームページ」を見ていますか。(○は1つ)



		標本数	いつも見ている	たまに見ている	ほとんど見えていない	見ていない	見ることができない	無回答	閲覧率	非閲覧率
全体		513	36	112	89	172	75	29	148	336
性別	男性	214	10.3	23.4	15.4	30.8	13.1	7.0	33.7	59.3
	女性	293	4.8	20.1	18.8	35.5	16.0	4.8	24.9	70.3
	無回答	6	-	50.0	16.7	33.3	-	-	50.0	50.0
年代別	20歳代	44	4.5	11.4	11.4	65.9	6.8	-	15.9	84.1
	30歳代	82	2.4	29.3	31.7	26.8	8.5	1.2	31.7	67.0
	40歳代	89	2.2	27.0	34.8	27.0	7.9	1.1	29.2	69.7
	50歳代	79	5.1	21.5	17.7	36.7	12.7	6.3	26.6	67.1
	60歳代	134	10.4	16.4	7.5	34.3	20.9	10.4	26.8	62.7
	70歳以上	82	14.6	23.2	2.4	26.8	23.2	9.8	37.8	52.4
	無回答	3	-	33.3	33.3	-	33.3	-	33.3	66.6
小学校区別	太宰府小学校区	61	4.9	23.0	16.4	34.4	13.1	8.2	27.9	63.9
	太宰府東小学校区	50	10.0	34.0	12.0	22.0	22.0	-	44.0	56.0
	太宰府南小学校区	44	9.1	18.2	4.5	43.2	20.5	4.5	27.3	68.2
	水城小学校区	61	6.6	27.9	13.1	32.8	13.1	6.6	34.5	59.0
	水城西小学校区	69	10.1	21.7	26.1	30.4	7.2	4.3	31.8	63.7
	太宰府西小学校区	84	8.3	15.5	20.2	33.3	14.3	8.3	23.8	67.8
	国分小学校区	71	5.6	19.7	15.5	36.6	16.9	5.6	25.3	69.0
	わからない	60	1.7	23.3	21.7	35.0	15.0	3.3	25.0	71.7
	無回答	13	7.7	-	30.8	38.5	7.7	15.4	7.7	77.0

(3) 情報公開・提供に対する意識 (問 64)

- 約5割が市の情報公開について肯定的に評価している。
- 男性は女性に比べて『肯定派』の割合が低い。

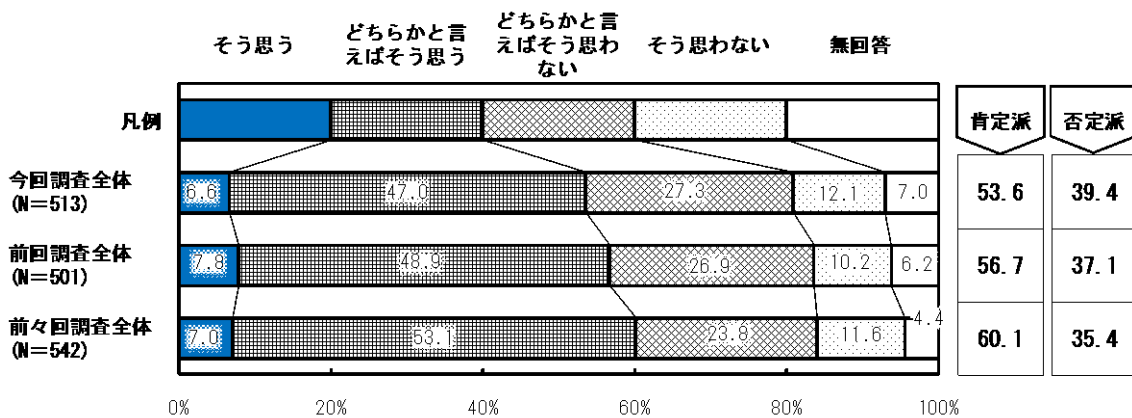
市が積極的に情報公開をしているかという質問に対しては、「そう思う」6.6%、「どちらかと言えばそう思う」47.0%で、これらを合わせた『肯定派』が53.6%となる。「そう思わない」は12.1%、「どちらかと言えばそう思わない」は27.3%で、これらを合わせた『否定派』は39.4%である。

経年比較でみると、前回調査に比べ『肯定派』が3.1ポイント減少している。

性別でみると、男性では『否定派』が45.8%と女性(35.2%)と比べて約10ポイント高く、男性の方が厳しい評価となっている。

小学校区別では、太宰府南小学校区では『肯定派』が約6割と多くなっている。

問 64. あなたは市が積極的に情報を公開・提供していると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	思言ど うえち ばら そか うと	思言ど わえち なばら いそ か	いそ う 思 わ な	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		513	34	241	140	62	36	275	202
性別	男性	214	5.6	43.9	29.9	15.9	4.7	49.5	45.8
	女性	293	7.2	49.1	25.6	9.6	8.5	56.3	35.2
	無回答	6	16.7	50.0	16.7	-	16.7	66.7	16.7
年代別	20歳代	44	6.8	43.2	27.3	18.2	4.5	50.0	45.5
	30歳代	82	8.5	50.0	30.5	7.3	3.7	58.5	37.8
	40歳代	89	4.5	49.4	28.1	14.6	3.4	53.9	42.7
	50歳代	79	6.3	39.2	30.4	8.9	15.2	45.5	39.3
	60歳代	134	5.2	49.3	24.6	14.9	6.0	54.5	39.5
	70歳以上	82	8.5	47.6	25.6	8.5	9.8	56.1	34.1
	無回答	3	33.3	33.3	-	33.3	-	66.6	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	61	6.6	42.6	26.2	16.4	8.2	49.2	42.6
	太宰府東小学校区	50	2.0	52.0	32.0	10.0	4.0	54.0	42.0
	太宰府南小学校区	44	4.5	56.8	22.7	9.1	6.8	61.3	31.8
	水城小学校区	61	14.8	41.0	21.3	13.1	9.8	55.8	34.4
	水城西小学校区	69	7.2	49.3	29.0	11.6	2.9	56.5	40.6
	太宰府西小学校区	84	6.0	50.0	26.2	9.5	8.3	56.0	35.7
	国分小学校区	71	5.6	36.6	35.2	16.9	5.6	42.2	52.1
	わからない	60	5.0	55.0	25.0	6.7	8.3	60.0	31.7
	無回答	13	7.7	30.8	23.1	23.1	15.4	38.5	46.2

(4) パソコンの有無 (問 65)

●パソコンの本人または家族の所有率は約8割となっている。

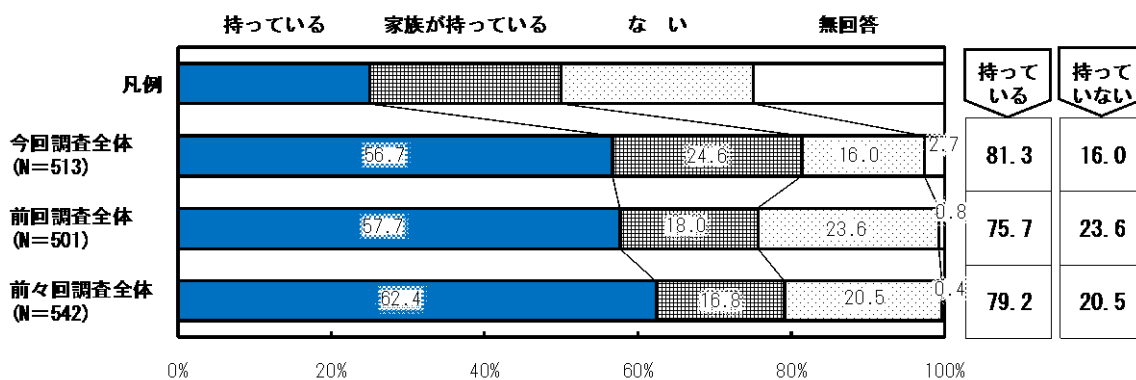
パソコンの所有については、「持っている」が 56.7%、「家族が持っている」が 24.6%で、本人または家族がパソコンを所有している人が 81.3%となっている。

経年比較でみると、前回調査より「家族が持っている」の割合が 6.6 ポイント増加し、全体の所有率は増加している。

性別にみると、「持っている」は男性 70.6%、女性 46.8%で、性別による所有率の差が大きい。なお、「家族が持っている」は男性 9.8%に対し、女性 35.2%となっている。

年代別にみると、20歳代から50歳代は約9割が『持っている』と回答しているが、年齢が高くなるほど所有率が低下する。

問 65. あなたはパソコンを持っていますか。(〇は1つ)



		標本数	持っている	家族が持っている	ない	無回答	計
全体		513	291	126	82	14	417
		100.0	56.7	24.6	16.0	2.7	81.3
性別	男性	214	70.6	9.8	16.8	2.8	80.4
	女性	293	46.8	35.2	15.4	2.7	82.0
	無回答	6	50.0	33.3	16.7	-	83.3
年代別	20歳代	44	68.2	25.0	6.8	-	93.2
	30歳代	82	78.0	13.4	8.5	-	91.4
	40歳代	89	71.9	14.6	12.4	1.1	86.5
	50歳代	79	55.7	36.7	6.3	1.3	92.4
	60歳代	134	44.0	29.9	22.4	3.7	73.9
	70歳以上	82	35.4	25.6	30.5	8.5	61.0
	無回答	3	33.3	33.3	33.3	-	66.6
小学校区別	太宰府小学校区	61	60.7	23.0	14.8	1.6	83.7
	太宰府東小学校区	50	58.0	26.0	14.0	2.0	84.0
	太宰府南小学校区	44	61.4	18.2	11.4	9.1	79.6
	水城小学校区	61	57.4	29.5	11.5	1.6	86.9
	水城西小学校区	69	63.8	24.6	8.7	2.9	88.4
	太宰府西小学校区	84	46.4	31.0	22.6	-	77.4
	国分小学校区	71	53.5	28.2	15.5	2.8	81.7
	わからない	60	55.0	16.7	26.7	1.7	71.7
	無回答	13	69.2	-	15.4	15.4	69.2

(5) パソコンのインターネット利用の有無（問 65 付問 1）

●パソコンでのインターネット利用率は8割以上となっている。

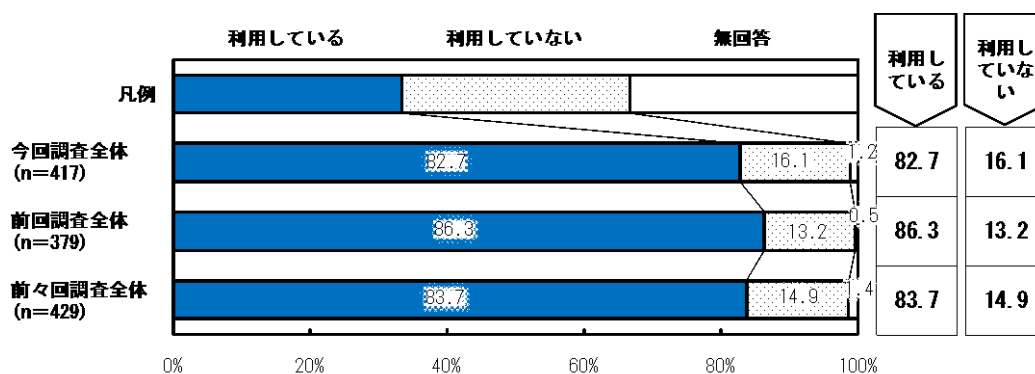
パソコンでのインターネットは、「利用している」が82.7%、「利用していない」が16.1%で、約8割が利用している。

経年比較でみると、前回調査から「利用している」という人が3.6ポイント減少しているが、8割以上で推移している。

性別にみると、男性では「利用している」が86.0%と女性（80.4%）に比べ利用率がやや高くなっている。

年代別にみると、40歳代以下では「利用している」が9割以上と高い。50歳代以上は利用率が下がるが、最も低い70歳代以上でも約6割となっている。

問 65 付問 1【持っている・家族が持っていると答えた方】におたずねします。そのパソコンを使ってインターネットを利用していますか。（〇は1つ）



		標本数	利用している (%)	利用していない (%)	無回答 (%)
全体		417	82.7	16.1	1.2
性別	男性	172	86.0	12.2	1.7
	女性	240	80.4	18.8	0.8
	無回答	5	80.0	20.0	-
年代別	20歳代	41	95.1	4.9	-
	30歳代	75	93.3	6.7	-
	40歳代	77	96.1	3.9	-
	50歳代	73	80.8	16.4	2.7
	60歳代	99	72.7	27.3	-
	70歳以上	50	58.0	36.0	6.0
	無回答	2	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	51	86.3	13.7	-
	太宰府東小学校区	42	76.2	21.4	2.4
	太宰府南小学校区	35	82.9	17.1	-
	水城小学校区	53	83.0	15.1	1.9
	水城西小学校区	61	83.6	14.8	1.6
	太宰府西小学校区	65	81.5	18.5	-
	国分小学校区	58	79.3	20.7	-
	わからない	43	90.7	7.0	2.3
	無回答	9	77.8	11.1	11.1

(6) 携帯電話の有無 (問 66)

●約9割が携帯電話を所有している。

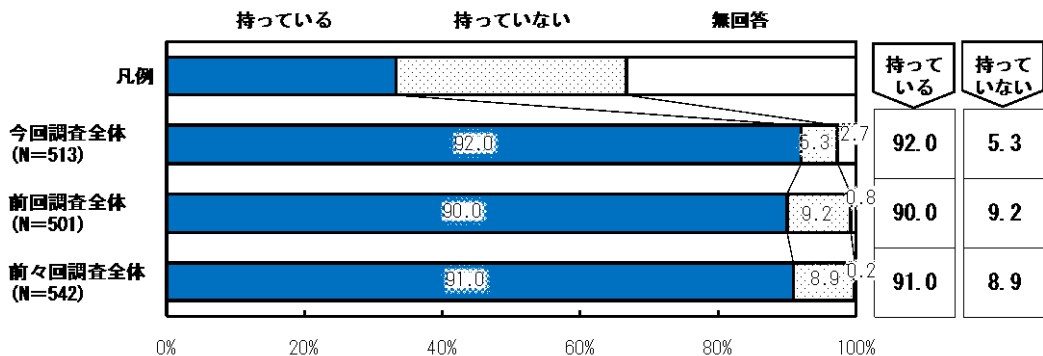
携帯電話を「持っている」は 92.0%、「持っていない」は 5.3%で、9割以上が携帯電話を所有している。

経年比較でみると、前回調査と比較して「持っていない」の割合は減少している。

性別では、男女ともに約9割が携帯電話を所有しており差はみられない。

年代別でみると、すべての年代で8割を超えている。

問 66. あなたは携帯電話を持っていますか。(○は1つ)



		標本数	持っている	持っていない	無回答
全体		513	472	27	14
		100.0	92.0	5.3	2.7
性別	男性	214	91.6	5.6	2.8
	女性	293	92.5	4.8	2.7
	無回答	6	83.3	16.7	-
年代別	20歳代	44	97.7	2.3	-
	30歳代	82	100.0	-	-
	40歳代	89	98.9	-	1.1
	50歳代	79	93.7	5.1	1.3
	60歳代	134	88.1	8.2	3.7
	70歳以上	82	80.5	11.0	8.5
	無回答	3	33.3	66.7	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	93.4	4.9	1.6
	太宰府東小学校区	50	94.0	4.0	2.0
	太宰府南小学校区	44	84.1	6.8	9.1
	水城小学校区	61	93.4	4.9	1.6
	水城西小学校区	69	91.3	5.8	2.9
	太宰府西小学校区	84	94.0	6.0	-
	国分小学校区	71	93.0	4.2	2.8
	わからない	60	91.7	6.7	1.7
	無回答	13	84.6	-	15.4



(7) 携帯電話によるインターネット利用の有無 (問 66 付問 1)

- 携帯電話でのインターネットを「利用している」は約5割。
- 20歳代、30歳代では8割以上、40歳代では6割以上が利用している。

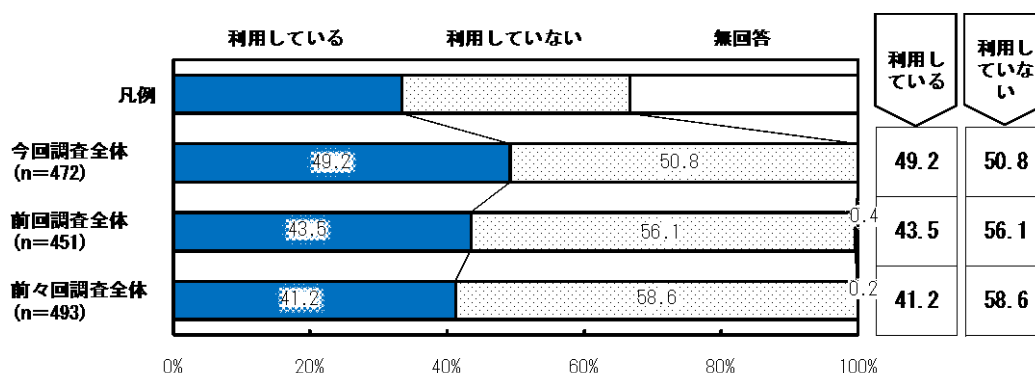
携帯電話でのインターネットの利用については、「利用している」が49.2%、「利用していない」が50.8%で、パソコンでの利用に比べると、利用率は低い。

経年比較でみると、前回調査から利用率が5.7ポイント増加している。

性別では、女性では「利用している」が46.5%に対し、男性は53.6%と7.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、年齢が低くなるほど利用率が高くなる傾向が顕著にみられ、30歳代以下では「利用している」が8割以上と特に高くなっている。

問 66 付問 1. 【持っていると答えた方】におたずねします。その携帯電話を使ってインターネットを利用していますか。(○は1つ)



		(% )		
		標本数	利用している	利用していない
全体		472	232	240
		100.0	49.2	50.8
性別	男性	196	53.6	46.4
	女性	271	46.5	53.5
	無回答	5	20.0	80.0
年代別	20歳代	43	93.0	7.0
	30歳代	82	84.1	15.9
	40歳代	88	68.2	31.8
	50歳代	74	37.8	62.2
	60歳代	118	23.7	76.3
	70歳以上	66	9.1	90.9
	無回答	1	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	57	42.1	57.9
	太宰府東小学校区	47	40.4	59.6
	太宰府南小学校区	37	48.6	51.4
	水城小学校区	57	59.6	40.4
	水城西小学校区	63	55.6	44.4
	太宰府西小学校区	79	45.6	54.4
	国分小学校区	66	48.5	51.5
	わからない	55	54.5	45.5
	無回答	11	36.4	63.6

2. 市民のための行政運営

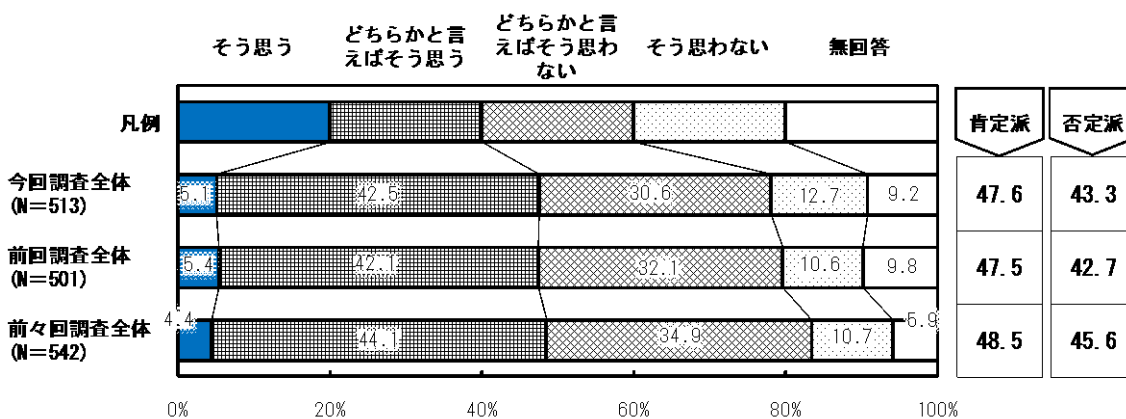
(1) 行財政改革 (問 67)

●効果的な行政運営については『肯定派』(47.6%)と『否定派』(43.3%)と『肯定派がやや上回る。

太宰府市が効果的に行政運営を行っているかについては、「そう思う」が 5.1%、「どちらかと言えばそう思う」が 42.5%で、これらを合わせた『肯定派』が 47.6%、「そう思わない」が 12.7%、「どちらかと言えばそう思わない」が 30.6%で、これらを合わせた『否定派』が 43.3%であり、『肯定派』が 4.3 ポイント上回っている。

年代別にみると、20 歳代では『肯定派』が 3 割台と低くなっている。

問 67. あなたは太宰府市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		513	5.1	42.5	30.6	12.7	9.2	47.6	43.3
性別	男性	214	4.7	40.7	33.6	14.0	7.0	45.4	47.6
	女性	293	5.1	43.3	28.7	11.9	10.9	48.4	40.6
	無回答	6	16.7	66.7	16.7	-	-	83.4	16.7
年代別	20歳代	44	-	38.6	40.9	18.2	2.3	38.6	59.1
	30歳代	82	3.7	46.3	25.6	17.1	7.3	50.0	42.7
	40歳代	89	4.5	40.4	36.0	14.6	4.5	44.9	50.6
	50歳代	79	5.1	41.8	35.4	6.3	11.4	46.9	41.7
	60歳代	134	6.0	43.3	28.4	11.9	10.4	49.3	40.3
	70歳以上	82	7.3	42.7	24.4	11.0	14.6	50.0	35.4
	無回答	3	33.3	33.3	-	-	33.3	66.6	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	6.6	36.1	32.8	18.0	6.6	42.7	50.8
	太宰府東小学校区	50	4.0	42.0	32.0	12.0	10.0	46.0	44.0
	太宰府南小学校区	44	2.3	47.7	22.7	6.8	20.5	50.0	29.5
	水城小学校区	61	3.3	42.6	26.2	19.7	8.2	45.9	45.9
	水城西小学校区	69	5.8	43.5	33.3	10.1	7.2	49.3	43.4
	太宰府西小学校区	84	3.6	48.8	33.3	8.3	6.0	52.4	41.6
	国分小学校区	71	5.6	39.4	36.6	12.7	5.6	45.0	49.3
	わからない	60	6.7	45.0	26.7	10.0	11.7	51.7	36.7
	無回答	13	15.4	15.4	15.4	30.8	23.1	30.8	46.2

(2) 市職員の応対や行動に対する意識 (問 68)

- 市職員の仕事への取り組みについては約6割が満足している。
- 『満足派』が前回と比べ増加している。

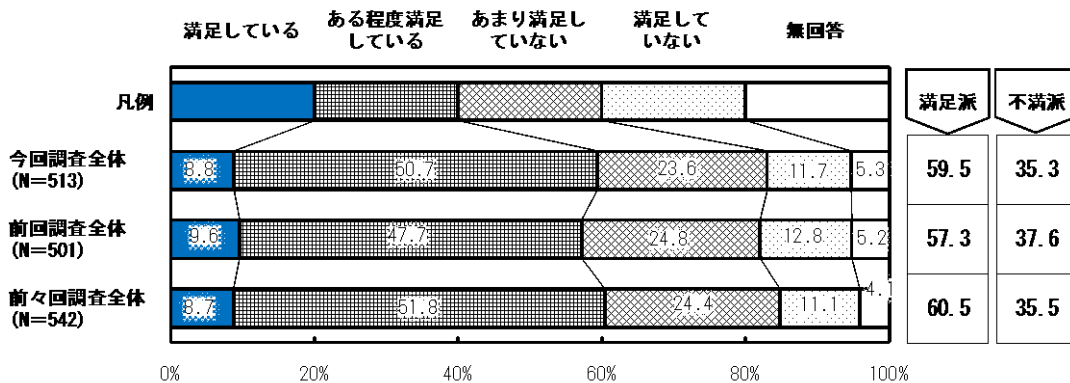
市職員の応対や行動などの仕事への取り組みに対しては、「満足している」が8.8%、「ある程度満足している」が50.7%で、この2つを合わせた『満足派』は59.5%である。「満足していない」は11.7%、「あまり満足していない」は23.6%で、これらを合わせた『不満派』の割合は35.3%となっており、『満足派』が『不満派』を24.2ポイント上回っている。

経年比較でみると、前回調査と比べ『満足派』は2.2ポイント増加している。

年代別でみると、40歳代以下では『満足派』が6割以上と高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区では『不満派』の割合が4割程度と他の小学校区と比べて高くなっている。

問 68. あなたは市職員の応対や行動などの仕事に対する取り組みについて、満足していますか。(○は1つ)



		標本数	い満足している	い満ある足るし程度	な足あいしまりてりい満	い満な足いして	無回答	満足派	不満派
全体		513	45	260	121	60	27	305	181
		100.0	8.8	50.7	23.6	11.7	5.3	59.5	35.3
性別	男性	214	10.3	50.0	23.4	10.3	6.1	60.3	33.7
	女性	293	7.2	50.9	24.2	13.0	4.8	58.1	37.2
	無回答	6	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	44	4.5	56.8	22.7	15.9	-	61.3	38.6
	30歳代	82	11.0	50.0	20.7	14.6	3.7	61.0	35.3
	40歳代	89	5.6	57.3	25.8	10.1	1.1	62.9	35.9
	50歳代	79	10.1	49.4	27.8	8.9	3.8	59.5	36.7
	60歳代	134	8.2	47.8	23.9	11.9	8.2	56.0	35.8
	70歳以上	82	8.5	48.8	20.7	11.0	11.0	57.3	31.7
	無回答	3	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	11.5	47.5	23.0	14.8	3.3	59.0	37.8
	太宰府東小学校区	50	6.0	56.0	26.0	8.0	4.0	62.0	34.0
	太宰府南小学校区	44	11.4	54.5	20.5	2.3	11.4	65.9	22.8
	水城小学校区	61	9.8	52.5	18.0	14.8	4.9	62.3	32.8
	水城西小学校区	69	7.2	60.9	18.8	8.7	4.3	68.1	27.5
	太宰府西小学校区	84	8.3	46.4	31.0	11.9	2.4	54.7	42.9
	国分小学校区	71	8.5	49.3	26.8	11.3	4.2	57.8	38.1
	わからない	60	8.3	46.7	21.7	16.7	6.7	55.0	38.4
無回答	13	7.7	23.1	23.1	23.1	23.1	30.8	46.2	

(3) 市役所窓口の利用の有無 (問 69)

●過去1年間の市役所窓口の利用率は約8割となっている。

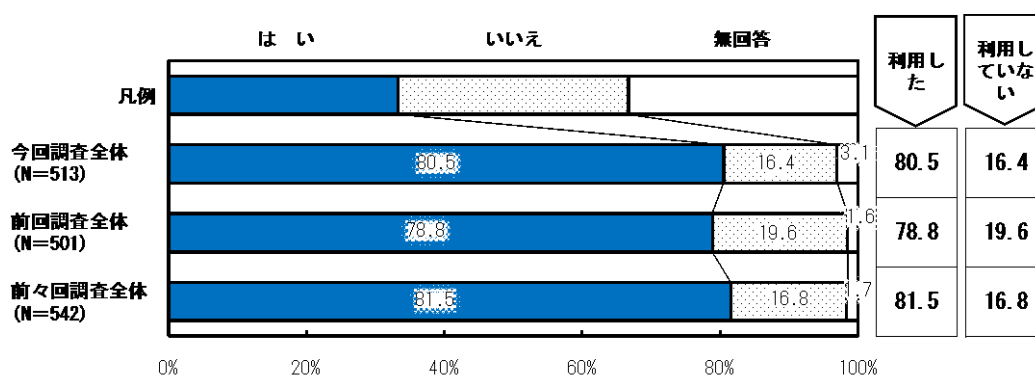
過去1年間での市役所の窓口の利用の有無については、「利用した」が80.5%、「利用していない」が16.4%で、約8割がこの1年に窓口を利用している。

経年比較でみると、ほぼ同程度で推移している。

性別でみると、男女ともに「利用した」が約8割となり、大きな差はみられない。

年代別にみると、50歳代では利用率が約9割と高くなっている。

問 69. あなたは過去1年間で、市役所の窓口を利用したことがありますか。(○は1つ)



		標本数	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
全体		513	413	84	16
		100.0	80.5	16.4	3.1
性別	男性	214	82.7	13.6	3.7
	女性	293	78.8	18.4	2.7
	無回答	6	83.3	16.7	-
年代別	20歳代	44	72.7	27.3	-
	30歳代	82	82.9	15.9	1.2
	40歳代	89	80.9	18.0	1.1
	50歳代	79	93.7	3.8	2.5
	60歳代	134	79.1	16.4	4.5
	70歳以上	82	72.0	20.7	7.3
	無回答	3	66.7	33.3	-
小学校区別	太宰府小学校区	61	77.0	19.7	3.3
	太宰府東小学校区	50	86.0	12.0	2.0
	太宰府南小学校区	44	72.7	18.2	9.1
	水城小学校区	61	85.2	14.8	-
	水城西小学校区	69	84.1	13.0	2.9
	太宰府西小学校区	84	81.0	19.0	-
	国分小学校区	71	81.7	15.5	2.8
	わからない	60	78.3	16.7	5.0
	無回答	13	61.5	23.1	15.4

(4) 事務処理の迅速性に対する意識 (問 69 付問 1)

●窓口の事務処理は『満足派』が8割以上を占めている。

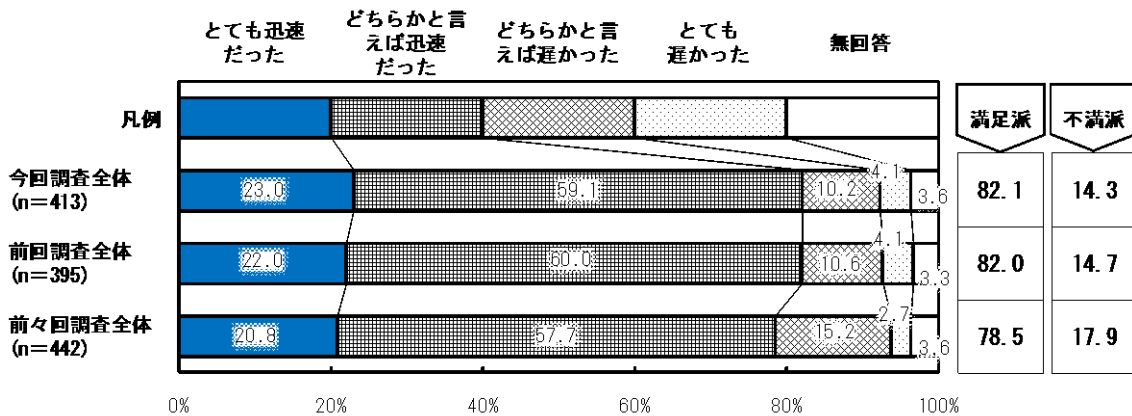
市役所を利用した人に窓口の事務処理についてたずねたところ、「とても迅速だった」(23.0%)、「どちらかと言えば迅速だった」(59.1%)を合わせた『満足派』は82.1%で、8割以上の方が窓口での事務処理が迅速だったと感じている。一方、「とても遅かった」(4.1%)、「どちらかと言えば遅かった」(10.2%)を合わせた『不満派』は14.3%であった。

経年比較でみると、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

年代別にみると、40歳代～60歳代で『満足派』は8割以上と高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区、太宰府東小学校区では『不満派』が約2割と他の小学校区と比べて高くなっている。

問 69 付問 1. 【はいと答えた方】におたずねします。窓口での事務処理は迅速でしたか。  
(○は1つ)



		標本数	とても迅速	どちらかといえば迅速	どちらかといえば遅	とても遅	無回答	満足派	不満派
全体		413	23.0	59.1	10.2	4.1	3.6	82.1	14.3
性別	男性	177	22.6	61.0	10.2	4.5	1.7	83.6	14.7
	女性	231	22.9	57.6	10.4	3.9	5.2	80.5	14.3
	無回答	5	40.0	60.0	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	32	28.1	50.0	15.6	3.1	3.1	78.1	18.7
	30歳代	68	23.5	54.4	8.8	8.8	4.4	77.9	17.6
	40歳代	72	27.8	54.2	11.1	4.2	2.8	82.0	15.3
	50歳代	74	20.3	64.9	9.5	2.7	2.7	85.2	12.2
	60歳代	106	18.9	69.8	6.6	0.9	3.8	88.7	7.5
	70歳以上	59	23.7	49.2	15.3	6.8	5.1	72.9	22.1
無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-	
小学校区別	太宰府小学校区	47	21.3	57.4	10.6	10.6	-	78.7	21.2
	太宰府東小学校区	43	18.6	55.8	20.9	2.3	2.3	74.4	23.2
	太宰府南小学校区	32	43.8	53.1	3.1	-	-	96.9	3.1
	水城小学校区	52	23.1	59.6	9.6	3.8	3.8	82.7	13.4
	水城西小学校区	58	29.3	62.1	5.2	-	3.4	91.4	5.2
	太宰府西小学校区	68	19.1	57.4	13.2	4.4	5.9	76.5	17.6
	国分小学校区	58	24.1	63.8	6.9	1.7	3.4	87.9	8.6
	わからない	47	10.6	63.8	12.8	8.5	4.3	74.4	21.3
無回答	8	25.0	37.5	-	12.5	25.0	62.5	12.5	

(5) 職員の対応・姿勢に対する満足度 (問 69 付問 2)

●窓口での職員の対応に『満足』が約8割を占める。

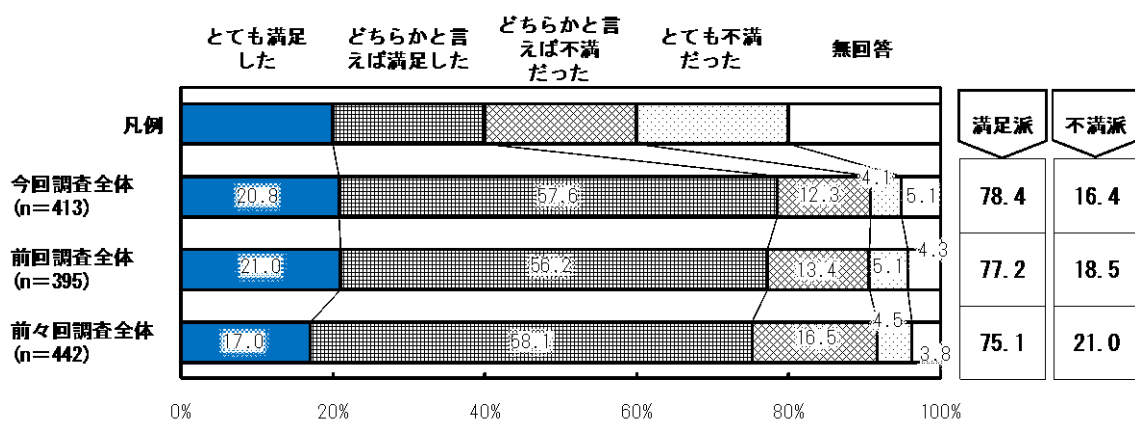
窓口での職員の対応について、「とても満足した」が 20.8%で、「どちらかと言えば満足した」(57.6%)を合わせた『満足派』は 78.4%となっている。「とても不満だった」(4.1%)、「どちらかと言えば不満だった」(12.3%)を合わせた『不満派』は 16.4%である。

経年比較でみると、前回調査より『満足派』がわずかに増加している。

性別でみると、大きな違いはないが、男性は『満足派』(79.1%)の割合が女性(77.4%)に比べてわずかに高い。

年代別でみると、30歳代と70歳以上では『不満派』の割合が2割以上と比較的高くなっている。

問 69 付問 2. 【はいと答えた方】におたずねします。窓口での職員の対応や姿勢に満足しましたか。(○は1つ)



		標本数	しとても満足	し言ど たえち ばら 満か 足と	だ言ど つえち たばら 不 満と	だど つても 不 満	無 回 答	満 足 派	不 満 派
全体		413	86	238	51	17	21	324	68
		100.0	20.8	57.6	12.3	4.1	5.1	78.4	16.4
性別	男性	177	20.9	58.2	9.6	4.0	7.3	79.1	13.6
	女性	231	20.3	57.1	14.7	4.3	3.5	77.4	19.0
	無回答	5	40.0	60.0	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	32	28.1	53.1	12.5	3.1	3.1	81.2	15.6
	30歳代	68	23.5	50.0	13.2	8.8	4.4	73.5	22.0
	40歳代	72	25.0	51.4	6.9	5.6	11.1	76.4	12.5
	50歳代	74	20.3	55.4	16.2	2.7	5.4	75.7	18.9
	60歳代	106	14.2	70.8	11.3	0.9	2.8	85.0	12.2
	70歳以上	59	20.3	55.9	15.3	5.1	3.4	76.2	20.4
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	47	14.9	59.6	14.9	8.5	2.1	74.5	23.4
	太宰府東小学校区	43	16.3	58.1	23.3	-	2.3	74.4	23.3
	太宰府南小学校区	32	31.3	43.8	15.6	-	9.4	75.1	15.6
	水城小学校区	52	28.8	53.8	9.6	1.9	5.8	82.6	11.5
	水城西小学校区	58	22.4	56.9	12.1	1.7	6.9	79.3	13.8
	太宰府西小学校区	68	17.6	60.3	5.9	8.8	7.4	77.9	14.7
	国分小学校区	58	22.4	65.5	3.4	5.2	3.4	87.9	8.6
	わからない	47	19.1	59.6	17.0	4.3	-	78.7	21.3
	無回答	8	-	37.5	37.5	-	25.0	37.5	37.5

3. 広域連携の推進（問70）

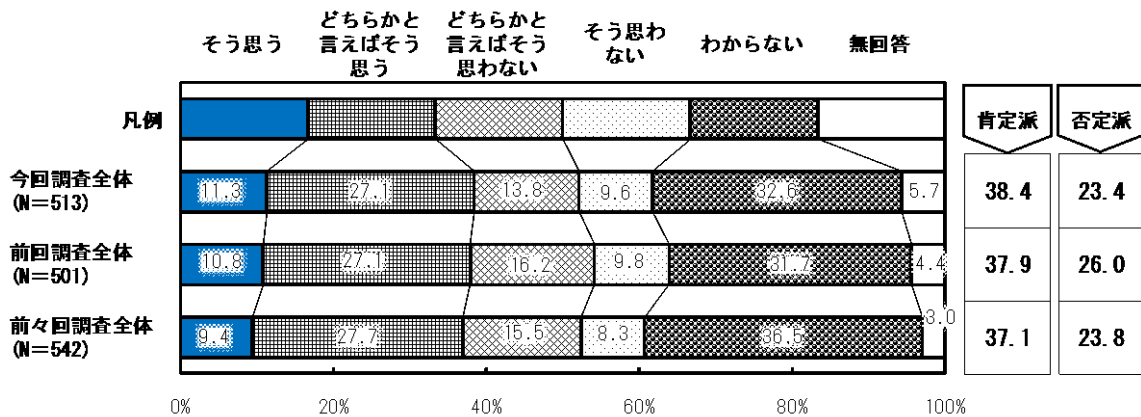
●住民サービスの向上について、『肯定派』が4割強、『否定派』は2割強である  
 ●前回調査より『肯定派』が微増となっている。

広域的な取り組みによる住民サービスの向上については、「そう思う」が11.3%、「どちらかと言えばそう思う」が27.1%で、これらを合わせた『肯定派』は38.4%である。一方、「そう思わない」(9.6%)と「どちらかと言えば思わない」(13.8%)を合わせた『否定派』は23.4%となっており、『肯定派』が『否定派』を15ポイント上回っている。なお、この質問に対しては「わからない」が32.6%と多くなっている。

経年比較でみると、前回調査に比べ『肯定派』が微増し、『否定派』は2.6ポイント減少している。

年代別にみると、50歳代で『否定派』の割合が他の年代と比べやや高くなっている。

問70. 福岡都市圏では道路等交通基盤整備や水資源の確保、図書館や体育館の広域利用による生涯学習の体制づくりなど、都市圏に共通する課題に対し、圏域全体の一体的発展と、魅力と活力にあふれた住みよい都市圏の形成に向けて取組を進めています。あなたは福岡都市圏の広域的な取組によって住民サービスが向上したと思いますか。(○は1つ)



	標本数	そう思う	思言ど うえち らばそ うと	思言ど わえち らばそ うと	いそ う思 わな	わ か ら な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体	513 513.0	58 11.3	139 27.1	71 13.8	49 9.6	167 32.6	29 5.7	197 38.4	120 23.4
性別									
男性	214	11.2	26.6	14.5	11.2	32.7	3.7	37.8	25.7
女性	293	11.6	26.6	13.7	8.5	32.4	7.2	38.2	22.2
無回答	6	-	66.7	-	-	33.3	-	66.7	-
年代別									
20歳代	44	9.1	34.1	18.2	4.5	34.1	-	43.2	22.7
30歳代	82	14.6	15.9	17.1	7.3	41.5	3.7	30.5	24.4
40歳代	89	7.9	27.0	14.6	13.5	34.8	2.2	34.9	28.1
50歳代	79	7.6	24.1	12.7	19.0	31.6	5.1	31.7	31.7
60歳代	134	11.9	28.4	13.4	9.7	29.1	7.5	40.3	23.1
70歳以上	82	15.9	34.1	9.8	1.2	28.0	11.0	50.0	11.0
無回答	3	-	66.7	-	-	-	33.3	66.7	-
小学校区別									
太宰府小学校区	61	13.1	32.8	14.8	13.1	23.0	3.3	45.9	27.9
太宰府東小学校区	50	8.0	36.0	12.0	8.0	32.0	4.0	44.0	20.0
太宰府南小学校区	44	4.5	22.7	18.2	4.5	38.6	11.4	27.2	22.7
水城小学校区	61	8.2	27.9	13.1	9.8	37.7	3.3	36.1	22.9
水城西小学校区	69	11.6	29.0	14.5	10.1	29.0	5.8	40.6	24.6
太宰府西小学校区	84	15.5	32.1	11.9	6.0	32.1	2.4	47.6	17.9
国分小学校区	71	12.7	19.7	16.9	14.1	29.6	7.0	32.4	31.0
わからない	60	11.7	18.3	10.0	8.3	45.0	6.7	30.0	18.3
無回答	13	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	23.1	30.8	30.8

## 第5節 まちづくりに対する自由意見

小学校区	性別	年代	自由意見【01子育て支援の推進 20件】
太宰府	女性	20歳代	保育所を増やして下さい。子供の受け入れ人数を増やして下さい。
太宰府	女性	30歳代	子育て世帯の支援（医療費助成、保育料、学童保育料の値下げ）をお願いします。
太宰府	男性	40歳代	まだ太宰府市に住んで2年未満ですが、地区の集まりでも若い人は少なく、高齢化が進んでいる感じがします。医療費の負担軽減や保育料への手当拡充等、子育て支援の予算を充実させて、若い世代を増やしていくことで街も活性化化したいと思います。
太宰府東	女性	30歳代	他県から引っ越して来て、子供2人と太宰府に住んでいます。子育てに関してすごく不便だと思っています。一時預かりや保育園待機児童問題、働きたくても働けません。高齢者にやさしく、子供の育児はしにくい街だとつくづく感じ、家を売り、他に引っ越しを考える程です。子育てしやすい町にして下さい。
太宰府南	女性	30歳代	子育てに関するサービスを期待します。福利厚生が良くないから、太宰府市には住まないという人をよく聞きます。
水城	女性	40歳代	公立の幼稚園がないこと。子供の医療費のこと。子育てしにくいと思うのはこういう環境にあることです。
水城	女性	40歳代	子供の医療費は、せめて小学校に上がるまでは無料にしてもらいたい。
水城	男性	30歳代	太宰府市だけに限らず、行政の関心はなぜか高齢者に向く。不思議である。児童福祉、出産、育児、母親の子育て支援、保育園の場所と利便性の向上（開園時間を朝7:00~23:00）、育児手当の増額と私の要望は多岐に渡る。今日出産した子は確実に20年後に大人になる。この市の担い手である。働き、納税し、消費する。3役を担ってくれる。そして、それはこの市の経済の活力となる。そうなれば、市の自主財源は増えるのではないだろうか。1から9まで高齢者中心の市政だから、子供達は市や行政から手厚い児童福祉の政策を受けていないので、市に愛着もわかわらずに高卒と共に学力、能力に応じて他市へ出ていくのである。高齢者にはばかり偏重の市政に失望を覚えてかもしれない。
水城西	女性	40歳代	小学生以上の通院医療費の補助を希望します。
水城西	男性	50歳代	保育園が不足している。また、育児環境は春日市に比べ劣っており、不満である。保育園の料金が安い。我々のようなサラリーマン家庭は負担感が強く、不公平感を感じる。料金制度の改革が必要。
水城西	男性	40歳代	子供にやさしい街づくり（公園、公立の幼稚園、施設等）をこれからも実施してほしい。
水城西	男性	50歳代	子育て支援の推進、医療費の保障。
水城西	男性	30歳代	太宰府は治安も良く、住みやすい環境だと思っています。しかし、保育園（特に認可）、幼稚園が少なく、共働きの家庭には体制が十分とは言えない。子育て世代が住み続けるためにも、早急な充実を求めます。
水城西	女性	30歳代	福岡市を見習って下さい。太宰府市は子育てしにくいという噂が広がっていますので、住みやすいようにして下さい。太宰府に住みたくないという人が結構います。
水城西	男性	30歳代	子供の病院代の免除を3歳まで無料ではなく、もう少し拡大してほしい。
太宰府西	女性	60歳代	子育て環境が整っていない。
国分	女性	30歳代	子供の医療費が医療機関ごとに600円は高いような気がする。それと小学生からは実費になるため、定期的に行く歯科や耳鼻科の費用はかなりの負担となる。
不明	男性	30歳代	特に保育園の待機児童の数は、他の市と比べたら凄く差があると思う。
不明	男性	40歳代	保育園を増やしてほしい。働きたくても働けない。無認可の保育園にも補助金を出してほしい。公立の幼稚園を作してほしい。
不明	女性	30歳代	保育料が高すぎる。国が決めている金額に基づいているかもしれないが、福岡市、筑紫野市、大野城市など、どこも太宰府市ほど高くない。もっと金額を細かく分けるべき。
小学校区	性別	年代	自由意見【02高齢者福祉の推進 4件】
太宰府東	女性	40歳代	高齢者向けのサービスを充実させてほしい。
水城西	男性	30歳代	昨年、地域包括支援センターに知人夫婦のことで相談に行きました。知人夫婦は80歳代で2人で生活されていて、最近2人とも体が思うように動かず、介護認定を受けました。認定までの段取りや、認定を受けてからのフォローが全くないのに驚いています。このご夫婦には息子さんが1人いますが、仕事が忙しく、沖縄や東京などへ行っていてなかなか時間が取れないと伝えているのに、私が包括に「その後どうなりましたか。おばあちゃんが入浴の時不便だと言っていましたよ」と言っても、息子さんからの連絡待ちですなどと言って、今だに動いてくれません。はっきり言って、酷すぎる対応だと感じています。身近に困っているという声をあげているのに、知らん顔をされる。困っている高齢者はたくさんいると思います。どうにかしてあげて下さい。お年寄りによさしい市になってもらいたいです。
太宰府西	女性	70歳代	老後に安心して生活できるよう、行政として老人福祉施設（老人デイサービス・老人短期入所施設・養護老人ホーム等）を充実させて、補助金等で支援する等に力を入れてもらいたい。
不明	女性	40歳代	高齢者などの福祉について、本人からの申し出ではなく、行政側から動かないといろいろ受けることのできるサービス等を知らないことが多く、きちんと機能していない。情報を抽出して動くべきだ。
小学校区	性別	年代	自由意見【03障がい福祉の推進 1件】
不明	女性	50歳代	障害者用駐車スペースが少ない（どの施設に行っても空きがない時があるし、健常者の車が駐車していることが多々ある）。



小学校区	性別	年代	自由意見【04地域福祉の推進 5件】
太宰府	不明	70歳代	東北大震災、大津波、福島原発被災への支援を大拡大すべし。多賀城市へは10年以上職員を派遣すべし。現状では人情1枚より薄い。ゴミの焼却だって受け入れよ。太宰府は海港から離れているので、困難はわかる。だったら他のことをもっとすべき。
太宰府南	女性	40歳代	私は日本国民に対して、福祉に重きを置いてほしいと思っている。外国人に対して手厚くするのはではなく、障害者、高齢者に対してきめ細かな行政をしてほしい。
水城	女性	50歳代	働く場所も少ない。若い人と高齢者に仕事はあっても、中高年（40～60歳）くらいの仕事はほとんど市内では見つからない。
国分	女性	30歳代	税金が高くて雇用もない状態なので、若い世代がとても少ない。高齢者が亡くなったらこの市は立ち行かなくなるのではないかと思った。
不明	女性	30歳代	スーパーなどに、高齢者が利用できるような車椅子を置いてほしい。
小学校区	性別	年代	自由意見【05生涯健康づくりの推進 5件】
水城西	男性	50歳代	高齢者と子供のための政策が多いように思う。40歳～60歳代の健康づくりのための施設をつくったり、イベントを実施しておかないと、10年、20年先の医療費や介護が減らないと思う。
水城西	男性	70歳代	街づくりにしても、一番大切なことは健康な市だと思います。一部の市町村では肺炎球菌による感染症をワクチンで予防するために、ワクチン代を一部を高齢者に補助している市町村もあります。ぜひ太宰府市でも考えて下さい。
太宰府西	男性	50歳代	公園に運動器具を設置してほしいです。多くの方が利用すると思います。市民の健康づくりにも役に立つと思います。
国分	女性	60歳代	これから高齢化が進むことは確実であり、いつまでも元気な高齢者であるため、また高齢者の医療費軽減のためにも屋内、外のスポーツ施設をより充実させ、高齢者には限らないが、病気の予防や健康増進（維持）をはかる必要がある。
不明	女性	30歳代	健康診断を自分で受けるやり方などがよくわからないので、もう少しわかりやすくしてほしい。
小学校区	性別	年代	自由意見【06社会福祉の適正な運営 3件】
太宰府南	女性	40歳代	生活保護の不正受給など、うまく立ち回る人が得をするのではなく、きちんと対応して、その分を困っている人達に回してほしい（当たり前のことだが）。
水城西	男性	30歳代	生活保護者の保育代の無料は仕方ないかもしれないが、生活保護者は基本的には仕事をしていないのだから、家庭保育ができるのではないかと。共働きをしている家庭の方が、大きな負担を負っている気がする。
不明	男性	60歳代	すぐに生活保護や子育て支援に話が流れるのではなく、本当に必要な人達にだけ活用されるように、厳しくあってもらいたい。人というのは簡単に甘いことに流され、人様に手を差しのべ、ボランティアがすべて正しいという考えは昔から好きではないですね。政治に期待しています。
小学校区	性別	年代	自由意見【07防災・消防体制の整備充実 3件】
太宰府南	女性	40歳代	大雨の時に、家の前の道が川のようになる（筑紫高校のテニスコート側の坂道）。
水城	女性	60歳代	国分台団地に住んで16年になります。水害があり大変残念でした。団地入口の道路が広がり、我が家の玄関前で水の乗合が少しでも良くなることを切に期待しています。
不明	女性	40歳代	避難場所がはっきりとわからず、自宅から遠い。
小学校区	性別	年代	自由意見【08防犯・暴力追放運動の推進 9件】
太宰府	女性	50歳代	街灯が少なく、夜道が暗い。
太宰府東	男性	40歳代	防犯カメラ設置等、強化。
水城	男性	40歳代	あまり被害に遭ったということは聞きませんが、夜に外出していて、「何でここに街灯がないのか」と思うような場所がある。
水城西	女性	50歳代	下着の盗難にあったり、変質者に遭遇したりしたので、自分の住む街周辺の治安に不安を感じるので、もっとパトロール等を強化してほしい。
太宰府西	男性	30歳代	太宰府の西側の幹線道路沿いは街灯が多く明るいのですが、幹線道路を離れると大変暗く、男性でも夜間帰宅する際は暴漢などがいないか注意しながら帰宅しています。予算の都合もあるのですが、もっと住宅街の街灯を増やすべきだと思います。
太宰府西	女性	20歳代	暗い道（街灯がない道）がまだ多数あるので、再度調査して頂きたい。
国分	女性	30歳代	箱物はもういらぬ（減らしてほしい）ので、その分を治安につき込んでほしい。治安の悪さは毎日感じます。お年寄りの多い街なので、特に治安には力を入れてほしい。不審者に後をつけられることが何度もあったので、パトロールや交番を増やすなどしてほしい。空き巣も多い。国道の治安は特に悪い。
国分	女性	30歳代	街灯も少なく、防犯上安全な街だとは思えない。
不明	男性	70歳代	街全体（通古賀）が暗い。もっと照明をつけてもらいたい。

小学校区	性別	年代	自由意見【09交通安全対策の推進 8件】
太宰府	男性	40歳代	大型バスがスピードを出しすぎていて、通学路が危ない。道路が狭い所に大型バスが通るのはおかしい。もう少し住民に配慮した環境づくりに力を入れてほしい。
太宰府東	女性	60歳代	五条から六反までの道路は歩道がなく、非常に危険である。
太宰府東	男性	40歳代	高齢者の運転マナー、交通マナーが悪すぎて非常に危険。
水城	女性	40歳代	公共施設に行くまで（特に車椅子の方）の道の整備ができていないので、とても通行しづらいです。整備してほしい。市役所から西鉄五条駅へ行く間の道など危険で怖いです。
水城西	女性	60歳代	自転車のマナーというよりも違反走行が多く、歩道を歩いても車を運転していても危険を何度も感じました。小4で自転車の乗り方について学んだ後、中学校、高校では学んでいないのではないのでしょうか。特に高校生、大人の歩道走行、猛スピードや2列走行でしゃべりながらなど、自転車は車道走るのが法規なのだから歩行者がよければならないのはおかしい。車道走っていても平気で反対車線を行くなど、車やバイクに迷惑をかけている。事故が起きて、車の責任ではたまらない。太宰府市だけの高校ではなく、全県あげて指導を徹底すべきである。
太宰府西	男性	50歳代	信号の設置を増やすべきである。太宰府市では交通事故の件数が年々増えています。危ないと思う場所が多いと思いました。
国分	女性	30歳代	車の交通マナーもとても悪い。
不明	女性	30歳代	お年寄り（かなりの年配者）が運転しているが、マナーが悪すぎる。狭い道で離合する時に、譲り合う気持ちが全くない。下手なものもあると思うが、中央線がある道路でも中央線を半分くらい超えて運転している（ほとんど逆走状態）。それを誰も取り締まっていない。
小学校区	性別	年代	自由意見【11人権を尊重するまちづくりの推進 2件】
水城	男性	40歳代	同和問題も推進しているというポーズを取っているが、本当に今の取り組みが結果につながるのか。
国分	女性	40歳代	同和問題も実状はわかりませんが、知らない人がこれによって知ることでも差別が広がるのではないのでしょうか。問題は何か聞くより、いまだに続いていること、差別している人へ対応してはどうかと思います。
小学校区	性別	年代	自由意見【13生涯学習の推進 8件】
太宰府	女性	30歳代	公共サービスの面では図書館を利用することがあるが、本が古く、他の市の図書館と比べて太宰府市は充実していない。
太宰府	男性	50歳代	市内にいくつも学校があっても、書店が潰れるような街は文化都市とは言えない。市民図書館の利用者は比較的多いので、市民に自主学習の気運はあると思う。せっかく市内に小中高大、いくつも学校があるのだから、それら学校とも協力して、若い人々にも自主学習の機会を持つように仕向けてはどうだろうか。市内に複数の大学が存在するといえども、学生のレベルは必ずしも高いわけではなく、小～高時代に「自分から率先して何かをする」という体験すらしてこなかった人も多い。初めから何ごとにも諦めてしまっている人も多い。各大学で初年時教育や就職を目指したキャリア教育などを行ってはいけるものの、学校での学習と日常生活が完全に別のもので意識されているので、全く身につけていない。太宰府市としても大学を置いている以上、生涯学習の一部としての大学への取り組みができるのではないだろうか。
太宰府東	女性	30歳代	公民館では老人向けの行事等はたくさんありますが、子供達の習いごとや子供達が利用できる行事はない。
水城	女性	20歳代	太宰府市民図書館は、マンガ等子供向けが多い。大人向けの様々な本を揃えた別の図書館を作ってほしい。春日図書館のように、勉強できるスペースもあってほしい。
太宰府西	女性	60歳代	図書館の本が汚い。
太宰府西	男性	40歳代	以前、生涯学習に参加したことがあります。内輪で固まっている感じで、新しい参加者への配慮がないように思いました。
不明	女性	40歳代	図書館の書物が古すぎるので、充実してほしい。
不明	女性	40歳代	文化サークルの費用は、高いものが多い。
小学校区	性別	年代	自由意見【15学校教育の充実 9件】
太宰府	女性	20歳代	太宰府小、中学校でも同和問題を取り入れた方が良いのではないのでしょうか。
太宰府東	女性	20歳代	国博通等はきれいになりましたが、太宰府中学校の校舎の老朽化は酷いです。昨年度は黒板が落ちて、生徒がケガをしました。丸い創り窓は10年以上割れていて、ひびが入ったままです。窓枠は木で鍵もきちんと閉まらず、いつ窓が落ちてきてもおかしくない状態です。隙間風もひどいです。観光面にばかり力をいれるのではなくもっと教育に力を入れないと、未来を担う子供達が育たないと思います。40人が、狭い教室にすし詰め状態であるのも問題だと思います。
水城西	男性	30歳代	小学校で重要視されている給食が、なぜ中学校で行われぬのか。給食がないという理由で、太宰府に住まないという人もたくさんいるのに。毎日弁当を作ることは大変な負担。何年も前から声は上がっているのにできないのが不思議。
水城西	男性	40歳代	共働き世帯が多いので、子育て支援の一環で老朽化した小中学校の建て替えや増築、冷暖房の設置検討や、小中校への一環した給食センターなどの整備も早急に取り組んでほしい。
水城西	女性	30歳代	市内中学校に給食を出すべきです。
水城西	女性	30歳代	小学生、中学生の土曜日の授業はどうなっていますか。ぜひ進めて下さい。
太宰府西	男性	50歳代	中学校の給食について他市と比べてみたら、少し不便である。学校内に調理室がなく、子供の多くはお弁当持参か、委託業者の配達で行っている。子供達には作りたての給食をしたらいかがですか。もう少し予算を作ったらどうかと思います。福岡市立全中学校には給食室があります。太宰府もそうしてほしいのです。
太宰府西	女性	30歳代	中学校を小学校と同じように給食にしてほしい。これはほとんどのお母さんが望んでいることです。
不明	男性	50歳代	どうして中学校は給食がないのでしょうか。

小学校区	性別	年代	自由意見【17生活環境の向上 17件】
太宰府	女性	70歳代	排気ガスも酷い。
太宰府	男性	50歳代	年末年始以外、日常生活を送っている時期にゴミ集めの休みを作らないでほしい。家の中がゴミだらけになり、衛生上良くない。
太宰府東	男性	40歳代	犬のフンの放置が目立つ。
太宰府南	男性	60歳代	野良猫に車でエサを持って来る人が何人もいて、交通の妨げにもなっています。
水城	女性	40歳代	犬の散歩をする方も多くいらっしゃいますが、自宅が川の近くののですが、フンがとても多くて、たまに見かけますが、スコップですくってそのまま川に投げ捨てている人もいます。また政庁跡では犬を放している人が多くて、ドッグラン状態です。
水城	女性	40歳代	ペットを飼っている人のマナーが悪い。道路のあちこちでフンを見かけます。散歩時の犬のフンはきちんと始末してもらいたい（罰則を作っても良いのでは）。私の住んでいるアパートの敷地内（駐車場や植え込みの中）に、隣人がよく犬にフンをさせています。近所に小さな子供もいるので非常に迷惑しています。子供の医療費は、せめて小学校に上がるまでは無料にしてもらいたい。
水城	男性	40歳代	暴走族とまではいかないかもしれないが、真夜中にうるさいバイクが結構多いかもしれません。
水城	女性	40歳代	太宰府市はPM2.5の数値が、県内でもトップクラスに入るほど高い。大人がきちんと子供達を守るべき。もう少し異例の対応をするなどきちんとしてほしい。
水城西	女性	40歳代	犬の散歩の際のフンの後始末の徹底を希望します。
水城西	女性	60歳代	私は都府楼南に住居をしておりますが、すぐ近くに食肉会社があり、毎日毎日凄い異臭がし、また肉片はすごいカラスの量で、このカラスが上から落としていきます。市民にはゴミの出し方等、厳しく指導されますが、この会社の敷地内はどのようになっているのかと思います。このような会社が住宅街に今でも存在していることが不思議だし、市としてどのように指導されているのかを住民として知りたい気持ちでいっぱいです。市長さん一度この辺りを見に来て下さい。毎朝カラスの鳴き声で起こされ、寝れないし、うるさい。
水城西	女性	70歳代	せっかく歴史と文化の街に住んだのに、食肉センターの異臭と鳴き声にどうにかならないかなと思います。
水城西	男性	60歳代	ゴミの夜間回収は大変良く、市内美化にも寄与しているので大変でしょうが継続して下さい。
太宰府西	女性	70歳代	市は丘陵地が多く、溜池も数多くあります。一般市民から見ても、池の管理がされていないように度々感じられ、市へゴミ投棄などで市民が通報してから動くことが多く感じられます。万に一つ池が壊れた時（地震などの場合）、組合に任せるのではなく、市がしっかりと管理をして頂いているのでしょうか。それから大佐野の調整池に心ない者がゴミを投げ込み、私が度々市へ知らせながら動くようです。今もゴミなどが投げ込まれています。ゴミはゴミを必ず呼ぶものです。定期的に池の管理をしっかりとして下さい。特に申し上げます。吉松4丁目の芳池（夏場は特に）はゴミが投げ込まれ、異臭があります。先人からの池の管理をしっかりとして下さい。人が見えない空間にもしっかりと気配りをして頂くことを一市民として強く願います。太宰府は歴史の街です。が、市民生活の場である地形上の溜池の管理を水利組合に任せているようです。市はしっかりと水利組合と一つになって下さい。人は（心ない人）ゴミを捨てます。実に悲しいことです。私は住んでいる所だけとは思い、時折袋とハサミを持って動いています。
太宰府西	女性	60歳代	最近ペットを飼っている家庭が多いようです。朝、夕の犬の散歩等を見ていると、ほとんどの人がフンの処理をきちんとなさっています。でも、猫は放し飼いのため、庭に入り込んであちらこちらでフンをして行きます。後片付けも大変です。猫は用足しの後、土を掘りかえすので、折角植えた種や球根などがいつもダメになってしまいます。何とか回覧等で注意を呼びかけてほしいです。
不明	男性	30歳代	道路近くに住んでいるため、交通の騒音が少しうるさいと感じる。
不明	男性	70歳代	黄砂もPM2.5も飛来しない太宰府市とPRする。今、大気汚染物質に注意するだけで、根本的に飛来しないようにすることは誰も考えていないように思える。誰かがどこかで立ち上がらないと、将来今の子供が大人になっても今のままである。太宰府市が立ち上がり、日本国、中国を動かす。諦めないで、市長、市議等で頑張ってやって見せて下さい。
不明	女性	70歳代	自宅は吉松スポーツ公園に面しています。1日中近隣の皆さんがウォーキングをしています。犬を入れる方も多く、困っています。もっと看板「犬を入れるな」を入口や周りなどに、くどいくらい立てて下さい。
小学校区	性別	年代	自由意見【18自然共生社会の構築 4件】
太宰府南	女性	50歳代	自然をもっと大事にしてほしい。山をなくす造成地はもういらぬ。住宅地に変わっていく山を見ると悲しい。大きな木、自然の木々を残すようにしてほしい。
水城	女性	20歳代	御笠川が汚い。せっかく宰都地区にきれいに整備されている所があるのに、上流を見ると生活排水が流れていて、絶対に子供を遊ばせられない。もったいない。
水城	女性	20歳代	市は緑と文化の街とうたっているが、住民の反対運動があったにもかかわらず、住民税確保という目先のことのために白川の山を崩したことは今でも腹立たしい。
国分	女性	70歳代	75歳をすぎで後期高齢となりました。70歳まで天満宮の参道で元気に働いてまいりましたが、緑豊かな天満宮の参道で働けたことを有り難く振り返っています。国分区も昔は蛍のいる川もありましたが、田んぼも畑も少しくなくなり、改めて便利な住宅地はなりませんが、それだけにまほろばの緑地などの跡はしっかり残して行ってほしいものです。

小学校区	性別	年代	自由意見【19環境型社会の構築 6件】
太宰府	男性	40歳代	リサイクル品の回収幅の拡大や、回収頻度をアップできないか。
太宰府東	女性	60歳代	近くの公民館で回収できるもの（資源ゴミ）を増やすと便利。
太宰府南	男性	60歳代	普段、家近辺の道路等を清掃していると思うのですが、落ち葉は家庭菜園に使用していますが、土やゴミは量が多く処理に困っています。
水城西	男性	40歳代	太宰府市では水源問題もあり、上下水道費用が他市町村より高いが、高い理由が明確にある。であれば、資源維持、ECO対策のため各世帯向けに雨水留タンク購入費や、環境対策の意味で住宅用太陽光発電設置に関わる補助金施策を実施し、市民にも環境対策費として還元して頂きたい。
太宰府西	女性	30歳代	市役所の入り口にあるプラスチックなどのゴミ箱はともいと思う（ゴミが減るし、リサイクルできるし）。でも、家から遠いので、中々行けない。しかも平日は難しい。土日は開いてないですね。春日市かどこかで見たことがあるけど、地域ごとにリサイクルステーションなどを作って、いつでも持って行けるようにしたらともいと思う。
不明	男性	70歳代	ゴミを削減する。段ボール、コンポストを推薦しているようですが、市民にいくら説明しても長続きはしない。できた肥料をどうするか。畑にまくしかない。せめて市民農園をしている人には義務づける。野菜作りの講演会でも行い、人を集める。その時に段ボール、コンポストの説明を行い、また、市民農園を優先的に貸し出す等の話をして、市民に対してゴミ削減の意識をさせることが大事だと考えます。
小学校区	性別	年代	自由意見【20低炭素社会の構築 2件】
不明	女性	40歳代	原発を前提としたエネルギー消費社会を大転換し（江戸時代までは遡れないが）、低エネルギー消費を基本とした市政としてほしい。
不明	男性	50歳代	太宰府は風が強いので、風力発電などを考えたりしているのでしょうか
小学校区	性別	年代	自由意見【22未来に伝える景観づくり 10件】
太宰府	男性	50歳代	太宰府駅前商店街はもう少し歴史ロマンのある、統一のとれた外観にしてはどうか。
太宰府南	男性	60歳代	政庁跡の復元（国の支援、ネットでの寄附）は無理だと思うが、観光場所の周りをスミレ、レンゲ、ショウブ等で1年中美しくし、周りの林も整備したら観光客、住民の心の癒しになると思う。美しい街太宰府は、ボランティアの活躍次第だと思います。
太宰府南	女性	40歳代	私は太宰府市は大好きである。これからも美しい街づくりを頑張ってもらいたい。
水城	女性	30歳代	天満宮周辺が相応の景観を形成できるよう、街づくりを進めてほしい。市民にも協力できることがあれば、広く知らせて頂きたいです。
水城	男性	60歳代	閑屋交差点から太宰府駅の景観を目指して、街づくりをしてほしい。
水城	男性	60歳代	観光都市として、道路脇の植木部分の剪定、草取りは適時やらないと見苦しい時がある。
水城西	女性	30歳代	太宰府天満宮の参道やその周りの地域は特に、これからも高い建物や雰囲気に合わない建築物を建てないで、センスの良い伝統的でモダンな景観を守ってほしい。できれば太宰府市全地域がそうなれば良い。
不明	女性	30歳代	街並みを美しくして観光客が来やすいように、また来たいと思えるように、とにかく美しくしてほしいです。芸術的な街があうようにしてほしい。また歴史ある地域ですから、もっとそれを強みにしてほしい。
不明	女性	70歳代	観光都市にふさわしく花壇などを増やし、美化に取り組んでほしい。
不明	女性	70歳代	土手の草刈りも年1回ではなく、常にきれいにしてほしい。
小学校区	性別	年代	自由意見【23計画的なまちづくりの推進 45件】
太宰府	女性	70歳代	御笠川を活かした市民がほっとする場所づくりができないでしょうか。
太宰府	女性	70歳代	高齢化社会に向けて、もう少し小さな店が身近にあればいい。
太宰府	女性	70歳代	体育館の建設問題が新聞等で出ますが、そんなに利用されるのでしょうか。維持管理費等試算されているのでしょうか。また、高校跡の土地体育館も購入すると新聞で読みましたが、それほどの利用と必要性は考えられません。この財政厳しい時に、もっと他の方へ回す必要があるように思います。
太宰府	女性	50歳代	市内に数ヶ所あるような利用度の少ない公園を有意義に使えるよう配慮すべきだ。
太宰府	女性	50歳代	管理費だけ無駄にかかっている市の施設なども、活性化できる利用法を考慮すべきである。
太宰府	女性	30歳代	ショッピングセンター等があれば、太宰府で買物や食事をする機会が増えると思う。
太宰府	男性	70歳代	太宰府市内の都市計画がなされたら良い。公共事業の推進を大いにやっていただきたい。
太宰府	男性	60歳代	太宰府という全国に名の知られた町、これは今の私達がつくり上げた町ではない。昔の祖先の人達の努力によって作られ、守られてきた街であることをしっかり肝に銘じておくべき。今の私達が太宰府をどのように活性化し、PRしてきたか、何をしてきたか、ここ20数年の歩みを反省すべきである。太宰府は現在も将来も学問の街、歴史と文化の街である。太宰府市が本腰入れて思い立ってほしい。松山市のように、文化の香りが現在でも漂うような街にしてほしい。私達大学関係者も何なりと全面的に協力していきたい。
太宰府	男性	40歳代	五条駅周辺を再開発してほしい。
太宰府	男性	40歳代	公園が多いにも関わらず、定期的なメンテナンスが行われていないため、草が生い茂ったり、毛虫が多いなどで子供達が遊べない。
太宰府	男性	40歳代	都市圏にあるような公共の児童館を設置してほしい。
太宰府東	男性	40歳代	モニュメント系はいらない。公園はあっても駐車場がない。垢抜けない。
太宰府東	女性	60歳代	高雄周辺の荒れた農地は市民に開放するか、市民農園にしてはどうか。
太宰府東	女性	50歳代	歴史スポーツ公園や北谷運動公園などがあまり利用されていない。
太宰府東	男性	50歳代	街灯整備、歩道、道路整備、コミュニティセンターの充実を強く要望する。
太宰府東	女性	70歳代	文化活動に携わっていますが、会場の駐車場でもいつも苦労します。
太宰府南	男性	20歳代	自分が現在住んでいる家の周りにはあまり便利だと思える物がないので、もう少し便利な物がほしいです。

第2章 調査結果の分析

小学校区	性別	年代	自由意見【23計画的なまちづくりの推進 45件】
太宰府南	男性	60歳代	鉄道駅と幹線道路が通っている場所に、商業集積地が必要。西鉄の都府楼前駅の周辺の再開発をして、商業中心地にしてはどうでしょうか。他の自治体と比較すると、太宰府は商業施設及び商業ゾーンに華やかさを感じさせる場所がないため、筑紫野市や他市の施設に足が向いてしまう。歴史と文化、観光だけでは生活バランスが取れない。
水城	女性	30歳代	より多くの人に太宰府天満宮だけではなく、太宰府市に住みたいと思われるような街づくり、環境づくりをしてほしい。
水城	女性	50歳代	文化遺産の保存等に力を入れすぎていて、周囲の建物は皆古く、賃貸住宅を探してもなかなか新しい物件が見つからない。その上、古い商店やスーパーしかなく、新しく建つ見込みもないので、筑紫野市が羨ましくなる（どんどん住宅もスーパーも増えている）。西鉄駅の周辺もさびれていて全く魅力がなく、遠方まで車で行かないと買い物も不便である。大佐野近辺は店が固まっているが、その他は寂しい。古い物と新しい物がうまく共存できる太宰府市の姿を見せてほしい。
水城	男性	60歳代	公共施設、特に公園について、小さい子供達が来て遊ぶ所ではあるが、草や木を剪定するのが遅いのではないかと。
水城	男性	60歳代	体育館（スポーツセンター）は2つ目ができるという話を聞いているが、必要ないのではないかと。
水城	男性	40歳代	街づくりに統一性が見られない。太宰府という街がバラバラに作られているように見える。
水城	女性	50歳代	体育館の建設を急いで下さい。
水城西	女性	30歳代	公園の整備で少し不安な面があります（遊具の老朽化や水はけの悪さ、木々の伸びっぱなしなど）。
水城西	男性	60歳代	JR水城駅にエレベーター設置を要請してほしい。
水城西	男性	50歳代	歴史にとらわれすぎて、暗いイメージになっている。歴史の街並みと新しい街並みを区別して、都市計画を考えてみてはどうでしょうか。
水城西	男性	40歳代	個人的には吉松地区に児童公園の設置を希望します。
水城西	女性	30歳代	低所得の人に対し、市の住宅等をまず作ってほしい。
水城西	女性	60歳代	大切な歴史文化遺産、自然の景観など、いつまでも共生したいものです。個性ある店舗、食事処、ギャラリーなど、太宰府らしさがもっと表現できたら良いのと思います。
太宰府西	男性	60歳代	公害センター跡地の活用は、よく検討すべき。体育館建設では狭い。
太宰府西	男性	60歳代	立体駐車場を作る。
国分	女性	60歳代	市営住宅をもう少し作ってほしい。
国分	女性	70歳代	市営住宅ができれば良い。
国分	女性	30歳代	ぜひ北九州市の子供の館や諫早市の子供の城のような施設を作ってください。
国分	女性	50歳代	川岸はいつも工事していたり、土嚢が積んであったり、雨のたびに何かしらしているように見える。思い切って本格的に工事をして、橋も新しく広い物に取り換えてほしいものだと痛感する。
不明	男性	70歳代	家の前に電柱があり、車の出入りが危険です。また、私の家の前の道路に側溝がなく、低い所に水が溜まって困っています。道路整備を進めてほしい。
不明	男性	70歳代	都府楼橋のある御笠川のほとりの遊歩道は桜並木で素晴らしいのですが、川側に手すり（欄干）がなく危険を感じます。子供や老人が誤って落ちるのではないかと心配です。
不明	女性	30歳代	住んでいる近くに公園がありますが、小さな子供が遊べる遊具がなく、少し離れた高雄公園に月に一度あるかないかで行って遊ばせています。もっと小さな子供が安全に遊べる遊具などが作られると良い。
不明	女性	50歳代	バス停全てにベンチも屋根もない。高齢者や足の不自由な人は5分でも立つのはつらい。
不明	男性	40歳代	高い建物が建てられるようにするべき。
不明	女性	30歳代	駐車場が少なく、路上に止める人もいたりするので、駐車場や子供が安全に遊べる場所の確保をしてほしい。
不明	女性	40歳代	コンクリート、土建中心の公共事業を激減させ、お金を使わずに職員の知恵や足、汗でできることを増やしてほしい。例えば、コンクリートやモニュメントで（お金をかけて）公園を作るのではなく、寄付で植樹のみの公園を作る。コンクリート中心の護岸工事ではなく、自然に限りなく近い（知恵のいかされた）護岸にする。
不明	男性	50歳代	歴史文化を守るのはわかるが、必要性がない物が多い。
不明	男性	50歳代	せっかく大きい高雄公園ができて、今では子供だけで遊びに行くことが難しくなっていますか。
小学校区	性別	年代	自由意見【24地域交通体系の整備 62件】
太宰府	男性	60歳代	正月や日祭日の車の規制をしてほしい。日常生活に支障をきたすほどの我慢をしなくても良い程度のことです。
太宰府	男性	60歳代	コミュニティバスを利用して、足の確保はぜひほしいものです。
太宰府	女性	40歳代	天満宮周辺の渋滞に対して、何ら対策が取られていないのでとても不満です。
太宰府	女性	40歳代	観光客が多く太宰府を訪れてくれるのは喜ばしいことだと思いますが、正月から3月までの道路の渋滞は本当に嫌になります。どうにかならないものでしょうか。
太宰府	女性	60歳代	生活道路の渋滞を改善してほしいです。土日祝は、買い物等でとても困っています。
太宰府	男性	70歳代	天満宮周辺の交通渋滞の解消。特に正月祝日等は帰宅困難もあり、駐車場のあり方にも疑問。
太宰府	女性	30歳代	観光地であるため、九州国立博物館で展示が行なわれている時と太宰府天満宮でイベントが行なわれている時は、家の周辺が大渋滞し、家から車で出ることができない。
太宰府	女性	30歳代	西鉄電車の車内も人が多く、ゆっくり座ることができない。
太宰府	男性	50歳代	交通渋滞を何とかしてほしい。
太宰府	女性	30歳代	西鉄二日市の終電に、太宰府の終電時間を合わせてほしい。
太宰府	女性	30歳代	お正月の車の規制時間の期間を延長してほしい。
太宰府	女性	30歳代	まほろば号は本数が少なく、通るルートが不便なので利用したことがない。観光客が多い地域なので、JR二日市駅、西鉄二日市駅へ行けるようにしてほしい。

小学校区	性別	年代	自由意見【24地域交通体系の整備 62件】
太宰府	女性	30歳代	通勤、通学、ショッピングなどで天神や博多に行くことが多いので、公共交通機関を利用しやすいようにしてほしい。
太宰府	男性	70歳代	現在、地域における道路の凸凹が多すぎて、改善されていない。
太宰府	女性	40歳代	観光客が多くて、美しい街づくりへ取り組むのは良いことですが、住んでいる市民が不自由になっていることもとても多いということを知ってほしい。五条の交差点の渋滞、太宰府のJA前の押しボタン式信号がとて時間がかかってから青になる。いつも不便で大変困っている。地区からも何度も要望を出しているようですが、改善されない。観光バスも通る道で、市民もよく利用する道です。どうか改善をお願いします。
太宰府	男性	60歳代	天満宮、国博周辺の道路整備を急いでほしい。
太宰府	男性	40歳代	五条地区や宰府地区は古い宅地が多いため道路が狭く、子供や高齢者、障害者の往来が危なかったり、災害時の緊急自動車が通れない場所が多いので、再整備を検討できないのか。
太宰府	男性	40歳代	西鉄太宰府線と西鉄大牟田線の乗り換え連絡の悪さを見直してほしい。
太宰府東	女性	70歳代	行楽シーズンの車の渋滞で、電車や汽車に乗り遅れた。
太宰府東	女性	70歳代	渋滞を避けて団地内へ入ってきた車から、天満宮への道を尋ねられる（度々）。
太宰府東	女性	50歳代	観光客向けの駐車場の整備を行い、太宰府天満宮や国立博物館のイベント時の渋滞を緩和してほしい。付近に住んでいるが、本当に困っている。
太宰府東	女性	60歳代	太宰府市の歴史文化遺産は大切であり、誇りに思っているが、観光客が訪れることによって交通渋滞が年々激しくなり、日常生活に支障をきたしている。太宰府市の道路整備は、他の近隣市に比較して遅れている。体育館などの箱物よりも、まずは道路の拡張整備を緊急課題として年次的に進めて頂きたいと切に願う。
太宰府東	男性	70歳代	圧倒的知名度の高い太宰府市は、観光客を中心に国外、県内、国内から来客が当然多いので、経済的メリットは大きいと思うが、交通渋滞を伴い、地元住民の生活には大きな支障となっている。有望な解決策は難しいと思われるが、知恵を出し合ってもらいたいものです。マイカー乗り入れを季節、曜日などで規制する、その代替電車、バス等の交通費を大幅ダウンしたり無料にするなどしてほしい。
太宰府東	女性	60歳代	3号線に天神行きのバスを運行させて下さい。
太宰府南	男性	70歳代	私は太宰府に住んで34年になります。毎年、祝日、正月等に思うことですが、交通量が多く、一般市民の移動が大変難しい。これは天満宮に来る観光客が多数いるからだとは思いますが。一般市民は弊害が多いように思い、あまり交通に関しては有意義なことはありません。
水城	男性	60歳代	地区公民館まで救急車、消防車も入って来れないような狭小な道路で成り立つ地域です。道路セットバック等の行政指導強化を願いたい。
水城	男性	40歳代	天満宮はシンボルでもあり、参拝シーズンの渋滞は当然今に始まったことではないでしょうが、中々行きづらいし、私よりも家族が行きたがらないのが少し残念であります。
水城	女性	30歳代	太宰府天満宮周辺の交通渋滞の対策をお願いします。例えば、西鉄と協力して遠方に駐車場を設置し、参拝は電車で行くこと等を薦めてほしい。また、太宰府は歴史ある都市であることは皆誇りに思っていると思うのですが、天満宮周辺の道路（梅大路、県35号線）沿いの駐車場は大問題だと思います。天満宮周辺に住む人達の意識の持ち方を疑ってしまいます。同じ太宰府市民としても、とても残念です。
水城	男性	60歳代	天満宮行きの車の渋滞が大変です。
水城	男性	60歳代	2年前に福岡市から引っ越して来ました。住みやすい街だと思って来たのですが、道路や歩道は自転車や歩道が車に対して歩きにくい、走りにくいっくりになっています。
水城	女性	60歳代	住民同志でよく話題になりますが、交通の便のことです。今は元気で運転できますが、のちのちにはもっと便利な所に移らなければと考えています。
水城	男性	60歳代	天満宮近郊の道路の渋滞について、近郊の駐車場に問題があるのではないか。土日祝日は近くに用事があっても出て行かない。もしくは遠回りする。
水城	女性	20歳代	地域交通について、五条、梅大路の交差点での交通をスムーズにしてほしい。
水城	女性	20歳代	日吉神社は歴史も古く、訪れる人もかなりあるが、この地域の住人はやむなく参道を生活道に使っている。神社に対して申し訳ない気もするし、訪れる人達の迷惑にもなると思うので、どこかに通り道ができればと思う。また、何かあった時、消防自動車も入りにくいと思うので改善をお願いしたい。
水城西	女性	30歳代	コミュニティバスの路線を少し拡大してほしい。時間（本数）を増やしてほしい。
水城西	女性	40歳代	太宰府天満宮があるので行こうと思いますが、さすが観光地と思うほどバス、車が多いです。渋滞していることも多く、行くのを諦めたことも何度かあります。もう少し行きやすい場所になると良いと思います。
水城西	男性	50歳代	土日祝祭日の旧3号線の渋滞が慢性化しており、極めて不満である。市役所や天満宮周辺に比べ、それ以外は整備が遅れている。
水城西	女性	70歳代	踏み切りをもっとなめらかにして、車輪などが落ち込まないように広くなったらと良い思います。
水城西	女性	70歳代	下大利まで行けば各方面へのバスが出ています。私共の居住地区は女性（80歳以上）の1人生活が多くて、足や腰が痛い人が病院や買い物に仕方なくタクシーに頼っています。向佐野方面はまほろば号が通っていて便利です。居住をして50余年になり、皆タクシー代が嵩み、マイクロくらいでも良いから1時間に1本くらい走らせてもらいたいと言っています。女性1人の年金暮らしには、タクシー代は生活を圧迫します。どうぞその旨おくりと願います。まほろば号のコースを少し変えて、私共も使用できるようにしてほしいです。
水城西	女性	40歳代	市民プールあたりから、水城西小学校への通学路となっている歩道が狭い。その上、交通量が多い。車道も道の状態が悪く、雨の日の水たまりが酷い部分等を改善してほしい。
太宰府西	女性	30歳代	太宰府天満宮へ続く道を2車線にすると、渋滞がなくなるので良いなと思いました。
太宰府西	男性	60歳代	道路行政を進めるべき。天満宮への道路が狭い。
太宰府西	女性	70歳代	まほろば号の乗り継ぎをなくして、直行で公共施設に行けるようにしてほしい。暑さ、寒さ、時間の無駄を感じます。非常に不便です。
太宰府西	女性	20歳代	まほろば号の本数を増やしてほしい。
国分	女性	70歳代	まほろば号も有り難いです。

第2章 調査結果の分析

小学校区	性別	年代	自由意見【24地域交通体系の整備 62件】
国分	女性	60歳代	国分台にもコミュニティバスを通してほしい。
国分	不明	50歳代	五条から国博に右折する時に、信号に時差も矢印もないので混んでいる。国博なのに、信じられない信号システムだ。渋滞のないシステム、誘導を考えてほしい。駐車場税は渋滞解消に使うべきだ。
国分	不明	50歳代	ナビによる空駐車場検索システムがほしい。個人の駐車場も多いようなので、利害関係もあると思うが今のままではどうかと思う。
国分	女性	60歳代	幹線道路は良いが、周辺の道路が狭く、電信柱などの障害物があり通行しづらい。事故等が心配。
国分	女性	60歳代	太宰府駅周辺の道路拡張など、交通事情の向上。
国分	男性	50歳代	観光客に来てもらいたいなら、自転車道、歩道の整備が必要。自転車で市役所まで行くのにジャリ道で、車道は自転車で通れなかったりして、車でしか行けない。
国分	女性	50歳代	私が利用する下大利へと続く道は30年前と比べ交通量も増え、人も車（自転車）も格段に増加している。毎日利用している通勤道路が狭く、この時代のニーズに合っていない。
国分	女性	50歳代	コミュニティバスも市外（他の市）と協力して、もっと利便性の良いものになれば、利用価値が向上すると考える。
不明	男性	20歳代	正月や梅の時期など渋滞が酷く、帰宅するのに時間がかかります。特に正月3日間は交通整備をしている人がいますが、それ以降はいいないので、裏道でも道を知らない車がたくさん通っており、自宅前などは大変です。もう少し長く誘導の人を置いてもらいたいです。
不明	女性	50歳代	交通渋滞が酷い。
不明	女性	50歳代	市内バスの本数が少ないので、病院へ行く時は良いが、帰りは1時間近く待たなければならなくて、結局タクシーになり、家計に負担。
不明	男性	40歳代	天満宮の周辺がよく渋滞している。改善した方があらゆる面で良いことにつながる。
不明	女性	30歳代	道路交通事情が凄く悪い。あちこちに踏切があり、いつも車が混んでいる。
不明	女性	30歳代	信号の時間やタイミングが悪すぎて、車がスムーズに動いていない。
不明	不明	不明	天満宮、博物館周辺の道路が土日など休日を中心に渋滞し、生活するのが大変。何とか改善してほしい（西鉄太宰府線の立体交差、道路の整備など）。
不明	不明	不明	JR二日市、都府楼駅などとの接続を良くするため、まほろば号の直通を充実させてほしい。
不明	男性	50歳代	JRを使おうと思っても、乗り換えが必要なのはどうしてでしょうか。
小学校区	性別	年代	自由意見【25良質な水道水の安定供給 14件】
太宰府	女性	30歳代	水道代の値下げもお願いしたいです。
太宰府	男性	60歳代	水道料金をもっと安くできないのか。
水城	女性	40歳代	主人の仕事の関係で、何度かの転勤を経て太宰府に住んでいます。初めにびっくりしたのは水道料金の高さです。他の所の2ヶ月分くらいになります。
水城	女性	40歳代	水道料金が高すぎます。
水城	男性	60歳代	水道代が、筑紫野市から買っているのて高いのですか。
水城西	男性	40歳代	水道代が高い。
水城西	男性	30歳代	水道代が高い。
太宰府西	女性	60歳代	水道代がもう少し安くなったらと思う。太宰府市の恥です。
太宰府西	男性	50歳代	何度も書きましたが、とにかく太宰府市は水道料金が高すぎる。大野城、春日市でも福岡市に比べて高いのに、それ以上に高すぎる。水は生活の上で一番大切なものであり、本気で取り組んでほしい。水道料金の高さで、太宰府へ転入することを嫌う人が多いこともご存じですか。
太宰府西	女性	60歳代	水道代が高い。
国分	女性	40歳代	水道代が高い。
国分	女性	50歳代	水道の整備、維持、健全経営を強く望みます。
不明	男性	50歳代	水道料金が高い。頑張って安くなるようにして下さい。
不明	男性	50歳代	水道料金が高すぎる。
小学校区	性別	年代	自由意見【26下水道の整備と普及促進 1件】
国分	女性	30歳代	箱物はもういらぬ（減らしてほしい）ので、その分を下水道につぎ込んでほしい。
小学校区	性別	年代	自由意見【27産業の振興 1件】
水城西	男性	40歳代	財政難の時に、史跡や寺社仏閣が市民を手助けしてくれますか。そのような事態を回避するためにも、今のうちに企業誘致を実施し、雇用を確保し、人口増加を図り税収を安定させ、継続的運営な運営ができる市の基盤づくりに邁進して頂ければと考えます。

小学校区	性別	年代	自由意見【28文化遺産の保存と活用 6件】
太宰府南	男性	40歳代	太宰府は天満宮に頼りすぎて、他の文化遺産を有効に活用できていない。平家との由縁も深いのに、昨年大河ではなんのタイアップもなく、坂の上の雲では定遠にスポットを当てるわけでもなく、黒田官兵衛の時はどうでしょうか。小早川や立花宗茂などのキャラともつながりがあり、いわゆる歴史の取り込みなどもやっではどうでしょうか。太宰府の景観といえば、吉木の風景も見逃しません。半分筑紫野なので手つかずのようですが、吉木の景観は近鉄に乗って奈良に向かう時の風景にそっくりです。まさに万葉ロマン。道真公だけでなく、こういう所も強気にプッシュするべきだと思います。鑑真さんのつながりで、揚州とも姉妹都市になりましょう。
太宰府南	男性	60歳代	天満宮、博物館は市の目玉で素晴らしいが、日の当たらない観光コースが多く点在する太宰府市に、平安時代の色をもっと出せたら良い。
水城	男性	40歳代	体育館の建設より、政府の復元など未来を見た政策をお願いしたい（将来、観光による増益により、住民サービスへの還元を行うようなイメージ）。
水城西	男性	60歳代	水城西門の礎石が無造作に置かれているので、盗難防止のためにも整備してほしい。
水城西	男性	40歳代	市民憲章の「豊かな歴史と文化」とあるが、市民にとって有意義な施策なのか疑問を感じる。史跡の保護、周辺環境の維持整備や社寺仏閣の継承や市PRの意味でも、市民の理解が必要。ただ第三次産業である観光は収益の柱とも言えるが、それに携わる方は人口の何%なのか。史跡維持や交通整備事業など、財源の大半が市民の税金により補われている。財政運営の指針などを踏まえ、外部監査法人へ委託し、財政健全計画に盛り込んでいただき、市民へ公開して理解を得て活用して頂きたい。史跡維持は永久的に管理費が発生し、また、社寺仏閣からは法律上税収入を得ることができない。ならば、国、県より維持管理に関わる財源補助を別枠にて確保して、税金の違った活用をお願いしたい。
水城西	男性	40歳代	太宰府市＝歴史、文化、自然というイメージが私にはあります。全国に向けて、歴史、文化、自然を発信していただければと思います。
小学校区	性別	年代	自由意見【29観光基盤の整備充実 17件】
太宰府	女性	70歳代	文化財はたくさんあって多くの人が来市されますが、市にどれくらいお金が落ちているのでしょうか。天満宮に来てあの周辺を通り、市内では買物、食事などでできているのでしょうか。私も2年前にバスで来たのですが、食事は博多の方へ行きました。そういう観光客に市内でお金を使ってもらうことを考えないと、交通渋滞だけで市民は迷惑ですね。
太宰府	女性	50歳代	太宰府市は年間700万人以上の観光客が訪れる観光都市であるにもかかわらず、その観光の玄関口である太宰府駅は悲惨な状態だ。駅を出ると、目の前のロータリーの石畳はつぎはぎだらけのガタガタで、鉄塔はサビだらけ。梅の木が数本あるだけで見すばらしい。観光都市の玄関がこんな状態の地域は他に見たことがない。また、駅の外側のトイレはトイレペーパーが設置されてなく、100円でティッシュを買う販売機が置いてある。都会からの観光客や外国人観光客はペーパーがないトイレを初めて見たと感嘆の声を挙げたり、利用せず出て行ったりしていた。また荷物預かり所がないので、スーツケース用のロッカーが数ヶ所だけの駅の施設では間に合わない。運びにくい石畳の道をスーツケースを押しながら進む姿が気の毒に感じられる。また、外国人には参道の店舗でクレジットカードが使えない、両替が出来ないと不便な状況である。スマホの充電コーナーの設置は緊急に対処すべきである。JRからのアクセスの悪さも都会からの観光客をイラつかせている。JR太宰府駅を設置して、まほろば号を運行させてほしい。観光にもっと目を向けて、観光産業を活性化し、市の経済を黒字化させることが太宰府市民や観光客の満足度を高めることに繋がっていくと確信する。
太宰府	男性	50歳代	太宰府天満宮や国立博物館に多くの人々が来るのに、市内に宿泊施設が少なく、車や電車での日帰り客ばかりなのはもったいないと思う。
太宰府南	女性	30歳代	太宰府で景気が良いのは天満宮だけ。税金は落としてもらえないけど名声はある。それに乗っかっていろいろ工夫して、景気発展に努めてほしい。景気が上がって、太宰府市のお金がアップしないことには、他のサービスも向上しないと思う。
太宰府南	男性	40歳代	レンタサイクルも太宰府、二日市、都府楼間で行なわれているものの、都府楼では乗り捨てだけ。観光客は都府楼から乗って、順番に回って太宰府で乗り捨てたいと思います。
水城	男性	40歳代	梅の花、桜の花が至る所できれいに咲き誇っている3~4月に比べ、夏~秋にあまり情緒が感じられないような気がします。私が知らないだけかもしれませんが、良い所はありませんか。
水城	女性	30歳代	太宰府という全国的にも知られている歴史的な場所であるにもかかわらず、太宰府らしさが感じられない。京都のように街づくりを積極的に行なうことが必要ではないか。太宰府を訪れた友人のほとんどは「太宰府って天満宮だけで、他は普通の市内と一緒だね」と言われます。街歩きができるような街家カフェや着物を着られたりするなど、1日楽しめるものがないです。太宰府市民は私の誇りです。
水城	男性	60歳代	観光客がまた来たくするような太宰府市を楽しみにしています。都府楼駅付近にも観光客用のお土産物売り場があれば良い。
水城	女性	60歳代	水城は珍しい史跡だと思います。JR水城から水城の上を歩けるようにはできないでしょうか。歩いて大野城山の方の水城まで到達できたらいいのにといつも電車から眺めています。
水城西	男性	60歳代	太宰府市の年間の観光客は7百万人と伺っていますが、太宰府天満宮、九埴は近くに限られています。観光客が面（線）的な広がりを持つような流れを考慮して下さい。
国分	男性	60歳代	広域的、歴史的に有名な市でありながら、その恩恵を観光面で十分に活用していない。されていても限定的である。
国分	女性	40歳代	案内板が古かったりするので、散策路の整備にもう少し力を入れるべきではないか。
国分	男性	40歳代	太宰府に宿泊施設がもう少しあると、観光客がゆっくりしていけるのではないかと。
国分	女性	30歳代	史跡や太宰府天満宮など世界的にも有名な市であるのに、観光地として整備されていないと思う。宿泊施設や他にはない商業施設があると良い。日帰りでの観光では見てまわれないくらいの見どころ満載な市になってほしい。



小学校区	性別	年代	自由意見【29観光基盤の整備充実 17件】
不明	女性	50歳代	太宰府市は古いお寺等があり、美しい街だと思います。観光客も多いです。ただ、観光客が見る所は太宰府の参道等で、そのお店も閉店時間が早すぎるような気がします。それと、そこだけでなく街全体が個々、何かしら「おもてなし」として「見せる太宰府」があってもいいように思います。長崎の町は素敵です。ごく一部ではなくて、もう少し広範囲で観光地であったらと思います。
不明	女性	30歳代	全国的にも知名度が高い市だと思います。積極的に観光客を増やせるようにして頂きたい。
不明	男性	40歳代	宿泊する所が少ない。もっと増やすべき。
小学校区	性別	年代	自由意見【31市民参画の推進 8件】
太宰府東	男性	70歳代	地域住民(校区)の相互扶助(コミュニケーション)に不足感がある。区長さん等が話しかけて、住民の声を聞いてもらいたい。住み良い街づくりのために。
太宰府東	男性	40歳代	自治会として独立したことによって、地区によっては地域住民ともめている。もう少し市の方からある程度のモデルや道筋を見せてほしい。私の地区では自治会として財政を立て直さないといけないし、今後の備えもしないといけないということで、金のかかる自治会サークルや活動を中止し、公民館使用料も上げたりして、かなりもめていても住みたくない。
太宰府南	男性	70歳代	各地域の公民館に市の担当者が最初は月に1回程度来て、いろいろ話すことが大切ではないか。
太宰府西	男性	50歳代	大佐野4丁目に在住しているながら、公民館は向佐野になっている。近くに大佐野公民館があるのに、遠い向佐野公民館に行かなければならないのは特に高齢者にとって大きな負担である。なぜこのようなことになるのか。おかしい。隣組の組み分けもおかしい。住居表示の変更があった時、組み分けが行われ、往来道を挟んで両側の家が1つの組であったのが、背後同士の家が1つの組になった。背後(当地は坂に住居が建っている)の家とは交流がそもそもなく、おかしな組割である。長年のつきあいに水を差した格好だ。住居周辺のコミュニティは、普段から顔を合わせ挨拶する人達によって自然に形成されるものでありながら、今回の措置で何となく皆が疎遠になるのは悲しい。元の形に戻すべきである(向佐野66、67組)。
太宰府西	男性	60歳代	地方自治体基本条例の制定を作るだけなら必要ない。市長のパフォーマンスではないか。
太宰府西	男性	40歳代	以前住んでいた博多区、板付校区では子供のいない夫婦だけの世帯やアパート、マンションの世帯にも地域の運動会や文化祭の誘いがありましたが、今は回覧板が回ってくるだけできっかけもなく、少々参加しづらく、地域との関わりがなくて寂しく思っています。住み始めてまだ数年なので、もっと地域と関わったり、地域に愛着が持てるようになりたいです。
国分	女性	60歳代	今の団地に住み始めて、25年以上になります。子供も巣立ち、今は夫婦2人の生活です。団地も同じ世代もしくは上の方達が多く、区内でいろいろと役決めがあっていますが、皆ハードでこなせなくなっています。体育委員等、負担にならないようにできないものかといつも思いますが、それは区で学んでいくことですね。
国分	男性	20歳代	地域によっては高齢者が多い所があり、行事の負担が大きい。
小学校区	性別	年代	自由意見【32情報の共有化と活用 14件】
太宰府	女性	50歳代	議員としての任務、実務の中身が見えないので、インターネットなどで活動報告の詳細を公表してほしい。
太宰府	男性	40歳代	図書館の予約サービス、他の行政サービスのインターネット環境づくりを行ってほしい。
太宰府東	女性	40歳代	広報車が時々回って来たりするが、音が割れて何を言っているのかほとんどわかりません。ネットや電話で確認できるといいと思います。
水城	女性	60歳代	街全体にお知らせする(防災等)拡声音は、声は大きく聞こえるが何を言っているのかほとんどわからない(内容が聞き取れない)。
水城	女性	30歳代	市内でよく放送をされているのを聞きますが、反響が多く、言っていることがよく聞こえません。聞きやすいようにしてほしい。
水城	男性	40歳代	公報よりチラシ(作ろう会)の方が客観的に市を見ているように思う。単なる反対的な集まりとは思えない。
水城西	女性	40歳代	インターネットを使った情報公開を積極的に行ってみたいかがでしょうか(武雄市のFace book採用等)。
水城西	男性	70歳代	通古賀区自治の緊急連絡があっても、スピーカーが全然聞こえない。スピーカーの位置、場所を見直して下さい。
太宰府西	男性	60歳代	計画の策定はいいことが書いてあります。しかし、疑問点があります。住民は常に行政が何をしているのか見えない。インターネットで見ればわかる、公報(市報)を見れば確認できるというが、果たしてそうなのか。言葉で説明することが必要なのではないか。
国分	女性	30歳代	市政も内輪だけでやっているの、とても不明瞭です。
国分	女性	50歳代	インターネットを活用した広報サービスにもっと努めて下さい。土曜日の開庁がわからずに、平日に仕事を休んで市役所に証明書を取りに行きました。そういった情報はまずネットに公開してほしい。
不明	女性	40歳代	市役所から時々スピーカーでアナウンスをしていますが、全然声が聞き取れません。
不明	男性	40歳代	ボランティアをしたいが、情報が少ない。
不明	男性	30歳代	国際交流や文化など、いろいろな取り組みについて市民への情報が不足している。あまり近寄ることのない市役所などに行かなければ、情報がわからないのではないか。インターネットでホームページを見ても固いイメージがあり、地域交流やイベント、ボランティアなど人と人をつなぐものが見えにくい。また、市の活動がサラリーマンの時間帯と重なっていることで、ますます取り組みが見えていません。平日を休んでも土日にイベントが行なったり、情報を伝える場所を駅やコンビニ、スーパーなどに変更する等、市民と活動を結ぶ市の役割に大きく期待しています。

小学校区	性別	年代	自由意見【33市民のための行政運営 22件】
太宰府	女性	30歳代	観光客より観光地に住んでいる住人のことを考えた街づくりを進めてほしい。
太宰府	女性	50歳代	市議会議員の報酬が高すぎる。
太宰府東	男性	40歳代	税金を大切にしてほしい。
水城	女性	40歳代	市役所の2階の窓口建設、都市整備などについて、昼休みと思われる時間に行ったら明らかに嫌そうな顔をしたり、イライラして話されたりする。若い人ほど感じいいが、中年の人は非常に感じ悪い。PM2.5対策や学校環境への対策が不安でたまらない。
水城	女性	20歳代	このように住民に対してのアンケートをお金をかけて行なうくらいなら、どうして自発的に出てきた住民の意思を真剣に考えられないのかと行政への不信感がつのる。
水城	男性	30歳代	20~40代の世代により良い豊かな暮らしのモデルを発信し続けて、太宰府市に定住してもらうか、若い世代への投資を今の10~20倍行うべきである。春日市は10万都市、隣市は筑紫野市、大野城市とある。特別太宰府市に魅力がなければ、それらの市へすぐ引っ越されてしまう。太宰府市は残念ながら遅れている。真剣さが足りない。
水城西	男性	30歳代	当然ながら歴史遺産を残す目的があることは理解できるが、それにしても太宰府市民としての恩恵を受けていると感じない。例えば、天満宮の駐車場代を無償化（市民のみ）するなどの検討を行って頂けることを期待します。
水城西	女性	30歳代	太宰府市は福岡市に比べ、いろいろなことができていないと思う。市の職員についてもです。市の職員の給料が高すぎます。
水城西	女性	40歳代	歴史的遺産を守り、観光名所の美化も大事ではあるかもしれないけど、市民の生活の場の整備をきちんとしてほしい。
水城西	女性	60歳代	元気のあるクリーンな太宰府市でありたいものです。
太宰府西	男性	50歳代	小さな行政を目指して下さい。税金は安くして下さい。
国分	女性	60歳代	お土産店や駐車場運営者から税金をしっかりとらってほしい。
国分	女性	30歳代	文化や国際交流なども良いが、地に足のついた市政をしてほしい。
国分	女性	40歳代	太宰府市の包括支援センターはその場の対応だけで、継続した関わりができていないと思います。基本計画も大切かもしれませんが、もっと1人1人（困っている方）への対応を考えてほしい。
国分	男性	20歳代	税金を有効に使い、市民のために還元してほしい。
国分	男性	30歳代	とにかく、市職員の態度が良くない。非常に不満である。全ての職員がサービス業だという意識変革を行わなければならない。
不明	男性	30歳代	市役所の対応は人によって変わるので、きちんと対応してほしい。市役所の人で「実家の親が義理親に見てもらっては」、「認可外」と言う人もいたし、曖昧な言い方をする人もいた。それぞれの事情で預けるのに、「その言い方は何」という疑問があります。できないから申請しているんですよ。不愉快にしかありません。それ以外にもいろいろ問題はあるので、一つずつ解決して頂きたいと思う。
不明	男性	30歳代	市役所の職員の態度が悪すぎる。いくらなんでもというレベルの酷い態度の者がかなりいる。最低の市役所。
不明	男性	60歳代	太宰府市の税金が高い。
不明	男性	40歳代	権利、差別の議論から早く脱却して、その先の議論をして下さい。
不明	女性	40歳代	天下り団体への資金、補助金を全面禁止してほしい。
不明	男性	50歳代	税金が高すぎる。
小学校区	性別	年代	自由意見【34広域連携の推進 1件】
水城	男性	40歳代	他の都市との連携を進めているなら、必要ない物は捨て、特段のまちづくり（観光面をメイン）にフォーカスを当て、進めてほしい。
小学校区	性別	年代	自由意見【その他 28件】
太宰府	男性	40歳代	太宰府市は全国的にも名の通った市です。東京在住中に実感しました。私自身、隣の筑紫野市に長年住んでいたので、太宰府も身近な印象です。歴史の街というためか、時間の流れが少しゆったりとした感じがします。
太宰府	男性	60歳代	市役所、図書館（中央公民館）の駐車場をもっと拡大できないか。
太宰府	男性	70歳代	施設、設備や便利、快適さの他に、温かさや絆等も大切だと思う。自己反省している。
太宰府東	女性	40歳代	市民の総合病院は必要だと思います。引っ越してきてから驚きました。
太宰府東	女性	60歳代	住宅地の中の駐禁が厳しすぎる。
太宰府南	男性	30歳代	お互い仕事を頑張りましょう。
太宰府南	男性	70歳代	天満宮は神社法人で、税金は納めていないと思います。市としては、天満宮より何らかの寄附金等がなされているのでしょうか。太宰府市民の支援になるような寄附的な手段ができるのであれば、協力をお願いしたい。このことが太宰府市のためになるのなら、大変有り難いことです。
太宰府南	女性	40歳代	国際的な観光都市なのだから、子供を専門で診る24時間体制の総合病院があれば、周辺の住民も安心し子供が多い街になっていくのではないだろうか。
水城	男性	60歳代	散歩コースとしては最高ですね。市民の森。
水城	男性	20歳代	小中学校のグラウンド等を夜間市民に開放してほしい。スポーツをする場所が少ない。
水城西	男性	30歳代	現在、住民税が高すぎると感じる。
水城西	女性	30歳代	太宰府市は静かでスーパーや銀行、郵便局なども揃っていて、本当にちょうど良い環境だと思います。
太宰府西	男性	50歳代	太宰府館をもっとアピールした方が良い。とても良い場所にあるのに利用している人が少ない。
太宰府西	女性	70歳代	議員がまだ多い。
国分	女性	70歳代	余生をこの地で3年前に故郷に舞い戻ってまいりました。病院も近く、有り難いです。小字名が石に刻まれ、懐かしく残されています。ぐみの花の咲く頃に読みました「小字名の残る山里ぐみの花」。
国分	男性	60歳代	公衆電話がなくなりました。
国分	男性	60歳代	ポストが近くになく、バスに乗らないと行けない。

小学校区	性別	年代	自由意見【その他 28件】
国分	女性	40歳代	太宰府市は生まれた時から住んでいて、社会人になり他の市で動き、結婚後、太宰府市に戻ってきましたが、正直、税金（市民）が高い。なので、他の市へ引っ越すことも考えてしまいます。詳しくはわかりませんが、地域のお金など無駄に委員となった市民が勝手に使っていたりしていると聞きます。高齢者が多い太宰府市なので、少しでも無駄なことをなくして、1人1人の負担を減らすことをしてほしいです。
国分	男性	60歳代	市としての特長がない（見えない）。新たなことへのチャレンジが必要。
国分	女性	50歳代	もう成人している子供が小学生の頃、通学している学校で行なわれているクラブ活動で体育館の使用料を取られていました。今でもそうなのですか。体育施設も少ないのですから、もっと無料で開放すると良いですね。
不明	男性	60歳代	太宰府天満宮に来る人が多いが、その恩恵は誰にあるのかわからない。市民に迷惑をかける分、天満宮から市民への何らかの寄附行為があっても良いのではないかと。天満宮だけが良くて、他の人は迷惑していることもある。
不明	女性	30歳代	とても住みやすい。市役所の方も親切です。自然も多く、季節によっては観光する場所も多く、いい環境にいると思います。太宰府市は歴史があり、知名度もあるので住んでいて誇りに思います。これからも市政の皆さん応援しています。
不明	女性	30歳代	大型の産婦人科があると助かるし、女性の検診も増え、出産も安心してできると思う。
不明	女性	50歳代	郵便ポストが少ない。
不明	男性	60歳代	日本全国で政治としていえることですが、子育て支援はとても素晴らしいことではありません。本当に生まれたての子供を保育所に預け、働く必要があるのか。勘違いしないでもらいたい。大人でも朝8時に家を出て、5時までの勤務でも疲れるにもかかわらず、赤ちゃんはそれより早くに用意し、迎えは母の仕事が終わってからというのが毎日。そこまでして3人目、4人目を産むのは違うと考えます。子は宝ですが、宝であるからこそ保育所が足りないのではなく、何とか母親の手で育てる原点に戻ってほしい。
不明	男性	40歳代	若い人が多いのに、市全体に若さが感じられない。活かされていない。
不明	男性	40歳代	古いことにこだわりすぎている。
不明	女性	60歳代	いろんな所に住んだが、太宰府市は最も悪い。このアンケートも市長以下、誰も目を通すことはないだろう。委託業者の方が集計されるだけで、何の役にも立たないだろう。太宰府市民の市政に対する不満はとても大きいと思う。

## 平成24年度太宰府まちづくり市民意識調査 自由意見の分類

目 標	分類番号	施 策 名	意見数
健やかで安らぎのある 福祉のまちづくり	01	子育て支援の推進	20
	02	高齢者福祉の推進	4
	03	障がい福祉の推進	1
	04	地域福祉の推進	5
	05	生涯健康づくりの推進	5
	06	社会保障の適正な運営	3
安全で安心して暮らせる まちづくり	07	防災・消防体制の整備充実	3
	08	防犯・暴力追放運動の推進	9
	09	交通安全対策の推進	8
	10	安全な消費生活の推進	0
豊かな心を育みふれあいを 大切にするまちづくり	11	人権を尊重するまちづくりの推進	2
	12	男女共同参画の推進	0
	13	生涯学習の推進	8
	14	社会教育の推進	0
	15	学校教育の充実	9
	16	文化芸術の振興	0
人と自然が共生する 環境にやさしいまちづくり	17	生活環境の向上	17
	18	自然共生社会の構築	4
	19	環境型社会の構築	6
	20	低炭素社会の構築	2
	21	環境教育・学習の推進	0
魅力的な生活空間が整い 産業が活気づくまちづくり	22	未来に伝える景観づくり	10
	23	計画的なまちづくりの推進	45
	24	地域交通体系の整備	62
	25	良質な水道水の安定供給	14
	26	下水道の整備と普及促進	1
	27	産業の振興	1
歴史を活かし文化を守り 育てるまちづくり	28	文化遺産の保存と活用	6
	29	観光基盤の整備充実	17
	30	国際交流・友好都市交流の推進	0
市民と共に考え共に創る まちづくり	31	市民参画の推進	8
	32	情報の共有化と活用	14
	33	市民のための行政運営	22
	34	広域連携の推進	1
その他			28
合計			335

附属資料 使用した調査票



# 太宰府まちづくり市民意識調査

## アンケートご協力のお願い

太宰府市では、「歴史とみどり豊かな文化のまち」を将来像として掲げた第五次太宰府市総合計画（計画期間：平成23年度～平成32年度）を平成23年3月に策定し、まちづくりに取り組んでいます。その実施にあたり、市民の皆様のご意見や市の取組についての考えをお聞きして、これを今後のまちづくりに反映させていきたいと考えています。

そこでお忙しい中恐縮ですが、調査票の質問に○印でご回答いただき、**3月19日（火）**までに同封の返信用封筒によりポストに投函してください。（切手は不要です）

設問数が多くお手数をおかけしますが、これからのまちづくりにとって非常に重要なものですので、ぜひご協力をお願いいたします。

※このアンケートは、太宰府市にお住まいの20歳以上の方1,000人を無作為に抽出し、お願いしています。

※アンケート結果は数字で統計処理いたします。回答結果をそのまま公表することはありませんので個人情報の観点でご迷惑をおかけすることはありません。

※氏名や住所などの記入の必要はありません。

※この調査は、株式会社西日本リサーチ・センターに委託して実施しています。

平成25年3月

太宰府市長 井上保廣

### ご記入にあたって

① あて名のご本人がお答えください。

※ご本人が回答できない場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。

② お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。

③ たとえば、「1つ選んで」や「3つまで」と回答の数が指定されている質問がありますので、それぞれ指定の数を選んでください。

④ ご記入は鉛筆またはボールペンでお願いします。

◎この調査に関してのお問い合わせは、次のところをお願いします。

太宰府市 総務部 経営企画課 企画政策係  
電話 921-2121（内線548）

(まず、あなた自身についておたずねします)

問1. あなたの性別についてお選びください。

1. 男
2. 女

問2. あなたの年齢を次の中からお選びください。(平成25年3月末時点で)

- |           |            |            |
|-----------|------------|------------|
| 1. 20～24歳 | 6. 45～49歳  | 11. 70～74歳 |
| 2. 25～29歳 | 7. 50～54歳  | 12. 75～79歳 |
| 3. 30～34歳 | 8. 55～59歳  | 13. 80歳以上  |
| 4. 35～39歳 | 9. 60～64歳  |            |
| 5. 40～44歳 | 10. 65～69歳 |            |

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ
3. 2世代世帯(親と子)
4. 3世代世帯(親と子と孫)
5. 4世代以上
6. 兄弟姉妹のみ
7. その他( )

問4. あなたのご職業を次の中からお選びください。(2つ以上あるときは主なもの1つ)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 会社員          | 6. パート・アルバイトなど |
| 2. 農林水産業        | 7. 学生          |
| 3. 自営業(農林水産業以外) | 8. 無職          |
| 4. 団体職員・公務員     | 9. その他( )      |
| 5. 家事専業         |                |

付問1. 【問4で5・8・9と答えた方以外で】通勤先または通学先の所在地を次の中からお選びください。

- |         |                   |
|---------|-------------------|
| 1. 太宰府市 | 5. 大野城市           |
| 2. 福岡市  | 6. 那珂川町           |
| 3. 筑紫野市 | 7. 1から6以外の福岡県内市町村 |
| 4. 春日市  | 8. 福岡県外           |



問5. あなたの住んでいる小学校区を次の中から選びください。

1. 太宰府小学校区
2. 太宰府東小学校区
3. 太宰府南小学校区
4. 水城小学校区
5. 水城西小学校区
6. 太宰府西小学校区
7. 国分小学校区
8. わからない

問6. あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。(平成25年3月末時点で)  
次の中から選びください。

1. 3年未満
2. 3年以上～5年未満
3. 5年以上～10年未満
4. 10年以上～15年未満
5. 15年以上～20年未満
6. 20年以上～25年未満
7. 25年以上

問7. あなたのお住まいを次の中から選びください。

1. 持ち家・分譲マンション
2. 賃貸住宅・アパート
3. 社宅・寮
4. 間借り・下宿
5. その他( )

(まちの住みやすさについておたずねします)

問8. あなたは太宰府市が住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい         | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みやすい | 5. 住みにくい         |
| 3. どちらともいえない     |                  |

問9. あなたはこれからも太宰府市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- |           |             |          |
|-----------|-------------|----------|
| 1. 住み続けたい | 2. 住み続けたくない | 3. わからない |
|-----------|-------------|----------|

付問1. 【住み続けたいと答えた方】におたずねします。「住み続けたい」と思う主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| 1. 友人・知人が多い     | 10. 生涯学習・スポーツの事業が盛ん    |
| 2. 自宅周辺の環境がよい   | 11. 高齢者施設が充実している       |
| 3. サークル活動が盛ん    | 12. 子育てしやすい制度や環境が整っている |
| 4. まちづくりに参加しやすい | 13. 医療機関が多い            |
| 5. 史跡や文化財が身近にある | 14. 教育・文化施設の整備が進んでいる   |
| 6. まちの知名度が高い    | 15. 健康づくりのための事業が充実している |
| 7. 大学・短大が多い     | 16. 道路や上下水道の整備が進んでいる   |
| 8. 通勤通学の交通の便がよい | 17. 公園や街路樹などの緑が多い      |
| 9. 商店が多く買い物が便利  | 18. その他 ( )            |

付問2. 【住み続けたくないと答えた方】におたずねします。「住み続けたくない」と思う主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| 1. 近所づきあいが苦手    | 10. 生涯学習・スポーツの事業が少ない   |
| 2. 自宅周辺の環境が悪い   | 11. 高齢者や障がい者福祉施策が遅れている |
| 3. サークル活動が少ない   | 12. 子育て支援の制度や環境が不十分    |
| 4. まちづくりに参加しにくい | 13. 大型総合病院がない          |
| 5. 税金や公共料金が高い   | 14. 教育・文化施設の整備が不十分     |
| 6. 災害対策に不安がある   | 15. 健診や健康づくり事業などが不十分   |
| 7. 通勤通学の交通の便が悪い | 16. 道路や上下水道の整備が遅れている   |
| 8. 近所に商店が少ない    | 17. 公園や街路樹などの緑が少ない     |
| 9. 就職先が少ない      | 18. その他 ( )            |

(あなた自身のお考えや日頃の暮らし、行動についておたずねします)

問 10. あなたは第五次太宰府市総合計画前期基本計画に掲げた次の34の施策について、今後どのように取り組むべきだと思いますか。

(○は施策ごとに1つ)

	1. 最優先で力を掛けて取り組むべきである	2. どちらかと言えば今までより力を掛けて取り組むべきである	3. 今までどおりでよい	4. どちらかと言えば今までより力を掛けないで取り組むべきである	5. 今までより力を掛けずに取り組むべきである	6. わからない
施策01 子育て支援の推進 (子育て家庭への支援や保育サービスの充実、児童虐待の防止など)	1	2	3	4	5	6
施策02 高齢者福祉の推進 (高齢者の介護予防や在宅支援の充実、生きがいづくりの推進など)	1	2	3	4	5	6
施策03 障がい福祉の推進 (障がい者の生活支援や就労支援、相談体制の充実など)	1	2	3	4	5	6
施策04 地域福祉の推進 (地域での福祉活動の推進や災害の被災者への援護、雇用・労働対策など)	1	2	3	4	5	6
施策05 生涯健康づくりの推進 (健康づくりの支援や人材の育成、環境の整備など)	1	2	3	4	5	6
施策06 社会保障の適正な運営 (国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金、介護保険、生活保護など)	1	2	3	4	5	6
施策07 防災・消防体制の整備充実 (防災体制や消防・救急体制の整備充実など)	1	2	3	4	5	6
施策08 防犯・暴力追放運動の推進 (防犯体制の充実や暴力追放運動の推進など)	1	2	3	4	5	6
施策09 交通安全対策の推進 (交通安全啓発の推進や交通安全施設の整備など)	1	2	3	4	5	6
施策10 安全な消費生活の推進 (消費生活相談の充実や消費者意識の啓発など)	1	2	3	4	5	6
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進 (人権教育・啓発の推進や同和問題の解決など)	1	2	3	4	5	6
施策12 男女共同参画の推進 (男女共同参画の啓発や女性の支援・相談・参画など)	1	2	3	4	5	6
施策13 生涯学習の推進 (生涯学習・スポーツの推進や公民館・図書館・スポーツ施設の充実など)	1	2	3	4	5	6
施策14 社会教育の推進 (社会教育の充実や関係団体の育成、青少年の健全育成など)	1	2	3	4	5	6
施策15 学校教育の充実 (学校教育の内容や教育環境の向上、生徒指導の拡充など)	1	2	3	4	5	6
施策16 文化芸術の振興 (文化芸術活動の育成・支援や市史の活用など)	1	2	3	4	5	6

	1. 最優先で力を掛けて取り組むべきである	2. どちらかと言えば今までより力を掛けて取り組むべきである	3. 今までと同じくらい	4. どちらかと言えば今までより力を掛けなくて取り組むべきである	5. 今までより力を掛けずに取り組むべきである	6. わからない
施策17 生活環境の向上（生活環境の保全や環境マナーの向上、環境美化の推進など）	1	2	3	4	5	6
施策18 自然共生社会の構築（みどりや水環境の保全と創造、水とみどりのネットワークづくりなど）	1	2	3	4	5	6
施策19 循環型社会の構築（ごみの減量やリサイクルの推進、廃棄物の適正処理など）	1	2	3	4	5	6
施策20 低炭素社会の構築（省エネ対策や新エネルギー導入の促進、温室効果ガスの排出抑制など）	1	2	3	4	5	6
施策21 環境教育・学習の推進（環境教育・学習の推進や環境に優しいライフスタイルの推進など）	1	2	3	4	5	6
施策22 未来に伝える景観づくり（景観形成のための仕組みづくりや個性ある地域景観の保全など）	1	2	3	4	5	6
施策23 計画的なまちづくり（秩序ある土地利用の推進や市街地の整備、公園機能の向上など）	1	2	3	4	5	6
施策24 地域交通体系の整備（幹線道路や生活道路の整備や公共交通の利便性の向上など）	1	2	3	4	5	6
施策25 良質な水道水の安定供給（水道施設の整備・維持や健全経営など）	1	2	3	4	5	6
施策26 下水道の整備と普及促進（下水道施設の整備・維持や健全経営など）	1	2	3	4	5	6
施策27 産業の振興（商工業の振興や都市近郊農業の推進など）	1	2	3	4	5	6
施策28 文化遺産の保存と活用（史跡地の公有化や文化財の調査・保護・整備、市民遺産の活用など）	1	2	3	4	5	6
施策29 観光基盤の整備充実（観光宣伝の充実や観光資源の整備、太宰府ブランドの展開など）	1	2	3	4	5	6
施策30 国際交流・友好都市交流の推進（国際交流活動の推進や友好都市交流の推進など）	1	2	3	4	5	6
施策31 市民参画の推進（自治基本条例の制定や地域コミュニティ活動、NPO・ボランティア支援など）	1	2	3	4	5	6
施策32 情報の共有化と活用（行政情報の開示や情報セキュリティの確保、広聴・広報の充実など）	1	2	3	4	5	6
施策33 市民のための行政運営（行政改革や財政健全化の推進、行政職員の能力開発資質向上など）	1	2	3	4	5	6
施策34 広域連携の推進（広域行政の推進や道州制・市町村合併の調査・研究など）	1	2	3	4	5	6

## 各施策について

### 子育て支援の推進

【次の2問は、中学生までのお子さまをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問 11. あなたは太宰府市では子育てがしやすいと思いますか。(○は1つ)

1. 子育てがしやすい
2. どちらかと言えば子育てがしやすい
3. どちらかと言えば子育てがしにくい
4. 子育てがしにくい

問 12. あなたは子育てに関して不安や負担感を感じますか。(○は1つ)

1. 不安や負担感がある
2. どちらかと言えば不安や負担感がある
3. どちらかと言えば不安や負担感はない
4. 全く不安や負担感はない

### 高齢者福祉の推進

【65歳以上の方だけにおたずねします】

問 13. あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(○は1つ)

1. とても感じている
2. どちらかと言えば感じている
3. どちらかと言えば感じていない
4. 全く感じていない

問 14. あなたは太宰府市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

### 障がい福祉の推進

問 15. あなたは太宰府市の障がい者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 16. あなたは市内の公共施設（駅、市役所等）が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 17. あなたは市内の民間施設（商業施設等）が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

#### 地域福祉の推進

問 18. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

#### 生涯健康づくりの推進

問 19. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。（○は1つ）

1. とても健康である
2. 健康な方である
3. あまり健康ではない
4. 健康ではない

問 20. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいるものがありますか。（○は1つ）

1. ある
2. ない

問 21. あなたはこの一年間に、1回以上健康診査を受けましたか。（○は1つ）

1. 受けている
2. 受けていない

### 防災・消防体制の整備充実

問 22. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

- ① 2日分程度の食料・飲料の備蓄をしている。  
1. はい                      2. いいえ
- ② 避難場所を知っている。  
1. はい                      2. いいえ
- ③ 避難勧告などの災害情報がどこから来るかを知っている。  
1. はい                      2. いいえ
- ④ 家具の転落防止策をとっている。  
1. はい                      2. いいえ
- ⑤ 避難時に身近に手助けできる方がいる。  
1. はい                      2. いいえ

### 防犯・暴力追放運動の推進

問 23. あなたは市内に住むことに対して防犯の面で安心していただけますか。(○は1つ)

1. とても安心している
2. どちらかと言えば安心している
3. どちらかと言えば不安である
4. とても不安である

付問 1. あなたの家の周囲や市内において、防犯上危険と思われるような場所がありましたら、具体的に記述してください。

( )

### 安全な消費生活の推進

問 24. あなたやあなたの家族が、この1年間に架空・不当請求や不適正な取引行為(点検商法やキャッチセールス等)の被害を受けたり、被害にあいそうな不安を感じたことがありますか。(○は1つ)

1. 被害を受けた
2. 直接の被害はないが不安を感じた
3. 特になかった

付問 1. 【被害を受けた・直接の被害はないが不安を感じたと答えた方】におたずねします。具体的には、どのような被害や不安ですか。(○はいくつでも)

1. 架空請求・不当請求
2. 点検商法、訪問販売(消火器・浄水器・シロアリ駆除等)
3. キャッチセールス・催眠商法による被害
4. 振り込め詐欺
5. その他(具体的に

)

## 人権を尊重するまちづくりの推進

問 25. あなたやあなたの家族が、この 1 年間に人権を侵害されたことがありますか。

(○は 1 つ)

- 1. ある
- 2. ない

付問 1. 【あると答えた方】におたずねします。それはどのような人権侵害ですか。

(○はいくつでも)

- 1. 同和問題
- 2. 性別（男女）に関する人権
- 3. 子どもの人権
- 4. 障がい者の人権
- 5. 高齢者の人権
- 6. 外国人の人権
- 7. HIV感染者などの人権
- 8. その他（具体的に

問 26. あなたは今の太宰府市では同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。(○は 1 つ)

- 1. 尊重されている
- 2. どちらかといえば尊重されている
- 3. どちらかといえば尊重されていない
- 4. 尊重されていない

問 27. 同和地区の起源について、あなたはどのように受けとめていますか。(○は 1 つ)

- 1. 人種（民族）がちがう
- 2. 宗教がちがう
- 3. 職業（仕事）がちがう
- 4. 生活が貧しかった
- 5. 民衆を支配する手段として、支配者によってつくられた
- 6. その他（

問 28. あなたは結婚を決めるときに、家柄とか血筋を問題にする風習についてどのように思いますか。(○は 1 つ)

- 1. 当然のことと思う（いつも気にしている）
- 2. おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う
- 3. 不合理だから、なくしていかなければならないと思う

## 男女共同参画の推進

問 29. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。(○は 1 つ)

- 1. 同感する
- 2. ある程度同感する
- 3. あまり同感しない
- 4. 同感しない



問 30. あなたは普段の生活の中で、男女間の地位の平等について、どのように思いますか。  
(○は1つ)

1. 女性の方が優位である
2. どちらかといえば、女性の方が優位である
3. 平等である
4. どちらかといえば、男性の方が優位である
5. 男性の方が優位である
6. わからない

#### 生涯学習の推進

問 31. あなたは日頃から学習テーマを持って生涯学習活動に取り組んでいますか。  
(○は1つ)

1. ほぼ毎日取り組んでいる
2. 週に1回程度取り組んでいる
3. 月に数回程度取り組んでいる
4. 年に数回程度取り組んでいる
5. ほとんど取り組んでいない

問 32. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に2回程度行っている
3. 週に1回程度行っている
4. 月に数回程度行っている
5. 年に数回程度行っている
6. ほとんど行っていない

#### 文化芸術の振興

問 33. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度行っている
5. ほとんど行っていない

#### 生活環境の向上

問 34. あなたは自宅周辺的环境は清潔で衛生的だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 35. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草など空き地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。（○は1つ）

1. かなり守られている
2. ある程度守られている
3. あまり守られていない
4. ほとんど守られていない

問 36. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。（○は1つ）

1. いつも参加している
2. たまに参加している
3. 参加していない

#### 自然共生社会の構築

問 37. あなたは太宰府市の自然は豊かであると感じますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 38. あなたは太宰府市内で、野鳥や昆虫等を観察したり、ふれあう場所がありますか。（○は1つ）

1. 観察したり、ふれあう場所があり、満足している
2. 観察したり、ふれあう場所がわからない
3. 観察したり、ふれあう場所がなく不満に思う

#### 循環型社会の構築

問 39. あなたは日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいますか。（○は1つ）

1. 取り組んでいる
2. ときどき取り組んでいる
3. あまり取り組んでいない
4. 取り組んでいない

#### 低炭素社会の構築

問 40. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）を行っていますか。（○は1つ）

1. 行っている
2. ある程度行っている
3. あまり行っていない
4. ほとんど行っていない

問 41. あなたは日頃からアイドリングストップや節電など、二酸化炭素排出削減や大気汚染防止のための活動を行っていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度行っている
5. ほとんど行っていない

#### 環境教育・学習の推進

問 42. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会等に参加したことがありますか。(○は1つ)

1. 年に2回以上参加している
2. 年に1回程度は参加している
3. 参加したことはない

#### 未来に伝える景観づくり

問 43. あなたは市内の自然は美しいと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

問 44. あなたは史跡地・神社仏閣及びその周辺など、市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

問 45. あなたが住んでいる地区は、良好なまちなみだと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

### 計画的なまちづくりの推進

問 46. あなたのお住まいの周辺地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

問 47. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

付問 1. あなたの家の近くにあると便利だと思う施設がありましたら、具体的に記述してください。

( )

### 地域交通体系の整備

問 48. あなたは市内のバスは便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. バスを利用しないのでわからない

問 49. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. 鉄道を利用しないのでわからない

問 50. あなたは市内の道路全般について、渋滞もなく円滑に移動できると思いますか。  
(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 51. あなたは日頃、どのような手段で外出しますか。(○は1つ)

- |         |                     |
|---------|---------------------|
| 1. 徒歩   | 5. コミュニティバス (まほろば号) |
| 2. 自転車  | 6. 路線バス             |
| 3. 自家用車 | 7. タクシー             |
| 4. 鉄道   | 8. その他 ( )          |

#### 産業の振興

問 52. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(○は1つ)

- |         |                |
|---------|----------------|
| 1. 太宰府市 | 5. 大野城市        |
| 2. 福岡市  | 6. 那珂川町        |
| 3. 筑紫野市 | 7. 宇美町         |
| 4. 春日市  | 8. 1 から7以外の市町村 |

#### 文化遺産の保存と活用

問 53. あなたは市内の歴史文化遺産を誇りに思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

#### 観光基盤の整備充実

問 54. あなたは太宰府市内に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。  
(○は1つ)

1. 地域の活気や発展につながり、好ましいと思う
2. どちらかと言えば好ましいと思う
3. どちらかと言えば好ましくないと思う
4. ごみや渋滞などが発生し、好ましくないと思う
5. その他 ( )

問 55. 太宰府市内を訪れた観光客との交流やおもてなしのために、あなた自身ができると思うことがありますか。(○はいくつでも)

1. 観光客に笑顔で接する
2. まちの美観づくりに努める
3. 市外・県外の友人・知人に太宰府市をPRする
4. 観光ガイドなどのボランティア活動に取り組む
5. できることはない
6. その他 ( )

### 国際交流・友好都市交流の推進

問 56. あなたは日頃から市内在住の外国人と交流していますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日交流している
2. 週に1回程度交流している
3. 月に数回程度交流している
4. 年に数回程度交流している
5. ほとんど交流していない

問 57. あなたは太宰府市では大韓民国の扶餘郡フヨグンと姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存じでしたか。(○はいくつでも)

1. 扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた
2. 奈良市との友好都市締結は知っていた
3. 多賀城市との友好都市締結は知っていた
4. どれも知らなかった

問 58. あなたは日頃から市の姉妹都市である大韓民国の扶餘郡フヨグンや友好都市である奈良市、多賀城市の人たちと交流をしていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日交流している
2. 週に1回程度交流している
3. 月に数回程度交流している
4. 年に数回程度交流している
5. ほとんど交流していない

問 59. あなたは外国人や留学生とどのような交流をしたいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 意見交換会
2. スポーツ交流
3. 語学講座
4. ホームステイ
5. その他 ( )

### 市民参画の推進

問 60. あなたは自治会活動に参加していますか。(○は1つ)

1. 積極的に参加している
2. どちらかといえば参加している
3. どちらかといえば参加していない
4. 参加していない

問 61. あなたは自治会活動以外のボランティア活動に参加していますか。(○は1つ)

1. 積極的に参加している
2. どちらかといえば参加している
3. どちらかといえば参加していない
4. 参加していない

### 情報の共有化と活用

問 62. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

問 63. あなたは「広報だざいふ」「太宰府市議会だより」を読んだり、「太宰府市ホームページ」を見ていますか。(○はそれぞれ1つ)

広報だざいふ	議会だより	太宰府市ホームページ
1. いつも読んでいる	1. いつも読んでいる	1. いつも見ている
2. たまに読んでいる	2. たまに読んでいる	2. たまに見ている
3. ほとんど読まない	3. ほとんど読まない	3. ほとんど見ていない
4. 読まない	4. 読まない	4. 見ていない
		5. 見る事ができない

問 64. あなたは市が積極的に情報を公開・提供していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

問 65. あなたはパソコンを持っていますか。(○は1つ)

- 1. 持っている
- 2. 家族が持っている
- 3. ない

→付問 1. 【持っている・家族が持っていると答えた方】におたずねします。そのパソコンを使ってインターネットを利用していますか。(○は1つ)

- 1. 利用している
- 2. 利用していない

問 66. あなたは携帯電話を持っていますか。(○は1つ)

- 1. 持っている
- 2. 持っていない

→付問 1. 【持っていると答えた方】におたずねします。その携帯電話を使ってインターネットを利用していますか。(○は1つ)

- 1. 利用している
- 2. 利用していない

#### 市民のための行政運営

問 67. あなたは太宰府市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。(○は1つ)

- 1. そう思う
- 2. どちらかと言えばそう思う
- 3. どちらかと言えばそう思わない
- 4. そう思わない

問 68. あなたは市職員の対応や行動などの仕事に対する取組について、満足していますか。(○は1つ)

- 1. 満足している
- 2. ある程度満足している
- 3. あまり満足していない
- 4. 満足していない



問 69. あなたは過去 1 年間で、市役所の窓口を利用したことがありますか。(○は 1 つ)

1. はい
2. いいえ

→付問 1. 【はいと答えた方】におたずねします。窓口での事務処理は迅速でしたか。  
(○は 1 つ)

1. とても迅速だった
2. どちらかと言えば迅速だった
3. どちらかと言えば遅かった
4. とても遅かった

→付問 2. 【はいと答えた方】におたずねします。窓口での職員の対応や姿勢に満足しましたか。(○は 1 つ)

1. とても満足した
2. どちらかと言えば満足した
3. どちらかと言えば不満だった
4. とても不満だった

### 広域連携の推進

問 70. 福岡都市圏では道路等交通基盤整備や水資源の確保、図書館や体育館の広域利用による生涯学習の体制づくりなど、都市圏に共通する課題に対し、圏域全体の一体的発展と、魅力と活力にあふれた住みよい都市圏の形成に向けて取組を進めています。

あなたは福岡都市圏の広域的な取組によって住民サービスが向上したと思いますか。(○は 1 つ)

#### 【福岡都市圏の概要】

福岡都市圏は福岡市とその周辺 16 市町（筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・那珂川町・古賀市・宇美町・篠栗町・志免町・須恵町・新宮町・久山町・粕屋町・宗像市・福津市・糸島市）を圏域とし、これら 17 市町で構成する福岡都市圏広域行政推進協議会を設置しています。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

(最後にまちづくりについてご意見などがありましたら、お聞かせください)

《自由意見欄》

貴重なご意見をありがとうございました。  
今後も、市政へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



◎ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒(切手は不要です)に入れて、3月19日(火)までに投函してください。

# 太宰府まちづくり市民意識調査 報告書

---

発行年月日 平成 25 年 3 月  
編集・発行 太宰府市 総務部 経営企画課  
〒818-0198  
福岡県太宰府市観世音寺一丁目 1 番 1 号  
TEL 092-921-2121  
FAX 092-921-1601